LP-M5500F/LP-M5500

ソフトウェア機能ガイド for Mac OS

Mac OS環境のコンピュータから印刷またはスキャンする方法やソフトウェアの機能の詳細を説明しています。

NPD1502-00

マーク

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。マークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
!注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品本体が損傷したり、製品本体やソフトウェアが正常に動作しなくなる場合があります。必ず守ってお使いください。
参考	補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。
	関連した内容の参照ページを示しています。

Mac OS の表記

本製品が対応している Mac OS のバージョンは次の通りです。
Mac OS 9.1 ～ 9.2.x
Mac OS X v10.2、v10.3
本書中では、上記各オペレーティングシステムをまとめて、それぞれ「Mac OS 9」、「Mac OS X」と表記しています。

マニュアル構成

本製品には、次の説明書が添付されています。

<table>
<tr><td colspan="2">開梱作業を行われる方へ</td><td>本機を開梱する際に必ずお読みください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">セットアップガイド</td><td>本機を使用可能な状態にするまでの手順を説明しています。
必ずお読みいただき、本機を正しくセットアップしてください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">活用ガイド</td><td>コピー、ファックス、スキャンの方法とメンテナンスおよび困ったときの対処方法を説明しています。
必ずお読みいただき、本機を正しくご使用ください。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">CD-ROM</td><td>ソフトウェア機能ガイド
for Windows（PDF）</td><td>Windows から印刷、スキャンする方法を説明しています。</td></tr>
<tr><td>ソフトウェア機能ガイド
for Mac OS（PDF）- 本書 -</td><td>Mac OS から印刷、スキャンする方法を説明しています。</td></tr>
<tr><td>ネットワーク設定ガイド（PDF）</td><td>ネットワーク印刷時の詳細情報とネットワークユーティリティの情報を説明しています。</td></tr>
</table>

説明で使用しているイラスト

本書では、LP-M5500F のイラストを使用して各種手順説明をしています。

説明で使用している Mac OS の画面

本書では、Mac OS X v10.3 または Mac OS 9.2 の画面を使用して各種手順説明をしています。

もくじ（印刷編）

使用可能な印刷用紙とセット方法 98

困ったときは 129

付録 169

もくじ（スキャナ編）

EPSON Scan 情報 255

困ったときは....................... 274

付録 289

1 印刷の基本操作

コンピュータから本機に印刷するための基本的な操作を説明しています。

印刷を始める前に

Mac OS X で印刷の準備をする

Mac OS X で使い始める前に

- Mac OS X でのご利用にあたっては、OS あるいはプリンタドライバの制限事項により使用できない機能があります。制限事項の詳細は下記ホームページにてご確認ください。
  アドレス：http://www.i-love-epson.co.jp/support
- プリンタドライバに依存しない OS の機能の説明は、Mac OS X の説明書やヘルプも参照してください。

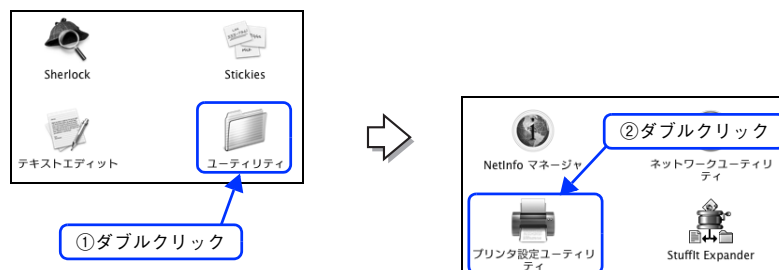
［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］へのプリンタの追加

『セットアップガイド』（紙マニュアル）の説明に従って、『EPSON ソフトウェア CD-ROM』からプリンタソフトウェアのインストールは終了していますか。ここでは、［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］にプリンタを追加する手順を詳しく説明します。

- すでにプリンタを追加している場合は、再度追加する必要はありません。
- 追加したプリンタを削除しない限り、印刷のたびに追加する必要はありません。
- 複数のプリンタを追加している場合は、通常（デフォルトで）使うプリンタを選択できます（プリンタはアプリケーションソフトの［プリント］ダイアログからも選択できます）。

- Mac OS X のバージョンによって、［プリンタ設定ユーティリティ］（Mac OS X 10.3 以降）、［プリントセンター］（Mac OS X 10.2）と名称が異なります。
- オプション製品を本機に装着した場合は、OS バージョンに応じて次のように追加してください。
  Mac OS X v10.2：［プリントセンター］にプリンタを再度追加してください（古いプリンタは新しいプリンタに置き換わります）。
  Mac OS X v10.3：［プリンタ設定ユーティリティ］から一旦プリンタを消して、再度追加してください。

1 **本機の電源をオン（ I ）にします。**

2 **［アプリケーション］フォルダから［ユーティリティ］フォルダを開いて、［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］をダブルクリックします。**

Mac OS X 10.3 以降の場合は、［システム環境設定］で［プリントとファックス］をクリックして、［プリント］ダイアログの［プリンタを設定 ...］をクリックしても［プリンタ設定ユーティリティ］が開きます。詳しくは、Mac OS X のヘルプをご覧ください。

3 ［追加］をクリックします。

- USB 接続でもなんらかの理由でプリンタが追加されていない場合やネットワーク接続の場合は、［追加］をクリックして 4 に進みます。
- プリンタが追加されていれば、［追加］をクリックしないでそのまま 6 へ進みます。

- Mac OS X 10.2 で USB 接続の場合、電源オンで自動的にプリンタは追加されます（プリンタ名が表示されます）。そのまま 6 へ進んでください。
- Mac OS X 10.3 以降の場合は、USB 接続でも自動的に追加されません。4 へ進んで手順通りに手動で追加してください。

4 ［EPSON USB］/［USB］、［EPSON AppleTalk］、［EPSON TCP/IP］または［Rendezvous］を選択します。

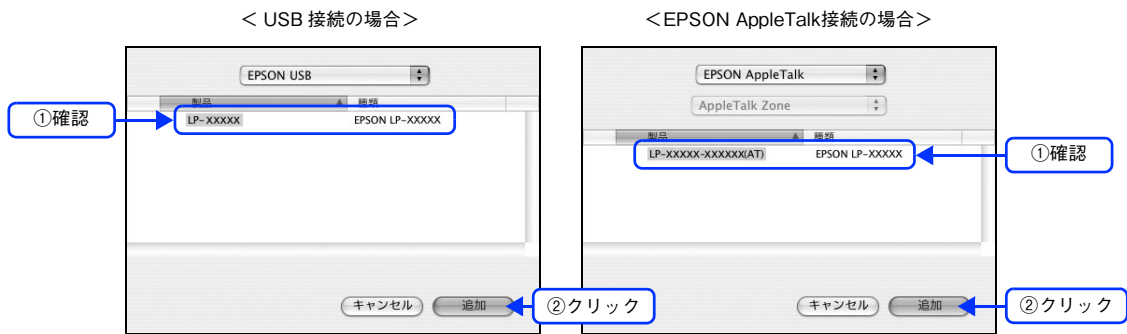
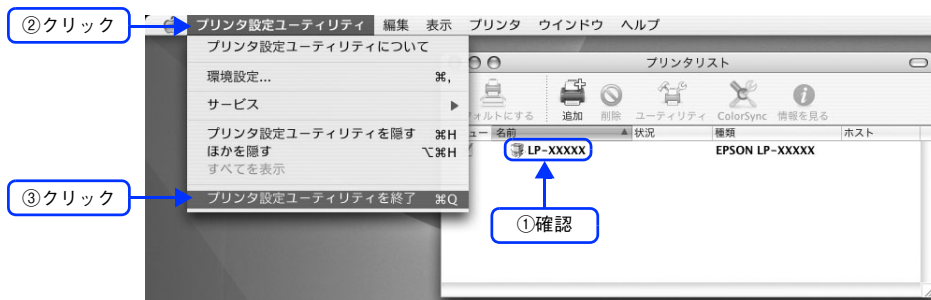
- USB 接続の場合は、［EPSON USB］または［USB］を選択します。
- ネットワーク接続の場合は、［EPSON AppleTalk］、［EPSON TCP/IP］または［Rendezvous］を選択します。なお、AppleTalk ゾーンを設定している場合は、［AppleTalk Zone］を選択します。

＜ USB 接続の場合＞

＜EPSON AppleTalk接続の場合＞

- プリンタ名がリストに表示されない場合は、コンピュータと本機の接続状態が正しいか、本機の電源がオンになっているかを確認してください。
- ネットワーク環境に接続している場合は、ネットワークプリンタとして共有できます。
- Mac OS X では AppleTalk はオフ（使用しない）に初期設定されています。AppleTalk が使用できない場合は、［システム環境設定］から［ネットワーク］を開き、［ApplTalk］タブで使用可能になっているか確認してください。
- AppleTalk ゾーンの一覧は、ネットワーク上でゾーンを設定している場合に表示されます。プリンタを接続したゾーンを選択してください。どのゾーンにプリンタを接続したかは、ネットワーク管理者にご確認ください。

5 お使いのプリンタ名（LP-M5500）を選択して、［追加］をクリックします。

＜USB 接続の場合＞　＜EPSON AppleTalk接続の場合＞

6 プリンタ名（LP-M5500）がリストに登録されたことを確認して、［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］メニューから［プリンタ設定ユーティリティを終了］/［プリントセンターを終了］をクリックします。

- 複数のプリンタを追加している場合は、通常使うプリンタ（デフォルトプリンタ）として追加されます。
- デフォルトプリンタを変更するには、プリンタの名前をクリックして［デフォルトにする］をクリックします（プリンタ名が太字で表示されます）。
- 印刷時に［プリント］ダイアログで別のプリンタを選択すると、そのプリンタが新しいデフォルトプリンタになります。
- すでに追加してあるプリンタ名を選択して［削除］をクリックすると、［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］からは消えますが、プリンタドライバそのものは削除されずに残っています。

以上でプリンタ追加は終了です。印刷を始めることができます。

本書 13 ページ「印刷の手順」

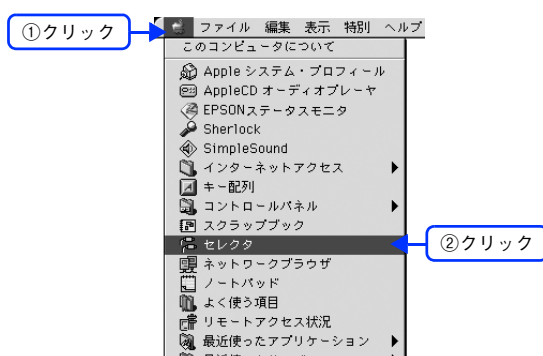
Mac OS 9で印刷の準備をする

『セットアップガイド』（紙マニュアル）の説明に従って、『EPSON ソフトウェア CD-ROM』からプリンタソフトウェアのインストールは終了していますか。ここでは、［セレクタ］でプリンタを選択する手順を詳しく説明します。

- すでに本機を選択している場合は、再度選択する必要はありません。
- 他のプリンタを選択しない限り、印刷のたびに選択する必要はありません。

オプション製品を本機に装着した場合は、［セレクタ］で本機を再選択してください。

1 **本機の電源をオン（ I ）にします。**

2 **アップルメニューからセレクタをクリックして開きます。**

3 **プリンタドライバ［LP-M5500］を選択します。**

- ネットワーク環境に接続している場合は、ネットワークプリンタとして共有できます。
- AppleTalk ゾーンの一覧は、ネットワーク上でゾーンを設定している場合に表示されます。プリンタを接続したゾーンを選択してください。どのゾーンにプリンタを接続したかは、ネットワーク管理者にご確認ください。
- QuickDraw GX は使用できません。プリンタドライバのアイコンが表示されない場合は、QuickDraw GX を使用停止にしてください。

4 USB ポートまたはプリンタを選択します。

- USB 接続の場合：USB ポートを選択します。同機種のプリンタが複数接続されている場合は［USB ポート（1）］、［USB ポート（2）］などと表示します。使用するポート番号を選択します。
- AppleTalk 接続の場合：AppleTalk ゾーンとプリンタを選択します。

＜ USB 接続の場合＞

＜ Apple Talk 接続の場合＞

- AppleTalk 接続の場合は、プリンタ名が変更されている場合があります。ネットワーク管理者にご確認ください。
- ネットワーク環境で AppleTalk ゾーンが設定されていない場合は、［AppleTalk ゾーン］は表示されませんので選択する必要はありません。
- USB 接続で［ポートの選択］に何も表示されない場合は、コンピュータと本機の接続状態が正しいか、本機の電源がオンになっているかを確認してください。

5 ［バックグラウンドプリント］の［入 / 切］を設定して、ダイアログ左上のクローズボックスをクリックします。

＜ USB 接続の場合＞

- ［バックグラウンドプリント］を［入］にすると、印刷しながらほかの作業ができます。ただし、ご使用のコンピュータによってはマウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷時間が長くなる場合があります。印刷速度を優先する場合は、［切］を選択してください。
- ［セットアップ］をクリックすると、プリンタの基本動作が設定できます。
☞ 本書 78 ページ「［プリンタセットアップ］ダイアログ（Mac OS 9）」

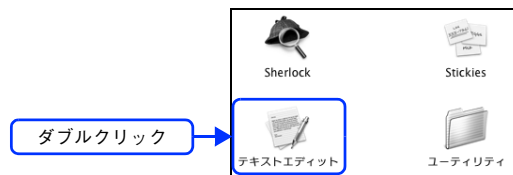
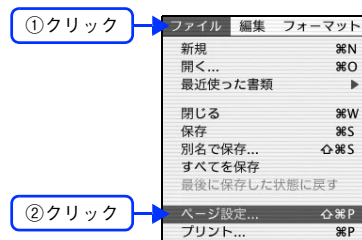
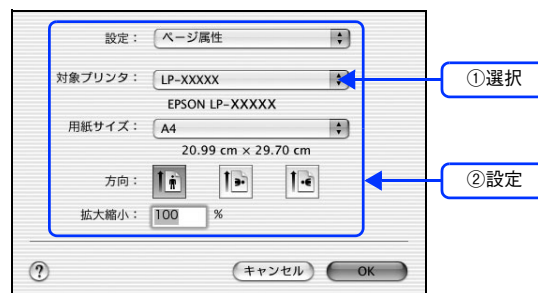
以上でプリンタの選択は終了です。印刷を始めていただけます。
☞ 本書 13 ページ「印刷の手順」

印刷の手順

Mac OS X で印刷する

ページ設定

実際に印刷データを作成する前に、用紙サイズなどを設定します。ここでは、「テキストエディット」を例に説明します。印刷手順は、お使いのアプリケーションソフトによって異なりますので、詳細は各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

1 ［アプリケーション］フォルダ内の［テキストエディット］アイコンをダブルクリックして起動します。

2 ［ファイル］メニューから［ページ設定］をクリックします。

3 ［対象プリンタ］メニューからお使いのプリンタ（LP-M5500）を選択して、必要な項目を設定します。

設定項目やボタンの説明は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 45 ページ「［ページ設定］ダイアログ（Mac OS X）」

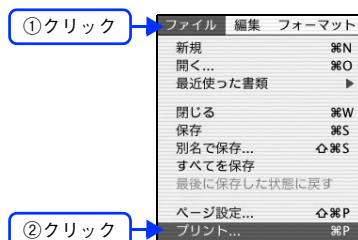
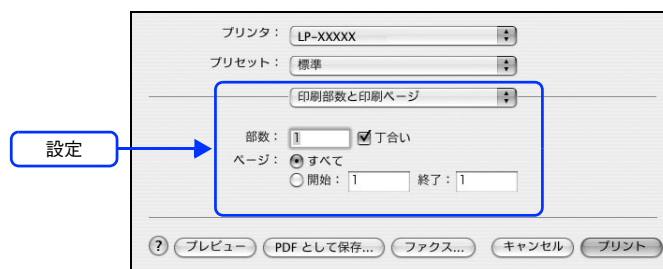
4 ［OK］をクリックして終了します。

この後、印刷データを作成します。

■ プリント設定

作成した印刷データを印刷する際に、印刷部数などを設定します。

アプリケーションソフトによっては、独自の［プリント］ダイアログを表示する場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

1 ［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

2 印刷に必要な項目を設定します。

設定項目やボタンの説明は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 46 ページ「［プリント］ダイアログ（Mac OS X）」
☞ 本書 47 ページ「［印刷部数と印刷ページ］ダイアログ」
☞ 本書 48 ページ「［レイアウト］ダイアログ」
☞ 本書 49 ページ「［出力オプション］ダイアログ」
☞ 本書 51 ページ「［プリンタの設定］ダイアログ」
☞ 本書 61 ページ「［一覧］ダイアログ」

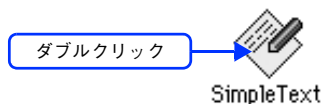
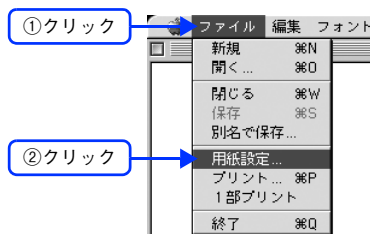
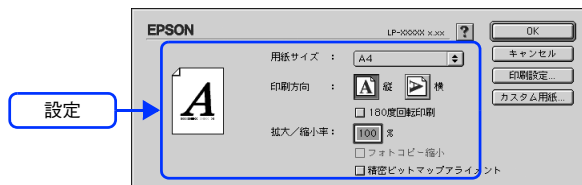
3 ［プリント］をクリックして、印刷を実行します。

以上で印刷は終了です。

Mac OS 9 で印刷する

用紙設定

実際に印刷データを作成する前に、用紙サイズなどを設定します。ここでは、SimpleText での手順を例に説明します。印刷手順は、お使いのアプリケーションソフトによって異なりますので、詳細は各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

1 ［SimpleText］アイコンをダブルクリックして起動します。

2 ［ファイル］メニューから［用紙設定］（または［プリンタの設定］など）をクリックします。

3 必要な項目を設定します。

設定項目やボタンの説明は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 62 ページ「［用紙設定］ダイアログ（Mac OS 9）」

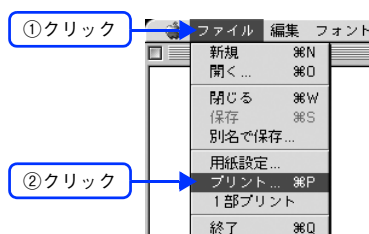
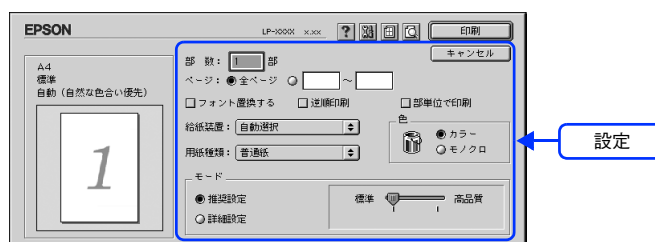
4 ［OK］をクリックして終了します。

この後、印刷データを作成します。

印刷設定の手順

作成した印刷データを印刷する際に、印刷部数などを設定します。

アプリケーションソフトによっては、独自の印刷ダイアログを表示する場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

1 ［ファイル］メニューから［プリント］（または［印刷］）を選択します。

2 印刷に必要な項目を設定します。

通常は、［プリント］ダイアログの各項目を設定するだけで正常に印刷できます。設定項目やボタンの説明は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 63 ページ「［プリント］ダイアログ（Mac OS 9）」

3 ［印刷］をクリックして、印刷を実行します。

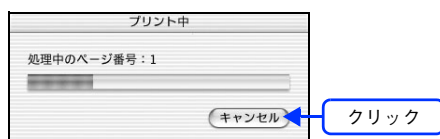
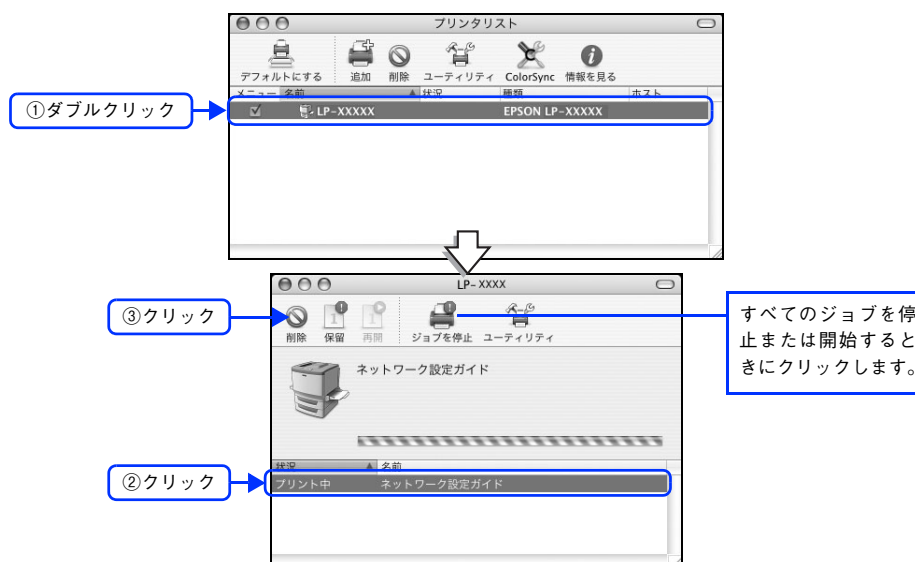
以上で印刷の手順は終了です。

印刷の中止方法

印刷処理を中止するときは、次の方法で印刷データを削除します。

Mac OS X から中止する

Mac OS X 上の処理が続いているときは、次のいずれかの方法で削除します。

- アプリケーションソフトによっては、印刷中にダイアログを表示するものがあります。印刷中のダイアログが表示されている場合は、印刷を中止するボタン（[キャンセル］など）をクリックして印刷を強制的に終了します。

- 印刷中は［Dock］に［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］が現れます。［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］を開き、印刷中のジョブを選択して削除（または保留 / 再開）できます。

本機が印刷中の場合は、本機の操作パネルで印刷を中止します。

☞ 本書 18 ページ「操作パネルから中止する」

Mac OS 9から中止する

- コマンド（⌘）キーを押したままピリオド（.）キーを押して、印刷を中止します。
  アプリケーションソフトによっては、印刷中にダイアログを表示するものがあります。印刷を中止するボタン（［キャンセル］など）をクリックして印刷を強制的に終了します。
- バックグラウンドプリントを行っている場合は、EPSON プリントモニタ !3 から印刷を中止します。

① EPSON プリントモニタ !3 を開いて、印刷状況を確かめます。

② EPSON プリントモニタ !3 で印刷を中止したり、待機中の印刷ファイルを削除します。

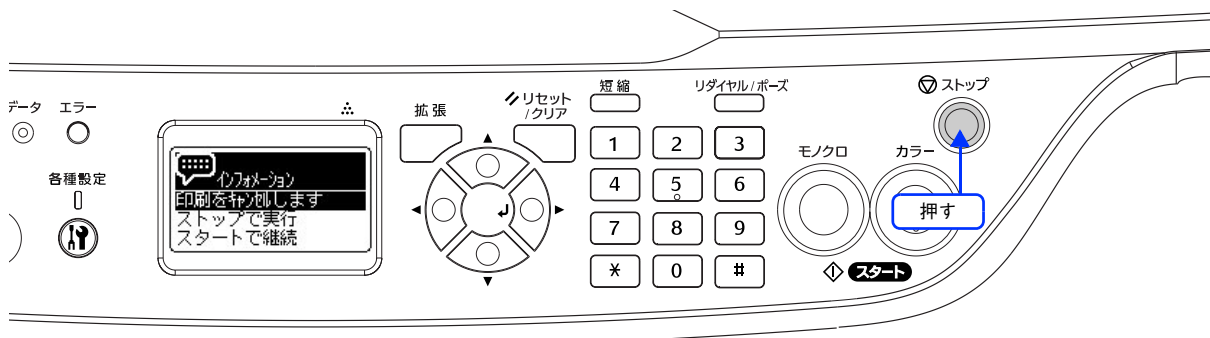
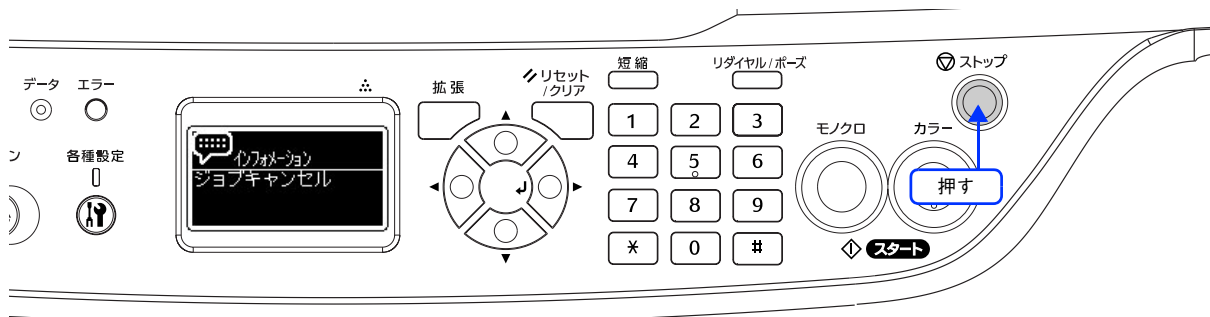
☞ 本書 43 ページ「印刷状況を確認する」

本機が印刷中の場合は、本機の操作パネルで印刷を中止します。

☞ 本書 18 ページ「操作パネルから中止する」

操作パネルから中止する

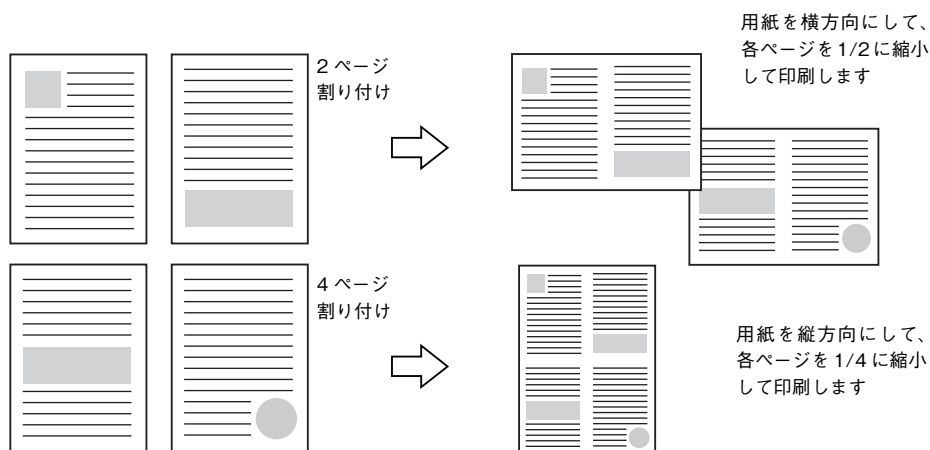
1 **印刷中のデータを削除するには［ストップ］ボタンを押します。**

本機が受信したすべての印刷データを削除するときは、［ストップ］ボタンを約 2 秒間押し続けます。

2 **［ストップ］ボタンをもう一度押します。**

印刷中のデータ（ジョブ単位または受信したすべてのデータ）が削除されます。本機が受信したすべての印刷データが消去されます。
以上で操作パネルでの印刷中止の手順は終了です。

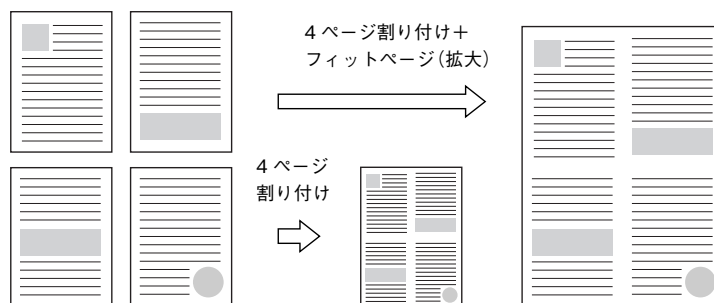
2 便利な機能

プリンタドライバを使用してできる便利な機能とその手順を説明しています。

用紙を節約（割り付け印刷）

大量の文書を印刷するときに「紙がもったいない」と感じることはありませんか。1 枚ずつ印刷するよりは、2 ページまたは 4 ページごとにまとめて 1 枚の用紙に割り付ければ、総枚数を 1/2 または 1/4 に減らすことができます。

例えば、会議の書類が 100 ページあれば、50 枚または 25 枚の用紙に印刷するだけで済み、ページ数が多ければ多いほど節約効果はぐっと上がります。

参考

ハガキサイズのページの場合、通常であればそのままハガキサイズの用紙に割り付け印刷しますが、文字が小さくて読みづらく実用的とは言えません。こんなときは、拡大 / 縮小機能（フィットページ機能）を同時に使用して、大きな A4 サイズの用紙に拡大して割り付けると読みやすくなります。

本書 26 ページ「印刷サイズを拡大 / 縮小」
本書 23 ページ「用紙を節約（両面印刷）」

Mac OS X で割り付け印刷する

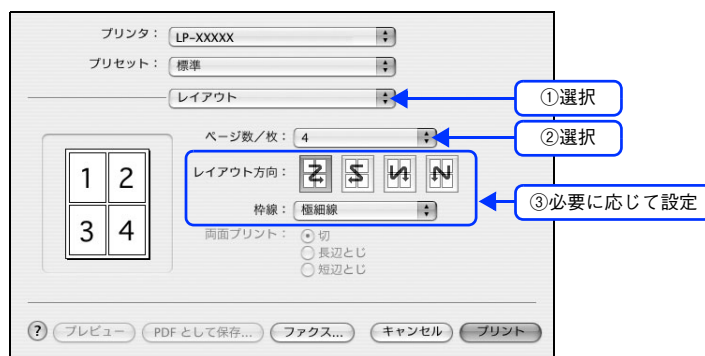
4 ページ分の連続したデータを 1 枚の用紙に印刷する場合の手順は次の通りです。

1 **プリンタドライバの［プリント］ダイアログを開きます。**

本書 14 ページ「プリント設定」

2 **［レイアウト］ダイアログを開いて、次の項目を設定します。**

［レイアウト］ダイアログの設定項目の説明は、以下のページを参照してください。

本書 48 ページ「［レイアウト］ダイアログ」

3 **［プリント］をクリックして印刷を実行します。**

以上で割り付け印刷は終了です。

Mac OS 9 で割り付け印刷する

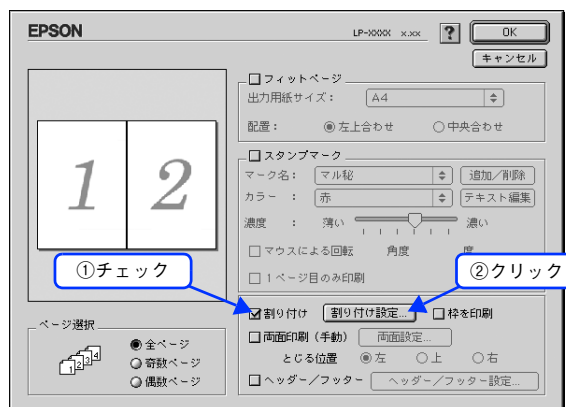
4 ページ分の連続したデータを 1 枚の用紙に印刷する場合の手順は次の通りです。

1 **プリンタドライバの［プリント］ダイアログを開きます。**

本書 14 ページ「プリント設定」

2 **をクリックします。**

［レイアウト］ダイアログが表示されます。

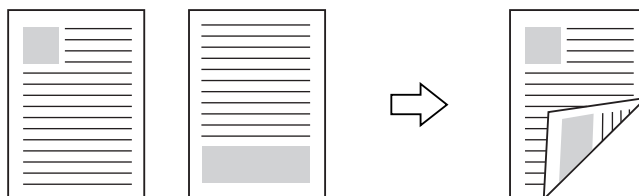
3 **［割り付け］をチェックして、［割り付け設定］をクリックします。**

4 **［割り付け設定］ダイアログの次の項目を設定します。**

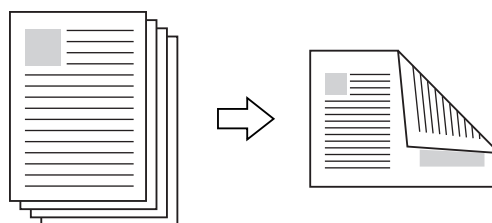
各項目を設定してから、［OK］をクリックします。

5 **［OK］をクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［プリント］ダイアログの［印刷］をクリックして印刷を実行します。**

以上で割り付け印刷の手順は終了です。

用紙を節約（両面印刷）

用紙の片面に印刷するだけでは「紙がもったいない」と思うことはありませんか。本機には用紙の表と裏に自動両面印刷するユニットが標準で装着されていますので、プリンタドライバで設定すれば用紙の両面に簡単に印刷でき、総枚数を 1/2 に減らすことができます。

さらに、用紙の両面に2ページまたは4ページ割り付け印刷を行えば、総枚数を1/4または1/8まで減らすことができます。

<例>両面それぞれに2ページ分の割り付け印刷した場合、
4 ページの文書なら用紙 1 枚で済みます

☞ 本書 20 ページ「用紙を節約（割り付け印刷）」

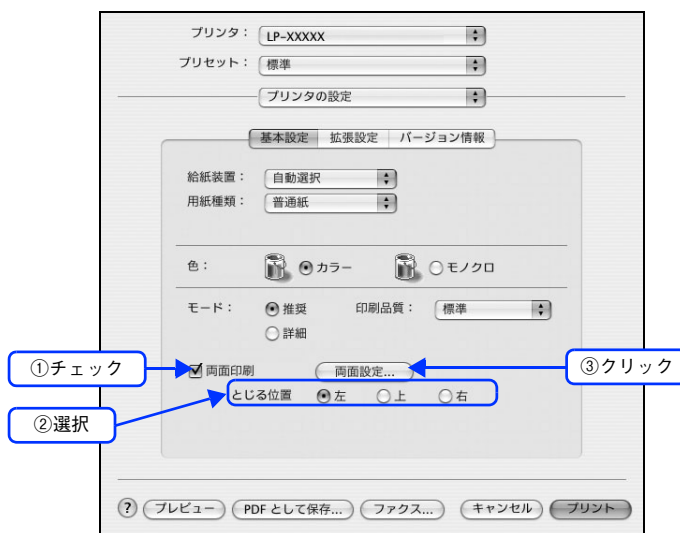
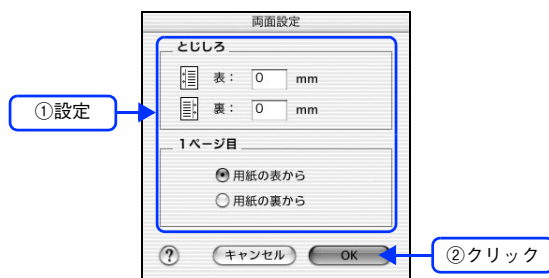
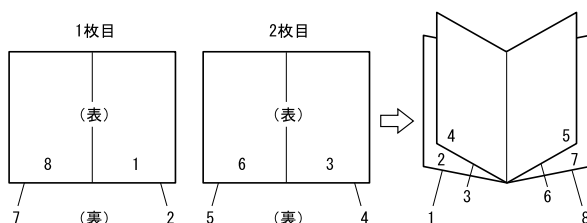
Mac OS X で印刷する

用紙の表裏、両面に印刷することができます。A4 サイズ（縦長）の印刷データを用紙の左側をとじられるように両面印刷する場合の手順は次の通りです。

1 **本機に両面印刷が可能なサイズの用紙（ここでは A4）がセットされていることを確認します。**
本書 127 ページ「両面印刷について」

2 **プリンタドライバの［プリント］ダイアログを開きます。**
本書 14 ページ「プリント設定」

3 **［プリンタの設定］から［基本設定］ダイアログを開きます。**

4 **［両面印刷］をチェックして、［とじる位置］を選択し、［両面設定］をクリックします。**

5 **［両面設定］ダイアログの各項目を設定します。**
各項目を設定してから、［OK］をクリックします。

6 **［プリント］をクリックして印刷を実行します。**
次のように印刷されますので、2 枚の用紙をまとめて 2 つ折りにしてとじてください。

以上で両面印刷は終了です。

Mac OS 9 で印刷する

A4 サイズ（縦長）の印刷データを用紙の左側をとじられるように両面印刷する場合の手順は次の通りです。

1 **本機に両面印刷が可能なサイズの用紙（ここでは A4）がセットされていることを確認します。**

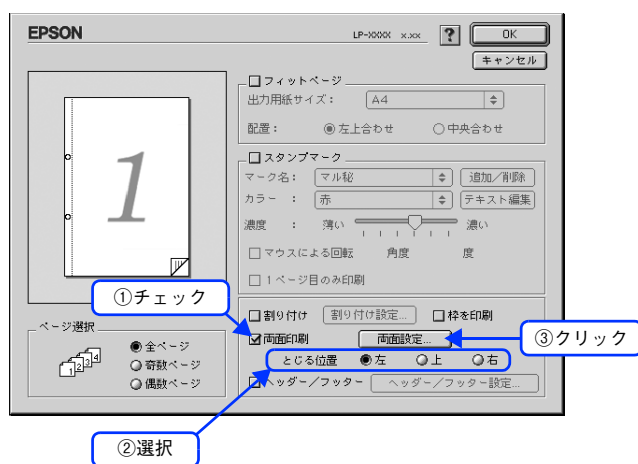
☞ 本書 127 ページ「両面印刷について」

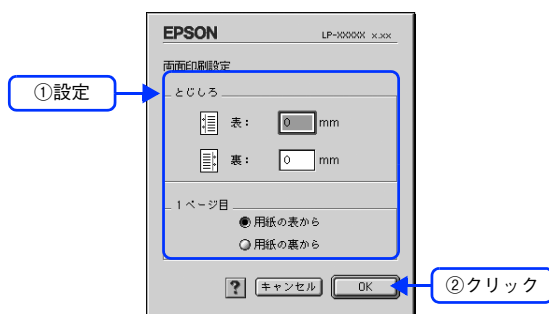
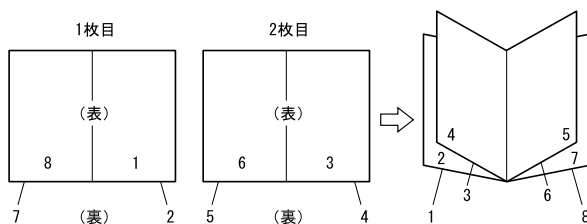
2 **プリンタドライバの［プリント］ダイアログを開きます。**

☞ 本書 14 ページ「プリント設定」

3 **をクリックします。**

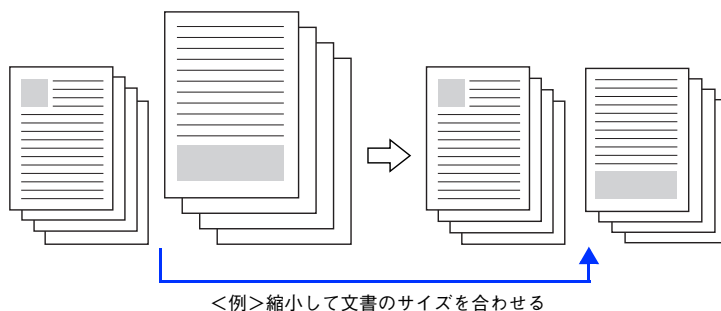
［レイアウト］ダイアログが表示されます。

4 **［両面印刷］をチェックして、［とじる位置］をクリックして選択し、［両面設定］をクリックします。**

5 **［両面印刷設定］ダイアログの次の項目を設定します。**

各項目を設定してから、［OK］をクリックします。

次のように印刷されますので、2 枚の用紙をまとめて 2 つ折りにしてとじてください。

以上で両面印刷は終了です。

印刷サイズを拡大 / 縮小

文書を印刷してからコピー機で拡大 / 縮小していませんか。プリンタドライバの拡大 / 縮小機能を使えば、文書をそのまま拡大 / 縮小して印刷できますので手間が省けます。「会議には A4 サイズで統一」との急な依頼にも迅速に対応できます。

<例>縮小して文書のサイズを合わせる

本機の拡大 / 縮小印刷には 2 つの方法があります。

サイズを選択(フィットページ印刷)

元のページサイズと拡大 / 縮小したい用紙サイズをメニューから選択するだけで、自動的にページサイズを用紙サイズに合わせて(フィットさせて)印刷できます。例えば、A4 サイズで作った原稿をハガキに印刷したい場合は、元のページサイズを[A4]に設定して、出力(印刷)に使用する用紙サイズを[ハガキ]に設定するだけで、あとはプリンタドライバが自動的に縮小率を計算して縮小印刷を行います。

☞ 本書 27 ページ「拡大 / 縮小率を自動的に設定してフィットページ印刷する(Mac OS 9)」

拡大 / 縮小率を設定(任意倍率印刷)

拡大 / 縮小率を任意に設定して印刷することもできます。まず拡大 / 縮小したい用紙サイズに合わせて拡大 / 縮小率を計算し、その値を入力して印刷します。

☞ 本書 30 ページ「任意の用紙サイズを登録する(Mac OS X)」
☞ 本書 32 ページ「任意の用紙サイズを登録する(Mac OS 9)」

拡大 / 縮小率を自動的に設定してフィットページ印刷する(Mac OS 9)

フィットページ機能を使って用紙サイズ A4 の印刷データをハガキサイズに縮小印刷する手順を説明します。

1 **本機にハガキサイズの用紙がセットされていることを確認します。**

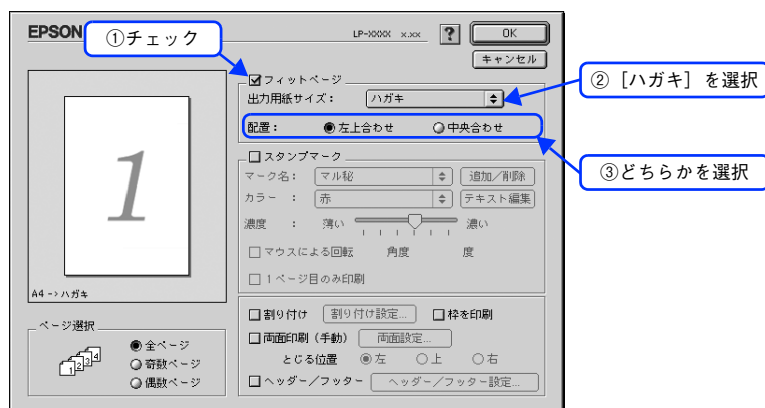
2 **プリンタドライバの［プリント］ダイアログを開きます。**

本書 15 ページ「用紙設定」

3 **をクリックします。**

［レイアウト］ダイアログが表示されます。

4 **［フィットページ］をチェックして、各項目を選択します。**

この場合［用紙設定］ダイアログの［用紙サイズ］は［A4］になります。

5 **［OK］をクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［プリント］ダイアログの［印刷］をクリックして印刷を実行します。**

以上でフィットページ印刷の手順は終了です。

拡大 / 縮小率を自由に設定して任意倍率印刷する（Mac OS X）

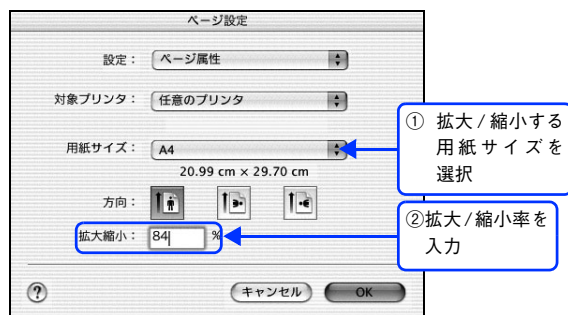
拡大 / 縮小率を自由に設定して印刷することができます。

1 拡大 / 縮小率を計算します。

- 元の用紙サイズの一辺の長さと拡大 / 縮小印刷に使用する用紙サイズの一辺の長さを比較して計算します。
- 拡大 / 縮小率は計算に使用する辺によって異なりますので、縦または横どちらか同等の辺を基に概数（小数点以下切り捨て）を計算します。

2 プリンタドライバの［ページ設定］ダイアログを開きます。

☞ 本書 13 ページ「ページ設定」

3 拡大 / 縮小印刷に使用する［用紙サイズ］を選択して、［拡大縮小］に 1 で求めた値を入力します。

［拡大縮小］で設定した拡大 / 縮小率に合った［用紙サイズ］を選択してください。次のような場合は、［用紙サイズ］が［拡大縮小］に合っていません。

- 縮小印刷時に用紙にバランスよくページが配置されない
- 拡大印刷時に用紙からはみ出て印刷されない部分がある

4 その他の設定を確認して［OK］をクリックしてダイアログを閉じます。

5 ［プリント］ダイアログを表示して印刷を実行します。

以上で任意倍率印刷の手順は終了です。

拡大 / 縮小率を自由に設定して任意倍率印刷する（Mac OS 9 ）

拡大 / 縮小率を自由に設定して印刷することができます。

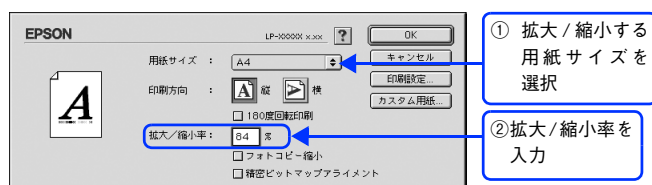
1 拡大 / 縮小率を計算します。

- 元の用紙サイズの一辺の長さと拡大 / 縮小印刷に使用する用紙サイズの一辺の長さを比較して計算します。
- 拡大 / 縮小率は計算に使用する辺によって異なりますので、縦または横どちらか同等の辺を基に概数（小数点以下切り捨て）を計算します。

2 プリンタドライバの［用紙設定］ダイアログを表示します。

本書 15 ページ「用紙設定」

3 拡大 / 縮小印刷に使用する［用紙サイズ］を選択して、［拡大 / 縮小率］に 1 で求めた値を入力します。

25 ～ 400% の間で倍率を指定できます。

［拡大 / 縮小率］に合った［用紙サイズ］を選択してください。次のような場合は、［用紙サイズ］が［拡大 / 縮小率］に合っていません。

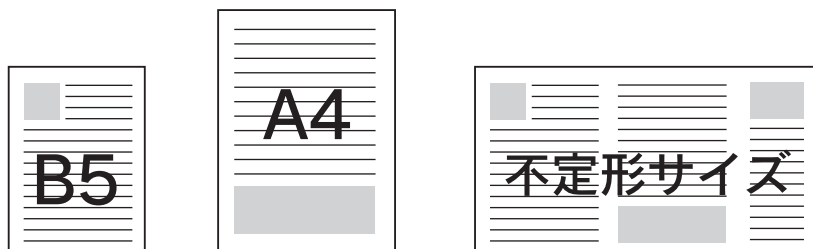
- 縮小印刷時に用紙にバランスよくページが配置されない
- 拡大印刷時に用紙からはみ出て印刷されない部分がある

4 その他の設定を確認し、［OK］をクリックして［用紙設定］ダイアログを閉じます。

5 ［プリント］ダイアログを表示して、［印刷］をクリックします。

以上で任意倍率印刷の手順は終了です。

定形サイズ以外の用紙に印刷

B5、A4 などの定形サイズ以外の用紙に印刷したい場合も心配ありません。任意の用紙サイズを不定形紙（ユーザー定義サイズ）として登録しておくことができます。

任意の用紙サイズを登録する（Mac OS X）

［用紙サイズ］リストにあらかじめ用意されていない用紙サイズをカスタム用紙サイズとして登録することができます。

1　プリンタドライバの［ページ設定］ダイアログを開きます。

☞ 本書 13 ページ「ページ設定」

2　［設定］メニューから［カスタム用紙サイズ］を選択します。

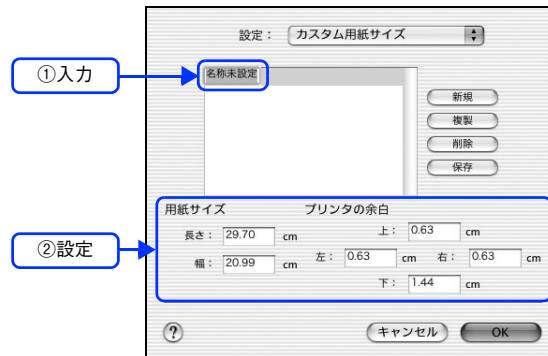
3　［新規］をクリックします。

4 用紙サイズ名、用紙サイズ（長さ、幅）、プリンタの余白（上下左右）を設定し、［OK］をクリックします。

本機で使用できる用紙サイズの範囲 *[1] は次の通りです。

- 用紙幅：98.5 ～ 297.0mm（3.88 ～ 11.69 インチ）
- 用紙長さ：148.0 ～ 431.9mm（5.83 ～ 17.00 インチ）

*[1]本機で有効な値です。設定を保存した際に、入力した値が OS の計算により変わる場合があります。

*[2]設定の単位をインチにするには、［システム環境設定］から［言語環境］を開き、［数］タブをクリックして［計測単位］を［ヤード・ポンド法］に設定します。

- すでに登録されている用紙サイズを複製する場合は、リストから複製したいサイズ名をクリックして選択し、［複製］をクリックします。必要に応じて設定を変更してから［保存］をクリックします。
- すでに登録されている用紙サイズを削除する場合は、リストから削除したいサイズ名をクリックして選択し、［削除］をクリックします。
- すでに登録されている用紙サイズを変更する場合は、リストから変更したいサイズ名を選択し、設定を変更して［保存］をクリックします。
- カスタム用紙サイズの登録はMac OS Xの機能ですので、特定のプリンタドライバに依存することなく、すべてのプリンタドライバで利用できます。また、本機のプリンタドライバを再インストールした場合でも、登録した用紙サイズは保持されます。

5 ［OK］をクリックしてダイアログを閉じます。

ここで定義した用紙サイズが［ページ属性］の［用紙サイズ］リストから選択できるようになります。
印刷する場合は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 33 ページ「任意の用紙サイズに印刷する」

任意の用紙サイズを登録する（Mac OS 9）

［用紙サイズ］リストにあらかじめ用意されていない用紙サイズをカスタム用紙サイズとして登録することができます。

1 **プリンタドライバの［用紙設定］ダイアログを開きます。**

本書 15 ページ「用紙設定」

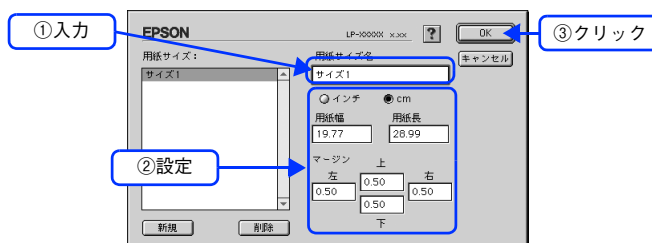
2 **［カスタム用紙］をクリックします。**

3 **［新規］をクリックします。**

- 登録できる用紙サイズの数は、64 件までです。
- すでに登録されている用紙サイズを削除する場合は、リストから削除したいサイズ名をクリックして選択し、［削除］をクリックします。
- すでに登録されている用紙サイズを変更する場合は、リストから変更したいサイズを選択し、設定を変更してください。
- プリンタドライバを再インストールした場合でも、登録した用紙サイズは保持されます。

4 **用紙サイズ名、単位（インチまたは cm）、用紙幅、用紙長、上下左右マージンを設定し、［OK］をクリックします。**

本機で使用できる用紙サイズの範囲は次の通りです。

- 用紙幅：98.5 ～ 297.0mm（3.88 ～ 11.69 インチ）
- 用紙長さ：148.0 ～ 431.9mm（5.83 ～ 17.00 インチ）

これで設定した用紙サイズが［用紙サイズ］リストから選択できるようになります。
以上で任意の用紙サイズの登録は終了です。
この後は、通常印刷する手順と同様に印刷してください。印刷する場合は、以下のページを参照してください。

本書 33 ページ「任意の用紙サイズに印刷する」

任意の用紙サイズに印刷する

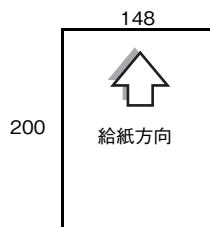
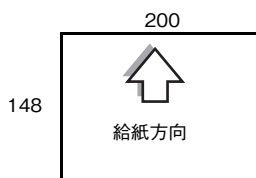
不定形紙への印刷は、いくつかご注意いただく点があります。以下のページを参照してから印刷を実行してください。
☞ 本書 126 ページ「不定形紙への印刷」

不定形紙への印刷は次の手順で行ってください。

1　印刷する不定形紙の用紙サイズをユーザー定義サイズ / カスタム用紙サイズとしてあらかじめプリンタドライバの［用紙サイズ］に登録します。

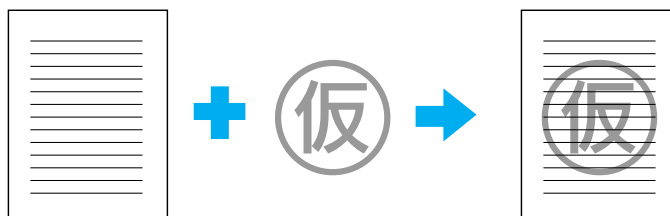
☞ Mac OS X：本書 32 ページ「任意の用紙サイズを登録する（Mac OS 9）」
☞ Mac OS 9：本書 30 ページ「任意の用紙サイズを登録する（Mac OS X）」

2　［ユーザー定義サイズ］/［カスタム用紙（サイズ）］で設定した用紙方向に合わせて、MP トレイに用紙をセットします。

＜例＞ユーザー定義サイズを「用紙幅 148mm × 用紙長 200mm」に設定した場合

＜例＞ ユーザー定義サイズを「用紙幅 200mm × 用紙長 148mm」に設定した場合

3　［ページ設定］または［用紙設定］ダイアログで新規に登録した用紙サイズを選択して、印刷を実行します。

以上で任意の用紙サイズへの印刷は終了です。

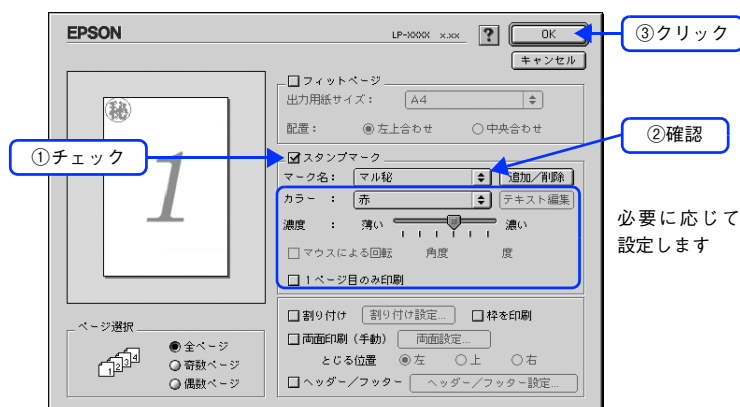
「仮」などのスタンプマークを重ねて印刷

印刷した文書を管理するときに、「㊙」、「重要」、「仮」などのスタンプを押していませんか。プリンタドライバのスタンプマーク機能を使えば、文書自体にこうしたスタンプマークを重ねて印刷できますので手間が省けます。大量の文書にスタンプを押す必要がある場合でも、一度設定すれば手作業で何度もスタンプを押す必要がなく、しかも押し間違いもありません。

スタンプマークを印刷する（Mac OS 9）

スタンプマークを印刷する場合の手順は次の通りです。

1 **プリンタドライバの［プリント］ダイアログを開きます。**
本書 14 ページ「プリント設定」

2 **をクリックします。**
［レイアウト］ダイアログが表示されます。

3 **［スタンプマーク］をチェックして、各項目を設定します。**

4 **［OK］をクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［プリント］ダイアログの［印刷］をクリックして印刷を実行します。**

以上でスタンプマーク印刷の手順は終了です。

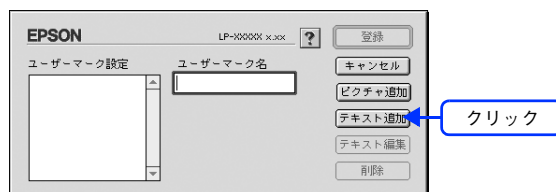
オリジナルスタンプマークを登録する（Mac OS 9）

すでに登録されているスタンプマークのほかに、お好みの画像や任意の単語を登録して印刷することができます。

- 画像を登録したい場合は、次の操作を始める前に、画像を準備しておいてください。なお、登録できる画像のファイル形式は PICT だけです。
- 画像と単語を合計 32 個まで登録できます。
- プリンタドライバを再インストールした場合でも、登録されたスタンプマークは保持されます。

テキストマークの登録方法

1 ［レイアウト］ダイアログを開いて、［スタンプマーク］をチェックしてから、［追加 / 削除］をクリックします。

2 ［テキスト追加］をクリックします。

3 ［テキスト］ボックスに文字を入力し、［フォント］と［スタイル］を選択して、［OK］をクリックします。

4 ［ユーザーマーク名］を入力して、［登録］をクリックします。

これで［スタンプマーク］ダイアログの［マーク名］のポップアップメニューにオリジナルのスタンプマークが登録されました。

- 登録したテキストマークを変更するには、変更したいテキストマーク名を［ユーザーマーク設定］リストから選んで［テキスト編集］をクリックします。変更した後、必ず一旦ダイアログを閉じてください。
- 登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を［ユーザーマーク設定］リストから選択して［削除］をクリックします。［削除］をクリックした後、必ず一旦ダイアログを閉じてください。

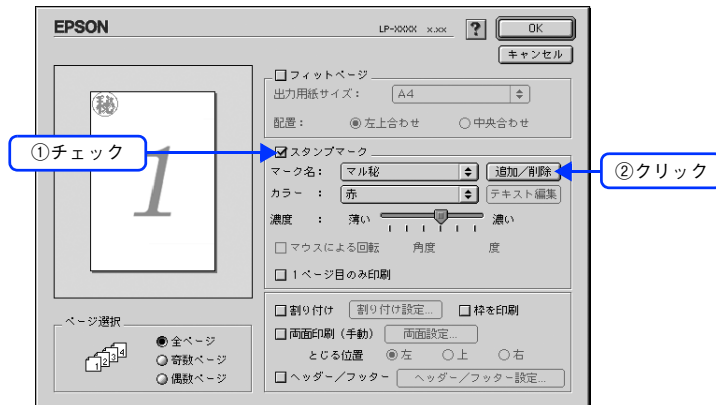
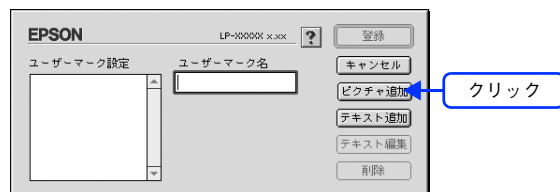
5 ［レイアウト］ダイアログで［OK］をクリックします。

画面左側のプレビュー部で登録したスタンプマークを確認できます。

以上でテキストマーク登録の手順は終了です。

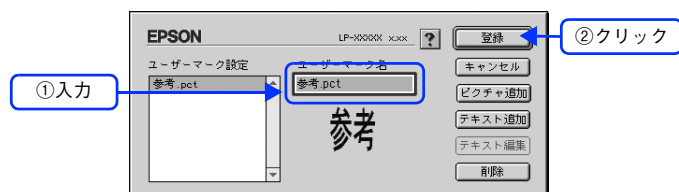
ビットマップマークの登録方法

1 アプリケーションソフトでオリジナルのスタンプマークを作成し、PICT 形式で保存します。

2 ［レイアウト］ダイアログを開いて、［スタンプマーク］をクリックしてチェックを付け、［追加 / 削除］をクリックします。

3 ［ピクチャ追加］をクリックします。

4 **1** で保存した PICT ファイル名を選択し、［開く］をクリックします。

［作成］をクリックすると、ファイルのサンプル画像を表示します。

5 ［ユーザーマーク名］を入力して、［登録］をクリックします。

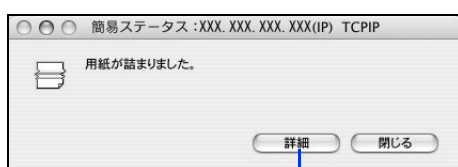
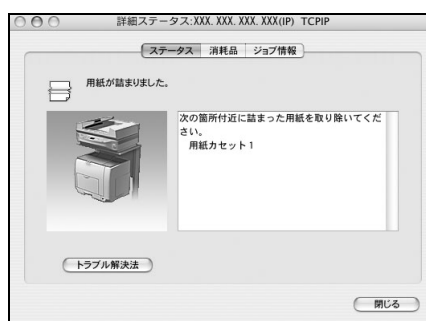
これで［スタンプマーク］ダイアログの［マーク名］のポップアップメニューにオリジナルのスタンプマークが登録されました。

参考　登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を［ユーザーマーク設定］リストから選択して［削除］をクリックします。［削除］をクリックした後、必ず一旦ダイアログを閉じてください。

6 ［レイアウト］ダイアログで［OK］をクリックします。

画面左側のプレビュー部で登録したスタンプマークを確認できます。

以上でビットマップマーク登録の手順は終了です。

本機の状態をコンピュータ上で確認

EPSON ステータスモニタでプリンタの状態を確認することができます。
本書 82 ページ「[簡易ステータス] ダイアログ」
本書 82 ページ「[詳細ステータス] ダイアログ」

Mac OS X で確認する

次の 2 通りの方法で、EPSON ステータスモニタの［詳細ステータス］ダイアログを開くことができます。

EPSON ステータスモニタを起動する前に、監視したいプリンタが［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］で追加 / 選択されているか確認してください。

［方法 1］
Dock 上の EPSON ステータスモニタのアイコンをクリックします。

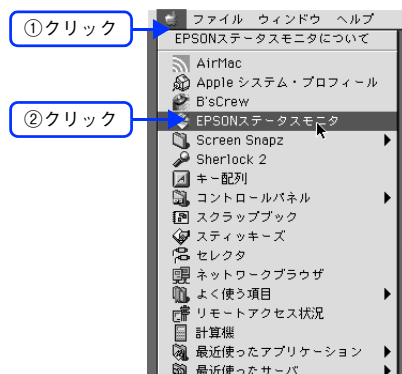
［方法 2］
［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］を開いて［プリンタリスト］でプリンタを選択し、［ユーティリティ］をクリックします。

本機を Rendezvous 接続している場合は、［プリンタリスト］画面の［ユーティリティ］をクリックしても、EPSON ステータスモニタは起動しません（Mac OS X の仕様により、WEB ブラウザが起動します）。Dock から EPSON ステータスモニタを起動してください。なお、Rendezvous 以外の接続では、［ユーティリティ］から EPSON ステータスモニタを起動できます。

Mac OS 9 で確認する

次の方法で EPSON ステータスモニタの［詳細ステータス］ダイアログを開くことができます。

EPSON ステータスモニタを起動する前に、監視したいプリンタが［セレクタ］で選択してください。

［アップル］メニュー -［EPSON ステータスモニタ］をクリックします。

原画とディスプレイ表示と印刷結果の色を合わせたい（ColorSync）

ColorSync とは

例えばスキャナで取り込んだ画像を印刷する場合、原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いは完全には一致しません。これは、それぞれの機器の色の表現方法の違い、階調表現力の違い、またディスプレイ表示のクセ（偏った色表示をする）などが原因です。

このような場合の原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いをできるだけ一致（カラーマッチング）させるためのカラーマネージメントシステムとして Mac OS では ColorSync があります。本機は、この ColorSync 3.0 に対応しています。

ColorSync によるカラーマッチングを行うには、画像入力機器、画像取り込みアプリケーションソフト、画像出力機器、すべてが ColorSync に対応している必要があります。

ColorSync を使用して印刷する（Mac OS X）

本機で ColorSync を使用する場合は、次の基本手順に従ってください。

1 正確な色を再現できるように、ディスプレイのカラー調整（モニタキャリブレーション）を行います。

ディスプレイの調整が正しく行えない場合や、ディスプレイの劣化により正しく色を再現できない場合は、ディスプレイとプリンタの色を正確に合わせることができません。調整方法は、お使いのディスプレイの取扱説明書を参照してください。

2 ColorSync で使用するディスプレイプロファイルを選択します。

最適なディスプレイプロファイルの説明は、お使いのディスプレイの取扱説明書を参照してください。

① ［アプリケーション］－［ユーティリティ］フォルダを開いて［ColorSync ユーティリティ］アイコンをダブルクリックします。

② ［装置］アイコンをクリックします。

③ ［登録済みの ColorSync 装置］リストにある［ディスプレイ］の三角マークをクリックして、表示されたディスプレイプロファイルをクリックします。

④ ［現在のプロファイル］メニュー（三角マーク）を クリックし、［その他］をクリックします。

⑤ 使用するディスプレイに適したプロファイルをダイアログから選択します。

ディスプレイプロファイルの保存場所は、［ColorSync ユーティリティ］の［プロファイル］アイコンをクリックして探せます。

3 アプリケーションソフトで、ColorSync を設定します。

設定方法は、お使いのアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

4 プリンタドライバで ColorSync を設定して、印刷を実行します。

［詳細設定変更］ダイアログで［ColorSync］を選択します。

本書 55 ページ「［詳細設定変更］ダイアログ」

以上で ColorSync の印刷は終了です。

- ColorSync を使って印刷する画像をスキャナで取り込むときは、スキャナのドライバ（例 EPSON Scan）で ColorSync を選択してから画像を取り込んでください。
- ColorSync を使用する場合は、アプリケーションソフトを RGB モードに設定して作業してください。CMYK や Lab モードでは、正しく色合わせすることができません。
- 一部のアプリケーションソフト（Adobe PageMaker 7.0J 以降、Photoshop 6.0J 以降、Illustrator 10.0J 以降など）では、ソフトウェア上で ColorSync の設定が行えます。この場合は、プリンタドライバの［詳細設定変更］ダイアログで［ドライバによる色補正］を選択して、［色補正方法］を［色補正なし］に設定してください。

ColorSync を使用して印刷する（Mac OS 9）

ColorSync 3.0 の場合を例に説明します。ほかのバージョンをお使いの方は、Mac OS ヘルプをご覧ください。

1 正確な色を再現できるように、ディスプレイのカラー調整（モニタキャリブレーション）を行います。

ディスプレイの調整が正しく行えない場合や、ディスプレイの劣化により正しく色を再現できない場合は、ディスプレイとプリンタの色を正確に合わせることができません。調整方法は、お使いのディスプレイの取扱説明書を参照してください。

2 ColorSync で使用するディスプレイプロファイルを選択します。

最適なディスプレイプロファイルの説明は、お使いのディスプレイの取扱説明書を参照してください。

① Apple メニューの［コントロールパネル］から［モニタ］コントロールパネルを開きます。

②［カラー］をクリックします。

③ 使用するディスプレイに適したプロファイルを［ColorSync プロファイル］リストから選択します。

ここで選択されたディスプレイプロファイルは、Apple メニューの［コントロールパネル］から［ColorSync］を選択し、［プロファイル］ダイアログの［ディスプレイ］で確認できます（［標準装置のプロファイル］選択時）。そのほかの項目は、設定する必要はありません。

3 アプリケーションソフトで、ColorSync を設定します。

設定方法は、お使いのアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

4 プリンタドライバで ColorSync を設定して、印刷を実行します。

［プリント］ダイアログの［モード］を［詳細設定］に設定して、メニューから［ColorSync］を選択します。

☞ 本書 69 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

以上で ColorSync の印刷手順は終了です。

- ColorSync を使って印刷する画像をスキャナで取り込むときは、スキャナのドライバ（例 EPSON Scan）で ColorSync を選択してから画像を取り込んでください。
- ColorSync を使用する場合は、アプリケーションソフトを RGB モードに設定して作業してください。CMYK や Lab モードでは、正しく色合わせすることができません。
- 一部のアプリケーションソフト（Adobe PageMaker 6.5J 以降、Photoshop 4.0J 以降、Illustrator 7.0J 以降など）では、ソフトウェア上で ColorSync の設定が行えます。この場合は、プリンタドライバの［詳細設定］ダイアログ で［ドライバによる色補正］を選択して、［色補正方法］を［色補正なし］に設定してください。

Mac OS 9で印刷中も別の作業をしたい（バックグラウンドプリント）

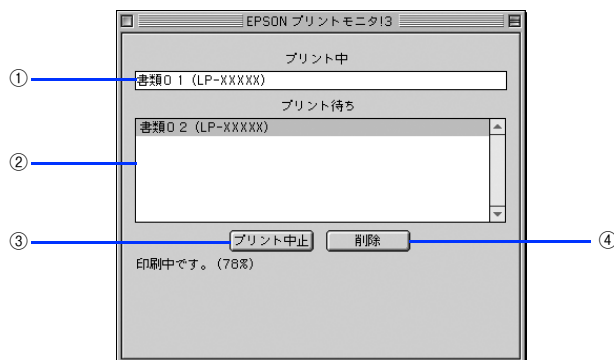
バックグラウンドプリントを設定する

バックグラウンドプリントとは、ほかの作業を行いながら同時にプリンタで印刷を行うことです。

バックグラウンドプリントを行う場合は、［アップル］メニューから［セレクタ］を選び、［バックグラウンドプリント］の［入］をクリックしてください。

［バックグラウンドプリント］を［入］に設定すると、印刷実行中も他の作業ができますが、お使いのコンピュータによってはマウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷時間が長くなることがあります。印刷速度を優先する場合は、［バックグラウンドプリント］を［切］に設定してください。

印刷状況を確認する

［セレクタ］で［バックグラウンドプリント］を［入］にした場合、印刷実行時に EPSON プリントモニタ !3 が起動します。EPSON プリントモニタ !3 は、印刷中にツールバーの一番右の［アプリケーション］メニューから開くことができます。ウィンドウが閉じているときは、［ファイル］メニューの［開く］を選択します。

①プリント中

現在バックグラウンドで印刷中のファイル名が表示されます。

②プリント待ち

印刷待ちをしている印刷ファイル名が表示されます。

③［プリント中止］

進行中の印刷（［プリント中］に表示されている印刷ファイルの印刷）を中止します。

印刷を一時停止したり再開するには、EPSON プリントモニタ !3 の［ファイル］メニューから［一時停止］や［印刷再開］を選択します。

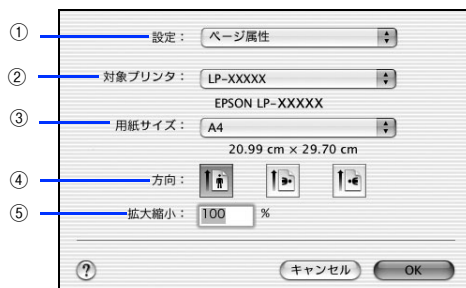
④［削除］

印刷待ちをしている印刷ファイルを削除するには、［プリント待ち］に表示されている印刷ファイルをクリックして、［削除］をクリックします。

3 プリンタドライバ情報

プリンタドライバの機能を説明しています。

［ページ設定］ダイアログ（Mac OS X）

［ページ設定］ダイアログでは、用紙に関する基本的な項目を設定します。印刷データを作成する前に設定してください。

①設定

［ページ属性］、［カスタム用紙サイズ］、［一覧］ダイアログを切り替えます。

項目	説明
ページ属性	用紙サイズ、印刷方向、拡大・縮小率を設定します。
カスタム用紙サイズ	用紙のカスタム（不定形）サイズを設定できます。設定したカスタム用紙サイズは、［用紙サイズ］メニューから選択できます。 ☞本書 30 ページ「定形サイズ以外の用紙に印刷」
一覧	［ページ設定］ダイアログの設定一覧を確認できます。

②対象プリンタ

どのプリンタを対象にページ属性を設定するか、プリンタ名を選択します。また、［プリンタリストを編集］を選択すると、［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］の［プリンタリスト］を開くことができます。

③用紙サイズ

印刷する用紙のサイズをリストから選択します。

④方向

用紙に対する印刷の向きをクリックして選択します。

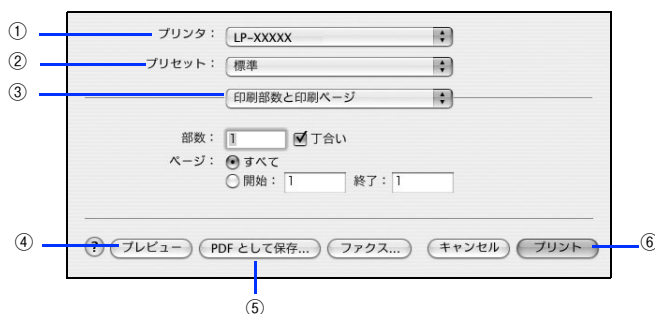
⑤拡大縮小

印刷データを拡大 / 縮小して印刷できます。

☞ 本書 26 ページ「印刷サイズを拡大 / 縮小」
☞ 本書 28 ページ「拡大 / 縮小率を自由に設定して任意倍率印刷する（Mac OS X）」

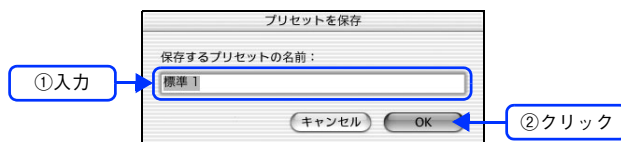
［プリント］ダイアログ（Mac OS X）

ここでの説明は、Mac OS X v10.3 の場合を例に説明しています。OS の機能については、Mac OS X の説明書やヘルプも参照してください。

印刷する際、［プリント］ダイアログで印刷に関わる各種の設定を行います。設定を行うダイアログは、メニューから選択してください。

①プリンタ

印刷に使用するプリンタを選択します。また、［プリンタリストを編集］を選択すると、［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］の［プリンタリスト］を開くことができます。

②プリセット

［プリント］ダイアログのすべての設定を保存し、あとでまとめて呼び出すことができます。必要な設定を変更したら、メニューから［別名で保存］を選択して保存名を指定して保存してください。

保存した設定を変更したり、名称変更や削除もできます。対象となる設定名を［プリセット］メニューから選択して、さらに［保存］、［名称変更］、または［削除］をメニュー選択してください。

③設定ダイアログメニュー

［プリント］ダイアログの設定画面を切り替えます。

④プレビュー

印刷されるままの状態を画面で確認できます。

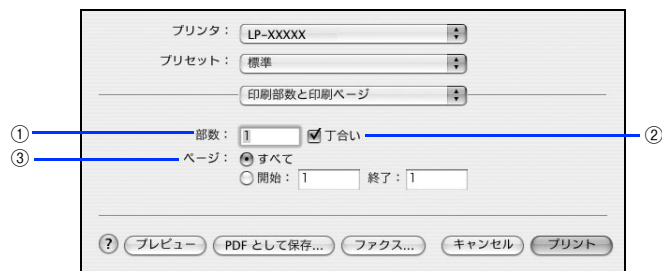
⑤PDF として保存

印刷する代わりに、PDF ファイルとして保存できます。

⑥プリント

印刷を実行します。

[印刷部数と印刷ページ]ダイアログ

［プリント］ダイアログで［印刷部数と印刷ページ］を選択すると、印刷部数や印刷範囲を設定できます。

① 部数

印刷部数を選択します。通常は 1 ページごとに指定した部数を印刷しますが、②の［丁合い］を選択すると 1 部ごとにまとめて印刷します。

② 丁合い

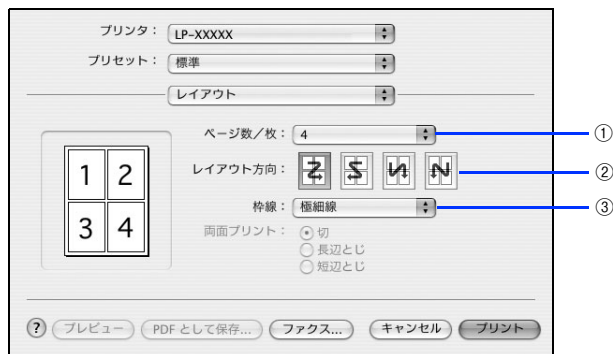
2 部以上印刷する場合に 1 ページ目から最終ページまでを 1 部単位にまとめて印刷します。印刷する部数は、①の［部数］で指定します。

③ ページ

すべてのページを印刷する場合は［すべて］を選択します。一部のページを指定して印刷する場合は、開始ページと終了ページを入力します。

[レイアウト]ダイアログ

［プリント］ダイアログで［レイアウト］を選択すると、連続したページを 1 枚の用紙に自動的に縮小割り付けして印刷できます。

［レイアウト］ダイアログの機能は、Mac OS X の標準機能です。

①ページ数 / 枚

1 枚の用紙に割り付けるページ数を選択します。

☞ 本書 20 ページ「用紙を節約（割り付け印刷）」

②レイアウト方向

割り付けたページを、どのような順番で配置するのか選択します。

③枠線

割り付けた各ページの周りに枠線を印刷するときに、線の種類を選択します。

［両面プリント］の項目は Mac OS X の標準機能で、本機では使用できません。
本機で両面印刷する場合は、［基本設定］ダイアログの［両面印刷］で設定してください。

☞ 本書 51 ページ「［基本設定］ダイアログ」

[出力オプション]ダイアログ

［プリント］ダイアログで［出力オプション］を選択すると、印刷する代わりにファイルとして保存できます。

 ［出力オプション］ダイアログの機能は、Mac OS X の標準機能です。

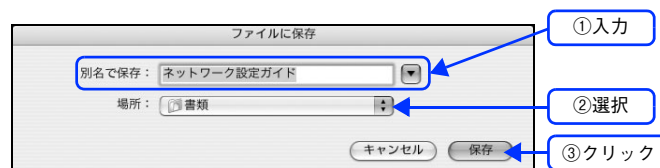
①ファイルとして保存

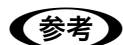
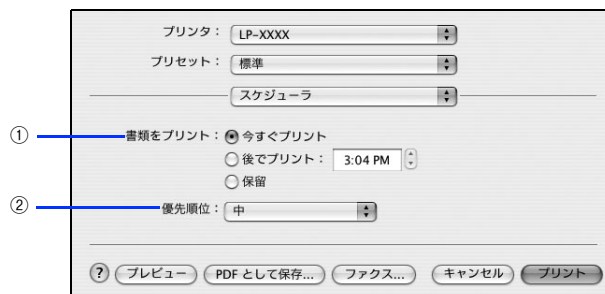
印刷する代わりにファイルとして保存する場合に、チェックマークを付けます。

②フォーマット

ファイルとして保存する場合の保存形式（フォーマット）を選択します。

③保存

ファイルとして保存する場合は、［保存］になります。クリックすると保存名と保存先を指定してから、さらに［保存］をクリックしてください。

[スケジューラ]ダイアログ

［プリント］ダイアログで［スケジューラ］を選択すると、印刷を実行するタイミングを設定することができます。詳細に関しては、Mac OS のヘルプを参照してください。

 ［スケジューラ］ダイアログの機能は Mac OS X の標準機能です。

①書類をプリント

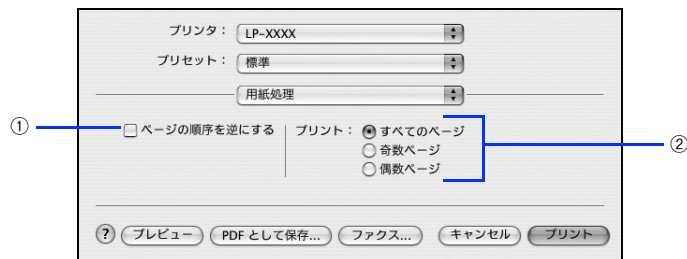
通常は［今すぐプリント］のまま、すぐに印刷します。印刷する時間を指定する場合は、［後でプリント］に印刷を開始する時間を入力します。［保留］をクリックすると、印刷を実行しても一時的に保留にできます。

②優先順位

印刷の優先順位を選択します。

[用紙処理]ダイアログ

［プリント］ダイアログで［用紙処理］を選択すると、先頭ページからではなく最後のページから逆に印刷する逆順印刷の設定ができます。

［用紙処理］ダイアログの機能は Mac OS X の標準機能です。

①ページの順序を逆にする

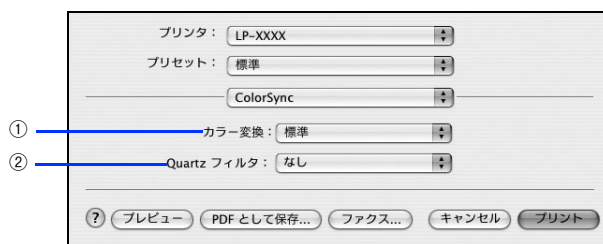
最後のページから最初のページへ逆順所に印刷します。

②プリント

すべてのページを印刷するか、奇数または偶数ページだけを印刷するかを選択できます。

[ColorSync]ダイアログ

［プリント］ダイアログで［ColorSync］を選択すると、カラーマネージメントに関する設定をすることができます。設定の詳細については、Mac OS のヘルプを参照してください。

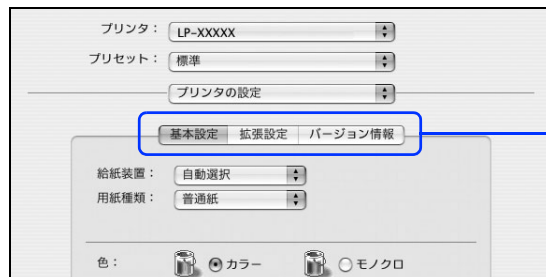
［ColorSync］ダイアログの機能は Mac OS X の標準機能のため、詳しくは Mac OS X の［Mac ヘルプ］を参照してください。

①カラー変換

［標準］を選択すると、アプリケーションソフトが ColorSync によるカラー変換を行います。本機では［標準］のままお使いください。

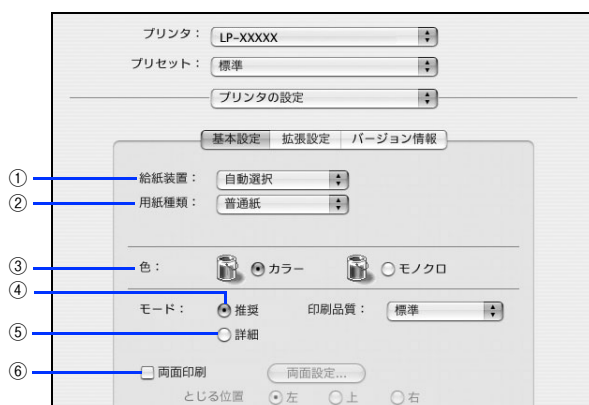
②Quartz フィルタ

ColorSync のカラー変換を行う場合に、メニューからフィルタを選択して色調を調整できます。

[プリンタの設定]ダイアログ

［プリント］ダイアログで［プリンタの設定］を選択すると、［基本設定］、［拡張設定］、または［バージョン情報］ダイアログが選択できるようになり、印刷に関わるさまざまな機能が設定できます。

各ダイアログの詳細は、以下のページを参照してください。

本書 51 ページ「［基本設定］ダイアログ」
本書 59 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
本書 61 ページ「［バージョン情報］ダイアログ」

[基本設定]ダイアログ

①給紙装置

給紙装置を選択します。

項目	説明
自動選択	印刷実行時に、［用紙サイズ］で選択したサイズの用紙がセットされている給紙装置を探して給紙します。
MP トレイ	MP トレイから給紙します。
用紙カセット 1	カセットユニットの用紙カセットから給紙します。
用紙カセット 2 ～ 4	オプションのカセットユニットの用紙カセットから給紙します。オプションのカセットユニット装着時のみ選択できます（未装着時はグレーで表示されて選択できません）。

- MP トレイにセットした用紙のサイズは、操作パネルから［各種設定］-［プリンタ設定］-［給紙装置設定］を開いて［MP トレイサイズ］で設定します。
  115 ページ「操作パネルで用紙サイズを設定する（MP トレイのみ）」
- 選択した給紙装置から指定されたサイズの用紙が給紙されない場合は、エラーが発生します（［用紙サイズのチェックをしない］をオフに設定している場合）。
  本書 59 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

②用紙種類

印刷に使用する用紙種類を選択します。

項目	説明
指定しない	• 普通紙タイプの用紙に印刷する場合で「用紙タイプ選択機能」を使用しないときに選択します。 • ［給紙装置］は手動で選択する必要があります。
普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき	• 紙厚が64～90g/m^2の左記普通紙タイプの用紙に印刷する場合で「用紙タイプ選択機能」を使用するときに選択します。 • ［給紙装置］には［自動選択］が自動選択されます。
OHP シート	• EPSON カラーレーザープリンタ用 OHP シート（型番：LPCOHPS1）に印刷する場合に選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。
ラベル	• ラベル紙に印刷する場合に選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。
厚紙	• 紙厚が 91 ～ 163g/ ㎡の厚紙に印刷する場合に選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。
厚紙（裏面）	• 厚紙の片面印刷後にさらにもう一方の面に印刷する場合に選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。
ハガキ（裏面）	• 郵便ハガキ、往復郵便ハガキの裏面に印刷する場合に選択します。 • ［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。

- 用紙サイズを郵便ハガキ、往復郵便ハガキ、または封筒サイズにした場合、プリンタドライバの［用紙種類］の設定に関係なく、プリンタ内部では厚紙として印刷を行います。
- 郵便ハガキ、往復郵便ハガキの片面だけに印刷する場合は特に［用紙種類］を設定する必要はありませんが、両面に印刷する場合で片面の印刷後もう一方の面を印刷するときは［用紙種類］を［ハガキ（裏面)］に設定してください。
- 操作パネルで用紙タイプを設定していない場合は、「用紙タイプ選択機能」は使用できません。
  ☞ 活用ガイド「付録」-「操作パネルによる設定 / 確認」-「プリンタ設定の項目一覧」
  ☞ 本書 128 ページ「用紙タイプ選択機能」

③色

カラー印刷を行うときは、［カラー］を、モノクロ印刷を行うときは［モノクロ］を選択します。

④ モード - 推奨

一般的に推奨できる条件で印刷できます。ほとんどの場合、この［推奨］でよい印刷結果が得られます。［推奨］をクリックすると、［印刷品質］（解像度）を［標準］（300dpi）または［高品質］（600dpi）のどちらかに設定できます。

項目	説明
標準	文字文書の高速印刷（品質より印刷速度を優先する場合）に適しています。
高品質	写真のようにグラデーションのある画像（無段階に色調が変化する画像）の印刷に適しています。

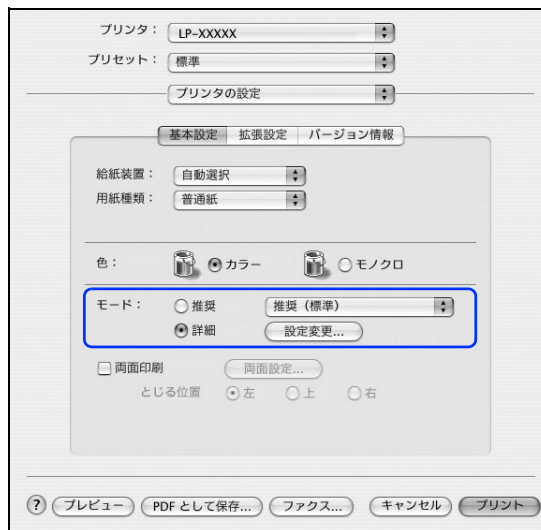
印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、次のいずれかの方法で対処してください。

- 印刷データの容量や色数を減らす。
- ［印刷品質］を［標準］に設定する。
- 使用していないインターフェイスを、操作パネルで使用しない状態に設定する。

活用ガイド「付録」-「操作パネルによる設定 / 確認」-「ホスト I/F 設定」

上記の方法でメモリ関連のエラーが解決できない場合は、本機のメモリを増設すると解決できる場合があります。

⑤ モード - 詳細

［詳細］をクリックすると、［設定変更］と詳細設定メニューが表示されます。

項目	説明
詳細設定メニュー	プリセットメニューから選択します。
［設定変更］	［詳細設定変更］ダイアログを開きます。 本書 55 ページ「［詳細設定変更］ダイアログ」

カラー印刷時［詳細］をクリックした場合は、次のプリセットメニューをご利用いただけます。

プリセットメニュー	用途
推奨（標準）	一般的なデータを印刷するのに適した設定です。印刷速度を重視した設定で印刷します。
ワープロ／グラフ	グラフや表を含むデータを印刷する場合に選択してください。この部分を鮮やかに印刷して読みやすくします。印刷速度を重視した設定で印刷します。

プリセットメニュー	用途
グラフィック／ＣＡＤ	グラフィック画像や CAD による描画を印刷する場合に選択してください。細線までくっきりと鮮やかに印刷します。印刷速度を重視した設定で印刷します。
写真	写真を中心としたデータを印刷する場合に選択してください。印刷速度を重視した設定で印刷します。
ColorSync	ColorSync によるカラーマッチング（色合わせ）を行うときに適した設定です。
推奨（高品質）	一般的なデータを印刷するのに適した設定です。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質ワープロ／グラフ	グラフや表を含むデータを印刷する場合に選択してください。この部分を鮮やかに印刷して読みやすくします。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質グラフィック／ CAD	グラフィック画像や CAD による描画を印刷する場合に選択してください。細線までくっきりと鮮やかに印刷します。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質写真	写真を中心としたデータを印刷する場合に選択してください。印刷品質を重視した設定で印刷します。

⑥両面印刷

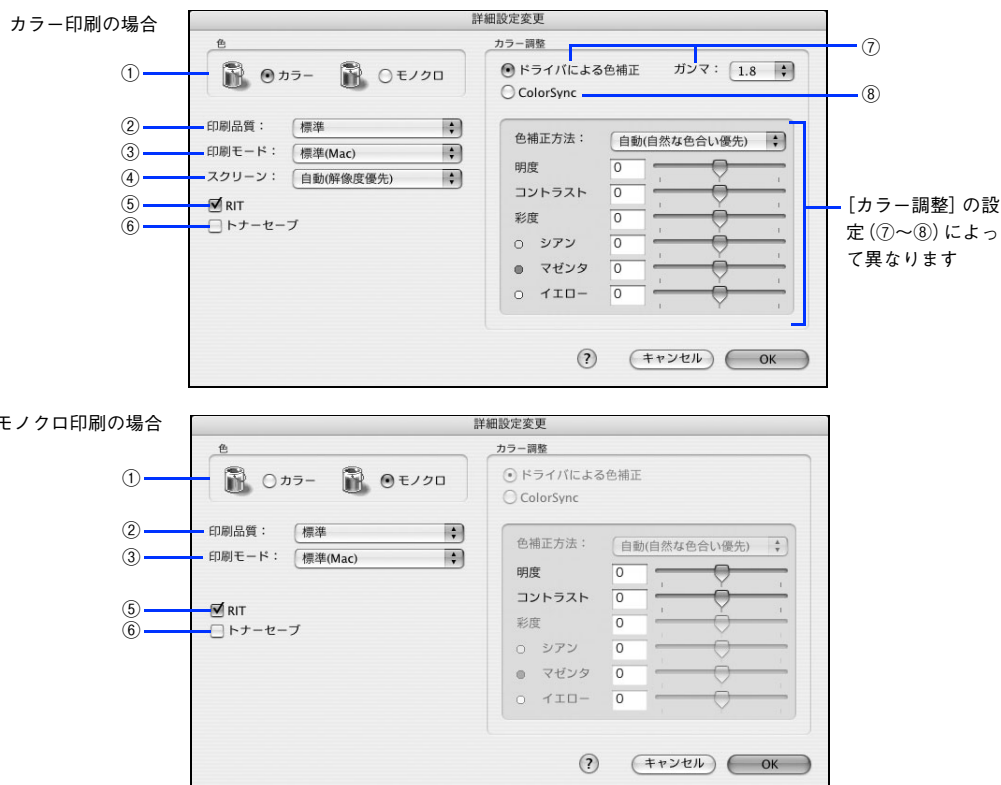
両面印刷を行います。

☞ 本書 23 ページ「用紙を節約（両面印刷）」
☞ 本書 58 ページ「［両面印刷］ダイアログ」

両面印刷できる用紙の説明は以下のページを参照してください。

☞ 本書 127 ページ「両面印刷について」

[詳細設定変更]ダイアログ

［基本設定］ダイアログで［詳細］をクリックして［設定変更］をクリックすると、［詳細設定変更］ダイアログが表示されます。印刷に関わるさまざまな機能を詳細に設定できます。

①色

カラー印刷を行うときは、［カラー］を、モノクロ印刷を行うときは［モノクロ］を選択します。

②印刷品質

印刷の解像度を［標準］（300dpi）または［高品質］（600dpi）から選択できます。［高品質］を選択すると、きめ細かく印刷できますが印刷時間は長くなります。品質より印刷速度を優先する場合は、［標準］を選択してください。

項目	説明
標準	文字文書の高速印刷（品質より印刷速度を優先する場合）に適しています。
高品質	写真のようにグラデーションのある画像（無段階に色調が変化する画像）の印刷に適しています。

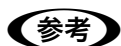
印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、次のいずれかの方法で対処してください。

- 印刷データの容量や色数を減らす。
- ［印刷品質］を［標準］に設定する。
- 使用していないインターフェイスを、操作パネルで使用しない状態に設定する。
  活用ガイド「付録」-「操作パネルによる設定 / 確認」-「ホスト I/F 設定」

上記の方法でメモリ関連のエラーが解決できない場合は、本機のメモリを増設すると解決できる場合があります。

③印刷モード

印刷モードを選択します。

項目	説明
標準（Mac）	高品質な印刷結果を得ることができます。印刷の処理を主にコンピュータ側で行います。
CRT 優先	他の印刷モードで印刷しても、画面通りの印刷結果が得られない場合に選択してください。印刷データをすべてイメージデータとしてプリンタへ送るため、他の印刷モードに比べ、印刷に時間がかかります。通常、このモードを選択する必要はありません。

お使いのコンピュータの処理能力が高い場合は、[標準（Mac）] を選択してください。プリンタ側の負荷を軽くすることができます。

④スクリーン（カラー印刷のみ）

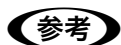
スクリーン線数（lpi）を選択します。

項目	説明
自動（階調優先）	写真や図形を印刷する際に階調を優先してスクリーン線数を自動的に設定します（文字の印刷は解像度を優先します）。
自動（解像度優先）	図形や文字を印刷する際に解像度を優先してスクリーン線数を自動的に設定します（写真の印刷は階調を優先します）。
階調優先	階調を優先して印刷します。色調や色の濃淡が無段階に変化する連続階調、写真やグラデーションのあるデータの印刷時に選択してください。
解像度優先	解像度を優先して印刷します。細い線や細かい模様のあるデータの印刷時に選択してください。

[基本設定] ダイアログの [用紙種類] で [OHP シート] を選択している場合は、OHP シート専用のスクリーンが用いられるので設定できません。

⑤RIT

RIT* （Resolution Improvement Technology）を有効にすると大きな文字がきれいに印刷できたり、写真画像の斜線補正や輪郭補正などに効果があります。

*RIT：斜線や曲線などのギザギザをなめらかに印刷する EPSON 独自の印刷機能。

RIT 機能を有効にしてグラデーション（無段階に変化する階調）のある画像を印刷すると、意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合は RIT 機能を使用しないでください。

⑥トナーセーブ

カラー、モノクロ印刷とも印刷濃度を抑えることでトナーを節約します（カラー印刷時は色の表現力を低く抑えて印刷します）。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらない場合にご利用ください。

トナーセーブ機能を有効にすると、色の濃度を低くして印刷するため、薄い色や細かい線などは印刷されない場合があります。

⑦ドライバによる色補正(カラー印刷のみ)

プリンタドライバによるカラー調整を行います。[ドライバによる色補正]を選択した場合は、次の設定でカラー調整できます。

ガンマ(カラー印刷のみ):

ガンマ値は、画像階調の入力値と出力値の関係を表すときに使用する単位で、この値を変更することで中間調の明るさの見え方が変わります。

項目	説明
1.5	ガンマ値1.8に比べて柔らかい感じの画像を印刷することができます。
1.8	通常はこの設定で印刷してください。ガンマ値1.5に比べて立体感があり、メリハリのある画像を印刷することができます。
2.2	sRGB対応製品と色合わせして印刷する場合に選択してください。

色補正方法(カラー印刷のみ):

色の補正方法を選択できます。

項目	説明
自動(自然な色合い優先)	文字を鮮やかな色合いに、グラフィックとイメージを自然な色合いになるようにカラー調整します。
自動(鮮やかさ優先)	文字とグラフィックを鮮やかな色合いに、イメージを自然な色合いになるようにカラー調整します。
自然な色合い	より自然な発色になるようにカラー調整します。
鮮やかな色合い	より鮮やかな発色になるようにカラー調整します。
色補正なし	カラー調整しません。ColorSync 用プロファイルを作成する際の基準色を印刷するときに選択します。通常は、選択しないでください。

明度:

画像全体の明るさを調整します。

コントラスト:

画像全体のコントラスト(明暗比)を調整します。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを下げると、画像の明暗の差が少なくなります。

彩度(カラー印刷のみ):

画像全体の彩度(色の鮮やかさ)を調整します。彩度を上げると、色味が強くなります。彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。

シアン、マゼンタ、イエロー(カラー印刷のみ):

各色の強さを調整します

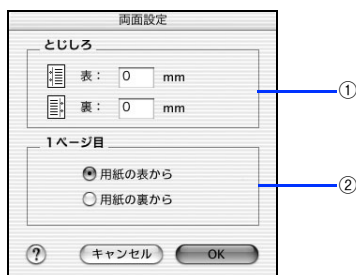
	-25 ←0→ +25	
シアン	赤みが強くなります。	青緑(シアン)が強くなります。
マゼンタ	緑色が強くなります。	赤紫(マゼンタ)が強くなります。
イエロー	青色が強くなります。	黄色(イエロー)が強くなります。

⑧ColorSync(カラー印刷のみ)

クリックしてチェックマークを付けると、ColorSync によるカラーマッチング(色合わせ)を行います。詳しくは、以下のページを参照してください。

☞ 本書 40 ページ「原画とディスプレイ表示と印刷結果の色を合わせたい(ColorSync)」

■ [両面印刷]ダイアログ

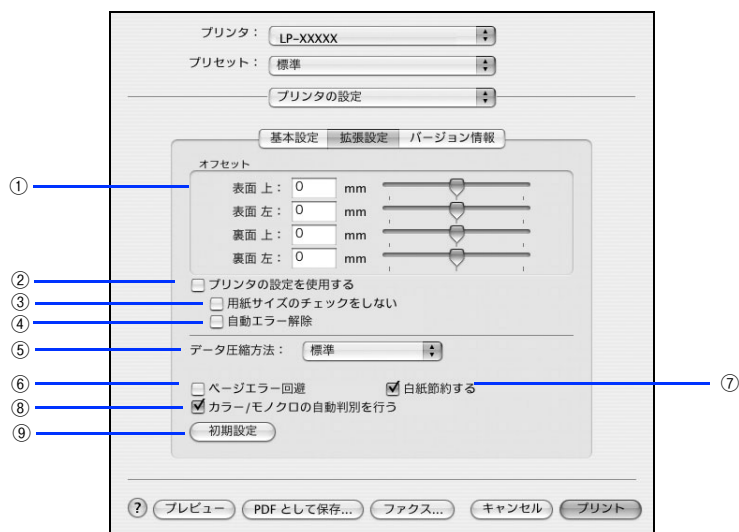
［基本設定］ダイアログで［両面印刷］をクリックして、［両面設定］をクリックすると、［両面設定］ダイアログが表示され、次の項目が設定できます。

①とじしろ

両面印刷するときのとじしろ幅を、0 ～ 30mm の範囲で用紙の表と裏でそれぞれ設定します。

②1 ページ目

両面印刷する場合、印刷データの 1 ページ目を用紙の表から印刷するか裏から印刷するかを選択します。

[拡張設定]ダイアログ

［プリンタの設定］ダイアログで［拡張設定］を選択すると、印刷に関わるさまざまな拡張機能を設定できます。

①オフセット

印刷開始位置のオフセット値を表面 / 裏面それぞれに対して［上］（垂直位置）と［左］（水平位置）で設定します。0.5mm単位で、次の範囲で設定できます。

上（垂直位置）：-9mm（上方向）～ 9mm（下方向）

左（水平位置）：-9mm（左方向）～ 9mm（右方向）

②プリンタの設定を使用する

③［用紙サイズのチェックをしない］、④［自動エラー解除］の項目は、プリンタ本体とプリンタドライバどちらの設定を使用して印刷するかを選択できます。

- チェックマークを付けると、プリンタ本体の設定を使用して印刷します（プリンタドライバでは設定できません）。
- チェックマークを外すと、プリンタドライバでの設定を使用して印刷します。

③用紙サイズのチェックをしない

プリンタドライバで設定した用紙サイズと本機にセットした用紙サイズが合っているか確認しません。それぞれの用紙サイズが異なっていてもエラーを発生することなく印刷します。

④自動エラー解除

以下の状態のときに発生するエラーを自動的に解除して印刷を続行します。

- オーバーランエラー
- 用紙の交換が必要 （プリンタにセットしてある用紙のサイズと印刷データの用紙のサイズが異なる）
- メモリ不足で印刷できない
- 指定と違うサイズの用紙に印刷した

⑤データ圧縮方法

プリンタドライバからプリンタに送る印刷データの圧縮方法を指定します。印刷結果の画質を優先する場合や、プリンタに送付する印刷データの容量を小さくしたい場合に設定します。

項目	説明
標準	通常はこの設定でお使いください。
画質優先	印刷結果の画質を優先したい場合に選択してください。この場合、通常よりも印刷に時間がかかります。
データサイズ優先	プリンタに送るデータサイズを小さくしたい場合に選択してください。印刷時間は早くなりますが、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

⑥ページエラー回避

ページエラー オーバーランが発生する場合はチェックしてください。チェックすると 1 ページ分のデータをすべて処理できてから印刷を開始して、ページエラーを回避することができます。

⑦白紙節約する

白紙ページを印刷するかしないかを選択します。白紙ページを印刷しないので用紙を節約できます。

⑧カラー/ モノクロの自動判別を行う

印刷データがカラーデータであるかモノクロデータであるかを自動判別して、データに適した設定で印刷します。

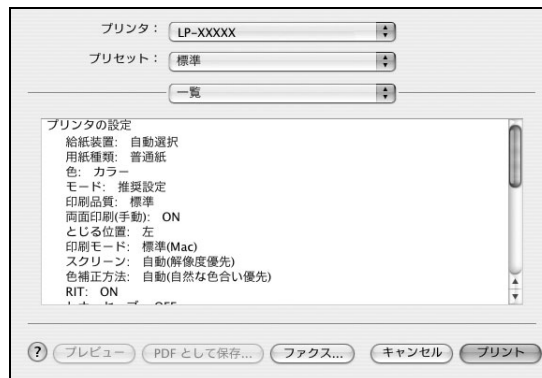
⑨初期設定

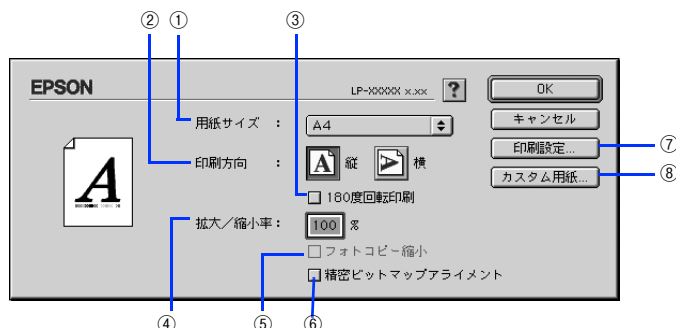
［拡張設定］ダイアログの設定を初期設定に戻します。

[バージョン情報]ダイアログ

［プリンタの設定］ダイアログで［バージョン情報］を選択すると、プリンタドライバのバージョン情報を表示します。

[一覧]ダイアログ

［プリント］ダイアログで［一覧］を選択すると、［プリント］ダイアログのすべての設定を一覧で表示しますので、設定を一度に確認できます。

［用紙設定］ダイアログ（Mac OS 9）

［用紙設定］ダイアログでは、用紙に関する基本的な項目を設定します。印刷データを作成する前に設定してください。

①用紙サイズ

印刷する用紙のサイズをポップアップメニューから選択します。

本機で印刷できない用紙サイズを選択すると、A4 サイズの用紙に自動的に拡大 / 縮小して印刷（フィットページ印刷）を行います。A4 サイズ以外の用紙にフィットページ印刷を行う場合は、［レイアウト］ダイアログで［フィットページ］を設定してください。

☞ 本書 75 ページ「［レイアウト］ダイアログ」

②印刷方向

用紙に対する印刷の向きを、［縦］・［横］のいずれかクリックして選択します。

③180 度回転印刷

印刷データを 180 度回転して印刷します。

④拡大 / 縮小率

印刷データを拡大 / 縮小して印刷できます。拡大 / 縮小率を 25% ～ 400% まで、1% 単位で指定できます。

☞ 本書 26 ページ「印刷サイズを拡大 / 縮小」

- 拡大 / 縮小印刷をすると、カラーの色合いが元データと比べて変わることがあります。
- フィットページ印刷を行うと、簡単に拡大 / 縮小印刷が行えます。

☞ 本書 75 ページ「［レイアウト］ダイアログ」

⑤フォトコピー縮小

［拡大 / 縮小率］が 100% 未満の場合に有効になります。指定した縮小率で用紙中央に印刷します。この場合、［精密ビットマップアライメント］は選択できません。

⑥精密ビットマップアライメント

印刷領域を約 4% 縮小して印刷のムラを押さえ、よりきれいに印刷します。この場合、印刷位置は用紙の中央になります。［フォトコピー縮小］を選択している場合は、選択できません。

⑦［印刷設定］

印刷に関する各種の設定を行います。印刷する直前に［プリント］ダイアログでも同様の項目を設定できます。設定できる項目の説明は、以下のページを参照してください。

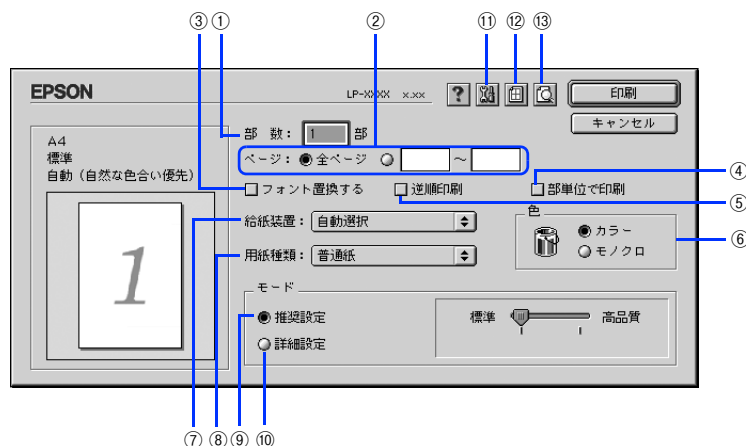
☞ 本書 63 ページ「［プリント］ダイアログ（Mac OS 9）」

⑧［カスタム用紙］

用紙のカスタム（不定形）サイズを設定できます。設定したカスタム用紙サイズは、［用紙設定］ダイアログの［用紙サイズ］メニューから選択できます。

☞ 本書 30 ページ「定形サイズ以外の用紙に印刷」

[プリント]ダイアログ(Mac OS 9)

印刷する際、[プリント]ダイアログで印刷に関わる各種の設定を行います。

①部数

1 ～ 999 の範囲で印刷部数を選択します。通常は 1 ページごとに指定した部数を印刷しますが、④の[部単位で印刷]を選択すると 1 部ごとにまとめて印刷します。

②ページ

すべてのページを印刷する場合は[全ページ]を選択します。一部のページを指定して印刷する場合は、開始ページと終了ページを 1 ～ 9999 の範囲で入力します。

③フォント置換する

細明朝体、中ゴシック体、等幅明朝、等幅ゴシックフォントを、別のフォントに置き換えて印刷します。プリンタドライバは、インストールしてあるフォントの中から、置き換え可能なフォントを自動的に探します。置き換え可能なフォントがない場合は、フォントを置き換えません。フォント置き換え機能を使用する場合は、次のフォントを使用することできれいに印刷できます。

- リュウミンライトー KL、リュウミンライトー KL ー等幅
- 中ゴシック BBB、中ゴシック BBB ー等幅

④部単位で印刷

2 部以上印刷する場合に 1 ページ目から最終ページまでを 1 部単位にまとめて印刷します。印刷する部数は、①の[部数]で指定します。

⑤逆順印刷

先頭ページからではなく、最後のページから逆に印刷します。

⑥色

カラー印刷を行うときは[カラー]を、モノクロ印刷を行うときは[モノクロ]を選択します。

⑦給紙装置

給紙装置を選択します。

項目	説明
自動選択	印刷実行時に、［用紙サイズ］で選択したサイズの用紙がセットされている給紙装置を探して給紙します。
MP トレイ	標準の MP トレイから給紙します。
用紙カセット 1	用紙カセットから給紙します。
用紙カセット 2 ～ 4	オプションの増設カセットユニットの用紙カセットから給紙します。オプションの増設カセットユニット装着時のみ表示されます。

- MP トレイにセットした用紙のサイズは、操作パネルから［各種設定］ボタン -［プリンタ設定］-［給紙装置設定］を開いて［MP トレイサイズ］で設定します。
  本書 115 ページ「操作パネルで用紙サイズを設定する（MP トレイのみ）」
- 選択した給紙装置から指定されたサイズの用紙が給紙されない場合は、エラーが発生します（［用紙サイズのチェックをしない］をオフに設定している場合）。
  本書 73 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
- ［自動選択］を選択して拡大 / 縮小印刷を行うと、［レイアウト］ダイアログの［出力用紙サイズ］で設定したサイズの用紙がセットされている給紙装置を自動的に選択して、そこから給紙します。
  本書 75 ページ「［レイアウト］ダイアログ」

⑧用紙種類

印刷に使用する用紙種類を選択します。

項目	説明
指定しない	• 普通紙タイプの用紙に印刷する場合で「用紙タイプ選択機能」を使用しないときに選択します。 •［給紙装置］は手動で選択する必要があります。
普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき	• 紙厚が 64 ～ 90g/m^2 の左記普通紙タイプの用紙に印刷する場合で「用紙タイプ選択機能」を使用するときに選択します。 •［給紙装置］には［自動選択］が自動選択されます。
OHP シート	• EPSON カラーレーザープリンタ用 OHP シート（型番：LPCOHPS1）に印刷する場合に選択します。 •［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。
ラベル	• ラベル紙に印刷する場合に選択します。 •［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。
厚紙	• 紙厚が 91 ～ 163g/ ㎡の厚紙に印刷する場合に選択します。 •［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。
厚紙（裏面）	• 厚紙の片面印刷後にさらにもう一方の面に印刷する場合に選択します。 •［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。
ハガキ（裏面）	• 郵便ハガキ、往復郵便ハガキの裏面に印刷する場合に選択します。 •［給紙装置］には［MP トレイ］が自動選択されます。

- 用紙サイズを郵便ハガキ、往復郵便ハガキ、または封筒サイズにした場合、プリンタドライバの［用紙種類］の設定に関係なく、本機では厚紙として印刷を行います。
- 郵便ハガキ、往復郵便ハガキの片面だけに印刷する場合は特に［用紙種類］を設定する必要はありませんが、両面に印刷する場合で片面の印刷後もう一方の面を印刷するときは［用紙種類］を［ハガキ（裏面）］に設定してください。
- 操作パネルで用紙タイプを設定していない場合は、「用紙タイプ選択機能」は使用できません。
  ☞ 本書 128 ページ「用紙タイプ選択機能」

⑨推奨設定モード

一般的に推奨できる条件で印刷できます。ほとんどの場合、この［推奨設定］でよい印刷結果が得られます。［推奨設定］をクリックすると、印刷品質（解像度）を［標準］（300dpi）または［高品質］（600dpi）のどちらかに設定できます。

項目	説明
標準	文字文書の高速印刷（品質より印刷速度を優先する場合）に適しています。
高品質	写真のようにグラデーションのある画像（無段階に色調が変化する画像）の印刷に適しています。

印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、次のいずれかの方法で対処してください。

- 印刷データの容量や色数を減らす。
- ［印刷品質］を［標準］に設定する。
- 使用していないインターフェイスを、操作パネルで使用しない状態に設定する。
  ☞ 活用ガイド「付録」-「操作パネルによる設定 / 確認」-「ホスト I/F 設定」

上記の方法でメモリ関連のエラーが解決できない場合は、本機のメモリを増設すると解決できる場合があります。

⑩詳細設定モード

［詳細設定］をクリックすると、［設定変更］と詳細設定メニューが表示されます。

項目	説明
詳細設定メニュー	プリセットメニューから選択します。
［設定変更］	［詳細設定］ダイアログを開きます。 ☞本書 69 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
［保存 / 削除］	［詳細設定］ダイアログの設定を保存したり削除できます。［カスタム設定 1 ～ 10］として 10 組まで保存できます。 **［詳細設定］ダイアログの変更を保存するには** ①あらかじめ［詳細設定］ダイアログで設定しておきます。 ②［プリンタ］ダイアログの［保存 / 削除］をクリックします。 ③［保存］をクリックします。 **削除するには** ①［プリンタ］ダイアログの［保存 / 削除］をクリックします。 ②削除する設定名をクリックして、［削除］をクリックします。 ③確認ダイアログで［OK］をクリックします。

カラー印刷時［詳細設定］をクリックした場合は、次のプリセットメニューをご利用いただけます。

プリセットメニュー	用途
推奨（標準）	一般的なデータを印刷するのに適した設定です。印刷速度を重視した設定で印刷します。
ワープロ／グラフ	グラフや表を含むデータを印刷する場合に選択してください。この部分を鮮やかに印刷して読みやすくします。印刷速度を重視した設定で印刷します。
グラフィック／ＣＡＤ	グラフィック画像や CAD による描画を印刷する場合に選択してください。細線までくっきりと鮮やかに印刷します。印刷速度を重視した設定で印刷します。
写真	写真を中心としたデータを印刷する場合に選択してください。印刷速度を重視した設定で印刷します。
オートフォトファイン !5	EPSON 独自の画像補正技術オートフォトファイン !5 を使用し、印刷データ内の画像を高画質化して印刷します。
ColorSync	ColorSync によるカラーマッチング（色合わせ）を行うときに適した設定です。
推奨（高品質）	一般的なデータを印刷するのに適した設定です。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質ワープロ／グラフ	グラフや表を含むデータを印刷する場合に選択してください。この部分を鮮やかに印刷して読みやすくします。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質グラフィック／ CAD	グラフィック画像や CAD による描画を印刷する場合に選択してください。細線までくっきりと鮮やかに印刷します。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質写真	写真を中心としたデータを印刷する場合に選択してください。印刷品質を重視した設定で印刷します。

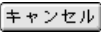
⑪ （[拡張設定]アイコン）

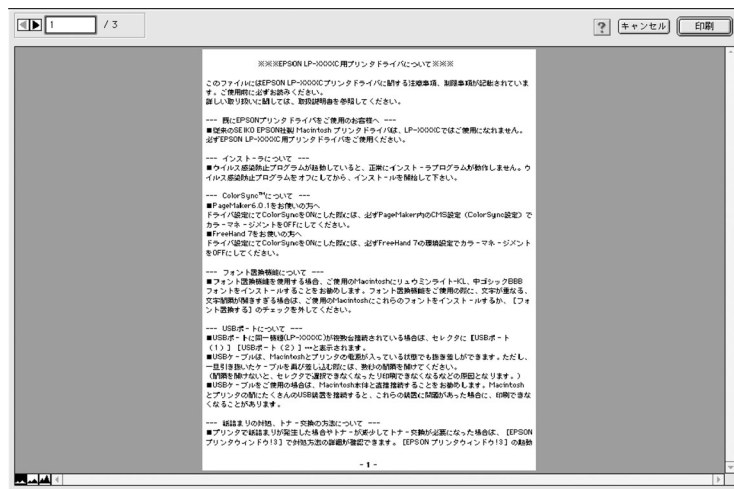
印刷位置のオフセット値、白紙節約機能、用紙サイズチェックなどの設定を行います。

本書 73 ページ「[拡張設定] ダイアログ」

⑫ （[レイアウト]アイコン）

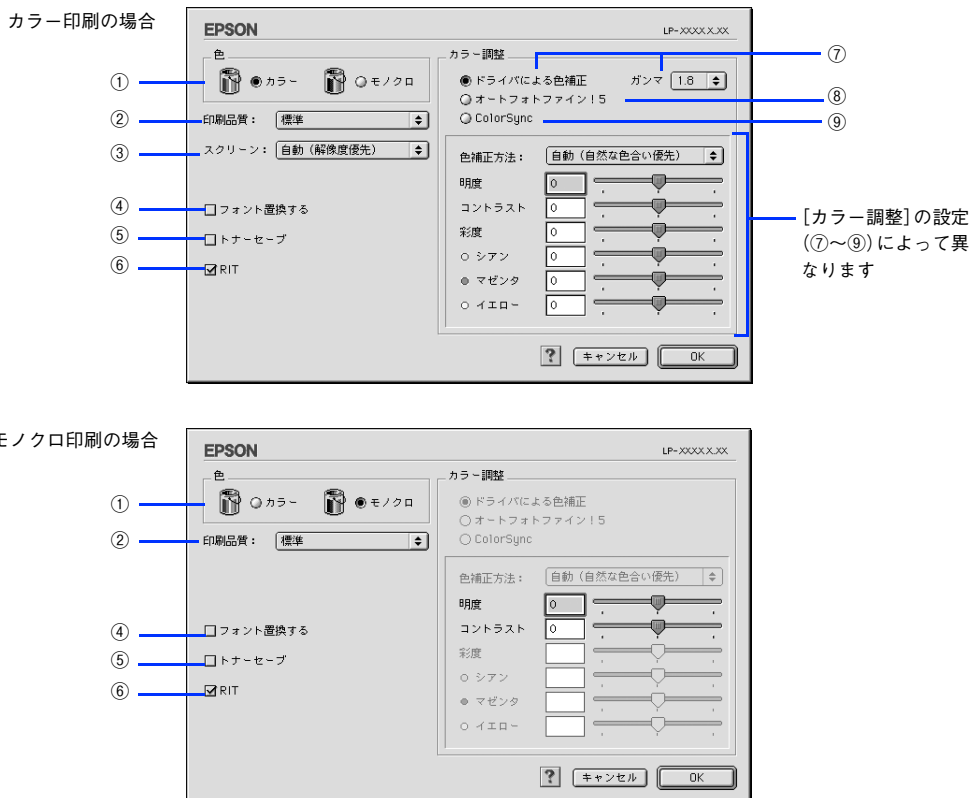
レイアウトに関する設定ができます。

本書 75 ページ「[レイアウト] ダイアログ」

⑬ ([プレビュー]アイコン)

アイコンをクリックすると［印刷］が［プレビュー］に変わります。［プレビュー］をクリックすると、［プレビュー］ウィンドウが表示され、印刷結果をモニタ上で確認できます。

- ［用紙設定］ダイアログで［180 度回転印刷］を設定しても、ページを 180 度回転してプレビュー表示しません。
- 文字が図形より下にあっても、文字が上にプレビュー表示されます。

◀▶	表示するページを 1 ページごとに切り替えるボタンです。
1 / 3	表示させるページ番号を直接入力します。
キャンセル	［プレビュー］ダイアログを閉じるボタンです。
印刷	印刷を開始するボタンです。
	印刷データ（1 ページ単位）の全体を表示します。
	印刷結果と同等のサイズで表示します。
	印刷データを拡大して表示します。

[詳細設定]ダイアログ

［プリント］ダイアログの［モード］で［詳細設定］をクリックして［設定変更］をクリックすると、［詳細設定］ダイアログが表示されます。印刷に関わるさまざまな機能を詳細に設定できます。

①色

カラー印刷を行うときは［カラー］を、モノクロ印刷を行うときは［モノクロ］を選択します。

②印刷品質

印刷の解像度を［標準］（300dpi）または［高品質］（600dpi）から選択できます。［高品質］を選択すると、きめ細かく印刷できますが印刷時間は長くなります。品質より印刷速度を優先する場合は、［標準］を選択してください。

項目	説明
標準	文字文書の高速印刷（品質より印刷速度を優先する場合）に適しています。
高品質	写真のようにグラデーションのある画像（無段階に色調が変化する画像）の印刷に適しています。

印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、次のいずれかの方法で対処してください。

- 印刷データの容量や色数を減らす。
- ［印刷品質］を［標準］に設定する。
- 使用していないインターフェイスを、操作パネルで使用しない状態に設定する。
  活用ガイド「付録」-「操作パネルによる設定 / 確認」-「ホスト I/F 設定」

上記の方法でメモリ関連のエラーが解決できない場合は、本機のメモリを増設すると解決できる場合があります。

③スクリーン（カラー印刷のみ）

スクリーン線数（lpi）を選択します。

項目	説明
自動（階調優先）	写真や図形を印刷する際に階調を優先してスクリーン線数を自動的に設定します（文字の印刷は解像度を優先します）。
自動（解像度優先）	図形や文字を印刷する際に解像度を優先してスクリーン線数を自動的に設定します（写真の印刷は階調を優先します）。
階調優先	階調を優先して印刷します。色調や色の濃淡が無段階に変化する連続階調、写真やグラデーションのあるデータの印刷時に選択してください。
解像度優先	解像度を優先して印刷します。細い線や細かい模様のあるデータの印刷時に選択してください。

［プリント］ダイアログの［用紙種類］で［OHP シート］を選択している場合は、OHP シート専用のスクリーンが用いられるので設定できません。

④フォント置換する

細明朝体、中ゴシック体、等幅明朝、等幅ゴシックフォントを、別のフォントに置き換えて印刷します。プリンタドライバは、インストールしてあるフォントの中から、置き換え可能なフォントを自動的に探します。置き換え可能なフォントがない場合は、フォントを置き換えません。フォント置き換え機能を使用する場合は、次のフォントを使用することできれいに印刷できます。

- リュウミンライトー KL、リュウミンライトー KLー等幅
- 中ゴシック BBB、中ゴシック BBBー等幅

⑤トナーセーブ

カラー、モノクロ印刷とも印刷濃度を抑えることでトナーを節約します（カラー印刷時は色の表現力を低く抑えて印刷します）。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらない場合にご利用ください。

トナーセーブ機能を有効にすると、色の濃度を低くして印刷するため、薄い色や細かい線などは印刷されない場合があります。

⑥RIT

RIT* （Resolution Improvement Technology）を有効にすると大きな文字がきれいに印刷できたり、写真画像の斜線補正や輪郭補正などに効果があります。

*RIT：斜線や曲線などのギザギザをなめらかに印刷する EPSON 独自の印刷機能。

- RIT 機能を有効にしてグラデーション（無段階に変化する階調）のある画像を印刷すると、意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合は RIT 機能を使用しないでください。
- カラー印刷の場合、③の［スクリーン］の関係で RIT 機能が有効にならない場合があります。

⑦ ドライバによる色補正(カラー印刷のみ)

プリンタドライバによるカラー調整を行います。[ドライバによる色補正] を選択した場合は、次の設定でカラー調整できます。

ガンマ(カラー印刷のみ):

ガンマ値は、画像階調の入力値と出力値の関係を表すときに使用する単位で、この値を変更することで中間調の明るさの見え方が変わります。

項目	説明
1.5	ガンマ値 1.8 に比べて柔らかい感じの画像を印刷することができます。
1.8	通常はこの設定で印刷してください。ガンマ値 1.5 に比べて立体感があり、メリハリのある画像を印刷することができます。
2.2	sRGB 対応製品と色合わせして印刷する場合に選択してください。

色補正方法(カラー印刷のみ):

色の補正方法を選択できます。

項目	説明
自動(自然な色合い優先)	文字を鮮やかな色合いに、グラフィックとイメージを自然な色合いになるようにカラー調整します。
自動(鮮やかさ優先)	文字とグラフィックを鮮やかな色合いに、イメージを自然な色合いになるようにカラー調整します。
自然な色合い	より自然な発色になるようにカラー調整します。
鮮やかな色合い	より鮮やかな発色になるようにカラー調整します。
色補正なし	カラー調整しません。ColorSync 用プロファイルを作成する際の基準色を印刷するときに選択します。通常は、選択しないでください。

明度:

画像全体の明るさを調整します。

コントラスト:

画像全体のコントラスト(明暗比)を調整します。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを下げると、画像の明暗の差が少なくなります。

彩度(カラー印刷のみ):

画像全体の彩度(色の鮮やかさ)を調整します。彩度を上げると、色味が強くなります。彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。

シアン、マゼンタ、イエロー(カラー印刷のみ):

各色の強さを調整します。

	-25	← 0 →	+25
シアン	赤みが強くなります。		青緑(シアン)が強くなります。
マゼンタ	緑色が強くなります。		赤紫(マゼンタ)が強くなります。
イエロー	青色が強くなります。		黄色(イエロー)が強くなります。

⑧オートフォトファイン !5（カラー印刷のみ）

EPSON 独自のオートフォトファイン !5 機能を使って、画像を調整します。ビデオ、デジタルカメラ、フィルムスキャナ、スキャナなどから取り込んだ画像や Photo CD のデータなどを自動的に補正して印刷します。［オートフォトファイン !5］を選択した場合は、次の設定でカラーを調整します。

☞ 本書 182 ページ「印刷時のポイント（オートフォトファイン !5）」

項目	説明
色調	印刷する際の画像の色調の補正方法を、［標準］［硬調］［鮮やか］［セピア］［モノクロ］の項目から選択することができます。それぞれの効果は各項目を選択した際の右側の画像の変化で確認してください。色調を補正しない場合は、チェックを外します。
効果	印刷する際に画像に特殊効果を加えて印刷します。［シャープネス］［ソフトフォーカス］［キャンバス］［和紙］の中から選択することができます。それぞれの効果は各項目を選択した際の右側の画像の変化で確認してください。スライドバーでは、加える効果の強弱を調整することができます。効果を加えない場合は、チェックを外します。
デジタルカメラ用補正	デジタルカメラで撮影した画像に対して、最適な補正をして印刷します。

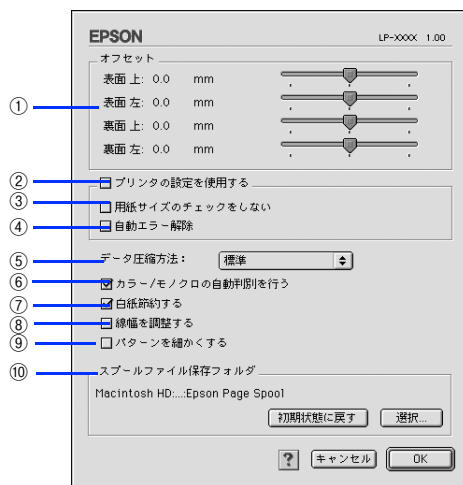
- 画像のサイズやコンピュータの性能によっては印刷時間が多少長くなります。
- オートフォトファイン !5 は、1677 万色（24bit）の色情報を持った画像データに対して最も有効に機能します。256 色（8bit）などの少ない色情報の画像データには有効に機能しません。
- EPSON 製デジタルカメラの画像転送ソフトにおいてオートフォトファインを使用した画像データには、プリンタドライバのオートフォトファイン !5 は使用しないでください。

⑨ColorSync（カラー印刷のみ）

チェックマークを付けると、ColorSync によるカラーマッチング（色合わせ）を行います。詳しくは、以下のページを参照してください。

☞ 本書 40 ページ「原画とディスプレイ表示と印刷結果の色を合わせたい（ColorSync）」

[拡張設定]ダイアログ

［プリント］ダイアログの［拡張設定］アイコンをクリックすると、［拡張設定］ダイアログが表示されます。

①オフセット

印刷開始位置のオフセット値を表面 / 裏面それぞれに対して［上］（垂直位置）と［左］（水平位置）で設定します。0.5mm単位で、次の範囲で設定できます。

上（垂直位置）：-9mm（上方向）～ 9mm（下方向）
左（水平位置）：-9mm（左方向）～ 9mm（右方向）

②プリンタの設定を使用する

③、④の項目について、操作パネルで設定されている値を使用して印刷します。

③用紙サイズのチェックをしない

プリンタドライバで設定した用紙サイズとプリンタにセットした用紙サイズが合っているか確認しません。それぞれの用紙サイズが異なってもエラーを発生することなく印刷します。

④自動エラー解除

以下の状態のときに発生するエラーを自動的に解除して印刷を続行します。

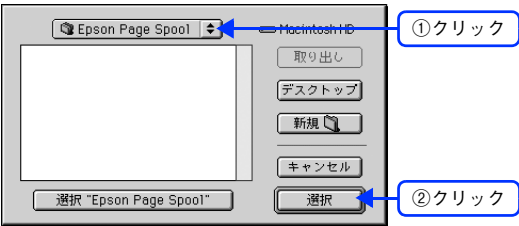
- オーバーランエラー
- 用紙の交換が必要 （プリンタにセットしてある用紙のサイズと印刷データの用紙のサイズが異なる）
- メモリ不足で印刷できない
- 指定された用紙で両面印刷できない
- メモリ不足で両面印刷できない
- 指定と違うサイズの用紙に印刷した

⑤データ圧縮方法

プリンタドライバからプリンタに送る印刷データの圧縮方法を指定します。印刷結果の画質を優先する場合や、プリンタに送付する印刷データの容量を小さくしたい場合に設定します。

項目	説明
標準	通常はこの設定でお使いください。
画質優先	印刷結果の画質を優先したい場合に選択してください。この場合、通常よりも印刷に時間がかかります。
データサイズ優先	プリンタに送るデータサイズを小さくしたい場合に選択してください。印刷時間は早くなりますが、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

⑥カラー/ モノクロの自動判別を行う
印刷データがカラーデータであるかモノクロデータであるかを自動判別して、データに適した設定で印刷します。

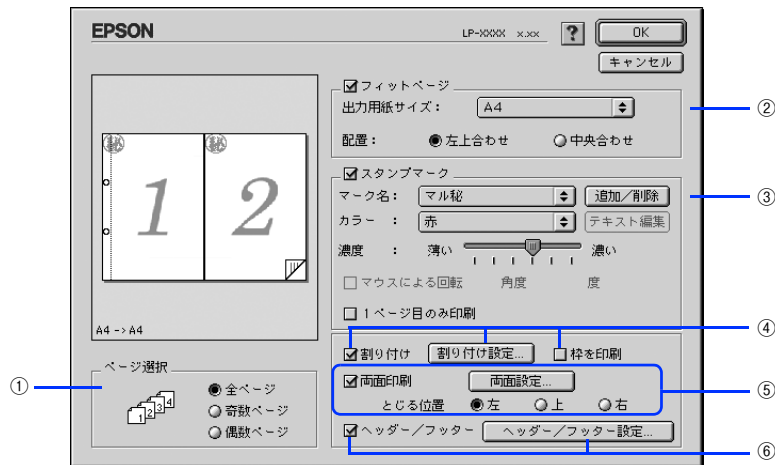
⑦白紙節約する
白紙ページを印刷するかしないかを選択します。白紙ページを印刷しないので用紙を節約できます。

⑧線幅を調整する
図形の線幅を 1.4 倍にして印刷します。図形を重ね合わせて印刷すると隙間が生じる場合などに隙間を埋めることができます。

⑨ パターンを細かくする
網掛けなどのパターンを細かくする場合にチェックします。

⑩スプールファイル保存フォルダ
印刷処理用のスプールファイルをどこに保存するかを選択できます。

項目	説明
［選択］	［拡張設定］ダイアログで［選択］をクリックして次の画面を表示させ、スプールファイルを保存したいフォルダを選択してから［選択］をクリックします。 Epson Page Spool　Macintosh HD　取り出し　デスクトップ　新規　キャンセル　選択 "Epson Page Spool"　選択 ①クリック ②クリック
［初期状態に戻す］	スプールファイルの保存フォルダを初期状態に戻します。

[レイアウト]ダイアログ

［プリント］ダイアログで［レイアウト］アイコンをクリックすると、［レイアウト］ダイアログが表示されます。レイアウトに関わるさまざまな設定ができます。

①ページ選択
印刷データの全ページを印刷するか、奇数ページまたは偶数ページのみ印刷するかを選択します。

②フィットページ
印刷する用紙のサイズに合わせて印刷データを自動的に拡大 / 縮小して印刷します。

☞ 本書 26 ページ「印刷サイズを拡大 / 縮小」

- 拡大 / 縮小の倍率は［用紙設定］ダイアログで設定した用紙サイズに対して設定されます。
- ［用紙設定］ダイアログの［拡大 / 縮小率］は無効になります。
  ☞ 本書 62 ページ「［用紙設定］ダイアログ（Mac OS 9）」

③スタンプマーク
印刷データに㊙などの画像や「重要」などのテキストを重ね合わせて印刷します。

☞ 本書 34 ページ「「仮」などのスタンプマークを重ねて印刷」
☞ 本書 76 ページ「［スタンプマーク］」

④割り付け
2 ページまたは 4 ページ分の連続した印刷データを 1 枚の用紙に自動的に縮小割り付けして印刷します。割り付けるページ数、順序、枠線の有無を設定できます。

☞ 本書 20 ページ「用紙を節約（割り付け印刷）」
☞ 本書 77 ページ「［割り付け設定］ダイアログ」

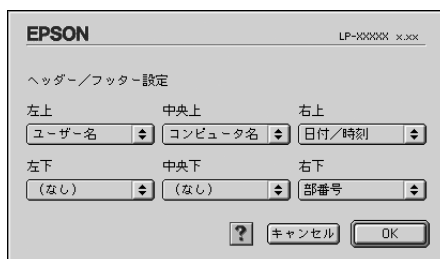
⑤両面印刷
両面印刷を行います。

☞ 本書 23 ページ「用紙を節約（両面印刷）」

両面印刷できる用紙の説明は以下のページを参照してください。

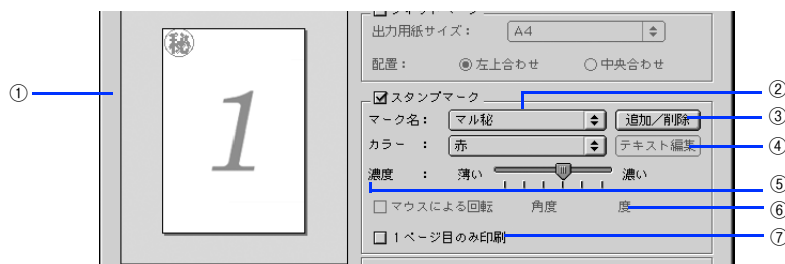
☞ 本書 127 ページ「両面印刷について」

⑥ヘッダー/ フッター

ユーザー名や印刷日時など、印刷に関する情報を用紙のヘッダー（上部）/ フッター（下部）に印刷します。印刷するヘッダー / フッターを設定するには、［ヘッダー / フッター設定］をクリックします。

［ヘッダー / フッター設定］ダイアログでは、印刷位置に対応するリストから印刷したい項目（なし・ユーザー名・コンピュータ名・日付・日付 / 時刻・部番号*）を選択して、［OK］をクリックします。

＊部番号：部単位で印刷する場合に何部目であるかを示す番号

［スタンプマーク］

［レイアウト］ダイアログのスタンプマーク機能を使用します。

①プレビュー部

ダイアログ左側の印刷イメージ上でスタンプマークをドラッグすると、スタンプマークの印刷位置やサイズを変更することができます。

②マーク名

印刷するスタンプマークをリストから選択します。

③［追加 / 削除］

オリジナルのビットマップ（PICT * 画像）マークやテキスト（文字）マークを登録したり削除します。

*PICT：Mac OS の標準グラフィックファイル形式。

本書 35 ページ「オリジナルスタンプマークを登録する（Mac OS 9）」

④［テキスト編集］

登録したテキストマークを［マーク名］リストで選択してから［テキスト編集］をクリックすると、登録したテキスト、フォント、スタイルを変更することができます。

⑤濃度

スタンプマークの印刷濃度を、［濃度］バーで調整します。バーを［薄い］側に移動するとより薄く、［濃い］側に移動するとより濃くスタンプマークが印刷されます。

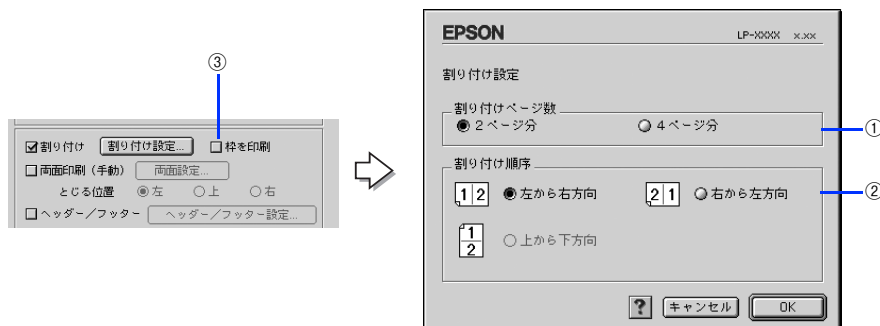
⑥マウスによる回転 / 角度

テキストマークを回転するときは、［マウスによる回転］をクリックしてプレビュー部のマークをマウスで回転させるか、［角度］に回転角度を直接入力します。

⑦1 ページ目のみ印刷

用紙の 1 ページ目のみにスタンプマークを印刷します。

[割り付け設定]ダイアログ

［レイアウト］ダイアログで［割り付け］をクリックして［割り付け設定］をクリックすると、［割り付け設定］ダイアログが表示され、次の項目が設定できます。

①割り付けページ数

1 枚の用紙に割り付けるページ数を選択します。

②割り付け順序

割り付けたページを、どのような順番で配置するのか選択します。［印刷方向］（縦・横）と［割り付けページ数］によって、選択できる割り付け順序は異なります。

③枠を印刷

割り付けた各ページの周りに枠線を印刷します。

[プリンタセットアップ]ダイアログ(Mac OS 9)

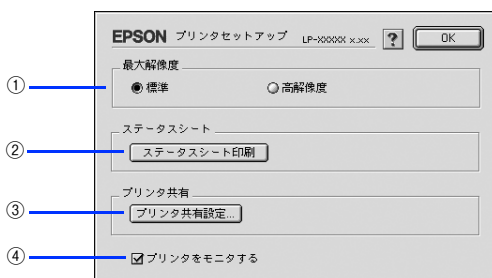
[プリンタセットアップ] ダイアログではプリンタの基本的な設定を行います。以下のページを参照してアップルメニューからセレクタを開いてプリンタを選択したら、[セットアップ] をクリックして、[プリンタセットアップ] ダイアログを開いて機能を設定してください。

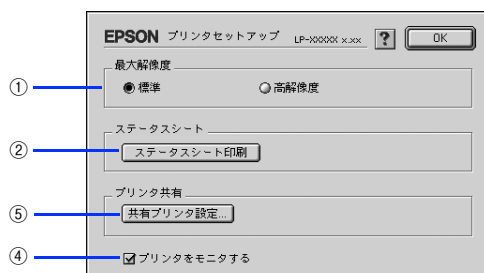
☞ 本書 8 ページ「印刷を始める前に」

 印刷中は設定を変更できません。

コンピュータと USB 接続した本機をネットワーク上で共有することができます。共有を許可する Mac OS 側と共有プリンタを使用する側の Mac OS で、表示されるダイアログが次のように異なります。

 Mac OS 9 でプリンタを共有するには、以下のページを参照してください。
☞ 本書 173 ページ「印刷機能の共有方法」

共有を許可する側の Mac OS

 本機をネットワークに接続している場合はそのまま本機を共有できるので、ここで [プリンタ共有] 機能を設定することはありません (③の [プリンタ共有設定] はクリックできません)。

共有プリンタを使用する側の Mac OS

① 最大解像度

プリンタが対応できる解像度をアプリケーションソフト側に伝えます。印刷を実行すると、アプリケーションソフトは伝えられた解像度の中から最適な解像度を選択し、データをプリンタドライバに渡します。

項目	説明
標準	本機の解像度を 72dpi/300dpi としてアプリケーションソフト側に伝えます。通常はこの設定で使用してください。
高解像度	本機の解像度を 72dpi/300dpi/600dpi としてアプリケーションソフト側に伝えます。

- 本項目は、印刷時の解像度を設定するものではありません。印刷解像度は印刷設定ダイアログの［モード設定］で設定します。
- 本項目は、使用しているアプリケーションソフトが対応している解像度に合わせて設定してください。
- ［プリント］ダイアログで［高品質］（600dpi）に設定して印刷するとエラーが発生することがあります。この場合、本項目を［標準］に設定すると印刷できるようになることがあります。

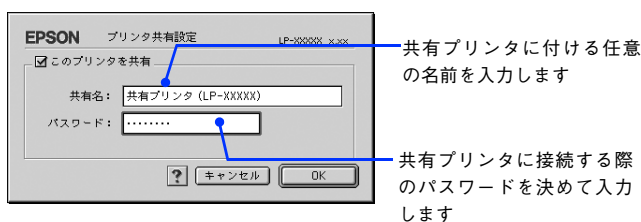
②［ステータスシート印刷］

ステータスシートを印刷する場合にクリックします。なお、コンピュータとプリンタ間の通信方向により、印刷されるステータスシートが次のように異なります。

- 双方向通信時：カラー印刷される日本語表記の標準ステータスシート（プリンタの設定情報が取得できる場合）
- 単方向通信時：モノクロ印刷されるカタカナ表記の簡易ステータスシート（プリンタの設定情報が取得できない場合）

操作パネルの［各種設定］ボタン－［プリンタ設定］－［デバイス設定］－［表示言語］が［English］の場合は、英語表記になります。

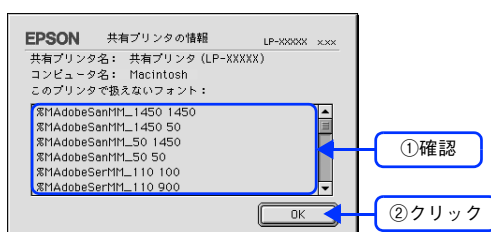
③［プリンタ共有設定］

ネットワーク環境で本機を複数の Mac OS で共有するときにクリックします。プリンタ共有を許可する側の Mac OS で［プリンタセットアップ］ダイアログを開いた場合は、［プリンタ共有設定］をクリックして［プリンタ共有設定］ダイアログを表示させます。ネットワーク上のほかの Mac OS のセレクタから選択できるように、共有するプリンタの［共有名］と、接続する際の［パスワード］を設定してください。

④ プリンタをモニタする

共有プリンタを利用する側の［プリンタセットアップ］ダイアログで表示されます。EPSON ステータスモニタで本機の状態を監視するかどうかを選択します。

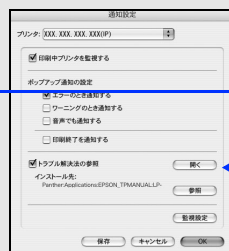
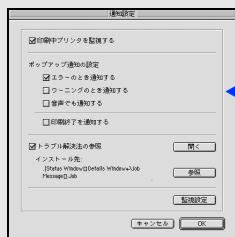
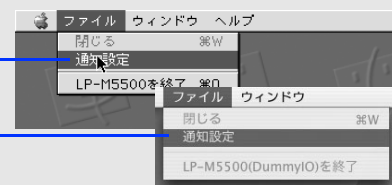
⑤［共有プリンタ設定］

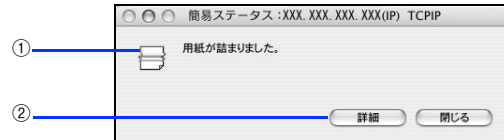
ネットワーク環境の共有プリンタを使用するときにクリックできます。ネットワーク上でプリンタの共有を許可される側の Mac OS で［プリンタセットアップ］ダイアログを開いた場合は、［共有プリンタ設定］をクリックすると［共有プリンタの情報］ダイアログが表示されます。［共有プリンタの情報］ダイアログでは、共有プリンタに関する次の情報を表示します。情報を確認したら、［OK］をクリックしてダイアログを閉じてください。

項目	説明
共有プリンタ名	共有プリンタの名前です。
コンピュータ名	プリンタが直接接続されている共有を許可する側のコンピュータ名です。
このプリンタで扱えないフォント	共有プリンタで使用できないフォントのリストを表示します。表示されたフォントは本機では使用できません。

リストに表示されているフォントで文書を作成した場合、別のフォントで印刷され、印刷結果は画面での表示と異なります。

EPSON ステータスモニタ

EPSON ステータスモニタは、プリンタの状態をコンピュータ上で監視できるユーティリティです。また、ネットワークプリンタを監視してプリントジョブ情報を表示したり印刷終了のメッセージを表示することもできます。

EPSON ステータスモニタを初めて起動するときは、［プリント］ダイアログを一度開いてから起動してください。

[簡易ステータス]ダイアログ

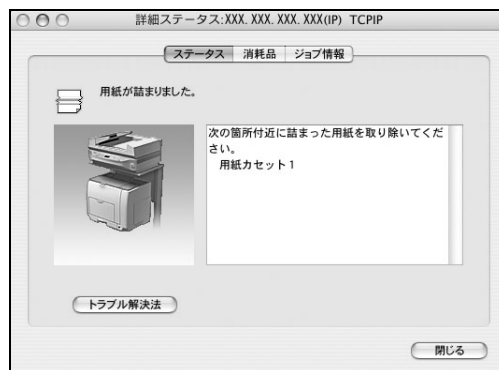
プリンタの状態をアイコンとメッセージで表示します。［簡易ステータス］ダイアログは、プリンタに問題があった場合に自動的に表示されます。
OS X のみ任意に表示させることができます。DOCK 上の［EPSON ステータスモニタ］アイコンをクリックするか、［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］を開いて［プリンタリスト］でプリンタを選択し、［ユーティリティ］をクリックします。

① アイコン / メッセージ
プリンタの状態に合わせてアイコンが表示され、状況をお知らせします。

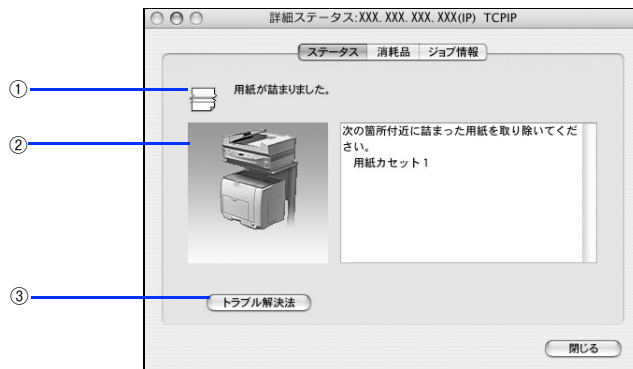
② [詳細]ボタン
［詳細ステータス］ダイアログが表示されます。消耗品などの詳細な情報を表示します。

[詳細ステータス]ダイアログ

EPSON ステータスモニタの［詳細ステータス］ダイアログでは、プリンタの詳細な情報の表示、印刷中のジョブ（データ)の表示や削除ができます。用紙詰まりなどの場合には、手順を説明する[トラブル解決法]を表示させることもできます。
次の方法で表示させることができます。

［方法 1］
［簡易ステータス］ダイアログの［詳細］をクリックします。

［方法 2］（Mac OS 9 のみ）
［アップル］メニューの［EPSON ステータスモニタ］をクリックします。

■［ステータス］

プリンタの状態を表示します。EPSON ステータスモニタの［ウィンドウ］メニューー［LP-M5500］ー［詳細ステータス］をクリックすると［詳細ステータス］ダイアログの［ステータス］タブが表示されます。

①アイコン / メッセージ

プリンタの状態に合わせてアイコンが表示され、プリンタの状態を表示します。

②プリンタ / メッセージ

プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生した場合にその状況や対処方法をメッセージでお知らせします。

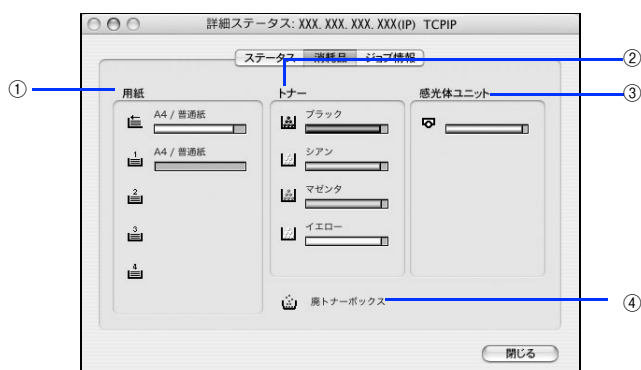
③［トラブル解決法］ボタン

ソフトウェア機能ガイド（PDF）がインストールされている環境下で、用紙詰まりなどのエラーが発生した場合に該当する解決法の説明がある場合は、［トラブル解決法］が表示されます。クリックすると解決法が表示されます。［通知設定］ダイアログの［トラブル解決法の参照］のチェックが外れているときは表示されません。

☞ 本書 87 ページ「［通知設定］ダイアログ」

ソフトウェア機能ガイド（PDF）は、通常プリンタドライバと一緒にインストールされます。インストールしなかった場合は、「EPSON ソフトウェア CD-ROM」からインストールしてください。

［消耗品］

消耗品の情報を表示します。EPSON ステータスモニタの［ウィンドウ］メニュー－［LP-M5500］－［消耗品情報］をクリックすると［詳細ステータス］ダイアログの［消耗品］タブが表示されます。

①用紙

給紙装置にセットされている用紙サイズ、用紙の種類（タイプ）、用紙残量を表示します。

②トナー

セットされているトナーカートリッジがあとどれくらい使用できるか、寿命の目安を表示します。トナーに関するエラーやワーニング発生時に該当色のアイコンが点滅します。

③感光体ユニット

セットされている感光体ユニットがあとどれくらい使用できるか、寿命の目安を表示します。感光体ユニットに関するエラーやワーニング発生時にアイコンが点滅します。

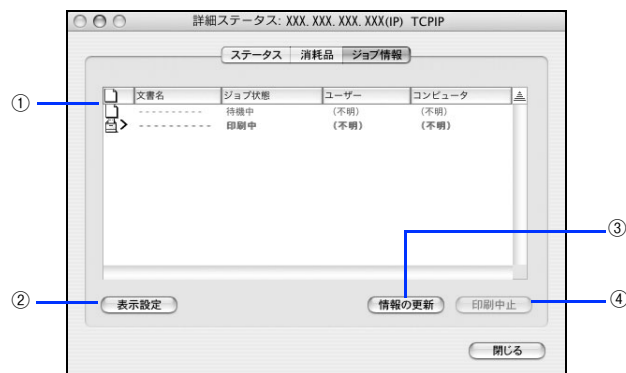
④廃トナーボックス

廃トナーボックスの空き容量が少なくなるとアイコンが点滅します。

［ジョブ情報］

ジョブ管理機能を使用できる接続になっている場合に表示され、ネットワークプリンタに印刷した情報を見ることができる機能です。EPSON ステータスモニタの［ウィンドウ］メニュー－［LP-M5500］－［ジョブ情報］をクリックすると［詳細ステータス］ダイアログの［ジョブ情報］タブが表示されます。

ジョブ管理機能を使用するには、以下の条件でプリンタがネットワーク接続されている必要があります。

- プリントサーバなどを介さずにネットワークに直接接続されていること
- プリンタが Rendezvous、TCP/IP、EPSON AppleTalk で登録されていること

① ジョブリスト

プリンタで処理中の次の情報を、ジョブごとに表示します。リスト一番左のアイコンは、印刷の状態に応じて変化します。

- ジョブの文書名
- 状態（待機中、印刷中、印刷済、削除中、削除済、送信中 *）
- ユーザー名
- コンピュータ名

なお、ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブに関しては、次の情報は表示しません。

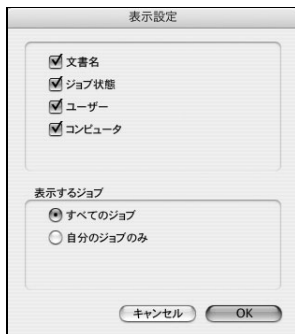
- 印刷済みジョブと削除済みジョブ
- 待機中または印刷中の文書名
- 送信中のジョブ *

* 送信中の情報は Mac OS 9 のみ

ジョブ情報リストの項目の境界を左右にドラッグするとカラムの幅を変更することができます。また、項目ごとドラッグすると位置を変更することができます（ただしアイコンのカラムは移動できません）。項目の右端にある三角ボタンを押すとジョブリストの表示を逆にすることができます。デフォルト表示は新しいジョブが上になります。

② [表示設定] ボタン

ジョブリストの表示を設定します。

- 表示する項目名にチェックを付けると表示し、チェックを外すと表示しません。
- ［すべてのジョブ］をクリックすると処理中のすべてのジョブ情報をジョブリストに表示し、［自分のジョブのみ］をクリックするとそのコンピュータで処理中のジョブのみ表示します。

③ [情報の更新] ボタン

最新のジョブ情報をプリンタから取得して、リストの表示を更新します。

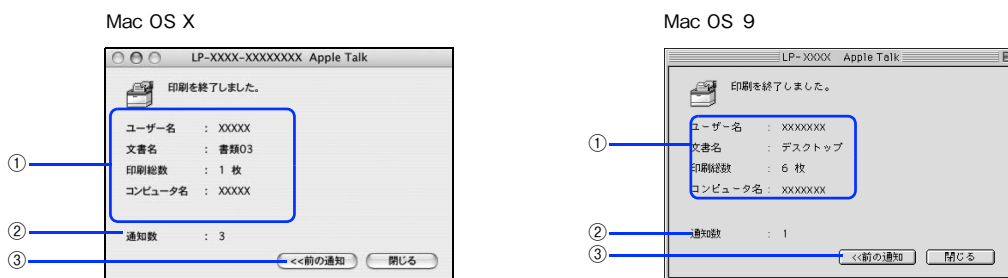
④ [印刷中止] ボタン

- ジョブリストに表示されている印刷中、待機中または送信中＊のジョブをクリックして選択し、［印刷中止］をクリックすると、そのジョブの印刷を中止することができます。なお、ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブの印刷を中止することはできません。

＊ 送信中の情報は Mac OS 9 のみ

[印刷終了通知] ダイアログ

印刷の終了が通知できるように設定されている場合は、ジョブの印刷終了時にメッセージを表示します。設定方法は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 87 ページ「［通知設定］ダイアログ」

Mac OS X

Mac OS 9

① 印刷終了通知

印刷が終了したジョブのユーザー名、文書名、印刷総数、コンピュータ名、ジョブタイプ（Mac OS X のみ）を表示します。

② 通知数

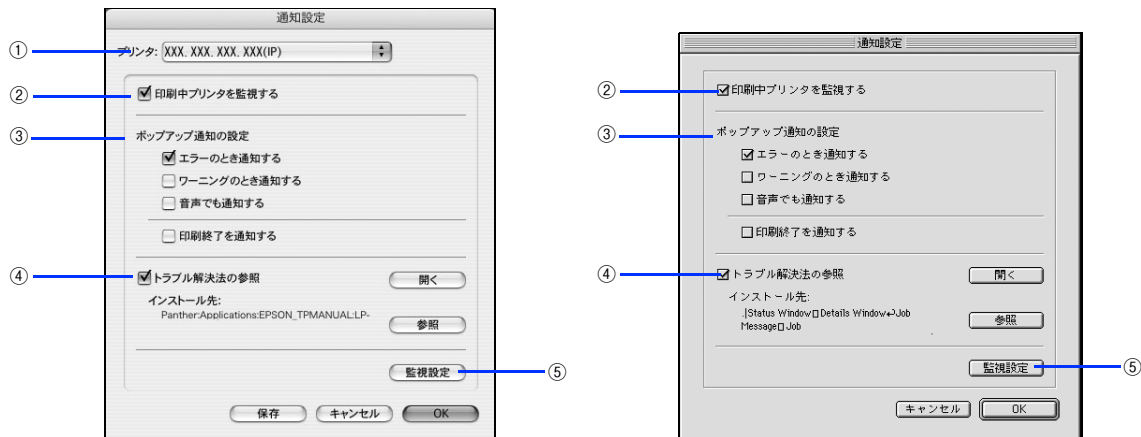
印刷終了通知の通知数を表示します。

③ [前の通知] ボタン

クリックすると、1 つ前の終了通知を表示します。通知数が 0 になった場合（終了通知がすべてなくなった場合）はグレーアウトされます。

［通知設定］ダイアログの［印刷終了を通知する］がチェックされていないと、印刷終了通知されません。

[通知設定]ダイアログ

EPSON ステータスモニタを起動して、［ファイル］メニューから［通知設定］をクリックすると、［通知設定］ダイアログが表示されます。EPSON ステータスモニタの監視機能を設定します。

①プリンタ

複数プリンタを監視している場合に、設定を行うプリンタを切り替えます。

②印刷中プリンタを監視する

印刷中にプリンタを監視します。

②ポップアップ通知の設定

エラーやワーニング発生時に［簡易ステータス］ダイアログで知らせるかどうかを設定します。

- エラーのとき通知する：エラー発生時に通知します。
- ワーニングのとき通知する：ワーニング発生時に通知します。
- 音声でも通知する：エラーやワーニング発生時に音声＊でも通知します。

＊ お使いのコンピュータのサウンド機能が有効な（消音でない）場合のみ。

- 印刷終了を通知する：印刷が終了すると通知します（ジョブ管理機能でサポートしていない環境ではグレーアウトして設定できません）。
  本書 86 ページ「［印刷終了通知］ダイアログ」

③トラブル解決法を参照する

トラブル発生時に解決法を説明するファイルを設定します。チェックが付いていると、紙詰まりなどのエラーが発生した場合に該当する解決法の説明がある場合は、［詳細ステータス］ダイアログの［ステータス］タブに［トラブル解決法］が表示されます。クリックすると、解決法が表示されます。チェックが付いていないと［トラブル解決法］は表示されません。

項目	説明
［開く］	クリックすると、トラブル解決法の先頭ページを表示します。
［参照］	クリックすると、トラブル解決法のフォルダを選択できます。ネットワーク環境でトラブル解決法のファイルをサーバだけに置く場合などに、トラブル解決法をインストールした（PSOLVER.xml ファイルが収録された）フォルダを選択します。

⑤［監視設定］ボタン

クリックすると、監視する間隔（ローカル接続時 6 ～ 60 秒 / ネットワーク接続時 15 ～ 60 秒）を設定できます。

EPSON リモートパネル！(Mac OS X)

現在のプリンタの状態、設定値や消耗品の情報などを記載したステータスシートを印刷するには、EPSON リモートパネル！をお使いください。なお、コンピュータとプリンタ間の通信方向により、印刷されるステータスシートが次のように異なります。

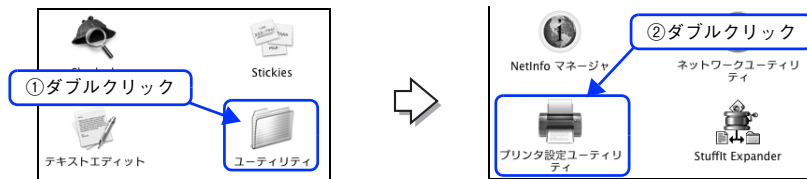
- 双方向通信時：カラー印刷される日本語表記の標準ステータスシート（プリンタの設定情報が取得できる場合）
- 単方向通信時：モノクロ印刷されるカタカナ表記の簡易ステータスシート（プリンタの設定情報が取得できない場合）

EPSON リモートパネル！でステータスシートを印刷する

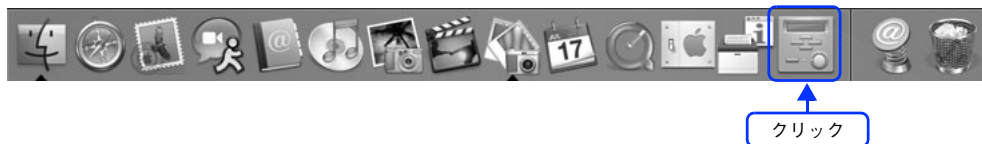
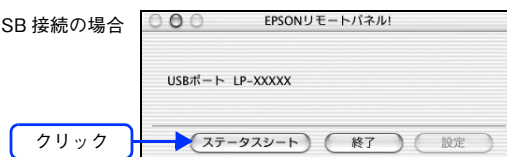
1 **本機の電源をオン（ I ）にします。**

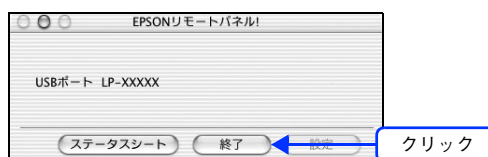
2 **EPSON リモートパネル！を起動します。**

［方法 1］

①［アプリケーション］フォルダから［ユーティリティ］フォルダを開いて、［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］をダブルクリックします。

②プリンタ名（LP-M5500）を選択して、キーボードの［Option］キーを押しながら、［ユーティリティ］をクリックします。

［方法 2］

Dock の［EPSON リモートパネル！］アイコンをクリックします。

3 プリンタ名（LP-M5500）を確認して、［ステータスシート］をクリックします。

- プリンタの情報が取得できない場合は、警告メッセージが表示されます（プリンタ名は表示されません）。本機が正しく接続されているか、また本機の電源がオンになっているかどうか確認してください。
- 本機では［設定］は使用しません（クリックできません）。

4 ［終了］をクリックします。

以上でステータスシートの印刷は終了です。

ソフトウェアのバージョンアップ

添付のソフトウェアをバージョンアップすることによって、今まで起こっていた現象が解消されることがあります。できるだけ最新のソフトウェアをお使いいただくことをお勧めします。

最新のソフトウェアは、エプソンのホームページからダウンロードしてください。
http://www.i-love-epson.co.jp/

CD-ROM での郵送をご希望の場合は
「エプソンディスクサービス」で実費にて承っております。詳しくは FAX インフォメーションでご確認ください。
『セットアップガイド』『活用ガイド』（紙マニュアル）巻末

ダウンロードする

ホームページに掲載されているソフトウェアは圧縮※1 ファイルになっていますので、次の手順でファイルをダウンロードし、解凍※2 してからインストールしてください。

*1 圧縮：1 つ、または複数のデータをまとめて、データ容量を小さくすること。
*2 解凍：圧縮されたデータを展開して、元のファイルに復元すること。

1 ホームページのダウンロードサービスから本製品名を選択します。

2 ソフトウェアをハードディスク内の任意のディレクトリへダウンロードします。

3 解凍して、インストールを実行します。

最新バージョンのソフトをインストールする前に、必ず旧バージョンを削除してください。
本書 91 ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」

プリンタソフトウェアの削除方法

何らかの理由でプリンタドライバを再インストールする場合や、プリンタソフトウェアをバージョンアップする場合は、すでにインストールしているプリンタソフトウェアを削除（アンインストール）する必要があります。
プリンタソフトウェアを削除する手順は次の通りです。

Mac OS X で削除する

プリンタソフトウェアのアンインストール（削除）は、管理者権限をお持ちの方が行ってください。

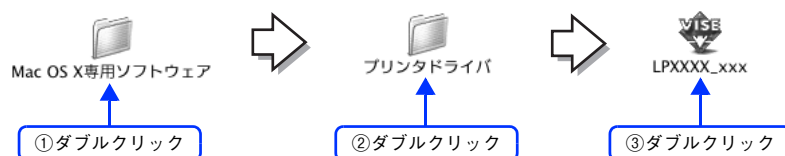
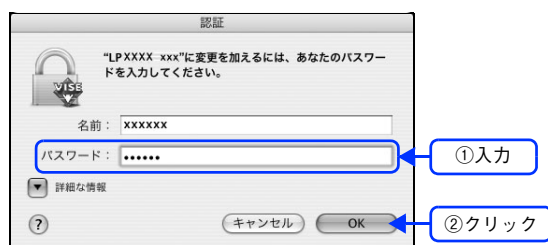
1 **起動しているアプリケーションソフトを終了し、Mac OS を再起動します。**

2 **『EPSON ソフトウェア CD-ROM』をコンピュータにセットします。**

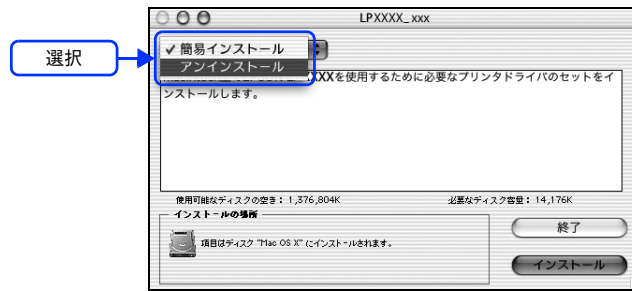
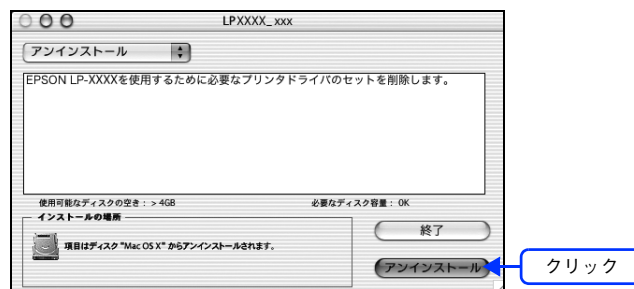
3 **デスクトップ上の［EPSON］CD-ROM アイコンをダブルクリックして開きます。**

4 **『EPSON ソフトウェア CD-ROM』内の［Mac OS X 専用ソフトウェア］−［プリンタドライバ］の順に開き、［LPM5500_xxx*］をダブルクリックします。**

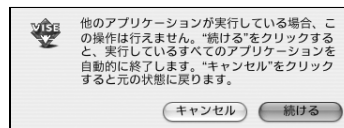
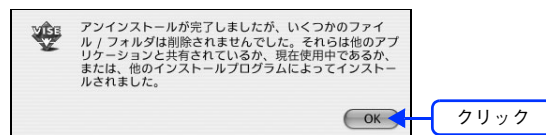
［プリンタドライバ］フォルダが表示されていない場合は、［インストーラ］アイコンが表示されているフォルダ内を下にスクロールしてください。

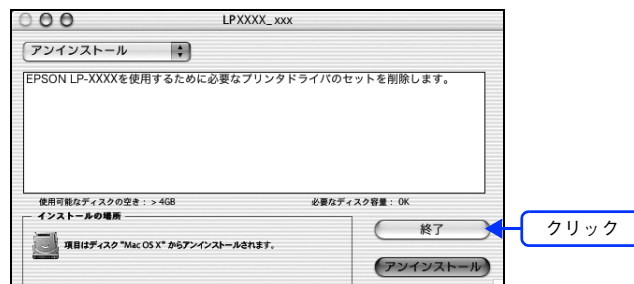
＊例えば「10a」のようにインストーラのバージョンを表示します。

5 **［パスワード］を入力して［OK］をクリックします。**

6 **使用許諾契約書の画面が表示されたら画面を下までスクロールさせ確認し、［同意］をクリックします。**

画面をスクロールさせないと、［同意］が有効になりません。

7 インストーラの画面左上にあるメニューから［アンインストール］を選択します。

8 ［アンインストール］をクリックします。

プリンタソフトウェアの削除が始まります。

参考　次の画面が表示された場合､起動しているアプリケーションソフトが強制的に終了されても問題がないかを確認して［続ける］をクリックします。
アプリケーションソフトを強制的に終了すると作成中のデータが消えてしまう場合などは、［キャンセル］をクリックしてアンインストールを中断し、アプリケーションソフトを終了してから、プリンタソフトウェアをアンインストールしてください。

9 ［OK］をクリックします。

10 ［終了］をクリックします。

以上でプリンタソフトウェアの削除は終了です。

Mac OS 9 で削除する

1 **起動しているアプリケーションソフトを終了し、Mac OS を再起動します。**

2 **『EPSON ソフトウェア CD-ROM』をコンピュータにセットします。**

3 **［EPSON ソフトウェア CD-ROM］内の［プリンタドライバ ディスク］-［Disk1］の順に開き、［LP-M5500 インストーラ］をダブルクリックします。**

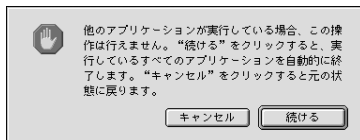
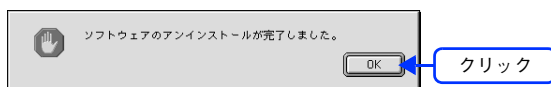
［プリンタドライバ ディスク］フォルダが表示されていない場合は、［インストーラ］アイコンが表示されているフォルダ内を下にスクロールしてください。

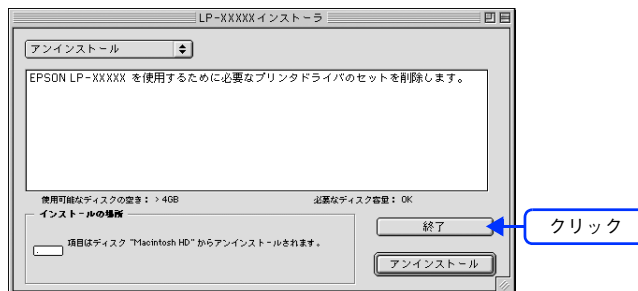
4 **使用許諾契約書の画面が表示されたら［同意］をクリックします。**

5 **インストーラの画面左上にあるメニューから［アンインストール］を選択します。**

6 **［アンインストール］をクリックします。**

プリンタソフトウェアの削除が始まります。

次の画面が表示された場合、起動しているアプリケーションソフトが強制的に終了されても問題がないかを確認して［続ける］をクリックします。
アプリケーションソフトを強制的に終了すると作成中のデータが消えてしまう場合などは、［キャンセル］をクリックしてアンインストールを中断し、アプリケーションソフトを終了してから、プリンタソフトウェアをアンインストールしてください。

7 ［OK］をクリックします。

8 ［終了］をクリックします。

以上でプリンタソフトウェアの削除は終了です。

ソフトウェアの再インストール方法

1 **コンピュータに『EPSON ソフトウェア CD-ROM』をセットします。**

2 **インストーラを起動します。**

Mac OS X

デスクトップ上の CD-ROM アイコンをダブルクリックして開き、［Mac OS X 用］をダブルクリックします。

Mac OS 9

［Mac OS 9 用］をダブルクリックします。フォルダが自動的に開かない場合は、デスクトップ上の CD-ROM アイコンをダブルクリックしてください。

3 **画面の内容を確認して、［続ける］をクリックします。**

ウィルスチェックプログラムの実行中は、［インストール中止］をクリックして、手順 2 からやり直します。

4 **使用許諾契約書の画面が表示された場合は、内容を確認し、［同意する］をクリックします。**

5 **［ソフトウェアのインストール］をクリックします。**

6 ［選択画面］をクリックします。

7 ［プリンタドライバ］を選択して、［インストール］をクリックします。

8 **画面の指示に従ってインストール作業を進めます。**

以上でインストールは終了です。

システム条件

プリンタソフトウェアをインストールし、使用するためのシステム条件は下記の通りです（2005 年 6 月現在）。

項目		条件
コンピュータ		Power PC G3 233MHz 以上搭載機種（G4 500MHz 以上を推奨）
接続方法	USB 接続	下記オプションケーブルをプリンタに取り付けて使用します。 • EPSON USB ケーブル（型番：USBCB2）
	AppleTalk 接続	本機のネットワークインターフェイスコネクタにネットワークケーブルを接続して使用します。
システム		• Mac OS 9.1 ～ 9.2.x QuickTime Ver. 3.0 以上 Open Transport Ver. 1.1.1 以上 ただし、QuickDraw GX には対応していません（下記注意を参照ください）。 • Mac OS X 10.2 以降（10.3 対応）
印刷時の空きメモリ（RAM）容量		64MB 以上（128MB 以上を推奨）
空きハードディスク		100MB 以上（200MB 以上を推奨）

Mac OS 9 の QuickDraw GX で本製品を使用することはできません。次の手順で QuickDraw GX を使用停止にしてください。
① caps lock キーを解除しておきます。
② スペースキーを押したまま Mac OS を起動します（機能拡張マネージャが開きます）。
③ QuickDraw GX 拡張機能をクリックして［使用停止］にします（チェック印のない状態になります）。
④ 機能拡張マネージャを閉じます。

参考

- 各 OS の「必要システム」条件を満たしていること（OS の推奨動作環境以上での使用を推奨）。
- Mac OS X v10.2 以降でのご利用においては、OS またはプリンタドライバの制限事項により使用できない機能があります。制限事項の詳細は、次のホームページにてご確認ください。
  アドレス：http://www.i-love-epson.co.jp/support
- OS に登録するコンピュータ名は、次の点に注意して必ず設定してください。
  * OS が禁止している文字をコンピュータ名に使用しないでください。
  * プリンタを共有（またはネットワーク接続）している場合、固有のコンピュータ名にしてください。
- Mac OS X の UNIX ファイルシステム（UFS 形式）はサポートしておりません。他のドライブでお使いください。
- EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。
  アドレス：http://www.i-love-epson.co.jp

4 使用可能な印刷用紙とセット方法

印刷できる用紙とできない用紙、用紙のセット方法や特殊紙へ印刷する際の諸注意などを説明しています。

印刷用紙

印刷できる用紙の種類

EPSON 製の用紙

次の EPSON 製用紙が使用できます。

使用可能な用紙		型番（サイズ）	説明
普通紙	EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙	LPCPPA4（A4） LPCPPB4（B4） LPCPPA3（A3）	普通紙への印刷において、最良の印刷品質を得ることできる上質普通紙です。MP トレイまたは用紙カセット（標準 / オプション）のどちらからでも給紙できます。
特殊紙	EPSON カラーレーザープリンタ用 OHP シート	LPCOHPS1（A4）	EPSON カラーレーザープリンタ専用の OHP シートです。MP トレイからのみ給紙できます。 ☞本書 125 ページ「OHP シートへの印刷」

! 注意　上記以外の EPSON 製専用紙は、本機で使用しないでください。プリンタ内部での紙詰まりや故障の原因となります。

EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙の両面に印刷する場合は、用紙の梱包紙の開封面側（包装紙の合わせ目のある側）を先に印刷面として印刷してください。

一般の用紙

EPSON 製の専用紙以外では、ここで紹介する用紙に印刷することができます。これ以外の用紙は使用しないでください。特殊紙への印刷の際は、用紙別にご注意いただく事項が異なりますので以下のページを参照ください。

☞ 本書 118 ページ「特殊紙への印刷」

使用可能な一般の用紙		説明
普通紙	コピー用紙	一般の複写機などで使用する用紙です。
	上質紙	紙厚は 64 〜 90g/m^2 の範囲内のものが使用可能です。
	再生紙 *1	紙厚は 64 〜 90g/m^2 の範囲内のものが使用可能です。
特殊紙	郵政公社製の郵便ハガキ *2	郵政公社製の郵便ハガキが使用可能です。往復郵便ハガキの場合は、折り跡のないものをお使いください。 ☞本書 118 ページ「ハガキへの印刷」
	封筒 *3	使用できる定形サイズの封筒は洋形 0 号、長形 3 号です。紙厚が 75 〜 90g/m^2 の範囲内のものをお使いください。 ☞本書 120 ページ「封筒への印刷」
	厚紙 *4	次の範囲内の用紙（ケント紙を含む）をお使いください。 厚紙：紙厚が 91 〜 163g/m^2 の範囲内の用紙 ☞本書 123 ページ「厚紙への印刷」
	ラベル紙	レーザープリンタ用またはコピー機用のラベル紙で、台紙全体がラベルで覆われているものをお使いください。 ☞本書 124 ページ「ラベル紙への印刷」
	不定形紙	用紙幅が 98.5 〜 297.0mm、用紙長が 148.0 〜 431.9mm、紙厚が 64 〜 163g/m^2 の範囲内のものをお使いください。 ☞本書 126 ページ「不定形紙への印刷」

*1 再生紙は、一般の室温環境下（温度 15 〜 25 度、湿度 40 〜 60% の環境）以外でご使用になると、印刷品質が低下したり、紙詰まりなどの不具合が発生することがありますのでご注意ください。また、再生紙の使用において給紙不良や紙詰まりが発生しやすい場合は、用紙を裏返して使用することにより症状が改善されることがあります。

*2 絵入りのハガキなどを給紙すると、絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラに付着して給紙できなくなる場合がありますので、ご注意ください。
☞ 活用ガイド「メンテナンス」-「本機の清掃」-「給紙ローラを清掃する」

*3 ハート社製レーザープリンタ専用封筒を推奨します。それ以外の封筒では、しわが目立つ場合があります。

*4 厚紙の紙厚は 90g/ ㎡を超えて 163g/ ㎡以下のものを指しますが、本書では「91 〜 163g/ ㎡」という記載をしています。画質維持のため 91g/ ㎡以上の用紙は、気温 15 ℃以上の環境下で印刷することをお勧めします。

- 用紙の種類によっては特に印刷面の指定がない場合でも、印刷する面によって排紙後の用紙の状態に差が出ることがあります。
- 用紙がカールなどしてきれいに排紙されない場合は印刷面を替えて用紙をセットしてください。
- 用紙を大量に購入する場合は、必ず事前に試し印刷をして印刷の状態をご確認ください。また、大量に印刷する場合も、試し印刷をして思い通りの印刷結果になることを確認してください。
- ハガキや封筒などの特殊紙に連続印刷する場合で、思い通りの位置に印刷されなかったり、用紙が二重送りされてしまうようなときは、用紙を 1 枚ずつセットして印刷してください。

印刷できない用紙

給紙ローラ、感光体、定着器の故障の原因となる用紙

- インクジェットプリンタ用特殊紙：スーパーファイン紙、光沢紙、光沢フィルム、郵便ハガキ（インクジェット紙）など
- アイロンプリント紙
- 他のモノクロレーザープリンタ、カラーレーザープリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタなどのプリンタや、複写機で印刷したプレプリント紙
- 他のプリンタで一度印刷した後の裏紙
- 他のカラーレーザープリンタやカラー複写機専用 OHP シート
- モノクロレーザープリンタ用またはモノクロコピー機用以外のラベル紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙、酸性紙、和紙
- 糊、ホチキス、クリップなどが付いた用紙
- 表面に特殊コートが施された用紙、表面加工されたカラー用紙
- バインダ用の穴が開いている用紙
- 貼り合わせた用紙

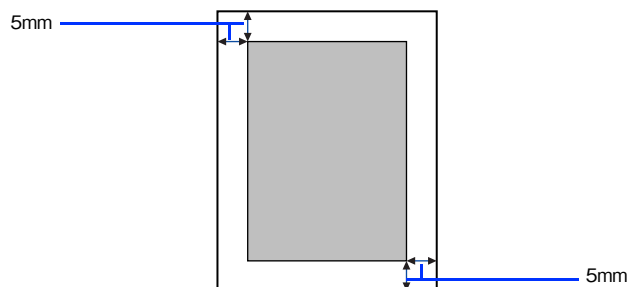
給紙不良、紙詰まりを起こしやすい用紙

- 薄すぎる用紙（63g/m^2 以下）、厚すぎる用紙（164g/m^2 を超える）
- 濡れている（湿っている）用紙
- 表面が平滑すぎる（ツルツル、スベスベしすぎる）用紙、粗すぎる用紙
- 表と裏で粗さが大きく異なる用紙
- 折り跡、カール、破れのある用紙
- 形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
- ミシン目のある用紙
- 簡単にはがれてしまうラベル紙
- 吸湿して波打ちしている用紙を使用している

耐熱温度約 200 度以下で変質、変色する用紙

- 表面に特殊コート（またはプレプリント）が施された用紙

印刷できる領域

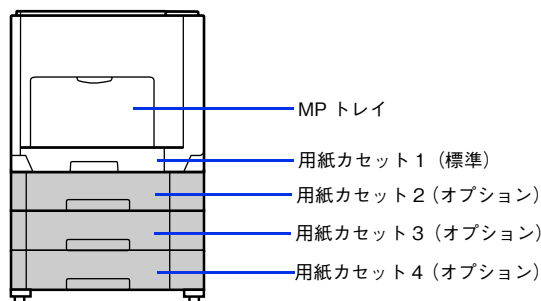
印刷保証領域は、印刷の実行と印刷結果の画質を保証する領域です。用紙の各端面から 5mm を除く領域の印刷を保証します。

アプリケーションソフトによっては印刷可能領域が上記より小さくなる場合があります。

用紙の保管

用紙は次の点に注意して保管してください。

- 直射日光を避けて保管してください。
- 湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙を濡らさないでください。
- 用紙を立てたり、斜めにしないで、水平な状態で保管してください。
- ほこりがつかないよう、包装紙などに包んで保管してください。

給紙装置と用紙のセット方法

本機には、標準装備されている MP トレイと用紙カセットのほかにオプションの増設カセットユニットを 3 段まで装着することができます。

各給紙装置にセットできる用紙サイズと容量

本機の給紙装置で使用できる用紙の種類は次の通りです。特殊紙を使用する場合は、必ず MP トレイにセットしてください。また、特殊紙は用紙別にセット方法や注意事項が異なりますので以下のページを参照してください。

本書 118 ページ「特殊紙への印刷」

給紙方法		用紙種類		用紙サイズ （ ）内は操作パネルの操作パネルでの表記	紙厚	容量 *1
標準装備の給紙装置	MP トレイ	普通紙、EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙		A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Legal（LGL）、Government Letter（GLT）、Government Legal（GLG）、Ledger（B）、Executive（EXE）、F4	64 ～ 90g/m^2	150 枚 *2
		特殊紙	郵便ハガキ	100 × 148mm（はがき）	190g/m^2	50 枚 *2
			往復郵便ハガキ	148 × 200mm（往復はがき）		
			封筒 *3	洋形 0 号、長形 3 号	75 ～ 90g/m^2	15 枚 *2
			ラベル紙	A4	91～163g/m^2	50 枚 *2
			厚紙	A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Legal（LGL）、Government Letter（GLT）、Government Legal（GLG）、Ledger（B）、Executive（EXE）、F4	91～163g/m^2	75 枚 *2
			不定形紙	幅：98.5 ～ 297.0mm 長さ：148.0 ～ 431.9mm	64 ～ 90 g/m^2	150 枚 *2
					91～163g/m^2	75 枚 *2
			EPSON カラーレーザープリンタ用 OHP シート	A4	100g/m^2	60 枚 *2
	用紙カセット	普通紙、EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙		A3、A4、B4、B5、Letter（LT）、Legal（LGL）、Ledger（B）	64 ～ 90g/m^2	250 枚 *4

オプション	増設カセットユニット (LPA3CZ1CU2/ LPA3CZ1CT2/ LPA3CZ1CC2)	普通紙、 EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙	A3、A4、B4、B5、Letter（LT）、Legal（LGL）、Ledger（B）	64 ～ 90g/m[2]	500 枚 *5

*1 セットできる用紙の高さは用紙ガイド内側の最大枚数表示までです。最大枚数表示を超えてセットした場合は、給紙不良などの原因となります。

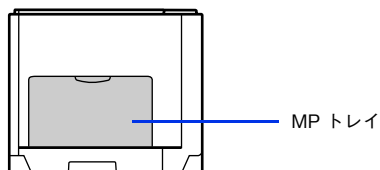
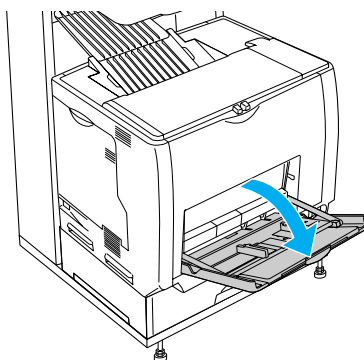
*2 セットできる枚数は使用環境によって異なります。総厚 17mm までセット可能です。

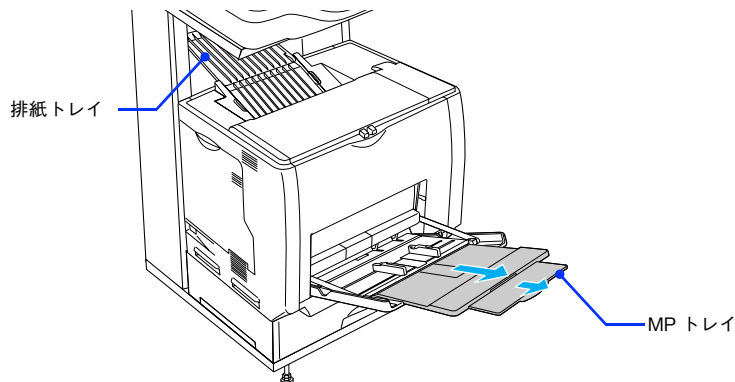
*3 ハート社製レーザープリンタ専用の封筒への印刷をお勧めします。それ以外の封筒では、しわが目立つ場合があります。

*4 セットできる枚数は使用環境によって異なります。総厚 27mm までセット可能です。

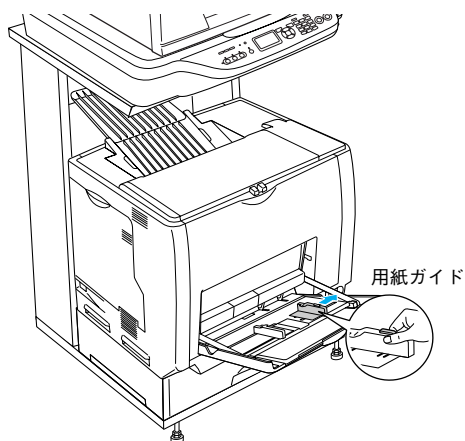
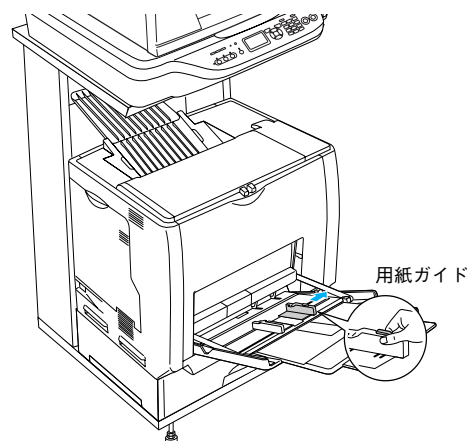
*5 セットできる枚数は使用環境によって異なります。総厚 53mm までセット可能です。

MP トレイへ用紙をセットする

MP トレイは、本機で印刷可能なすべての用紙をセットできる MP トレイ（マルチパーパストレイ）です。

1 **MP トレイを開きます。**

2 **A3、B4、Ledger（B）、Legal（LGL）サイズの用紙をセットする場合は、MP トレイの先端を引き延ばします。**

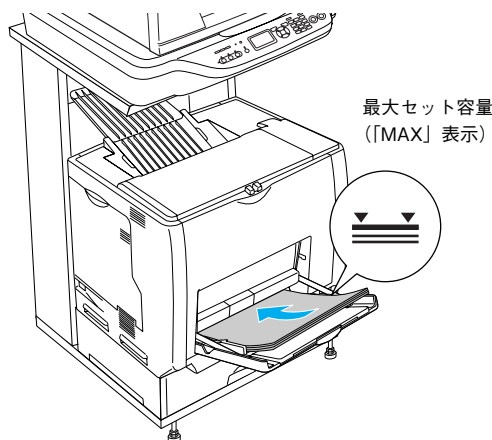
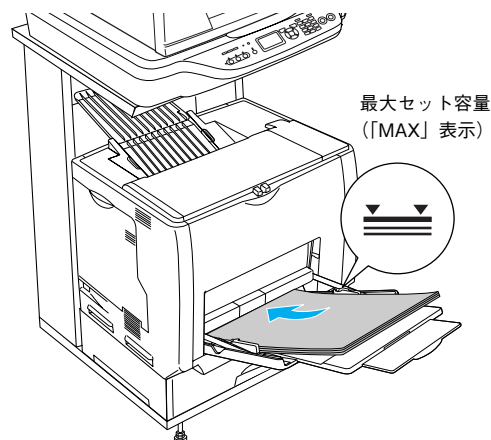
排紙トレイを起こしていない場合は、起こしてください。

3 **用紙ガイドのツマミをつまんで広げます。**

<MP トレイ通常時>

<MP トレイ引き出し時>

4 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を下にして用紙をセットします。

用紙は最大 150 枚（普通紙 64g/m^2）までセットできます。用紙ガイド内側の最大枚数表示を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できない場合があります。

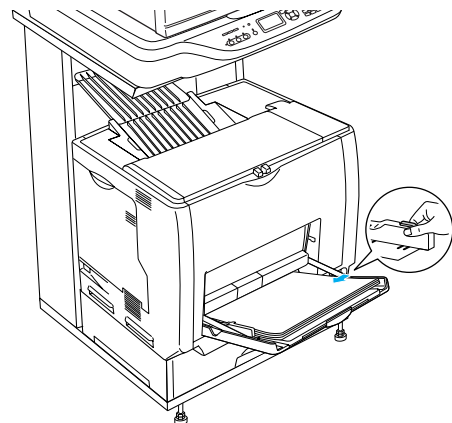
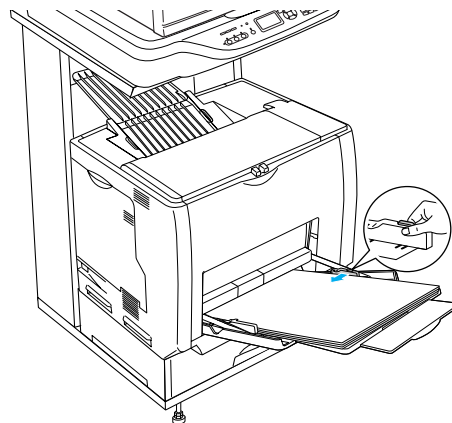
<MP トレイ通常時 >

<MP トレイ引き出し時 >

	MP トレイ通常時	MP トレイ引き出し時
用紙を横長にセット	A4、B5、Letter、Executive、Goverment Letter、封筒（洋形 0 号）	― （この組み合わせはありません）
用紙を縦長にセット	A5、Half-Letter、Government Legal、F4、郵便ハガキ、往復郵便ハガキ、封筒（長形 3 号）	A3、B4、Legal、Ledger

⚠注意　用紙をセットするときは用紙の側面で手をこすってけがをしないように注意してください。薄い用紙の側面は鋭利な状態になっていて危険です。

5 用紙ガイドのツマミをつまんで用紙の端に合わせます。

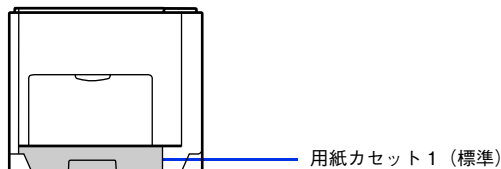
<MP トレイ通常時 >

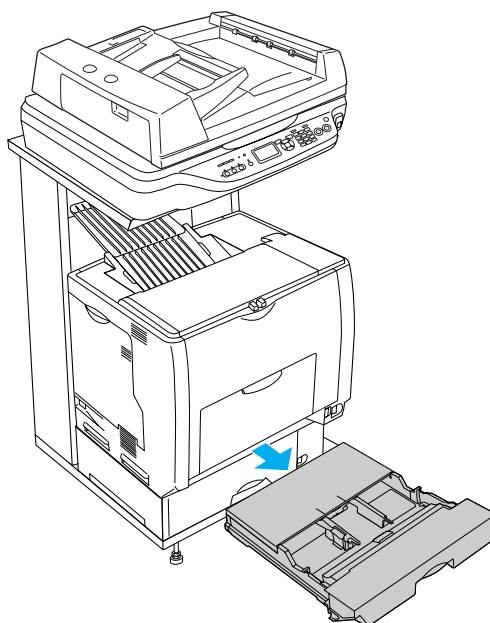
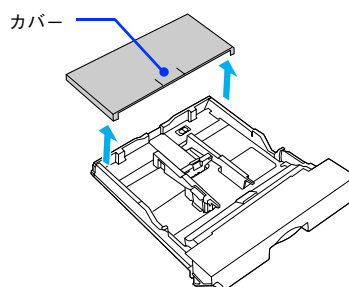
<MP トレイ引き出し時 >

！注意　用紙ガイドは、セットする用紙サイズに必ず合わせてください。用紙サイズに合っていないと、紙詰まりや用紙サイズ関連のエラーが発生する可能性があります。

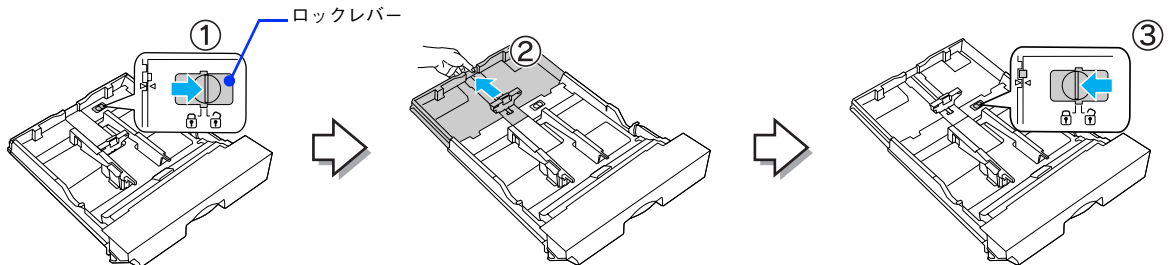
以上で MP トレイへの用紙のセットは終了です。

セットする用紙のサイズを変更した（初期設定は A4）場合は、次の手順に従って用紙サイズを設定してください。用紙サイズを正しく設定しないと思うようにコピーや印刷ができなかったり、エラーが発生します。
☞ 本書 115 ページ「操作パネルで用紙サイズを設定する（MP トレイのみ）」

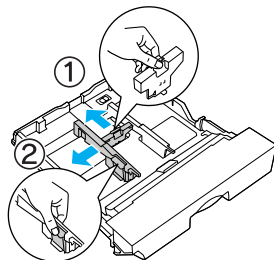
用紙カセット(標準カセット 1)に用紙をセットする

本機に標準装備されている用紙カセットにセットできる用紙の種類や容量については、以下のページを参照してください。
☞ 本書 103 ページ「各給紙装置にセットできる用紙サイズと容量」

用紙カセットの代わりにオプションの用紙カセット（LPA3CYC3）をセットすることができます（LPA3CYC2 はセットできません）。

1 用紙カセットをプリンタから引き出します。

2 用紙カセットのカバー両端を持ち、取り外します。

3 A3、B4、Ledger（B）、Legal（LGL）サイズの用紙をセットする場合は、用紙カセットの後部を引き出します。

① 用紙カセットのロックレバーを図の位置まで移動し、ロックを解除します。
② 用紙カセットの後部を止まるところまで引き出してます。
③ ロックレバーを図の位置まで移動してロックします。用紙をセットする前に、ロックレバーが正しい位置にロックされていることを確認してください。

ロックレバーをロックしないと、正常に印刷できません。

4 用紙ガイド（縦）/（横）をセットする用紙のサイズに合わせ移動します。

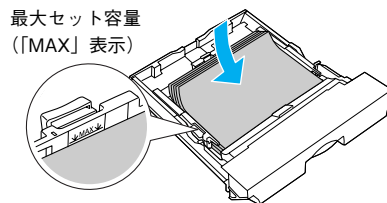
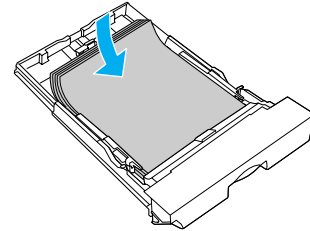
① 用紙ガイド（縦）のツマミをつまんで、セットする用紙サイズに合わせます。
② 用紙ガイド（横）のツマミをつまんで、用紙がセットできるように広げます。
用紙のセット方向は、用紙サイズによって異なります。下表を参照して、用紙ガイド（縦）/（横）を、用紙がセットできるように移動します。

＜用紙カセット通常時＞

＜用紙カセット引き出し時＞

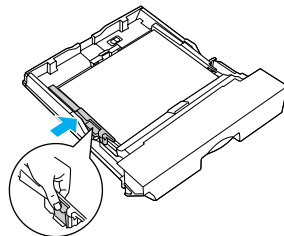
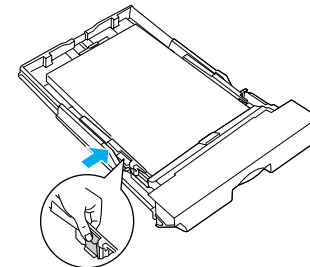
	用紙カセット通常時	用紙カセット引き出し時
用紙を横長にセット	A4、B5、Letter	ー（この組み合わせはありません）
用紙を縦長にセット	ー（この組み合わせはありません）	A3、B4、Legal、Ledger

⚠注意　用紙をセットするときは用紙の側面で手をこすってけがをしないように注意してください。薄い用紙の側面は鋭利な状態になっていて危険です。

5 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上にして用紙をセットします。

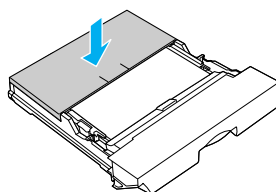
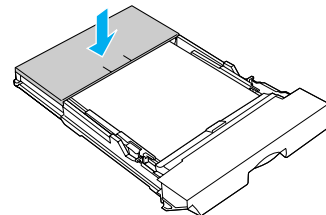
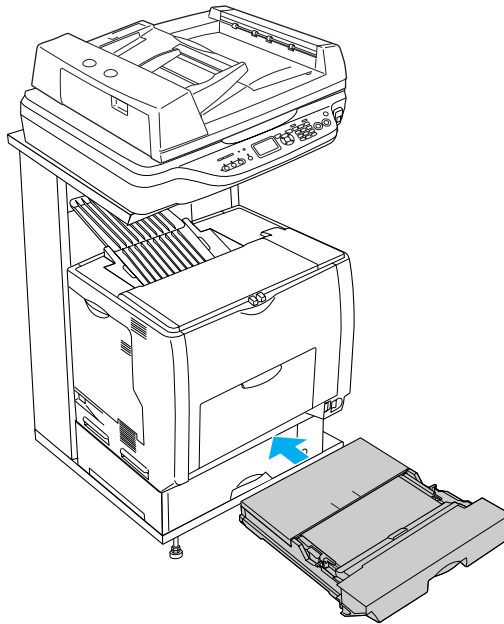
- セットする方向は 4 の表を参照してください。
- 用紙は最大 250 枚（普通紙 64g/m2）までセットできます。用紙ガイド（横）内側の最大枚数表示を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できない場合があります。

<用紙カセット通常時>

<用紙カセット引き出し時>

6 用紙ガイド（横）を用紙の端に合わせます。

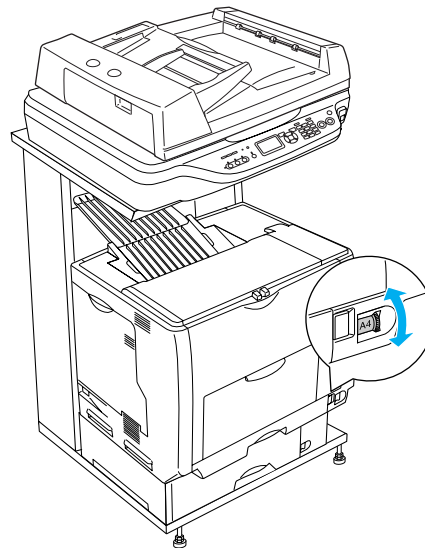
用紙ガイド（横）のツマミをつまんで、用紙サイズに合わせます。

<用紙カセット通常時>

<用紙カセット引き出し時>

用紙ガイドは、セットする用紙サイズに必ず合わせてください。用紙サイズに合っていないと、紙詰まりや用紙関連のエラーが発生する場合があります。

7 用紙カセットのカバーを取り付けます。

<用紙カセット通常時>

<用紙カセット引き出し時>

8 用紙カセットを本機にセットします。

9 ［用紙サイズ設定］ダイヤルを、セットした用紙サイズに設定します。

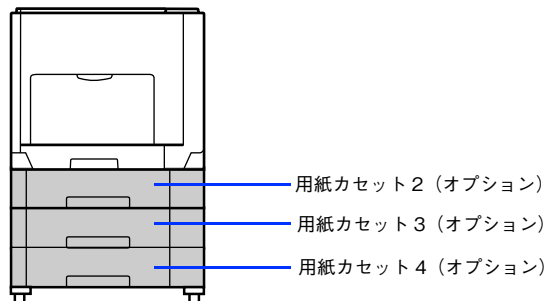
設定できる用紙サイズは、A3、A4、B4、B5、Legal（LG 14"）、Letter（LT）、Ledger（LD17"）です。

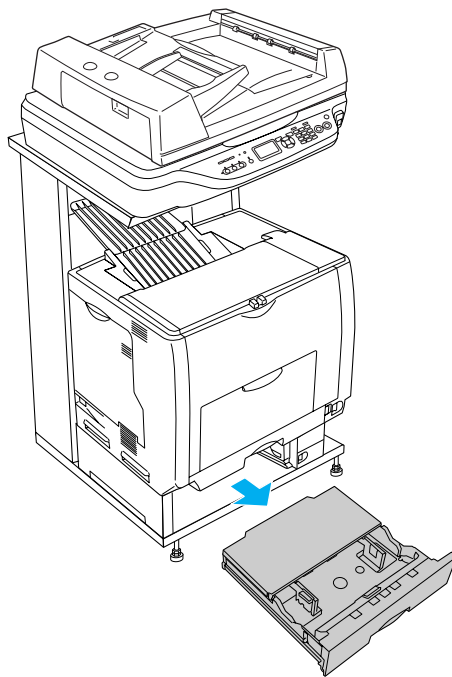
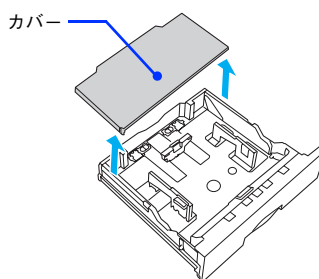
！注意

- 印刷中は［用紙サイズ設定］ダイヤルを操作しないでください。
- ［用紙サイズ設定］ダイヤルは、セットした用紙サイズに合わせて正しく設定してください。正しく設定されていないと用紙関連のエラーが発生したり、意図した印刷結果が得られない場合があります。

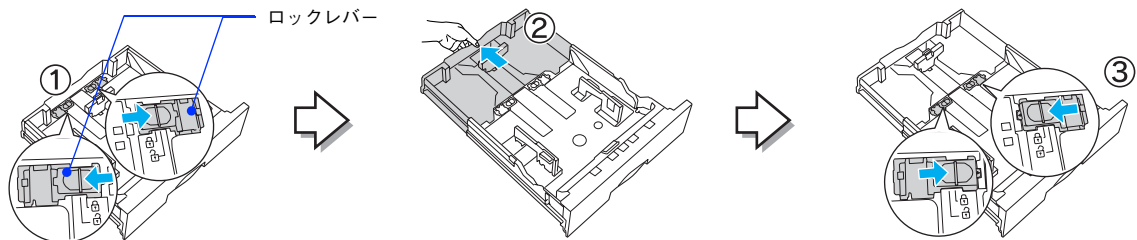
以上で標準用紙カセット 1 への用紙のセットは終了です。

用紙カセット（オプションカセット 2 ～ 4）へ用紙をセットする

本機には標準装備されている用紙カセット 1 のほかに用紙カセットを 3 段まで増設できます。

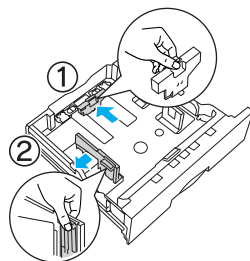
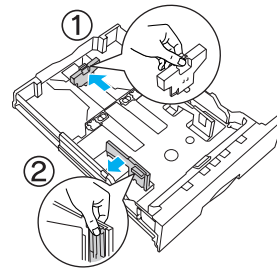
ここでは、プリンタのすぐ下に装着した増設カセットユニット（用紙カセット 2）を図示して説明します。用紙カセット 3 ～ 4 の場合も、同様の手順で用紙をセットしてください。

オプションの増設カセットユニットには、オプションの用紙カセット（LPA3CYC2）をセットすることができます（LPA3CYC1 はセットできません）。

1 **用紙カセットを増設カセットユニットから引き出します。**

2 **用紙カセットのカバー両端を持ち、取り外します。**

3 A3、B4、Ledger（B）、Legal（LGL）サイズの用紙をセットする場合は、用紙カセットの後部を引き出します。

①用紙カセットのロックレバー（2 箇所）を図の位置まで移動し、ロックを解除します。
② 用紙カセットの後部を止まるところまで引き出します。
③ ロックレバー（2 箇所）を図の位置まで移動してロックします。用紙をセットする前に、ロックレバーが正しい位置にロックされていることを確認してください。

ロックレバーをロックしないと、正常に印刷できません。

4 用紙ガイド（縦）/（横）をセットする用紙のサイズに合わせ移動します。

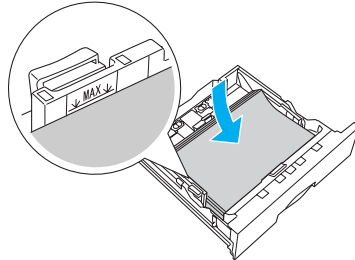
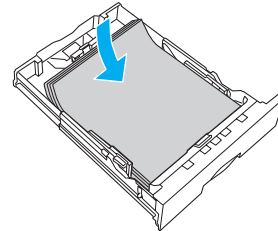
① 用紙ガイド（縦）のツマミをつまんで、セットする用紙サイズに合わせます。
② 用紙ガイド（横）のツマミをつまんで、用紙がセットできるように広げます。

＜用紙カセット通常時＞

＜用紙カセット引き出し時＞

用紙のセット方向は、用紙サイズによって異なります。下表を参照して、用紙ガイド（縦）/（横）を、用紙がセットできるように移動します。

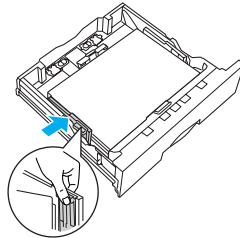
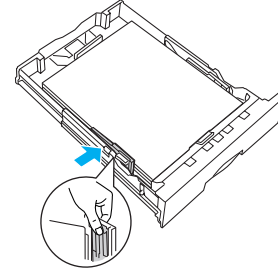
	用紙カセット通常時	用紙カセット引き出し時
用紙を横長にセット	A4、B5、Letter	－（この組み合わせはありません）
用紙を縦長にセット	－（この組み合わせはありません）	A3、B4、Legal、Ledger

⚠注意　用紙をセットするときは用紙の側面で手をこすってけがをしないように注意してください。薄い用紙の側面は鋭利な状態になっていて危険です。

5 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上にして用紙をセットします。

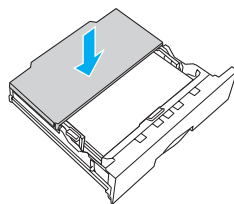
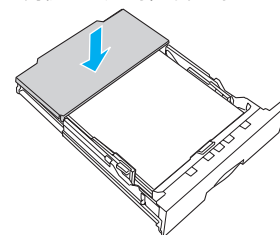
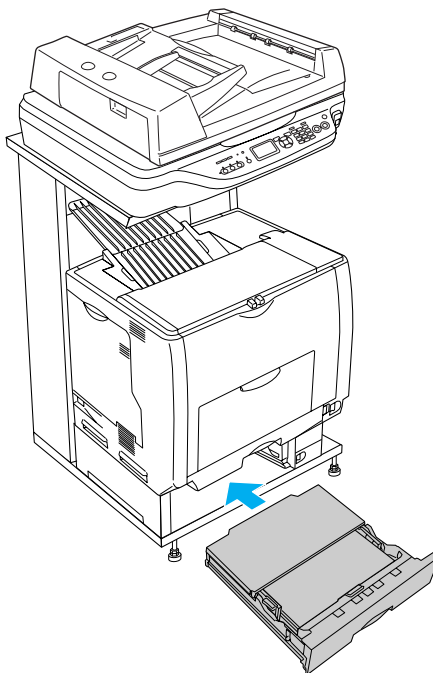
- セットする方向は 4 の表を参照してください。
- 用紙は最大 500 枚（普通紙 64g/m^2）までセットできます。用紙ガイド（横）内側の最大枚数表示を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できない場合があります。

< 用紙カセット通常時 >

< 用紙カセット引き出し時 >

6 用紙ガイド（横）を用紙の端に合わせます。

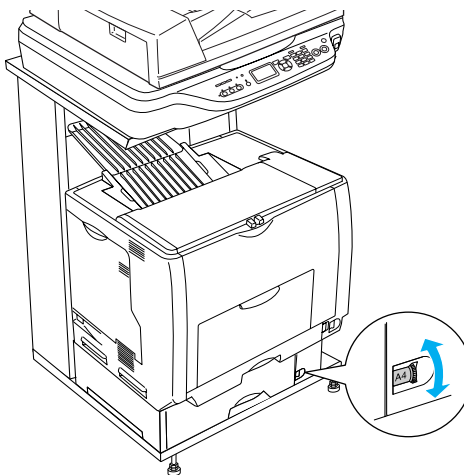
用紙ガイド（横）のツマミをつまんで、用紙サイズに合わせます。

< 用紙カセット通常時 >

< 用紙カセット引き出し時 >

！注意 用紙ガイドは、セットする用紙サイズに必ず合わせてください。用紙サイズに合っていないと、紙詰まりや用紙関連のエラーが発生する場合があります。

7 用紙カセットのカバーを取り付けます。

< 用紙カセット通常時 >

< 用紙カセット引き出し時 >

8 用紙カセットを増設カセットユニットにセットします。

9 ［用紙サイズ設定］ダイヤルを、セットした用紙サイズに設定します。

設定できる用紙サイズは、A3、A4、B4、B5、Legal（LG 14"）、Letter（LT）、Ledger（LD17"）です。

！注意

- 印刷中は［用紙サイズ設定］ダイヤルを操作しないでください。
- ［用紙サイズ設定］ダイヤルは、セットした用紙サイズに合わせて正しく設定してください。正しく設定されていないと用紙関連のエラーが発生したり、意図した印刷結果が得られない場合があります。

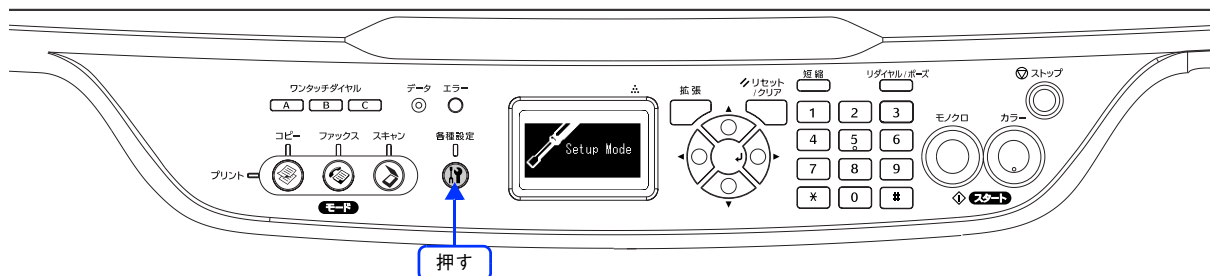
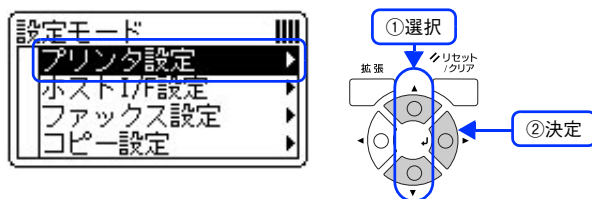
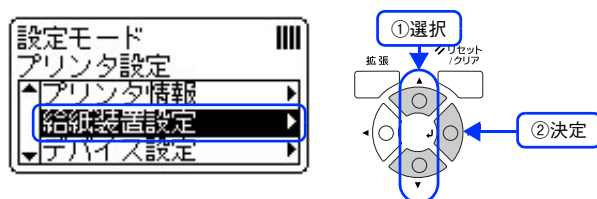
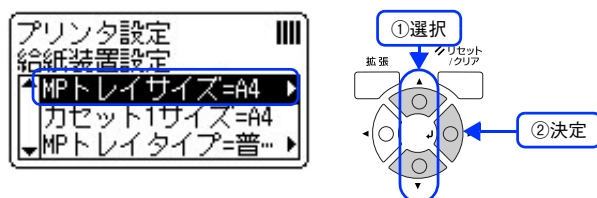
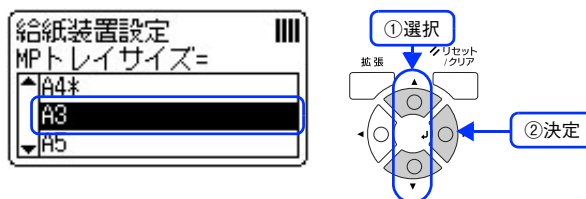
以上でオプション用紙カセット（2～4）への用紙のセットは終了です。

操作パネルで用紙サイズを設定する（MP トレイのみ）

セットする用紙のサイズを変更した（初期設定は A4）場合は、次の手順に従って用紙サイズを設定してください。用紙サイズを正しく設定しないと思うようにコピーや印刷ができなかったり、エラーが発生します。

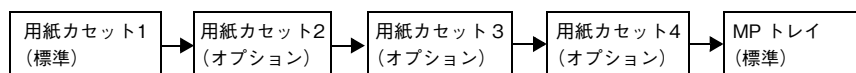
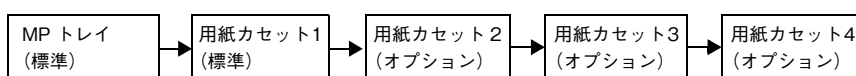
プリンタドライバの［拡張設定］ダイアログで［用紙サイズのチェックをしない］をチェックするとエラーが発生しなくなります。
本書 54 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

1 本機の電源がオン（｜）になっていることを確認します。

2 操作パネルの [各種設定] ボタンを押します。

3 ［ ▼ ］［ ▲ ］ ボタンを押して [プリンタ設定] を選択し、［ ► ］ ボタンを押します。

4 ［ ▼ ］［ ▲ ］ ボタンを押して [給紙装置設定] を選択し、［ ► ］ ボタンを押します。

5 ［ ▼ ］［ ▲ ］ ボタンを押して [MP トレイサイズ] を選択し、［ ► ］ ボタンを押します。

6 ［▼］［▲］ボタンを押してMPトレイにセットしてある用紙のサイズを選択し、［►］ボタンを押します。

以上で操作パネルに用紙サイズが登録されました。

給紙装置の優先順位

プリンタドライバで［給紙装置］を［自動選択］に設定すると、印刷実行時に本機の各給紙装置の用紙サイズ設定を次の順番で調べ、プリンタドライバで設定した用紙サイズと一致するサイズの用紙が設定されている給紙装置から給紙します。初めに見つけた給紙装置の用紙がなくなった場合、同じサイズの用紙が設定されている、次の給紙装置に自動的に切り替えて給紙します。

- 操作パネルの［プリンタ設定］-［デバイス設定］で［MP トレイ優先］を［しない］（初期設定）に設定した場合の優先順位は以下の通りです。

- 操作パネルの［各種設定］-［プリンタ設定］-［デバイス設定］で［MP トレイ優先］を［する］に変更した場合の優先順位は次の通りです。

普通紙の場合、給紙装置を組み合わせることで以下の枚数を連続して給紙できます。

給紙装置の組み合わせ	セット枚数	合計セット枚数
標準 MP トレイ	150 枚	150 枚
標準用紙カセットユニット 1（1 段）	250 枚	400 枚
オプションの増設カセットユニット 2（2 段）装着時	500 枚	900 枚
オプションの増設カセットユニット 3（3 段）装着時	500 枚	1,400 枚
オプションの増設カセットユニット 4（4 段）装着時	500 枚	1,900 枚

特殊紙への印刷

ここでは、ハガキなど特殊紙への印刷方法を説明します。

! 注意	特殊紙に印刷する場合は、次の設定、操作、説明を必ずお守りください。印刷不良の原因となります。

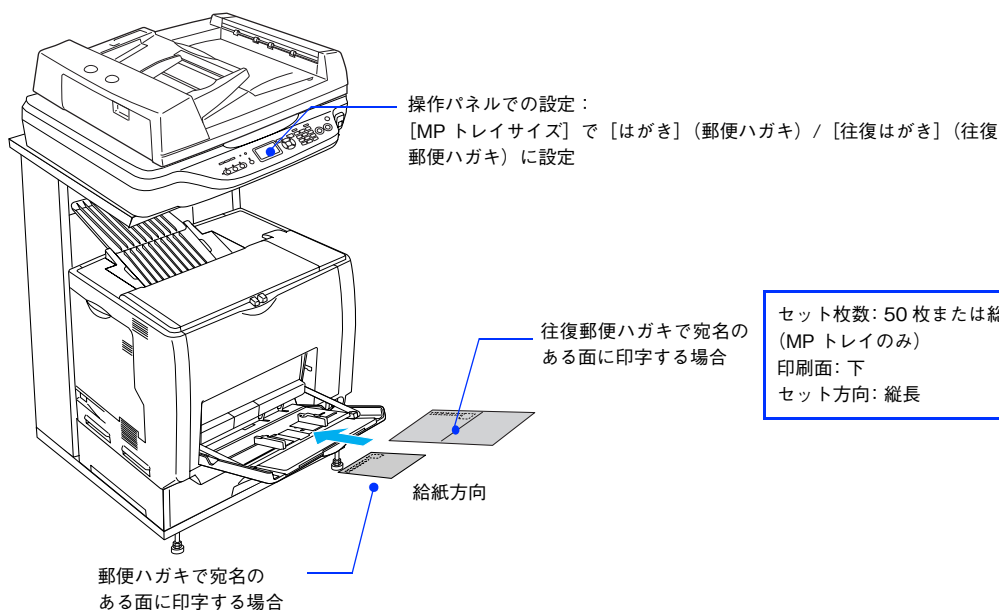
- 特殊紙は、MP トレイにセットしてください。標準用紙カセット 1 や増設用紙カセットユニット（オプション）からの特殊紙の印刷はできません。
- 特殊紙に印刷すると、通常の印刷に比べて印刷速度が遅くなります。これは、特殊紙への良好な印刷を行うために、プリンタ内部で印刷速度の調整を行っているためです。
- ハガキや封筒などの特殊紙に連続印刷する場合で、思い通りの位置に印刷されなかったり、用紙が二重送りされてしまうようなときは、用紙を 1 枚ずつセットして印刷してください。

ハガキへの印刷

郵便ハガキ、往復郵便ハガキが使用できます。

! 注意

往復郵便ハガキは、折り跡のないものを使用してください。
次のハガキは使用しないでください。故障や印刷不良などの原因になります。

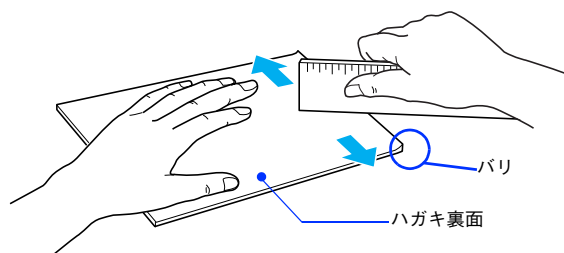
- インクジェットプリンタ用の専用ハガキ
- 表面に特殊コート、糊付けが施されたハガキ、圧着ハガキ
- 熱転写プリンタ、インクジェットプリンタで印刷した後のハガキ
- 中央に折り跡のあるハガキ
- 四面連刷ハガキ、私製ハガキ、絵ハガキなどの厚い（164g/m^2 を超える）ハガキ
- 箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のあるハガキ
- 他のプリンタや複写機で一度印刷したハガキ
- 大きく反っているハガキ（反りを修正してご使用ください。）
- 絵入りハガキを給紙すると、絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラに付着して給紙できなくなる場合があります。

- 両面印刷する場合は、良好な印刷結果を得るために、宛名面を印刷してから、通信面を印刷してください。印刷する前に、同サイズの用紙で試し印刷をして印刷位置や印刷方向などの確認をしてください。
- 奥までしっかりセットしても給紙されなかった場合は、先端を数ミリ上に反らせてセットしてください。
- 裏面（または表面）に印刷したハガキの反対面に印刷する場合は、ハガキの反りを直してからプリンタにセットしてください。
- 印刷する面を下に向けてセットしてください。宛名印字をする場合は、宛名面を下にしてセットします。

プリンタドライバの設定				
用紙種類	OS	ダイアログ	項目	設定値
郵便ハガキ	Mac OS 9	用紙設定	用紙サイズ	[ハガキ]
		プリント	給紙装置	[MP トレイ]
			用紙種類	[指定しない]、[ハガキ（裏面)] *
	Mac OS X（10.2 以降）	ページ設定	用紙サイズ	[ハガキ]
		プリンタの設定（基本設定）	給紙装置	[MP トレイ]
			用紙種類	[指定しない]、[ハガキ（裏面)] *
往復郵便ハガキ	Mac OS 9	用紙設定	用紙サイズ	[往復ハガキ]
		プリント	給紙装置	[MP トレイ]
			用紙種類	[指定しない]、[ハガキ（裏面)] *
	Mac OS X（10.2 以降）	ページ設定	用紙サイズ	[往復ハガキ]
		プリンタの設定（基本設定）	給紙装置	[MP トレイ]
			用紙種類	[指定しない]、[ハガキ（裏面)] *

* 片面印刷後さらにもう一方の面に印刷する場合は、［用紙種類］を［ハガキ（裏面)］に設定してください。

■ ハガキの「バリ」除去

ハガキによっては、裏面に「バリ」(裁断時のかえり) が大きいために、給紙できない場合があります。印刷する前にハガキ裏面を確認し「バリ」がある場合には次の方法に従って除去してください。

ハガキを水平な所に置いて、定規などを「バリ」がある部分に垂直にあてて矢印方向に1～2回こすり、「バリ」を除去します。

！注意 「バリ」除去の際に発生した紙粉をよく払ってから給紙してください。ハガキに紙粉が付着したまま給紙すると、給紙できなくなるおそれがあります。

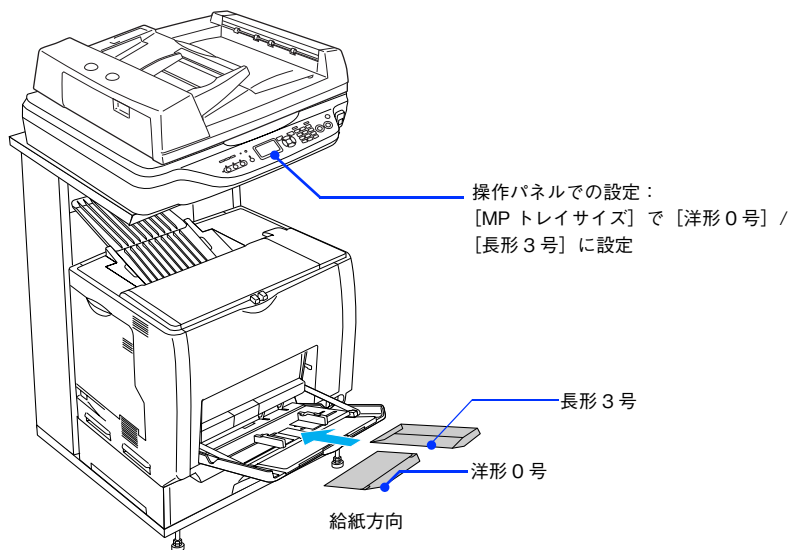
封筒への印刷

本機で使用可能な封筒のサイズは、洋形0号、長形3号のみです。紙厚は75g/m^2～90g/m^{2}のものをお勧めします。封筒の品質は、製造メーカー* によって異なります。また、封筒の紙種、保管および印刷環境、印刷方法によっては、しわが目立つ場合がありますので、事前に試し印刷することをお勧めします。また、大量の封筒を購入する前にも、必ず試し印刷をして、印刷の状態を確認してください。

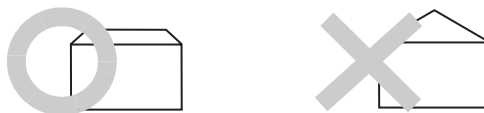
* ハート社製レーザープリンタ専用封筒を推奨します。それ以外の封筒では、しわが目立つ場合があります。

！注意
次の封筒は使用しないでください。故障や印刷不良などの原因になります。特に糊付け加工が施されている封筒は、致命的な故障の原因になる場合がありますので絶対に使用しないでください。

* 封の部分に糊付け加工が施されている封筒
* 箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のある封筒
* リボン、フックなどが付いている封筒
* 他のプリンタや複写機で一度印刷した封筒
* 二重封筒
* 窓付きの封筒
* フラップが開いた状態で148mm以下の封筒
* フラップの形状が三角の封筒
* 耐熱温度約200度以下で変質する可能性のあるインクで印刷がされた封筒

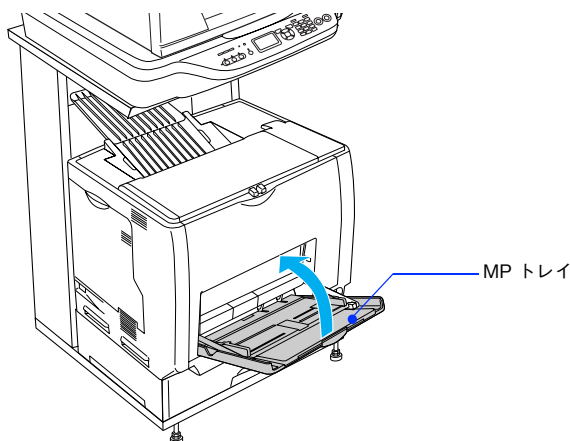
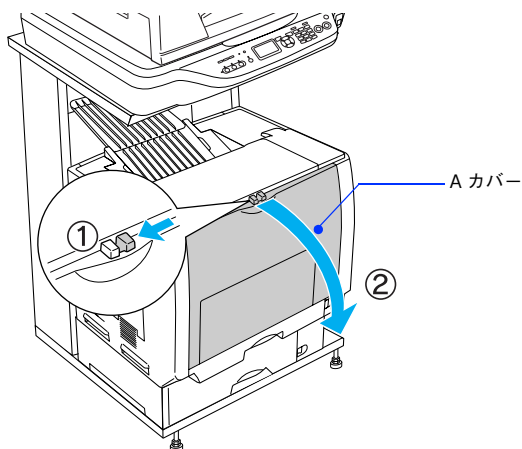
封筒の裏面（フラップ側）へは印刷できません。

セット枚数：15枚または総厚17mm以下（MPトレイのみ）
印刷面：下（封筒裏面を上）
セット方向：長形3号：フラップ部を開いたまま、フラップ部が給紙方向に対して後方になるように縦長にセット
洋形0号：フラップ部を開いたまま、フラップ部が給紙方向に対して後方になるように横長にセット

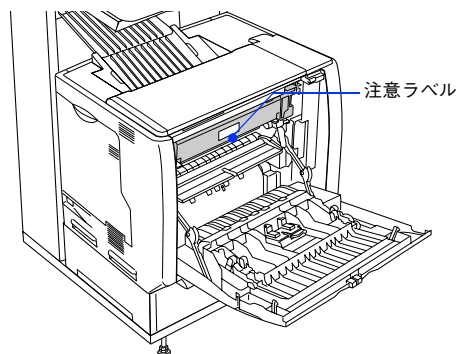
プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Mac OS 9	用紙設定	用紙サイズ	［洋形0号］、［長形3号］
	プリント	給紙装置	［MPトレイ］
Mac OS X（10.2以降）	ページ設定	用紙サイズ	［洋形0号］、［長形3号］
	プリンタの設定（基本設定）	給紙装置	［MPトレイ］

- 奥までしっかりセットしても給紙されなかった場合は、 先端を数ミリ上に反らせてセットしてください。
- フラップの形状が三角の封筒は、正常な給紙や排紙ができません。フラップの形状が台形の封筒をお使いください。また、フラップを折り曲げない状態で用紙長が 148mm より長い封筒 * を使用してください（例：洋形 0 号の封筒の場合、用紙長は 120mm ありますので、28mm より長いフラップが必要です)。ただし、フラップ長が 45mm 以下の封筒を使用してください。
  * ハート社製レーザープリンタ専用の封筒への印刷をお勧めします。

- 印刷結果が思う向きにならない場合は、[180 度回転]［180 度回転印刷］(Mac OS 9) をご利用ください。Mac OS X（10.2 以降）では設定できません。
  ☞ 本書 62 ページ「[用紙設定] ダイアログ（Mac OS 9)」

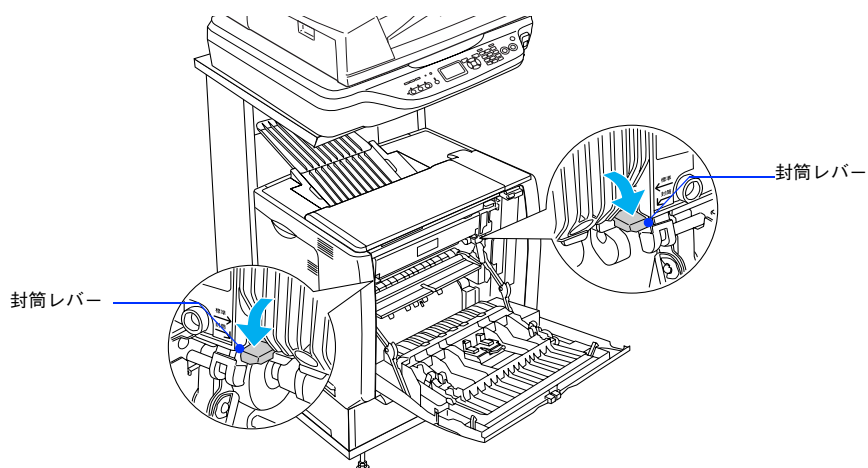
封筒レバーの設定

封筒に印刷する場合は、以下の手順で封筒レバーを設定してください。

1 MP トレイに用紙をセットしてある場合は、用紙を取り除き MP トレイを閉じます。

2 ①ロックを解除して、② A カバーを開けます。

⚠注意

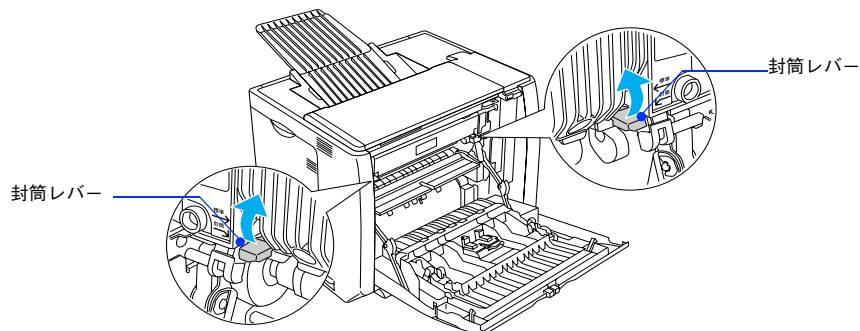
- A カバーを開けたとき、定着器部分に手を触れないようご注意ください。内部は高温（約 200 度以下）になっているため、火傷のおそれがあります。

- プリンタ内部に手を入れるときは十分に注意してください。けがをするおそれがあります。

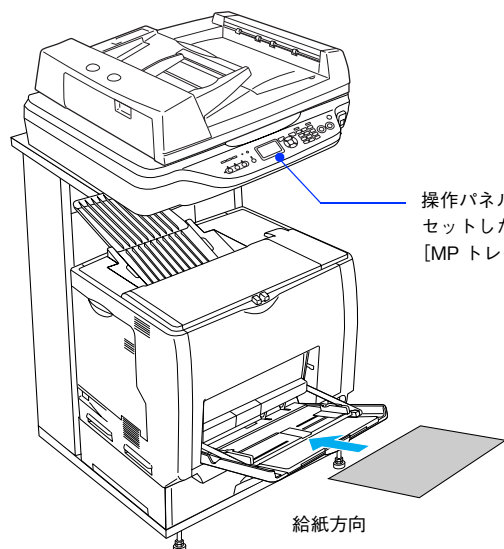
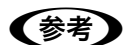
！注意 プリンタ内部のローラやギアには手を触れないでください。故障の原因になります。

3 封筒レバー（左右）を［封筒］に合わせます。

4 A カバーを閉じます。

以上で封筒レバーの設定は終了です。

！注意 封筒以外の用紙に印刷する場合は、封筒レバーを必ず元の位置（［標準］）に戻してください。封筒レバーが正しく設定されていないと、正しく給紙できない場合や、印刷品質が低下する場合があります。

封筒レバー
封筒レバー

厚紙への印刷

本機では、紙厚 91 ～ 163g/m^2 の厚紙を使用できます。厚紙の品質は、製造メーカーによって異なります。大量の厚紙を購入する前や大量の印刷を行う前には、必ず試し印刷をして、印刷の状態を確認してください。

セット枚数：
厚紙：総厚 17mm 以下（MP トレイのみ）
印刷面：下
セット方向：横長または縦長
（用紙サイズにより異なる）

厚紙の裏面へ印刷する場合は、反りを十分直してからセットしてください。

プリンタドライバの設定			
OS	ダイアログ	項目	設定値
Mac OS 9	用紙設定	用紙サイズ	任意の用紙のサイズを設定
	プリント	給紙装置	［MP トレイ］
		用紙種類 *	［厚紙］、［厚紙（裏面）］
Mac OS X（10.2 以降）	ページ設定	用紙サイズ	任意の用紙のサイズを設定
	プリンタの設定（基本設定）	給紙装置	［MP トレイ］
		用紙種類 *	［厚紙］、［厚紙（裏面）］

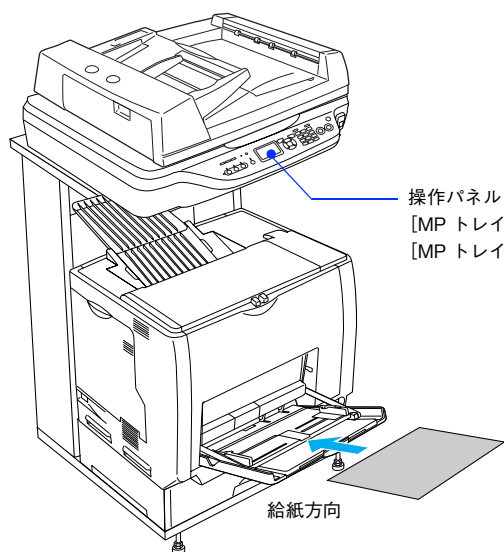
* 紙厚が 106 ～ 163g/m^2 の場合は［厚紙］または［厚紙（裏面）］に設定してください。なお、片面印刷後にさらにもう一方の面に印刷する場合はそれぞれ［・・・（裏面）］に設定してください。

ラベル紙への印刷

本機では、A4 サイズのラベル紙（レーザープリンタ用またはコピー機用のラベル紙）のみを印刷することができます。ラベル紙の品質は、製造メーカーによって異なります。大量のラベル紙を購入する前や大量の印刷を行う前には、必ず試し印刷をして、印刷の状態を確認してください。

！注意

次のラベル紙は使用しないでください。故障の原因になります。

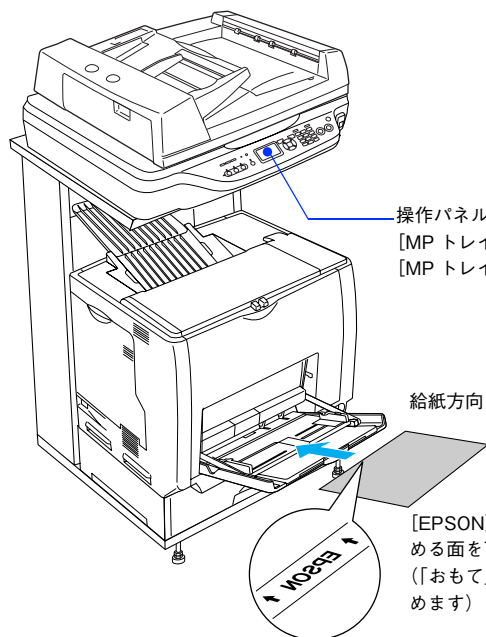
- 簡単にはがれてしまうラベル紙
- 一部がはがれているラベル紙
- 糊がはみ出しているラベル紙
- 台紙全体がラベルで覆われていない（台紙がむき出しになっている）ラベル紙
- インクジェットプリンタ用のラベル紙

セット枚数: 50 枚または総厚 17mm 以下
（MP トレイのみ）
印刷面: ラベルが貼ってある面を下
セット方向: 縦長

プリンタドライバの設定			
OS	**ダイアログ**	**項目**	**設定値**
Mac OS 9	用紙設定	用紙サイズ	［A4］
	プリント	給紙装置	［MP トレイ］
		用紙種類	［ラベル］
Mac OS X（10.2 以降）	ページ設定	用紙サイズ	［A4］
	プリンタの設定（基本設定）	給紙装置	［MP トレイ］
		用紙種類	［ラベル］

OHP シートへの印刷

本機では、EPSON カラーレーザープリンタ専用 OHP シート（型番：LPCOHPS1/ サイズ：A4）を使用してください（以降「専用 OHP シート」と記載）。

！注意

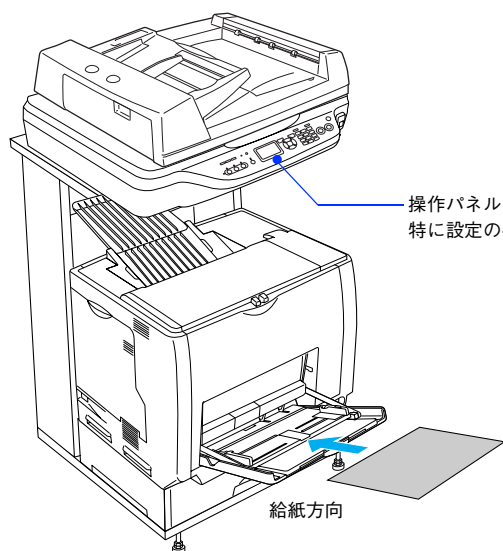
- 専用 OHP シートは、手の脂が付かないように、手袋をはめるなどして取り扱ってください。OHP シートに手の脂が付着すると、印刷不良の原因になる場合があります。
- 印刷直後の専用 OHP シートは熱くなっていますので注意してください。
- 専用 OHP シートには裏表がありますので、下図を参考に表面を上に向けてセットしてください。

セット枚数: 60 枚または総厚 17mm 以下（MP トレイのみ）
印刷面: 下（左図参照）
セット方向: 縦長

ヒサゴ社製「インクジェット用保護フィルム」を使用すると、専用 OHP シートの光の透過性が向上し、よりきれいに投影することができます。

プリンタドライバの設定			
OS	**ダイアログ**	**項目**	**設定値**
Mac OS 9	用紙設定	用紙サイズ	[A4]
	プリント	給紙装置	[MP トレイ]
		用紙種類	[OHP シート]
Mac OS X（10.2 以降）	ページ設定	用紙サイズ	[A4]
	プリンタの設定（基本設定）	給紙装置	[MP トレイ]
		用紙種類	[OHP シート]

不定形紙への印刷

本機で使用できる不定形紙のサイズは、用紙幅 98.5 ～ 297.0mm、用紙長 148.0 ～ 431.9mm です。大量の不定形紙を購入する前には、必ず試し印刷をして、印刷の状態をご確認ください。

! 注意 不定形紙に印刷する場合は、必ずプリンタドライバの［ユーザー定義サイズ］で用紙サイズを指定してください。用紙サイズの異なる定形紙などを選択して印刷し続けた場合、プリンタ内部の定着器が破損する場合があります。

セット枚数（紙厚によって異なる）
紙厚 64 ～ 90g/m^2：150 枚または総厚 17mm 以下（MP トレイのみ）
紙厚 91 ～ 163g/m^2：75 枚または総厚 17mm 以下（MP トレイのみ）
印刷面：下
セット方向：横長または縦長（用紙サイズにより異なる）

プリンタドライバの設定			
OS	ダイアログ	項目	設定値
Mac OS 9	用紙設定	用紙サイズ	［カスタム用紙］で設定
	プリント	給紙装置	［MP トレイ］
		用紙種類	セットした用紙の種類に合わせて設定 *
Mac OS X（10.2 以降）	ページ設定	用紙サイズ	［カスタム用紙サイズ］で設定
	プリンタの設定（基本設定）	給紙装置	［MP トレイ］
		用紙種類	セットした用紙の種類に合わせて設定

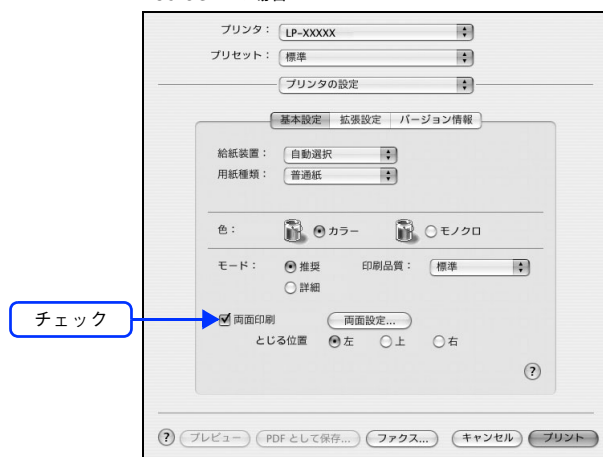
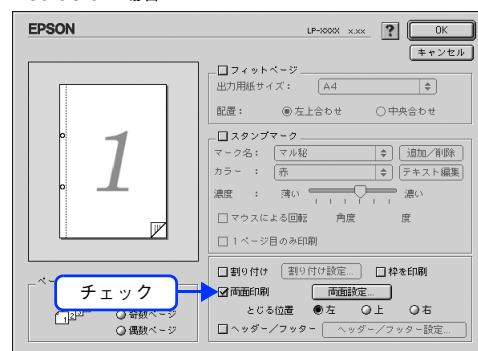
両面印刷について

本機は自動で用紙の両面に印刷できる機能を標準搭載しているため、次の用紙に自動両面印刷することができます。

用紙種類	用紙サイズ
普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき	A3、A4、B4、B5、Letter（LT）、Legal（LGL）、Executive（EXE）、Government Legal（GLG）、Government Letter（GLT）、Ledger（B）、F4

両面印刷を行う場合は、プリンタドライバで次の設定を行います。

- Mac OS X：［基本設定］ダイアログを開いて、［両面印刷］をチェックします。
  本書 58 ページ「［両面印刷］ダイアログ」
- Mac OS 9：［レイアウト］ダイアログを開いて、［両面印刷］をチェックします。
  本書 75 ページ「［レイアウト］ダイアログ」

Mac OS X の場合

Mac OS 9 の場合

両面印刷時の注意事項

- 用紙の表側に印刷するデータと用紙の裏側に印刷するデータで用紙サイズの設定が異なる場合は、両面印刷できません。この場合、両方とも用紙の表側に印刷して出力します。
- A5、Half Letter（HLT）、不定形サイズの用紙および特殊紙には両面印刷できません。

自動両面印刷時に用紙詰まりが発生する場合は、給紙方向の用紙の余白を 10mm 以上に設定してください。

用紙タイプ選択機能

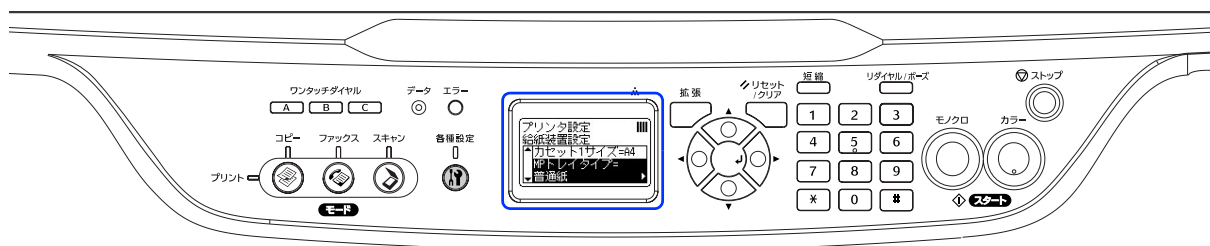
用紙タイプ選択機能を用いると、印刷実行時に各給紙装置の用紙サイズとタイプを調べ、目的の用紙がセットされている給紙装置から自動的に給紙できるようになります。これにより同サイズの異なるタイプ（種類）の用紙をセットしている場合などの誤給紙を防ぐことができます。用紙タイプ選択機能を使用するには、次の手順に従ってください。

1 各給紙装置にセットした用紙のタイプを設定します。

操作パネルで［各種設定］ボタンを押して設定モードに入り、［プリンタ設定］－［給紙装置設定］－［MP トレイタイプ］と［カセット 1 ～ 4 タイプ］から使用する給紙装置の用紙タイプを設定します。

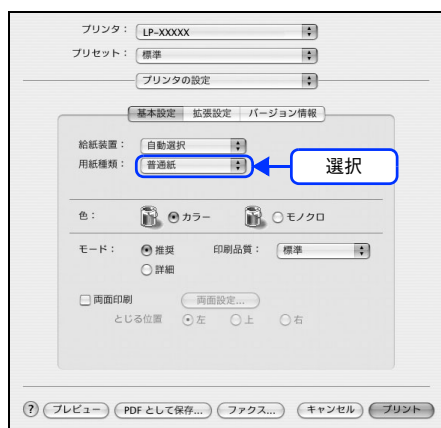
設定値：普通紙、レターヘッド、再生紙、色付き、OHP シート*、ラベル*

＊［給紙装置設定］で［カセット 1 ～ 4 タイプ］を選択した場合は、設定できません。

活用ガイド「付録」-「操作パネルによる設定 / 確認」-「プリンタ設定の項目一覧」

2 印刷実行時に、使用する用紙のタイプをプリンタドライバの［用紙種類］から選択します。

印刷を実行すると、指定した用紙がセットされている給紙装置から自動的に給紙します。

Mac OS X：本書 51 ページ「［プリンタの設定］ダイアログ」
Mac OS 9：本書 63 ページ「［プリント］ダイアログ（Mac OS 9）」

Mac OS X の場合

Mac OS 9 の場合

［用紙種類］を選択すると［給紙装置］が自動的に選択されるので、［給紙装置］を選択する必要はありません。

5 困ったときは

プリンタとして使用する場合の、困ったときの対処方法を説明しています。

印刷実行時のトラブル

トラブル状態	対処方法
本機の電源が入らない	**電源コードが抜けていたり、ゆるんでいませんか？** 電源コードをプリンタとコンセントに、確実に差し込んでください。 **コンセントに電源は来ていますか？** コンセントがスイッチ付きの場合はスイッチをオンにします。ほかの電化製品をそのコンセントに差し込んで、動作するかどうか確かめてください。 **正しい電圧（AC100V、15A）のコンセントに接続していますか？** コンセントの電圧を確かめて、正しい電圧で使用してください。 コンピュータの背面などに設けられているコンセントには接続しないでください。
ブレーカが動作してしまう	**ブレーカの定格は十分ですか？** ブレーカの定格が十分であるにもかかわらずブレーカが動作してしまう場合は、他の機器を別の配線に接続してみてください。または本機用に専用配線を用意してください

トラブル状態	対処方法
印刷できない	**インターフェイスケーブルが外れていませんか？** 本機側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないかを確認してください。予備のケーブルをお持ちの方は、差し替えてご確認ください。 **インターフェイスケーブルがコンピュータや本機の仕様に合っていますか？** インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類や本機の仕様に合ったケーブルか確認します。 ☞活用ガイド「オプションと消耗品の紹介」 **本機がデータを処理できません。** 扱うデータ容量が大きすぎるなどの原因のため、本機側でデータの処理ができません。本機にメモリを増設するか、印刷品質（解像度）を下げて印刷してください。 **本機が印刷できない状態です。** 本機の操作パネルの表示、またはランプの状態を確認します。以下のページを参照して、エラーを解除してください。 ☞活用ガイド「困ったときは」-「操作パネルにメッセージが出る」 **コンピュータが画像を処理できません。** コンピュータの CPU やメモリによっては画像データを処理できない場合があります。印刷品質（解像度）を下げて印刷するか、メモリを増設してください。 **ネットワーク上の設定は正しいですか？** • ネットワーク上のほかのコンピュータから印刷できるか確認してください。ほかのコンピュータから印刷できる場合は、プリンタまたはコンピュータ本体に問題があると考えられます。接続状態やプリンタドライバの設定、コンピュータの設定などを確認してください。印刷できない場合は、ネットワークの設定に問題があると考えられます。ネットワーク管理者にご相談ください。 • 同梱の『ネットワーク設定ガイド』（PDF）を参照して、ネットワークの設定を確認してください。 **プリンタドライバの［印刷品質］の設定が［高品質］になっていませんか？** ［高品質］に設定されている場合は、解像度 600dpi で印刷します。この設定で印刷すると本機のメモリが足りなくなり、メモリ関連のエラーが発生する場合があります。［印刷品質］を［標準］（300dpi）にすると印刷できる場合があります。 ☞Mac OS X：本書 46 ページ「［プリント］ダイアログ（Mac OS X）」 ☞Mac OS X：本書 55 ページ「［詳細設定変更］ダイアログ」 ☞Mac OS 9：本書 63 ページ「［プリント］ダイアログ（Mac OS 9）」 ☞Mac OS 9：本書 69 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

トラブル状態	対処方法
印刷できない（続き）	**Mac OS X** お使いのプリンタが［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］の［プリンタリスト］に追加されているか、また複数のプリンタが追加されている場合は通常使うデフォルトプリンタとして選択されているか（プリンタ名が太文字で表示されているか）確認してください。 **Mac OS 9** お使いの機種のプリンタドライバが、［セレクタ］で正しく選択されているか、選択したプリンタが実際に接続したプリンタと合っているか確認してください。 < USB 接続の場合> <ネットワーク接続の場合>

トラブル状態	対処方法
印刷できない（続き）	**Mac OS X でプリンタが一時停止になっていませんか？** Mac OS X の場合、［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］でプリンタが一時停止なっていると、印刷を実行してもメッセージが表示されてそのままでは印刷できません。 ［続ける］をクリックすると、プリンタ作業が再開されます。［続ける］をクリックしても印刷が再開されない場合や、［キューに追加］をクリックした場合は、次の手順に従ってください。 ①［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］を開きます（印刷実行時は「Dock」から開けます）。 ②プリンタ名（LP-M5500）をダブルクリックします。 ③［ジョブを開始］をクリックします。

トラブル状態	対処方法
本機がエラー状態になっている	**コンピュータ画面上にワーニングメッセージやエラーメッセージが表示されていませんか？** 問題が発生すると、コンピュータの画面上にポップアップウィンドウが開き、ワーニングメッセージやエラーメッセージが表示されます。メッセージが表示されている場合は、その内容に従って必要な処理を行ってください。 **操作パネルにワーニングメッセージやエラーメッセージが表示されていませんか？** ワーニングメッセージやエラーメッセージが表示されていたら、以下のページを参照して適切な処置をしてください。 ☞活用ガイド「困ったときは」-「操作パネルにメッセージが出る」
Mac OS でプリンタを選択していない	**正しいプリンタドライバが選択されていますか？** **Mac OS X** ［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］で本機のプリンタドライバをデフォルトプリンタとして選択するか、［プリント］ダイアログで本機を選択してください。 ☞本書 8 ページ「印刷を始める前に」 ☞本書 46 ページ「［プリント］ダイアログ（Mac OS X）」 **Mac OS 9** ［セレクタ］で本機のプリンタドライバと正しい接続ポートを選択してください。 ☞本書 8 ページ「印刷を始める前に」 **正しいゾーン、プリンタが選択されていますか？** **Mac OS X** AppleTalk ゾーンを設定したネットワークに接続されている本機を、［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］の［EPSON AppleTalk］から追加する場合は、本機が接続されているゾーンを管理者の方に確認して、［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］で正しい［AppleTalk Zone］を選択して本機を追加してください。 ☞本書 8 ページ「印刷を始める前に」 **Mac OS 9** AppleTalk ゾーンを設定したネットワークに接続されている本機を選択する場合は、本機が接続されているゾーンを管理者の方に確認して、［セレクタ］で正しい［AppleTalk ゾーン］と本機を選択してください。 ☞本書 8 ページ「印刷を始める前に」

トラブル状態	対処方法
Mac OS でプリンタが認識されない	**QuickDraw GX を使用していませんか？** 本プリンタドライバは、Mac OS 9 の QuickDraw GX に対応していません。QuickDraw GX を使用停止にしてください。 ☞本書 97 ページ「システム条件」 **Mac OS X で AppleTalk が有効になっていますか？** ［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］で［EPSON AppleTalk］を選択して本機を追加する場合は、AppleTalk がオン（使用可能）である必要があります。Mac OS X では AppleTalk はオフ（使用しない）に初期設定されています。AppleTalk が使用できない場合は、［システム環境設定］から［ネットワーク］を開き、［ApplTalk］タブで使用可能になっているか確認してください。 **AppleTalk ネットワークゾーンの設定が違いませんか？** Mac OS X AppleTalk ゾーンを設定したネットワークに接続されている本機を、［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］の［EPSON AppleTalk］から追加する場合は、本機が接続されているゾーンを管理者の方に確認の上、正しく追加してください。 ☞本書 8 ページ「印刷を始める前に」 Mac OS 9 AppleTalk ゾーンを設定したネットワークに接続されている本機を選択する場合は、本機が接続されているゾーンを管理者の方に確認の上、正しく選択してください。 ☞本書 8 ページ「印刷を始める前に」 **プリンタ名またはホスト名､IP アドレスを変更していませんか？** 変更したプリンタ名またはホスト名、IP アドレスネットワークを管理者に確認して、正しいプリンタを選択または追加してください。 ☞本書 8 ページ「印刷を始める前に」

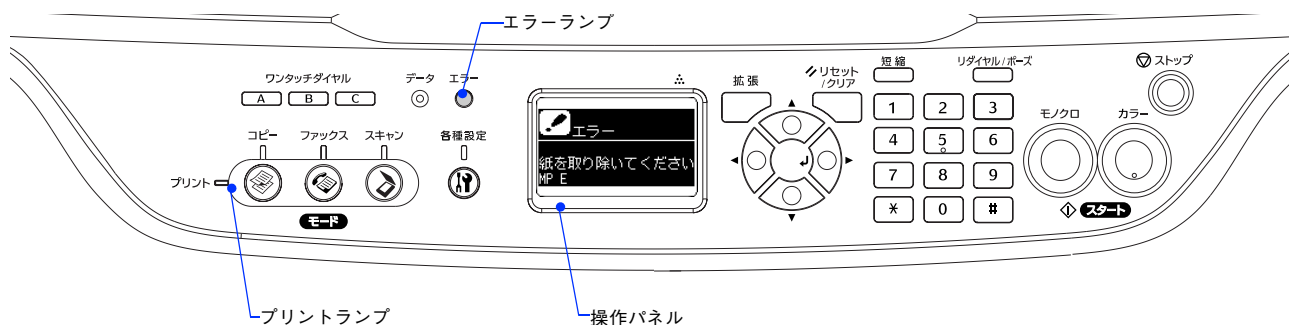
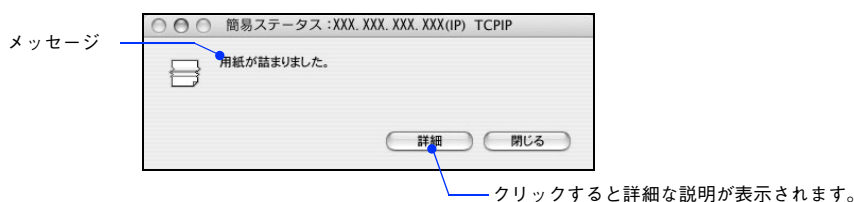
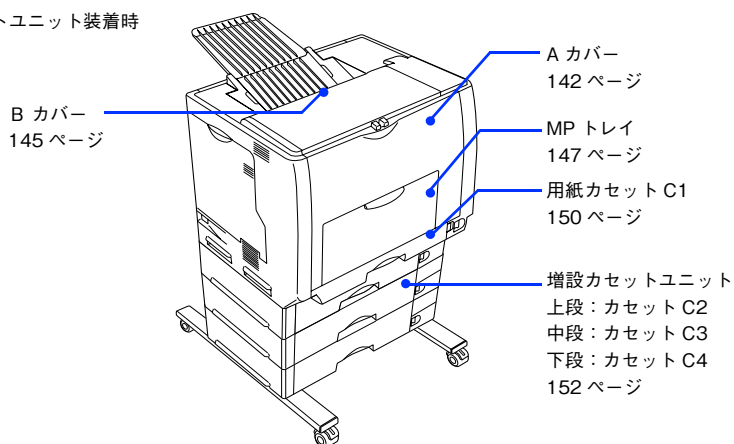
トラブル状態	対処方法
エラーが発生する	**本機のメモリ容量は十分ですか？** メモリが足りないとメモリ関連のエラーが発生します。次のいずれかの方法でエラーを回避して印刷できる場合があります。 • カラー印刷では、データの保存（圧縮）形式を変える（例：JPEG 形式のような非可逆圧縮を使用し、データ容量を減らす）。 • プリンタドライバの［印刷品質］を［標準］に設定する。 ☞Mac OS X：本書 46 ページ「［プリント］ダイアログ（Mac OS X）」 ☞Mac OS X：本書 55 ページ「［詳細設定変更］ダイアログ」 ☞Mac OS 9：本書 63 ページ「［プリント］ダイアログ（Mac OS 9）」 ☞Mac OS 9：本書 69 ページ「［詳細設定］ダイアログ」 • 使用していないインターフェイスを［使わない］に設定する。 ☞活用ガイド「付録」-「操作パネルによる設定 / 確認」-「ホスト I/F 設定」 上記の方法でメモリエラーを回避できない場合は、本機へのメモリの増設をお勧めします。メモリエラーを回避できる場合があります。
エラーが発生する	**Mac OS をお使いの場合、正しいバージョンの OS を使用していますか？** プリンタドライバの動作可能環境は、Mac OS 9 または Mac OS X（10.2 以降）です。 ☞本書 97 ページ「システム条件」 **Mac OS 9 のシステムメモリの空き容量は十分ですか？** Mac OS 9 用のプリンタドライバは、コンピュータのシステムメモリの空きエリアを使用してデータを処理します。コントロールパネルの RAM キャッシュを減らしたり、使用していないアプリケーションソフトを終了して、メモリの空き容量を増やしてください。
オプションの増設カセットユニットが認識されない	**増設カセットユニット背面のコネクタがプリンタ部に接続されていますか？** コネクタが接続されていないと増設カセットユニットが認識されず、増設カセットユニットからの給紙ができません。コネクタが確実に接続されていることを確認してください。 ☞活用ガイド「オプションと消耗品」-「オプションの装着方法」

トラブル状態	対処方法
給排紙されない	**本機の底面より小さな台の上に設置していませんか？** 本機の底面より小さな台の上に設置すると正常な給排紙ができません。本機の設置場所を確認してください。 **本機は水平な場所に設置されていますか？ 本機の下にはさまれている物はありませんか？** 設置場所が水平でなかったり、本機の下に異物がはさまれていると正常に排紙されない場合があります。設置場所の環境を再確認してください。 **本機で印刷可能な用紙を使用していますか？** 印刷可能な用紙を使用してください。 本書 99 ページ「印刷できる用紙の種類」 **両面印刷時に、両面印刷可能な用紙を使用していますか？** 両面印刷で使用できる用紙は、以下のページを参照してください。 本書 127 ページ「両面印刷について」 **セットする前に用紙をさばきましたか？** 複数枚セットする際に、用紙をさばいてからセットすると給紙時の問題が発生しなくなる場合があります。 **用紙カセットが正しくセットされていますか？** 増設 1 段カセットユニット装着時は、用紙カセットを正しくセットしてください。 本書 111 ページ「用紙カセット（オプションカセット 2 ～ 4）へ用紙をセットする」 **セットしている用紙とプリンタドライバの設定は一致していますか？** ステータスシートまたは操作パネルで、MP トレイ / 用紙カセットの用紙サイズを確認してください。 MAC OS X：本書 45 ページ「［ページ設定］ダイアログ（Mac OS X）」 MAC OS 9：本書 62 ページ「［用紙設定］ダイアログ（Mac OS 9）」 操作パネル　：本書 115 ページ「操作パネルで用紙サイズを設定する（MP トレイのみ）」 操作パネル：本書 167 ページ「ステータスシート（簡易版）を印刷する」 **プリンタドライバで使用したい給紙装置を選択していますか？** プリンタドライバで使用する給紙装置を選択してください。 Mac OS X：本書 46 ページ「［プリント］ダイアログ（Mac OS X）」 Mac OS 9：本書 63 ページ「［プリント］ダイアログ（Mac OS 9）」 **アプリケーションソフトの給紙装置の設定は合っていますか？** 給紙装置の設定は、アプリケーションソフトの設定が優先する場合があります。アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して給紙装置の設定を確認してください。

トラブル状態	対処方法
給排紙されない（続き）	**給紙ローラが汚れていませんか？** 給紙ローラを拭いてください。 ☞活用ガイド「メンテナンス」-「本機の清掃」-「給紙ローラを清掃する」 **ハガキ、封筒、厚紙の先端が下向きに反っていませんか？** 先端を数ミリ上に反らしてからセットしてください。
紙詰まりエラーが 解除されない	**詰まった用紙をすべて取り除きましたか？** カバー付近を確認してください。それでもエラーが解除されない場合は用紙を取り除く際に用紙が破れてプリンタ内部に残っているかもしれません。このような場合には無理に取り除こうとせずに、保守契約店（保守契約されている場合）または販売店にご連絡ください。
用紙を二重送りしてしまう	**用紙どうしがくっついていませんか？** 用紙がくっついて給紙される場合は、用紙をよくさばいてください。ラベル紙の場合は、1 枚ずつセットしてください。 **ハガキや封筒の先端が下向きに反っていませんか？** 先端を数ミリ上に反らしてからセットしてください。 **本機に合った用紙を使用していますか？** 用紙の仕様を確認し、印刷可能な用紙をお使いください。 ☞本書 99 ページ「印刷できる用紙の種類」
用紙がカールする	**正しい印刷面へ印刷していますか？** 特に印刷面の指定がない場合でも、逆の面へ印刷することによって用紙がカールしなくなることがあります。印刷面を変えて印刷してみてください。
定着部での紙詰まりが連続して発生する	**定着ローラが汚れている可能性があります。** 次の手順で定着ローラを清掃します。 ①詰まった用紙があれば取り除きます。 ②［ストップ］ボタンを押して、印刷データをキャンセルします。 ③A4 サイズ 1 ページ分のデータを作成します。 用紙の下半分に数文字程度のテキストが入っているモノクロのデータを作成してください。 ④本機に A4 サイズの用紙を 5 枚以上セットします。 ⑤プリンタドライバの設定を次のようにします。 用紙種類：［厚紙］を選択 用紙サイズ：セットした用紙サイズを選択 部単位印刷：［5］を指定 ⑥③で作成したデータを印刷します。 上記の作業を行ってもまだ汚れが残る場合は、同じ作業を繰り返し行ってください。

トラブル状態	対処方法
「通信エラーが発生しました」と表示される	**本機の電源が入っていますか？** コンセントにプラグが差し込まれているのを確認し、本機の電源をオン（｜）にします。 **インターフェイスケーブルが外れていませんか？** 本機側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。またケーブルが断線していないか、変に曲っていないかを確認してください（予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください）。 **インターフェイスが使用できますか？** 操作パネルで特定のインターフェイスが使用できないように設定されていると、そのインターフェイスは使用できません。使用できるように設定してください。 ☞活用ガイド「付録」-「操作パネルによる設定 / 確認」-「ホスト I/F 設定」 **他のインターフェイスから印刷していませんか？** 印刷の終了後に再度印刷を実行してみてください。

用紙が詰まったときは

紙詰まりが発生したときは、操作パネルエラーランプが点灯してお知らせします。操作パネルには、「紙を取り除いてください XXXX」のようなメッセージが表示されます。「XXXXX」には、紙詰まりが発生した箇所が表示されます。
本書の手順に従って用紙を取り除いてください。

また、EPSON ステータスモニタが紙詰まりをお知らせします。EPSON ステータスモニタでは、「用紙が詰まりました。」というメッセージが表示されます。
☞ 本書 81 ページ「EPSON ステータスモニタ」

次のいずれかの箇所から詰まった用紙を取り除きます。詰まった用紙を取り除く箇所は、操作パネルまたは EPSON ステータスモニタの表示で確認できます。

紙詰まりの原因

紙詰まりの主な原因は次のようなものです。紙詰まりが繰り返し発生するときは、次の点を確認してください。印刷できない用紙の詳細は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 89 ページ「印刷できない用紙」

- 本機が水平に設置されていない
- 用紙ガイドが正しい位置にセットされていない
- MP トレイまたは用紙カセットが正しくセットされていない
- 本機で使用できない用紙を使用している
- 給紙ローラが汚れている

  ☞ 活用ガイド「付録」-「本機の清掃」-「給紙ローラを清掃する」

! 注意

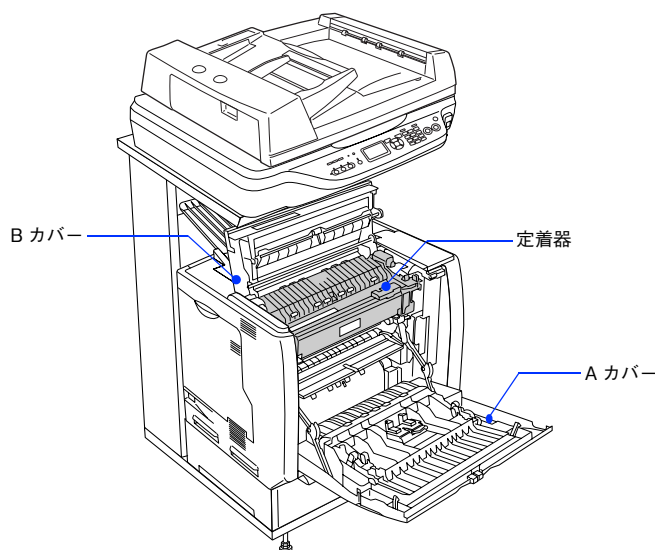
- 用紙を取り除く際に、用紙を破かないよう注意してください。用紙が破れた場合は、破れた用紙が残らないようすべて取り除いてください。
- 印刷中に用紙を継ぎ足さないでください。複数枚の紙を同時に給紙して紙詰まりの原因となる可能性があります。
- 紙詰まりが頻繁に発生する場合は、用紙を 1 枚ずつセットして印刷を行ってください。

用紙取り出し時の注意

詰まった用紙を取り出すときは、次の点に注意してください。

- 詰まった用紙は、破れないように両手でゆっくり取り除いてください。無理に取り除くと、用紙がやぶれて取り除くことが困難になり、さらに別の用紙詰まりを引き起こします。
- 用紙が破れた場合は、破れた用紙が残らないようすべて取り除いてください。

⚠注意

- プリンタ正面の A カバーや B カバーを開けたときは定着器部分に手を触れないようご注意ください。内部は高温（約 200 度以下）になっているため、火傷のおそれがあります。

- 本機内部に手を入れるときは十分に注意してください。けがをするおそれがあります。

! 注意

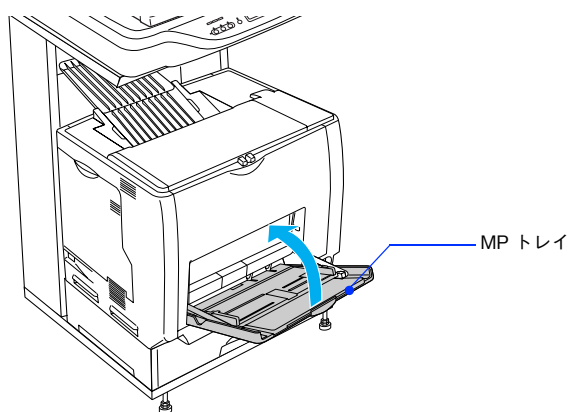
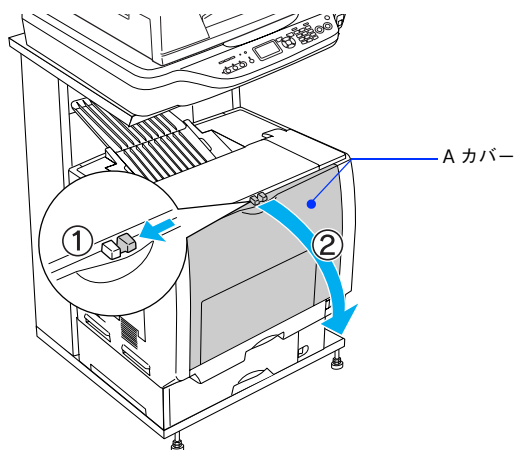
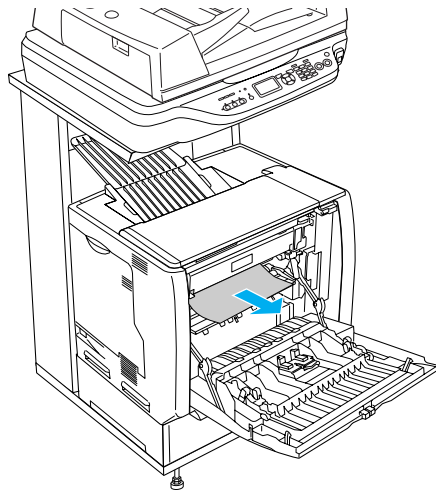
破れた用紙が取り除けない場合や、以降の説明箇所以外の場所に用紙が詰まって取り除けない場合は、保守契約店（保守契約されている場合）、販売店、またはエプソン修理窓口へご相談ください。

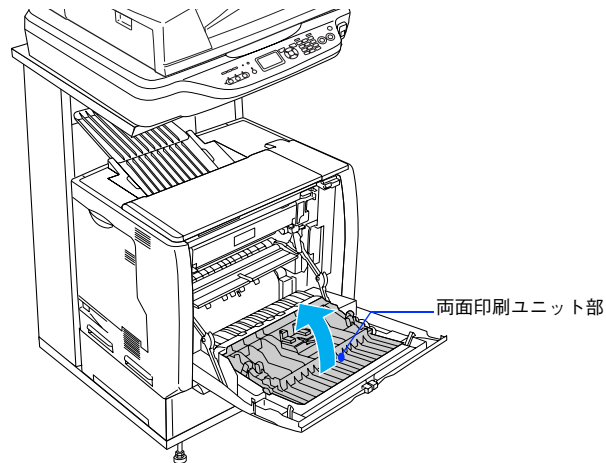
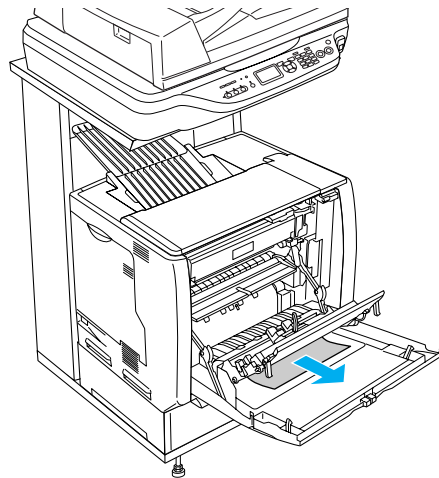
プリンタ内部（A カバー）で用紙が詰まった場合は

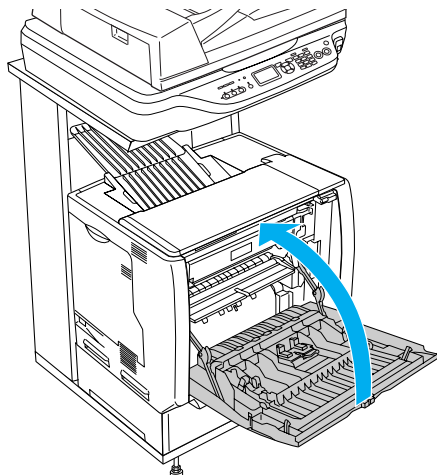
プリンタ内部で用紙が詰まった場合、以下のメッセージが表示されます。

表示部	メッセージ
操作パネル	紙を取り除いてください A
EPSON ステータスモニタ	用紙が詰まりました。 次の箇所付近に詰まった用紙を取り除いてください。 A カバー

以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

1 **MP トレイに用紙をセットしてある場合は、用紙を取り除き MP トレイを閉じます。**

2 **①ロックを解除して、② A カバーを開けます。**

3 詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。

この段階で用紙が取り除けたら、5 へ進みます。

4 A カバーの両面印刷ユニット部を持ち上げます。

5 詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。

6 A カバーを閉じます。

A カバーを閉じると両面印刷ユニット部も元の位置に戻ります。

用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、A カバーを閉じることで解除されます。詰まった用紙が完全に取り除かれていると、詰まったページから印刷を再開します。

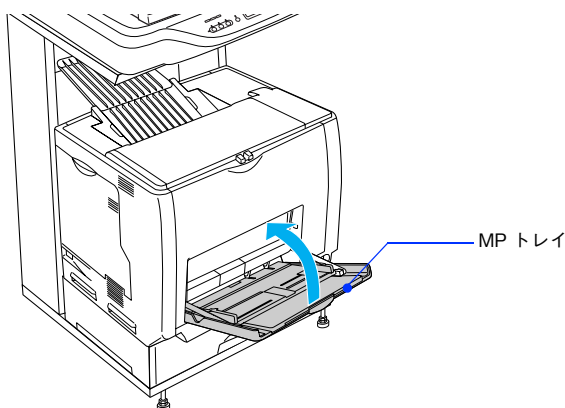
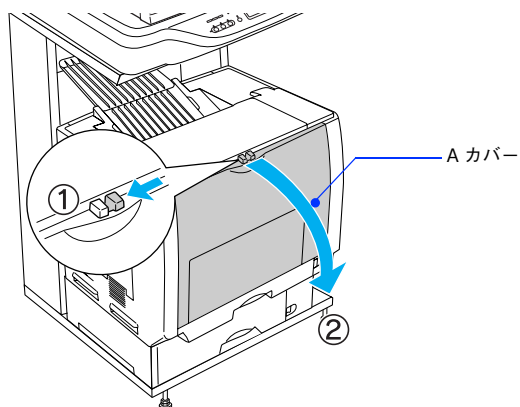
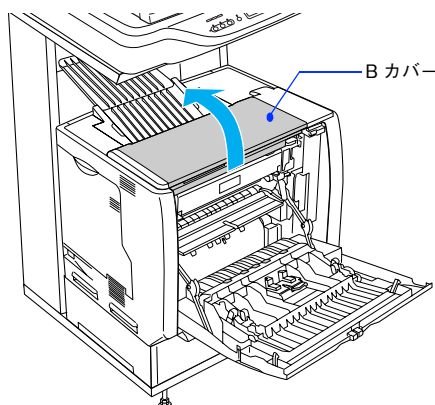
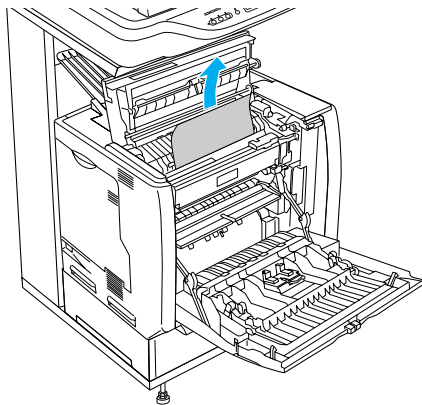
！注意 A カバーをしっかり閉じていないと、操作パネルに「A カバーを閉じてください」と表示されます。A カバーをしっかりと閉じてください。

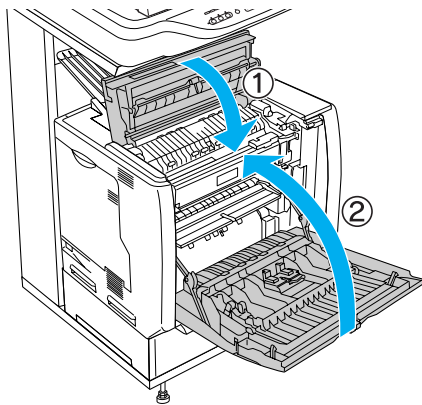
排紙口(B カバー)で用紙が詰まった場合は

本機の排紙口で用紙が詰まった場合、以下のメッセージが表示されます。

表示部	メッセージ
操作パネル	紙を取り除いてください B
EPSON ステータスモニタ	用紙が詰まりました。 次の箇所付近に詰まった用紙を取り除いてください。 B カバー

以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

1 **MP トレイに用紙をセットしてある場合は、用紙を取り除き MP トレイを閉じます。**

2 **①ロックを解除して、② A カバーを開けます。**

3 **B カバーを図のように開けます。**

4 詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。

5 ① B カバーを閉じてから、② A カバーを閉じます。

用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、A/B カバーを閉じることで解除されます。詰まった用紙が完全に取り除かれていると、詰まったページから印刷を再開します。

! 注意 A/B カバーをしっかり閉じていないと、操作パネルに「A カバーを閉じてください」と表示されます。A/B カバーをしっかりと閉じてください。

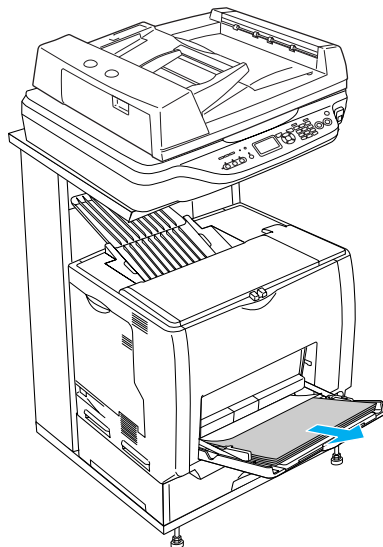
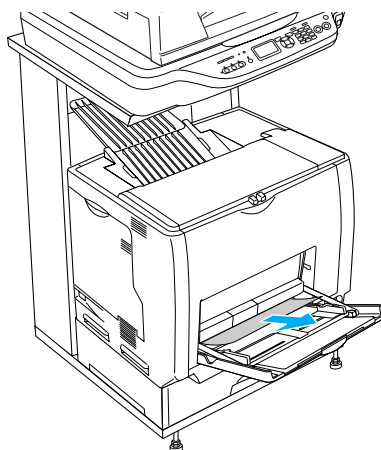
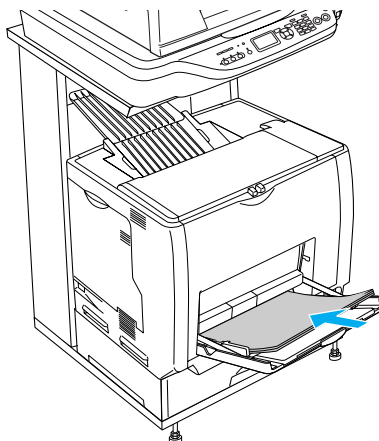
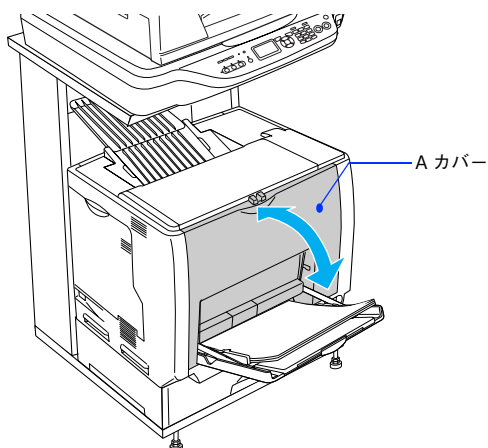
給紙口で用紙が詰まった場合は

本機の給紙口で用紙が詰まった場合、以下のメッセージが表示されます。

表示部	メッセージ
操作パネル	紙を取り除いてください C1 C2 C3 C4 紙を取り除いてください MP
EPSON ステータスモニタ	用紙が詰まりました。 次の箇所付近に詰まった用紙を取り除いてください。 用紙カセット＊（＊には 1 ～ 4 のカセット番号が表示されます） MP トレイ

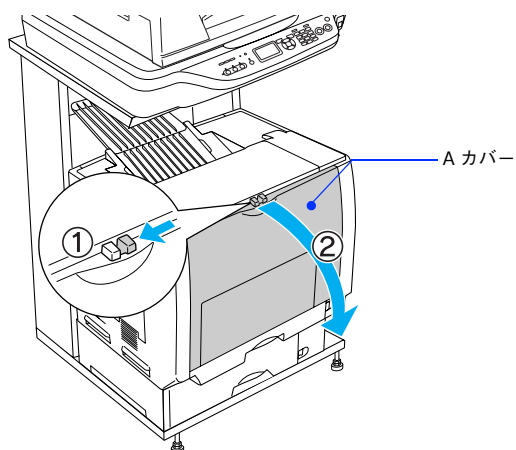
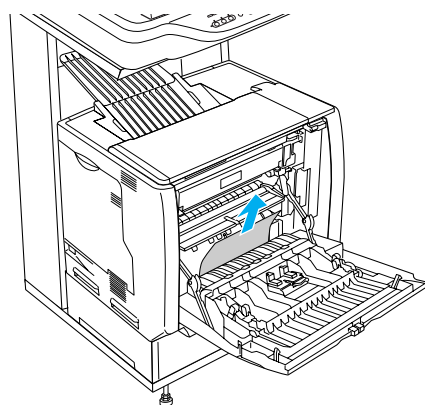
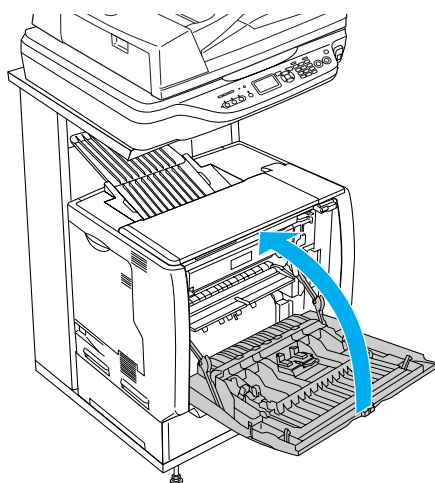
- 「紙を取り除いてください C1」の場合は、標準用紙カセット 1 から用紙を取り除いてください。
  本書 150 ページ「用紙カセット（標準カセット C1）の確認」
- 増設カセットユニット（オプション）を装着して「カミヅマリ C2 ～ C4」の場合は、用紙カセットを確認します。
  本書 152 ページ「用紙カセット（オプション C2 ～ C4）の確認」
- 「紙を取り除いてください MP」の場合は、以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

MP トレイの確認

1 MP トレイにセットしてある用紙を取り外します。

2 詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。

3 用紙を正しくセットし直します。

4 A カバーを開閉します。

詰まった用紙を完全に取り除き、A カバーを開閉すると詰まったページから印刷を再開します。

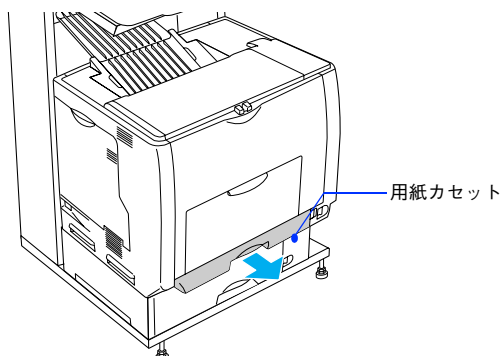
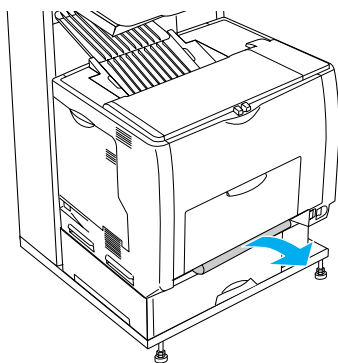
!注意	A カバーを開閉する際、MP トレイから用紙が落ちないように、A カバーを少し開けて、すぐに閉じてください。

用紙詰まりのエラーが解除されない場合は、プリンタ内部で用紙が詰まっている可能性があります。以下の手順でプリンタ内部を確認してください。次のページへ進みます。

5 ①ロックを解除して、② A カバーを開けます。

6 プリンタの下部で詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。

7 A カバーを閉じます。

用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、A カバーを閉じることで解除されます。詰まった用紙が完全に取り除かれていると、詰まったページから印刷を再開します。

!注意	A カバーをしっかり閉じていないと、操作パネルに「A カバーを閉じてください」と表示されます。A カバーをしっかりと閉じてください。

用紙カセット（標準カセット C1）の確認

1 **プリンタから用紙カセットを引き抜きます。**

2 **詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。**

！注意 エラー状態が解除されない場合は、用紙カセットの奥側に詰まった用紙がないか確認してください。

3 **①用紙を正しくセットし直してから用紙カセットをプリンタにセットし、② A カバーを開閉します。**

詰まった用紙を完全に取り除き、A カバーを開閉すると詰まったページから印刷を再開します。

！注意 A カバーを開閉する際、MP トレイから用紙が落ちないように、A カバーを少し開けて、すぐに閉じてください。

用紙詰まりのエラーが解除されない場合は、プリンタ内部で用紙が詰まっている可能性があります。以下の手順でプリンタ内部を確認してください。次のページへ進みます。

4 ①ロックを解除して、② A カバーを開けます。

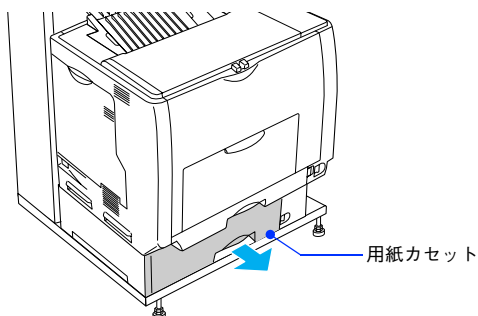
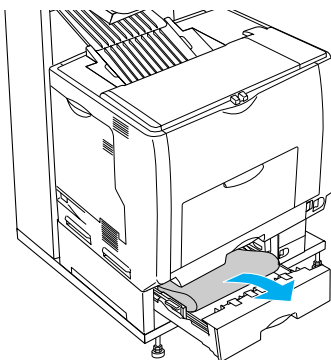
5 プリンタの下部で詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。

6 A カバーを閉じます。

用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、A カバーを閉じることで解除されます。詰まった用紙が完全に取り除かれていると、詰まったページから印刷を再開します。

!注意	A カバーをしっかり閉じていないと、操作パネルに「A カバーを閉じてください」と表示されます。A カバーをしっかりと閉じてください。

用紙カセット(オプション C2 ～ C4)の確認

1 増設カセットユニットから用紙カセットを引き抜きます。

2 詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。

> **!注意** エラー状態が解除されない場合は、用紙カセットの奥側に詰まった用紙がないか確認してください。

3 ①用紙を正しくセットし直してから用紙カセットをプリンタにセットし、② A カバーを開閉します。

詰まった用紙を完全に取り除き、A カバーを開閉すると詰まったページから印刷を再開します。

> **!注意** A カバーを開閉する際、MP トレイから用紙が落ちないように、A カバーを少し開けて、すぐに閉じてください。

用紙詰まりのエラーが解除されない場合は、プリンタ内部で用紙が詰まっている可能性があります。以下の手順でプリンタ内部を確認してください。次のページへ進みます。

4 ①ロックを解除して、② A カバーを開けます。

5 プリンタの下部で詰まった用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。

6 A カバーを閉じます。

用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、A カバーを閉じることで解除されます。詰まった用紙が完全に取り除かれていると、詰まったページから印刷を再開します。

！注意

- 用紙カセットをプリンタにしっかりセットしていないと、操作パネルに「用紙カセット 1 ～ 4 をセットしてください」と表示されます。
- A カバーをしっかり閉じていないと、操作パネルに「A カバーを閉じてください」と表示されます。A カバーをしっかりと閉じてください。

カラー印刷に関するトラブル

トラブル状態	対処方法
カラー印刷ができない	**プリンタドライバの設定が、カラー印刷になっていますか** プリンタドライバの［色］が［モノクロ］に設定されているとカラー印刷ができません。 ☞Mac OS X：本書 46 ページ「［プリント］ダイアログ（Mac OS X）」 ☞Mac OS X：本書 55 ページ「［詳細設定変更］ダイアログ」 ☞Mac OS 9：本書 63 ページ「［プリント］ダイアログ（Mac OS 9）」 ☞Mac OS 9：本書 69 ページ「［詳細設定］ダイアログ」 **アプリケーションソフトの設定がカラーデータになっていますか？** アプリケーションソフト上でカラーデータになっているか確認してください。
画面表示と色合いが異なる	**出力装置（ディスプレイとプリンタ）の違いによる差です。** ディスプレイ表示とプリンタで印刷した時の色とでは、発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。 **ディスプレイで表示する場合** テレビやディスプレイなどでは、赤（R）・緑（G）・青（B）の“光の三原色”と呼ばれる 3 色の組み合わせでさまざまな色を表現します。どの色も光っていない状態が黒（BK）、3 色すべてが光っている状態が白（W）となります。 **プリンタで印刷する場合** カラーのグラビア印刷やカラープリンタの印刷は、シアン（C）・イエロー（Y）・マゼンタ（M）の“色の三原色”を組み合わせています。全く色を付けないのが白（W）で、3 色を均等に混ぜた状態が黒（BK）になります。 スキャナで読み込んだ画像を印刷するときは、原画（CMY）→ディスプレイ（RGB）→印刷（CMY）の変更が必要になり、完全に一致させることは難しくなります。このような場合の機器間のカラーマッチング（色の合わせ込み）を行うのが、ICM（Windows）や ColorSync（Mac OS）です。 ☞本書 40 ページ「原画とディスプレイ表示と印刷結果の色を合わせたい（ColorSync）」

トラブル状態	対処方法
画面表示と色合いが異なる（続き）	**Mac OS でシステム特性の設定を行いましたか？（ColorSync）** ColorSync が正しく動作するためには、入力機器・使用アプリケーションが ColorSync に対応している必要があります。また、お使いのディスプレイのシステム特性を設定する必要があります。 ☞本書 40 ページ「原画とディスプレイ表示と印刷結果の色を合わせたい（ColorSync）」 **プリンタドライバのオートフォトファイン !5 を有効にしていませんか？** オートフォトファイン !5 は、コントラストや彩度が適切でないデータに対して最適な補正を加えて鮮明に印刷できるようにする機能です。そのためオートフォトファイン !5 を有効にしてあると、表示画面と色合いが異なる場合があります。 ☞Mac OS X（10.2 以降）では設定できません。 ☞Mac OS 9：本書 69 ページ「［詳細設定］ダイアログ」 **普通紙を使用していませんか？** カラー印刷の場合は、使用する用紙によって仕上がりイメージがかなり異なります。最良の印刷結果を得るには、「EPSON 製カラーレーザープリンタ用上質普通紙」の使用をお勧めします。
中間調の文字や、細い線がかすれる	**［階調優先］/［自動（階調優先）］に設定していませんか？** カラー印刷時に細い線や細かい模様などを再現する場合には、［スクリーン］を［自動（解像度優先）］または［解像度優先］に設定してください。 ☞Mac OS X：本書 55 ページ「［詳細設定変更］ダイアログ」 ☞Mac OS 9：本書 69 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
色むらが生じる	**［解像度優先］/［自動（解像度優先）］に設定していませんか？** カラー印刷時に微妙な色合いを再現する場合には、［スクリーン］を［自動（階調優先）］または［階調優先］に設定してください。 ☞Mac OS X：本書 55 ページ「［詳細設定変更］ダイアログ」 ☞Mac OS 9：本書 69 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

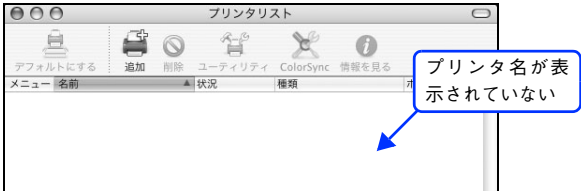
印刷品質に関するトラブル

トラブル状態	対処方法
きれいに印刷できない	**トナーカートリッジおよび感光体ユニットは推奨品（当社純正品）をお使いですか？** 本製品は純正トナーカートリッジおよび感光体ユニット使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されております。純正品以外のものをご使用になると、本体の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなど本機の性能が発揮できない場合があります。トナーカートリッジおよび感光体ユニットは純正品のご使用をお勧めします。また、必ず本機に合った型番のものをお使いください。本製品で使用できるトナーカートリッジおよび感光体ユニットの当社純正品は、以下のページを参照してください。 活用ガイド「メンテナンス」-「トナーカートリッジの交換」 活用ガイド「メンテナンス」-「感光体ユニットの交換」 **トナーセーブ機能を使用していませんか？** トナーセーブ機能は、内容確認など印刷品質を問わない印刷時にご使用ください。 Mac OS X：本書 55 ページ「[詳細設定変更] ダイアログ」 Mac OS 9：本書 69 ページ「[詳細設定] ダイアログ」 **[RIT] 機能を使用して印刷していますか？** 文字をきれいに印刷したい場合は [RIT] 機能を使用して印刷してください。ただし、写真など複雑なトーンがあるデータの場合は、[RIT] 機能を使用しないほうがきれいに印刷できる場合があります。 Mac OS X：本書 55 ページ「[詳細設定変更] ダイアログ」 Mac OS 9：本書 69 ページ「[詳細設定] ダイアログ」 **印刷品質（解像度）が [高品質]（600dpi）に設定されていますか？** 印刷品質（解像度）を [標準]（300dpi）ではなく [高品質]（600dpi）に設定して印刷してください。ただし、複雑な印刷データの場合、メモリ不足で印刷できない場合があります。その場合は、印刷品質（解像度）を [標準]（300dpi）に戻してください。どうしても印刷できない場合は、メモリを増設すると印刷できる場合があります。 Mac OS X：本書 46 ページ「[プリント] ダイアログ（Mac OS X）」 Mac OS X：本書 55 ページ「[詳細設定変更] ダイアログ」 Mac OS 9：本書 63 ページ「[プリント] ダイアログ（Mac OS 9）」 Mac OS 9：本書 69 ページ「[詳細設定] ダイアログ」 **エコ印刷モードになっていませんか？** エコ印刷モードで印刷をすると、印刷が薄い、かすれる、不鮮明、色が違う、白点がでるなど印刷品質が悪化する場合があります。画質を確認いただきながら、適切と思われる時期に消耗品を交換してください。 活用ガイド「エコ印刷モードのご紹介」

トラブル状態	対処方法
きれいに印刷できない（続き）	**操作パネルに「解像度を落としました」というメッセージが表示されましたか？** 印刷するのに十分なメモリを本機に増設してください。 **トナーカートリッジまたは感光体ユニットが劣化または損傷している可能性があります。** 新しいトナーカートリッジまたは感光体ユニットに交換してください。 活用ガイド「メンテナンス」-「トナーカートリッジの交換」 活用ガイド「メンテナンス」-「感光体ユニットの交換」 **センサが汚れている可能性があります。** センサの清掃を行ってください。 活用ガイド「メンテナンス」-「本機の清掃」-「センサと露光窓を清掃する」
印刷の濃淡が思うように印刷できない	**トナーセーブ機能を使用していませんか？** トナーセーブ機能は、内容確認など印刷品質を問わない印刷時にご使用ください。 Mac OS X：本書 55 ページ「［詳細設定変更］ダイアログ」 Mac OS 9：本書 69 ページ「［詳細設定］ダイアログ」 **プリンタドライバの［明度］の設定を確認してください。** ［詳細設定］ダイアログで［明度］を調整してください。 Mac OS X：本書 55 ページ「［詳細設定変更］ダイアログ」 Mac OS 9：本書 69 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

トラブル状態	対処方法
印刷が薄いまたはかすれる	**用紙が湿気を含んでいる可能性があります。** 新しい用紙と交換してください。 **トナーカートリッジにトナーが残っていますか？** トナー残量を確認して、新しいトナーカートリッジに交換してください。 ☞本書 38 ページ「本機の状態をコンピュータ上で確認」 ☞活用ガイド「メンテナンス」-「トナーカートリッジの交換」 **感光体ユニットは使用できますか？** 感光体ユニットのライフ（寿命）を確認して、新しい感光体ユニットに交換してください。 ☞本書 38 ページ「本機の状態をコンピュータ上で確認」 ☞活用ガイド「メンテナンス」-「感光体ユニットの交換」 **感光体ユニットが劣化または損傷している可能性があります。** 新しい感光体ユニットに交換してください。 ☞本書 38 ページ「本機の状態をコンピュータ上で確認」 ☞活用ガイド「メンテナンス」-「感光体ユニットの交換」 **エコ印刷モードになっていませんか？** エコ印刷モードで印刷をすると、印刷が薄い、かすれる、不鮮明、色が違う、白点がでるなど印刷品質が悪化する場合があります。画質を確認いただきながら、適切と思われる時期に消耗品を交換してください。 ☞活用ガイド「エコ印刷モードのご紹介」 **トナーセーブ機能を使用していませんか？** トナーセーブ機能を解除してください。 ☞Mac OS X：本書 55 ページ「[詳細設定変更] ダイアログ」 ☞Mac OS 9：本書 69 ページ「[詳細設定] ダイアログ」 **プリンタドライバの［用紙種類］が正しく設定されていますか？** セットした用紙とプリンタドライバの［用紙種類］の設定が合っていないと（[普通紙] の設定で厚紙に印刷する場合など）、最適な印刷結果が得られません。使用する用紙の種類に合わせて、［用紙種類］を設定してください。 ☞Mac OS X：本書 46 ページ「[プリント] ダイアログ（Mac OS X）」 ☞Mac OS 9：本書 63 ページ「[プリント] ダイアログ（Mac OS 9）」 **センサが汚れている可能性があります。** センサの清掃を行ってください。 ☞活用ガイド「メンテナンス」-「本機の清掃」-「センサと露光窓を清掃する」

トラブル状態	対処方法
汚れ（点）が印刷される	**使用中の用紙は適切ですか？** 以下のページを参照し印刷できる用紙を使用してください。 ☞本書 99 ページ「印刷できる用紙の種類」 **感光体ユニットが劣化または損傷している可能性があります。** 何回か用紙を排紙しても改善されない場合は新しい感光体ユニットに交換してください。 ☞活用ガイド「メンテナンス」-「感光体ユニットの交換」 **帯電ワイヤ、またはセンサと露光窓を清掃しましたか？** 感光体ユニットの帯電ワイヤ、またはセンサと露光窓の清掃をしてください。 ☞活用ガイド「メンテナンス」-「本機の清掃」-「帯電ワイヤを清掃する」 ☞活用ガイド「メンテナンス」-「本機の清掃」-「センサと露光窓を清掃する」 **紙センサを清掃しましたか？** 紙センサを清掃してください。 ☞活用ガイド「メンテナンス」-「本機の清掃」-「紙センサを清掃する」
周期的に汚れがある	**本機内部の定着器、または用紙経路が汚れていませんか？** 用紙を数枚印刷してください。用紙に用紙経路の汚れを付着させます。印刷データは、画面占有率の少ない（白紙に近い）データを使用してください。 **感光体ユニットまたはトナーカートリッジが劣化または損傷している可能性があります。** 何回か通紙しても改善されない場合は新しい感光体ユニットまたはトナーカートリッジに交換してください。 ☞活用ガイド「メンテナンス」-「トナーカートリッジの交換」 ☞活用ガイド「メンテナンス」-「感光体ユニットの交換」
指でこするとにじむ	**用紙が湿気を含んでいる可能性があります。** 新しい用紙と交換してください。 **使用中の用紙は適切ですか？** 以下のページを参照して印刷できる用紙を使用してください。 ☞本書 99 ページ「印刷できる用紙の種類」 **プリンタドライバの［用紙種類］が正しく設定されていますか？** セットした用紙とプリンタドライバ［用紙種類］の設定が合っていないと（［普通紙］の設定で厚紙に印刷する場合など）、最適な印刷結果が得られません。使用する用紙の種類に合わせて、［用紙種類］を設定してください。 ☞Mac OS X：本書 46 ページ「［プリント］ダイアログ（Mac OS X）」 ☞Mac OS 9：本書 63 ページ「［プリント］ダイアログ（Mac OS 9）」

トラブル状態	対処方法
塗りつぶし部分に白点がある	**使用中の用紙は適切ですか？** 「印刷できる用紙の種類」を参照して、印刷できる用紙を使用してください。 ☞本書 99 ページ「印刷できる用紙の種類」 **用紙の表裏が逆にセットされている場合があります。** 表と裏がある用紙の場合は、表（印刷）面を上に向けてセットしてください。 **エコ印刷モードになっていませんか？** エコ印刷モードで印刷をすると、印刷が薄い、かすれる、不鮮明、色が違う、白点がでるなど印刷品質が悪化する場合があります。画質を確認いただきながら、適切と思われる時期に消耗品を交換してください。 ☞活用ガイド「エコ印刷モードのご紹介」 **トナーカートリッジが劣化または損傷している可能性があります。** 新しいトナーカートリッジに交換してください。 ☞活用ガイド「メンテナンス」-「トナーカートリッジの交換」 **感光体ユニットが損傷している可能性があります。** 新しい感光体ユニットに交換してください。 ☞活用ガイド「メンテナンス」-「感光体ユニットの交換」 新しい感光体ユニットに交換してもまだ白点が印刷される場合は、保守契約店（保守契約されている場合）または販売店へご連絡ください。 **用紙が湿気を含んでいるかまたは乾燥しすぎている可能性があります。** 新しい用紙と交換してください。用紙は、密閉可能な容器に入れ湿気を避けて保管してください。
用紙全体が塗りつぶされてしまう	**感光体ユニットが損傷または劣化している可能性があります。** 新しい感光体ユニットに交換してください。 ☞活用ガイド「メンテナンス」-「感光体ユニットの交換」
縦線が印刷される	**感光体ユニットが損傷または劣化している可能性があります。** 新しい感光体ユニットに交換してください。 ☞活用ガイド「メンテナンス」-「感光体ユニットの交換」 新しい感光体ユニットに交換してもまだ縦線が印刷される場合は、保守契約店（保守契約されている場合）または販売店へご連絡ください。 **帯電ワイヤ、またはセンサと露光窓を清掃しましたか？** 感光体ユニットの帯電ワイヤ、またはセンサと露光窓の清掃をしてください。 ☞活用ガイド「メンテナンス」-「本機の清掃」-「帯電ワイヤを清掃する」 ☞活用ガイド「メンテナンス」-「本機の清掃」-「センサと露光窓を清掃する」

トラブル状態	対処方法
何も印刷されない	**一度に複数枚の用紙が搬送されていませんか？** 用紙をよくさばいて、セットし直してください。 **トナーカートリッジにトナーが残っていますか？** トナーカートリッジのトナー残量を確認して、新しいトナーカートリッジに交換してください。 ☞本書 38 ページ「本機の状態をコンピュータ上で確認」 ☞活用ガイド「メンテナンス」-「トナーカートリッジの交換」 **感光体ユニットが劣化または損傷している可能性があります。** 新しい感光体ユニットに交換してください。 ☞活用ガイド「メンテナンス」-「感光体ユニットの交換」
白抜けがおこる	**用紙が湿気を含んでいる可能性があります。** 新しい用紙と交換してください。 **使用中の用紙は適切ですか？** 適切な用紙を使用してください。 ☞本書 99 ページ「印刷できる用紙の種類」 **トナーセーブ機能を使用していませんか？** トナーセーブ機能を解除してください。 ☞Mac OS X：本書 55 ページ「[詳細設定変更] ダイアログ」 ☞Mac OS 9：本書 69 ページ「[詳細設定] ダイアログ」 **プリンタドライバの［用紙種類］が正しく設定されていますか？** セットした用紙とプリンタドライバの［用紙種類］の設定が合っていないと（[普通紙] の設定で厚紙に印刷する場合など）、最適な印刷結果が得られません。使用する用紙の種類に合わせて、［用紙種類］を設定してください。 ☞Mac OS X：本書 46 ページ「[プリント] ダイアログ（Mac OS X）」 ☞Mac OS 9：本書 63 ページ「[プリント] ダイアログ（Mac OS 9）」
裏面が汚れる	**用紙経路が汚れていませんか？** 数ページ印刷してください。用紙に用紙経路の汚れを付着させます。印刷データは、画面占有率の少ない（白紙に近い）データを使用してください。

画面表示と印刷結果が異なる

トラブル状態	対処方法
画面と異なるフォント / 文字 / グラフィックスで印刷される	**本機の使用環境に問題はありませんか？** 画面と異なるフォントや文字、グラフィックスで印刷される場合は、まず印刷を中止してください。 本書 17 ページ「印刷の中止方法」 再度印刷を実行してみてください。再度同様の現象が発生する場合は、次の点を確認してください。 • 使用環境の仕様に合った推奨ケーブルが正しく接続されていますか。 • お使いのコンピュータは本機の仕様に適合していますか。 • プリンタドライバのテスト印刷やステータス印刷が正常にできますか。
ページの左右で切れて印刷される	**印刷データの横幅サイズは、プリンタドライバで設定した用紙サイズに収まりますか？** WEB ブラウザでインターネットの WEB サイトを印刷すると、ページの左右で印刷が切れてしまうことがあります。原因は、プリンタドライバの［用紙サイズ］設定が WEB サイトの横幅サイズと合っていないからです。この場合は、より大きなサイズの用紙をプリンタにセットして、それに合った［用紙サイズ］を選択して印刷してください。 Mac OS X：本書 46 ページ「［プリント］ダイアログ（Mac OS X）」 Mac OS 9：本書 63 ページ「［プリント］ダイアログ（Mac OS 9）」 アプリケーションソフトによっては、用紙の余白を設定できる場合があります。余白が広く設定されていることが原因で、ページの左右で印刷が切れることが考えられます。例えば、Microsoft Internet Explorer（WEB ブラウザ）の場合は、［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択して、［余白］の値を小さく設定して印刷してみてください。なお、本機では用紙の左右上下とも最低 5mm の余白が必要です。 より大きなサイズの用紙が利用できない場合は、プリンタドライバの［フィットページ］印刷機能を使用すると、使用する用紙サイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小して印刷できます。なお、Mac OS X の場合は、印刷の縮小率（%）を指定して印刷してください。 本書 26 ページ「印刷サイズを拡大 / 縮小」 Mac OS X：本書 45 ページ「［ページ設定］ダイアログ（Mac OS X）」 Mac OS 9：本書 62 ページ「［用紙設定］ダイアログ（Mac OS 9）」

トラブル状態	対処方法
画面と異なる位置に印刷される	**アプリケーションソフトで設定した用紙サイズとプリンタドライバで設定した用紙サイズが異なっていませんか？** アプリケーションとプリンタドライバの設定を合わせてください。 ☞Mac OS X：本書 45 ページ「[ページ設定] ダイアログ（Mac OS X)」 ☞Mac OS 9：本書 62 ページ「[用紙設定] ダイアログ（Mac OS 9)」 **アプリケーションソフトによっては、印刷開始位置の設定が必要になる場合があります。** プリンタドライバで［オフセット］の調整をしてください。 ☞Mac OS X：本書 59 ページ「[拡張設定] ダイアログ」 ☞Mac OS 9：本書 73 ページ「[拡張設定] ダイアログ」
罫線が切れたり文字の位置がずれる	**アプリケーションソフトでお使いのプリンタの機種名を使用するプリンタに設定していますか？** 各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して、使用するプリンタをお使いのプリンタの機種名に設定してください。
画像が用紙端で切れる	**オフセット値を変更しましたか？** 印刷保証領域外への印刷はできません。印刷保証領域いっぱいに描かれた画像に対してオフセットの値を変更すると、用紙端の画像は印刷されません。 ☞本書 102 ページ「印刷できる領域」
設定と異なる印刷をする	**アプリケーションソフトとプリンタドライバの設定が一致していますか？** 印刷条件の設定は、アプリケーションソフト、プリンタドライバそれぞれで設定できます。各設定の優先順位は、お使いの状況により異なりますので、設定と違う印刷がされた場合は、各設定を確認してください。

USB 接続時のトラブル

<table>
<tr><th>トラブル状態</th><th>対処方法</th></tr>
<tr><td>印刷先のポートに、使用するプリンタ名が表示されない</td><td>本機の電源がオンになっていますか？
本機の電源がオフの状態では、コンピュータが本機を認識できないため、ポートが正しく表示されません。本機の電源をオンにして、USB ケーブルを一度抜き差ししてください。

Mac OS X

Mac OS 9</td></tr>
<tr><td>USB ハブに接続すると正常に動作しない</td><td>本機を USB ハブの 1 段目以外に接続していますか？
USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できますが、1 段目の接続を推奨します。コンピュータに直接接続された 1 段目以外の USB ハブに本機を接続していて正常に動作しない場合は、USB ハブの 1 段目に接続してお使いください。また、別のハブをお持ちの場合は、ハブを替えて接続してみてください。</td></tr>
</table>

その他のトラブル

トラブル状態	対処方法
印刷に時間がかかる	**節電モードになっていませんか？** 節電状態から印刷を実行すると、印刷開始の前にウォームアップを行いますので、排紙されるまでに時間がかかる場合があります。 **操作パネル上に「プリンタ調整中」と表示されていませんか？** 良好な印刷品質を保つために、印刷の途中でプリンタが動作を一時的に停止して内部機能の自動調整を行うことがあります。自動調整が完了すると印刷を自動的に再開しますので、そのままお待ちください。 **Mac OS 9 をお使いの場合、アプリケーションソフトへのメモリの割り当ては十分ですか？** アプリケーションソフトへのメモリの割り当て量を増やしてください。 **Mac OS 9 をお使いの場合、バックグラウンドプリントを［入］にしていませんか？** ご利用の Mac OS によっては、バックグラウンドプリントを［入］にしておくと印刷に時間がかかることがあります。バックグラウンドプリントを［切］に設定して印刷してください。 ☞本書 42 ページ「Mac OS 9で印刷中も別の作業をしたい（バックグラウンドプリント）」 **ファイルサイズの大きな画像データを印刷していませんか？** 処理時間のかかる大きなサイズの画像データを印刷する場合は、プリンタのメモリの増設をお勧めします。プリンタのメモリサイズが大きい方が、より効率よく印刷できる場合があります。
周辺の電化製品やコンピュータ機器に異常が発生する	**電源容量は、十分に確保されていますか？** 電源容量が十分に確保されていない環境においては、本機と同一の電源ラインに接続されている蛍光灯にチラつきが発生したり、コンピュータがリセットするなどの現象が発生する可能性があります。蛍光灯、コンピュータなどが接続されている電源ラインと本機を分離してください（分電盤から独立して引かれた電源ラインへの接続をお勧めします）。

どうしても解決しないときは

本機の印刷機能の症状が改善されない場合は、まず本機の故障か、ソフトウェアのトラブルかを判断します。その上でそれぞれのお問い合わせ先へご連絡ください。

操作パネルからステータスシートが印刷できますか？

☞本書 167 ページ「ステータスシート（簡易版）を印刷する」

印刷できる　　　　**印刷できない**

本体に問題はありません。	本体のトラブルです。
プリンタドライバからステータスシートが印刷できますか？ ☞Mac OS X：本書 88 ページ「EPSON リモートパネル！でステータスシートを印刷する」 ☞Mac OS 9：本書 78 ページ「［プリンタセットアップ］ダイアログ（Mac OS 9）」	**保守契約をされていますか？**
できる　　**できない**	**している**　　**していない**

エプソンインフォメーションセンターにご相談ください。ご相談先は『セットアップガイド』『活用ガイド』（紙マニュアル）の巻末に記載されています。	• ドライバの設定、接続ケーブルの仕様や状態を再確認してください。 • ネットワーク接続している場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。	保守契約店にご相談ください。	次ページをご覧ください。 活用ガイド 「保守サービスのご案内」 ご相談先は『セットアップガイド』『活用ガイド』の巻末に記載されています。

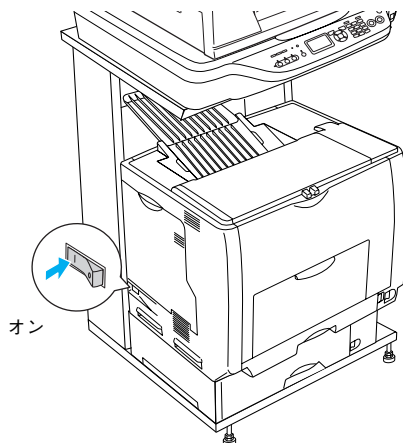
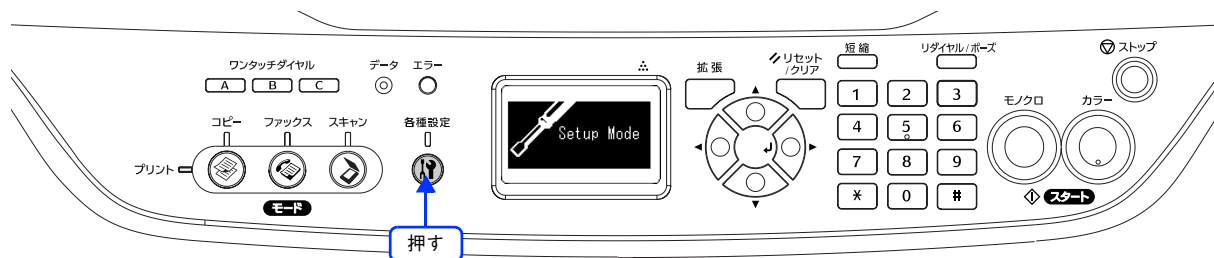
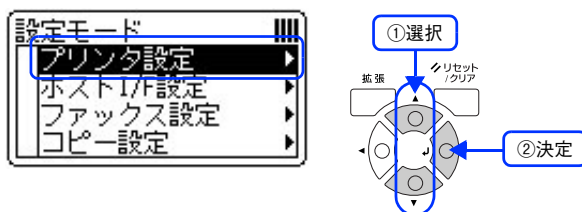
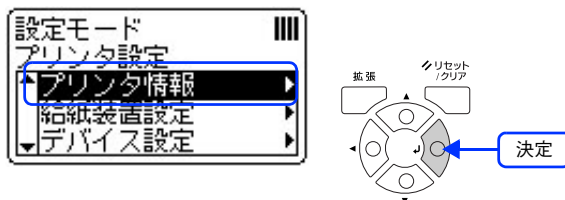
お問い合わせの際は、ご使用の環境（コンピュータの型番、使用アプリケーションとそのバージョン、その他の周辺機器の型番など）と、本機の名称や製造番号などをご確認のうえ、ご連絡ください。本機の製造番号は活用ガイド「付録」-「仕様」-「総合仕様」の「製造番号の表示位置」を参照してご確認ください。

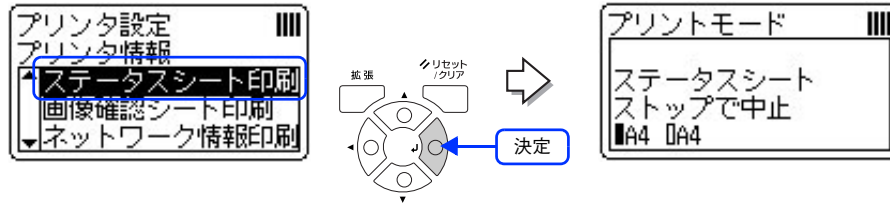
また、EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、次のアドレスにてインターネットによる情報の提供を行っています。

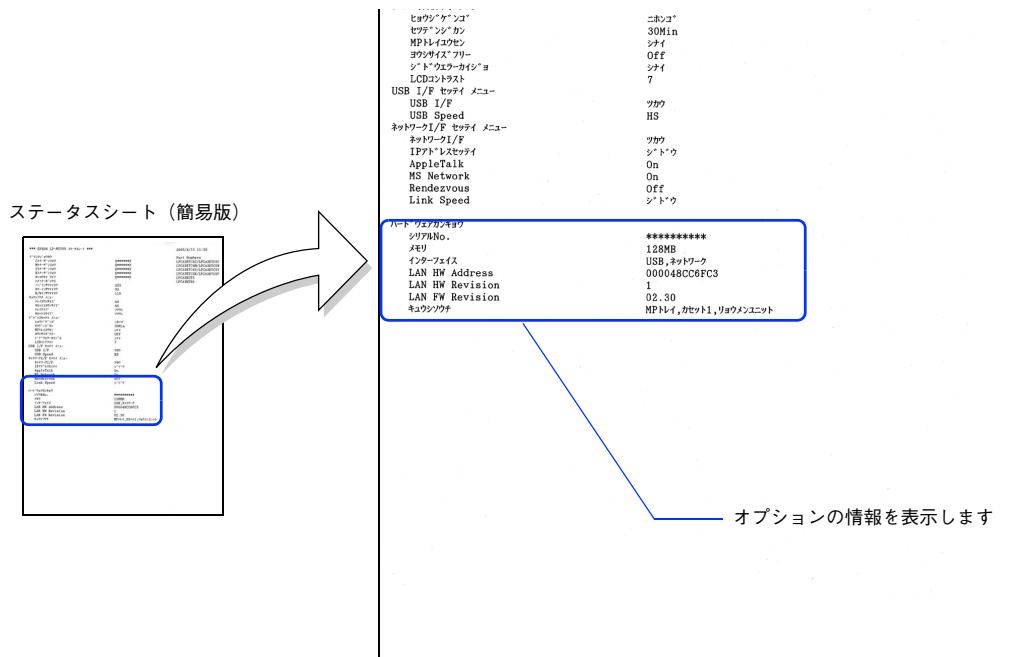
アドレス：http://www.i-love-epson.co.jp

ステータスシート（簡易版）を印刷する

ここでは、本機の印刷機能が正常に機能しているか、また取り付けたオプションが認識されているかどうかを確かめるための、ステータスシート（簡易版）の印刷と確認方法を説明します。

1 **本機の電源がオン（I）になっていることを確認します。**

2 **操作パネルの [各種設定] ボタンを押します。**

3 **[設定モード] で [プリンタ設定] が選択されていることを確認して、[►] ボタンを押します。**

4 **[プリンタ情報] が選択されていることを確認して、[►] ボタンを押します。**

5 [ステータスシート印刷] が選択されていることを確認して、[▶] ボタンを押します。

- データランプが点滅し、ステータスシートが印刷されます（印刷を開始するまで数秒かかります）。
- 印刷が終了すると、操作パネルの表示が [プリントモード] に戻り、[印刷できます] と表示されます。

6 ステータスシートが印刷されたか確認します。

次のようなステータスシートが印刷できれば、本機の印刷機能は正常に機能しています。

増設メモリを装着している場合

- ［ハードウェアカンキョウ］の［メモリ］の項目に、標準搭載メモリ 128MB と増設したメモリ容量の合計値が表示されていれば、正しく認識されています。

増設カセットを装着している場合

- ［ハードウェアカンキョウ］の［キュウシソウチ］の項目に、［カセット］が表示されていれば、正しく認識されています。

6 付録

『EPSON ソフトウェア CD-ROM』に収録されているフォントの使い方やその他の情報を説明しています。

TrueType フォントの使い方（Mac OS 9）

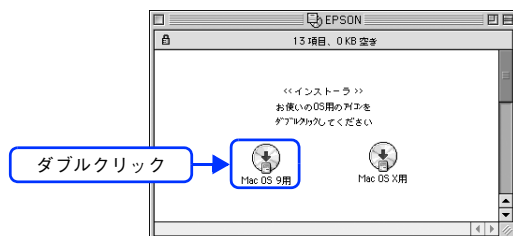
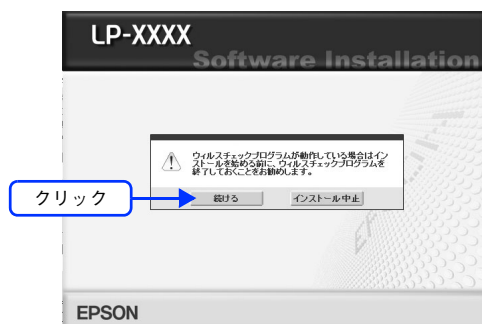
ここでは、添付の TrueType フォントのインストール方法を説明します。本機に添付の『EPSON ソフトウェア CD-ROM』には EPSON TrueType フォントが収録されています。TrueType フォントをインストールすることにより、アプリケーションソフトの書体に追加され、ポップやビジネス文書に表現力豊かな書類を作成することができます。

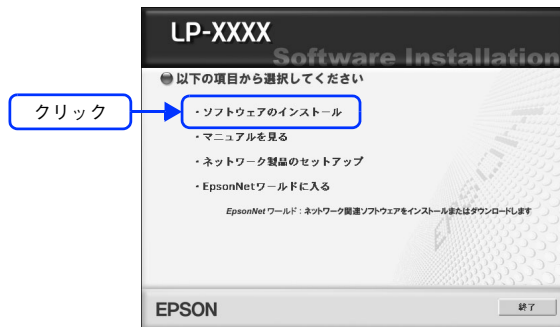
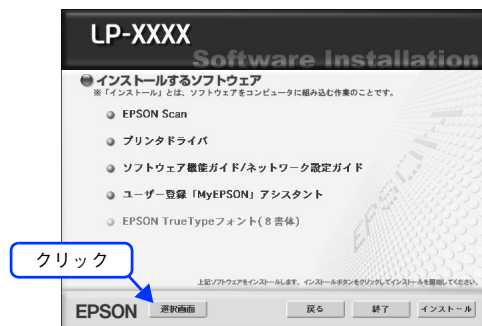
CD-ROM に収録されている OCR-B フォントセットには、OCR-B 規格で規定されている文字以外のものも含まれています。OCR-B フォントの保証サイズは 12 ポイントです。また、OCR-B フォントとして読み取り用に使用される際は、トナー状況や用紙の種類によって読み取れない場合がありますので、事前に読み取り機で読み取れることを確認してからお使いください。

インストールする

Mac OS 9 には次の手順で EPSON TrueType フォントがインストールできます。Mac OS X へインストールはできません。

1. 『EPSON ソフトウェア CD-ROM』をコンピュータにセットします。

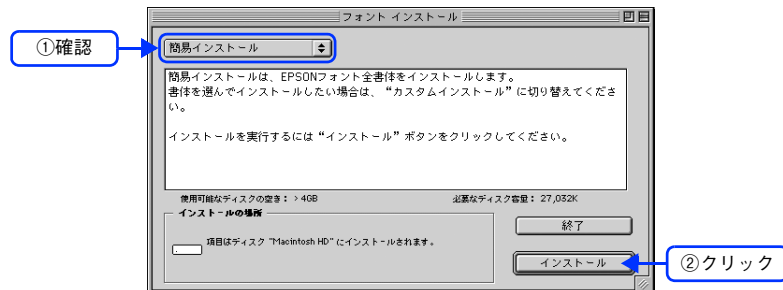
2. ［Mac OS 9 用］インストーラをダブルクリックします。

3. 画面の内容を確認して、［続ける］をクリックします。
ウィルスチェックプログラムの実行中は、［インストール中止］をクリックして、手順 1 からやり直します。

4 使用許諾契約書の画面が表示された場合は、内容を確認し、［同意する］をクリックします。

5 ［ソフトウェアのインストール］をクリックします。

6 ［選択画面］をクリックします。

7 次の画面が表示されたら、［EPSON TrueType フォント（8 書体）］にチェックを付けて［インストール］をクリックします。

その他の項目（プリンタドライバなど）がインストール済みの場合は、それぞれのチェックを外してください。各項目をクリックすることで、チェックする / しないが切り替わります。

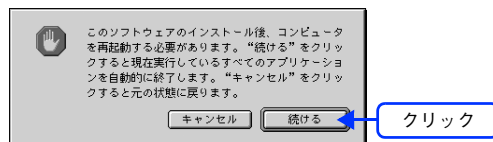
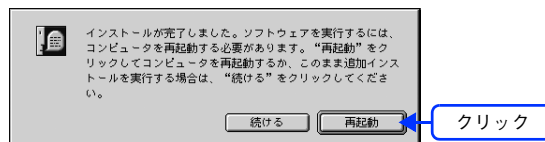
8 フォントの使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意します］をクリックします。

9 ［簡易インストール］が選択されていることを確認して、［インストール］をクリックします。

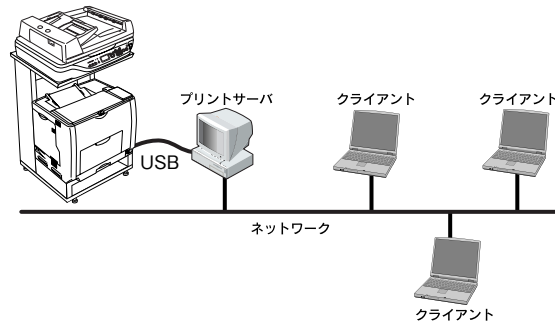
フォントのインストールが始まります。

参考

［カスタムインストール］を選択すると、フォントを選択してインストールできます。使用するフォントをクリックしてチェックマークを付けてください。チェックマークの付かないフォントはインストールされません。

①選択
② インストールするフォントにチェックマークを付け
③クリック

10 次の画面が表示されたら、［続ける］をクリックします。

11 次の画面が表示されたら、［再起動］をクリックします。

以上でフォントのインストール手順は終了です。

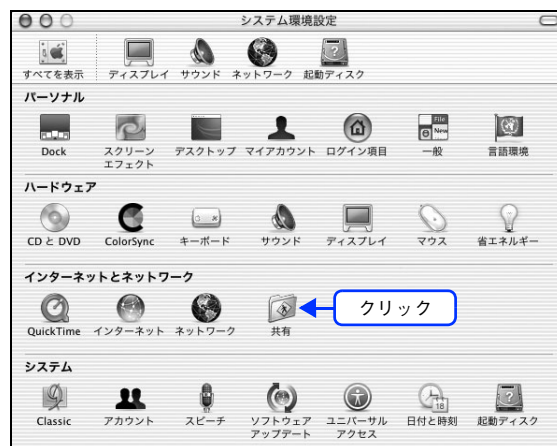
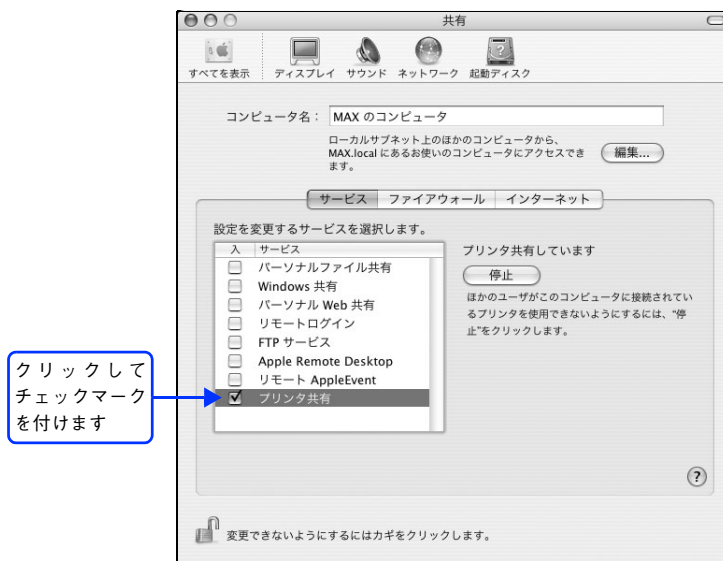
印刷機能の共有方法

プリンタを直接接続した Mac OS がネットワーク環境に接続されていれば、プリンタをほかの Mac OS から共有することができます。

- Mac OS X 10.2 以降のプリンタ共有機能は、各ユーザーのコンピュータが Mac OS X 10.2 以降で起動している場合のみご利用いただけます。
- ネットワーク環境に接続している場合は、ここでの手順に従って設定する必要はありません。ネットワーク上のどの Mac OS からでも直接［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］からプリンタを追加して印刷することができます。
  本書 8 ページ「印刷を始める前に」

共有する（Mac OS X）

ネットワーク上のほかのユーザーがプリンタを共有できるようにするには、プリンタを直接接続した Mac OS で次の設定を行ってください。

1. **本機の電源をオン（ I ）にします。**

2. **［Dock］または［アプリケーション］フォルダから［システム環境設定］を開き［共有］をクリックします。**

3 ［プリンタ共有］にチェックマークを付けます。

- プリンタの共有を停止する場合は、［停止］をクリックします。
- 上記画面の［コンピュータ名］、［Rendezvous 名］、［ネットワークアドレス］は、ネットワーク環境によって異なります。

4 ［システム環境設定］メニューから［システム環境設定を終了］をクリックします。

以上で共有の設定は終了です。

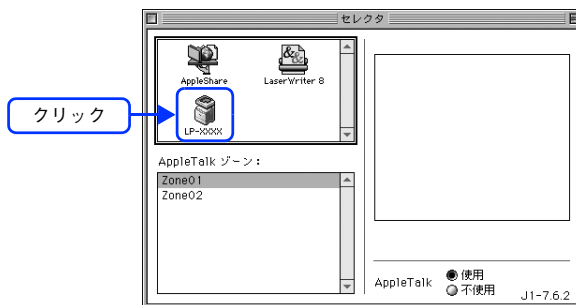
共有プリンタに印刷する（Mac OS X）

ネットワーク上の共有プリンタは、各ユーザーの［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］に自動的に追加されます。通常の方法でアプリケーションソフトの［ページ設定］ダイアログや［プリント］ダイアログを設定して印刷してください。

- Mac OS X 10.2 以降のプリンタ共有機能は、各ユーザーのコンピュータが Mac OS X v 10.2 以降で起動している場合のみご利用いただけます。
- 共有プリンタの電源がオフ（○）でも、各ユーザーの［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］に共有プリンタが表示されたままの場合があります。
- 共有プリンタを直接接続している Mac OS がシステム終了すると、共有プリンタは各ユーザーの［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］から自動的に消えます。
- 各ユーザーの［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］に複数のプリンタが追加されている場合は、共有プリンタをデフォルトプリンタとして選択するか、印刷のたびに共有プリンタを選択してください。

共有する(Mac OS 9)

1 **本機の電源をオン(I)にします。**

2 **Mac OS を起動した後、アップルメニューからセレクタをクリックして開きます。**

3 **プリンタドライバ[LP-M5500]を選択します。**

QuickDraw GX は使用できません。プリンタドライバのアイコンが表示されない場合は、QuickDraw GX を使用停止にしてください。
本書 97 ページ「システム条件」

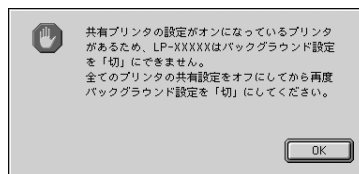
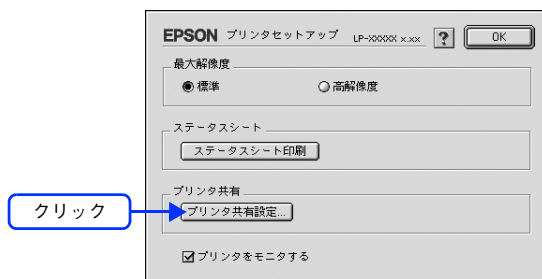
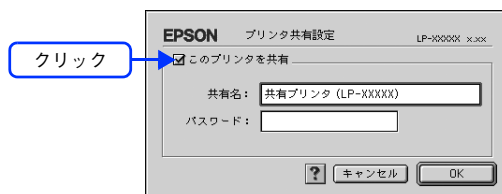
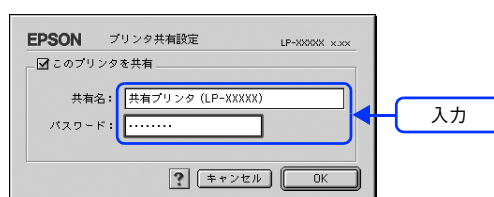
4 **USB ポートを選択します。**

同機種のプリンタが複数接続されている場合は[USB ポート(1)]、[USB ポート(2)]などと表示します。使用するポート番号を選択します。

USB 接続で[ポートの選択]に何も表示されない場合は、コンピュータと本機の接続状態が正しいか、本機の電源がオンになっているかを確認してください。

5 ［バックグラウンドプリント］を［入］に設定して、［セットアップ］をクリックします。

- ［バックグラウンドプリント］の説明は、以下のページを参照してください。
  ☞ 本書 42 ページ「Mac OS 9で印刷中も別の作業をしたい（バックグラウンドプリント）」
- ［セットアップ］をクリックして開く［プリンタセットアップ］ダイアログの詳細は、以下のページを参照してください。
  ☞ 本書 78 ページ「［プリンタセットアップ］ダイアログ（Mac OS 9）」

プリンタの共有を設定すると、［バックグラウンドプリント］は常に［入］に設定されます。プリンタの共有時は［切］に設定できません。

6 ［プリンタ共有設定］をクリックします。

7 ［このプリンタを共有］をクリックしてチェックを付けます。

8 ［共有名］と［パスワード］を入力して、［OK］をクリックします。

- ここで入力したプリンタの［共有名］が、ネットワーク上のほかのユーザーのセレクタに表示されます。
- 共有プリンタを利用できるユーザーを制限するために、必ず［パスワード］を設定してください。
- 共有プリンタが作成されますので、次のダイアログが表示されている間はしばらくお待ちください。

「共有プリンタ（LP-XXXXX）」を作成しています。しばらくお待ちください。

9 ［OK］をクリックして［プリンタセットアップ］ダイアログを閉じます。

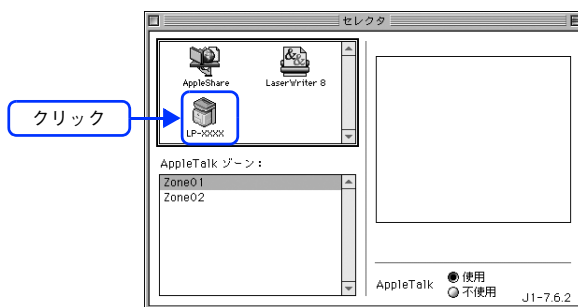
10 ［セレクタ］ダイアログ左上のクローズボックスをクリックしてダイアログを閉じます。

以上で設定は終了です。

共有プリンタに印刷する（Mac OS 9）

ネットワーク上の共有プリンタを使用するには、各ユーザーの Mac OS から次の手順に従って共有プリンタに接続してください。

1 **ネットワーク上の共有プリンタの電源がオン（ I ）になっていることを確認します。**

2 **Mac OS を起動した後、アップルメニューからセレクタをクリックして開きます。**

3 **プリンタドライバ［LP-M5500］を選択します。**

QuickDraw GX は使用できません。プリンタドライバのアイコンが表示されない場合は、QuickDraw GX を使用停止にしてください。

本書 97 ページ「システム条件」

4 **共有プリンタをダブルクリックして選択します。**

- 共有プリンタのパスワードが変更されている場合は、5 へ進んでください。
- パスワードが変更されていない共有プリンタにすでに一度接続している場合や、共有プリンタにパスワードが設定されていない場合は、6 へ進んでください。

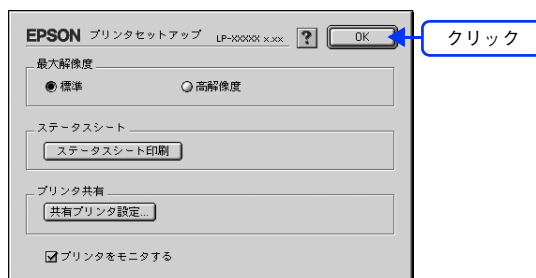
- 共有プリンタの名前は、共有を許可している Mac OS のユーザーにお尋ねください。
- 共有プリンタの名前が表示されない場合や、共有プリンタの名前をダブルクリックしても何も表示されない場合は、コンピュータとプリンタの接続状態が正しいか、本機の電源がオンになっているかを確認してください。
- 共有プリンタのパスワードが変更されていない場合は、［セットアップ］をクリックすると［プリンタセットアップ］ダイアログが表示されます。6 へ進んでください。

5 共有プリンタへ接続するためのパスワードを入力します。

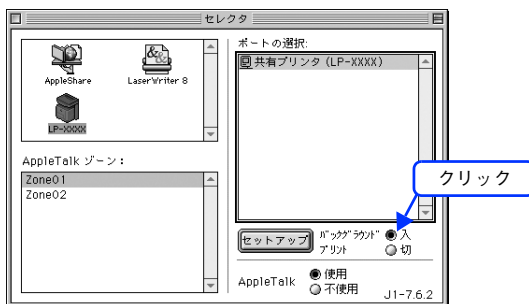
共有プリンタのパスワードは、共有を許可している Mac OS のユーザーにお尋ねください。

6 ［OK］をクリックしてダイアログを閉じます。

設定の詳細は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 78 ページ「［プリンタセットアップ］ダイアログ（Mac OS 9）」

7 ［バックグラウンドプリント］を設定します。

設定の詳細は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 42 ページ「Mac OS 9 で印刷中も別の作業をしたい（バックグラウンドプリント）」

参考

［バックグラウンドプリント］を［入］にすると、印刷しながらほかの作業ができます。ただし、ご使用の Mac OS によってはマウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷時間が長くなる場合があります。印刷速度を優先する場合は、［切］を選択してください。

8 ［セレクタ］ダイアログ左上のクローズボックスをクリックしてダイアログを閉じます。

以上で共有プリンタに接続しました。このあとは、通常のプリンタのように［用紙設定］ダイアログや［プリント］ダイアログを設定して印刷してください。

カラー印刷のポイント

8～16 色程度のイラストを印刷する場合は、プリンタドライバやアプリケーションソフトでカラー印刷を行う設定さえしておけば、特別な準備や調整は不要です。しかし、本書の出力サンプルや販売店でご覧になった写真のような印刷を行うには、印刷データの調整やコンピュータ環境の整備が必要です。

印刷解像度

ディスプレイに表示される画像やプリンタで印刷される画像は、小さなドット（点）で構成されています。印刷解像度は、1 インチ（約 2.54cm）あたりにいくつの点があるかを dpi（dots per inch）という単位で表現し、この値が大きい方がきめの細かい印刷結果を得ることができます。

本機の印刷解像度は、300dpi または 600dpi のいずれかを選択することが可能です。［プリント］ダイアログの［印刷品質］で［標準］（300dpi）または［高品質］（600dpi）を選択します。600dpi を選択すると、きめの細かいきれいな画像が印刷できますが、印刷時間は長くなります。また扱うデータ量が大きくなるため、メモリの増設が必要になる場合があります。印刷の目的に合わせて印刷解像度を選択してください。

イメージ図

● 300dpi

● 600dpi

スクリーン線数（解像度優先 / 階調優先）

印刷される画像の色の濃淡は、用紙上のトナーの点の密度を変化させることで表現します。この点の密度をスクリーン線数と呼び、1 インチ（約 2.54cm）あたりの密度を lpi（lines per inch）という単位で表現し、この値が大きい方が精密な印刷結果を得ることができます。

- プリンタドライバ上で［解像度優先］を選択すると、スクリーン線数を高めに設定して細い線や細かい模様を正確に再現した印刷結果が得られます。
- ［階調優先］を選択すると、スクリーン線数をやや低めに設定して細い線や細かい模様などは正確に再現できない場合がありますが、色調の変化などをよりなめらかに表現した印刷結果が得られます。
- ［自動（解像度優先 / 階調優先）］を選択すると、印刷するデータに対して適したスクリーン線数を自動的に選択して印刷します。

イメージ図

●階調優先

●解像度優先

カラー画像の印刷と必要メモリの関係

カラー画像の印刷には多くのメモリを必要とします。印刷に必要なメモリの量は、画像データのサイズや印刷時の設定によって変わります。必要なメモリの量に関係する印刷時の設定は、次の 2 つがあります。

- 印刷サイズ
- 解像度（[標準］300dpi/［高品質］600dpi）

実際の印刷で必要となるプリンタのメモリの量は、印刷データやアプリケーションソフトにより異なりますが、通常使用における目安として下表を参考にしてください。また推奨のメモリサイズをプリンタに実装することで、印刷速度の改善など、より効率的な印刷が可能になります。なお DTP 出力などで複雑な印刷にご使用の場合は、576MB（最大時）まで増設することをお勧めします。

	印刷サイズ	解像度	必要メモリ	推奨メモリ
片面	A4	標準	128MB	128MB
		高品質	128MB	128MB
	A3	標準	128MB	128MB
		高品質	128MB	128MB
両面	A4	標準	128MB	128MB
		高品質	128MB	128MB
	A3	標準	128MB	128MB
		高品質	128MB	128MB

また、カラー画像のデータサイズは、モノクロデータに比べ大きいものになるため、ご利用のコンピュータのハードディスクの空き領域を十分に確保する必要があります。主な入力装置でのカラー画像データサイズは、下表のようになります。

入力装置／品質		原稿サイズ	画素数（ピクセル）	画像データ容量
デジタルカメラ	350,000 画素	−	640 × 480	900KB
	870,000 画素	−	1024 × 768	2.3MB
	1,300,000 画素	−	1290 × 960	3.52MB
	2,140,000 画素	−	1600 × 1200	5.5MB
フイルムスキャナ	1200dpi	−	1700 × 1100	5.4MB
フラットベッドスキャナ	300dpi	4' × 6'	1200 × 1800	6.2MB
		A4	2550 × 3600	26.3MB
	600dpi	4' × 6'	2400 × 3600	24.7MB
		A4	5100 × 7200	105.1MB
	1200dpi	4' × 6'	4800 × 7200	100MB
		A4	10200 × 14000	420MB
Photo CD	BASE	−	768 × 512	1.1MB
	4BASE	−	1536 × 1024	4.5MB
	16BASE	−	3072 × 2048	18.0MB

印刷時のポイント（オートフォトファイン !5）

プリンタドライバの設定モードは、通常［推奨設定］にしておけば、標準的な印刷結果が得られるように色調整されています。しかし、ここで行われる色調整は、一般的かつ一律的なレベルですので、さらに細かく調整をしたい場合には［詳細設定］で微調整（設定変更）を行ってください。

● Mac OS 9 ドライバ *

* Mac OS X には オートフォトファイン !5 は ありません。

オートフォトファイン !5

オートフォトファイン !5 とは、エプソン独自の画像解析 / 処理技術を用いて自動的に画像を高画質化して印刷する機能です。一般的に、市場で「きれい」と感じられるデジタル画像には、ほとんどの場合、元データに対して何らかの「補正」がかけられています。通常、このような「補正」はフォトレタッチソフトなどを使用して行いますが、この作業には「色」に関する知識と、豊富な作業経験が要求されます。また、この作業には時間もかかります。

このような難しい補正作業を、人の手に代わって自動的かつ短時間に行う機能が「オートフォトファイン !5」です。（印刷時に補正するだけで、元データに補正は加えません。）この機能は、1 ページ内に複数の画像イメージが存在する場合にも、それぞれのイメージに対して個別の解析を行い、最適な処理を実行します。

- 画像によって補正の効果は異なります。例えば、すでに適切な補正がかけられている画像などは効果が薄くなります。
- 256 色などの色数の少ない画像データには有効に機能しないことがあります。
- 画像を解析しながら印刷処理を行うので、処理速度の遅い CPU を搭載しているコンピュータなどでは印刷時間が長くなります。
- ディスプレイ上の表示と印刷結果を合わせたいときは「ColorSync」（Mac OS）を使用して印刷してください。
- EPSON製デジタルカメラの画像転送ソフトにおいてオートフォトファインを使用した画像データには、プリンタドライバのオートフォトファイン !5 は使用しないでください。

オートフォトファイン !5 を指定して印刷を実行すると、プリンタドライバはまず画像全体の中から主要なオブジェクトを認識します。そして、そのオブジェクトを次のように解析して処理を行います。

RGB カラーバランスの補正	色かぶりが補正されます。オブジェクトの RGB ごとのヒストグラムを分析し、RGB ごとにトーンカーブ補正を行います。
解像度の補正	低解像度の粗い画像をきめ細かく表現します。画像データの解像度が低い場合、擬似的に解像度を上げて印刷します。
明るさの補正	暗すぎる（露出不足）画像などが修正されます。オブジェクトの明るさを分析し、輝度に対して最適なトーンカーブ補正を行います。
コントラストの強調	中間調のコントラストが上がり、メリハリのある画像になります。ヒストグラムの最小値と最大値を、それぞれ最適になるようにダイナミックレンジを拡大し、さらにヒストグラムの分布から、トーンカーブを画像に応じて適切に調整します。
彩度の強調	色あせた画像が鮮やかになります。画像の彩度の程度を分析し、その程度に応じた彩度調整をかけます。

オートフォトファイン !5 での印刷は、1 ページに複数の画像がある場合でも個別に適切な補正を行います。

イメージ図

●オートフォトファイン !5 OFF

●オートフォトファイン !5 ON

明るさの補正

コントラスト・彩度の強調

RGB カラーバランスの補正

7 スキャンの基本操作

コンピュータからスキャナを使用する場合の、基本的な操作を説明しています。

スキャンを始める前に

本機には、コンピュータから EPSON Scan を使用してスキャンする方法と操作パネルからスキャンする方法があります。
ここでは、コンピュータからスキャンする方法について説明します。
操作パネルからのスキャン方法は、『活用ガイド』を参照してください。

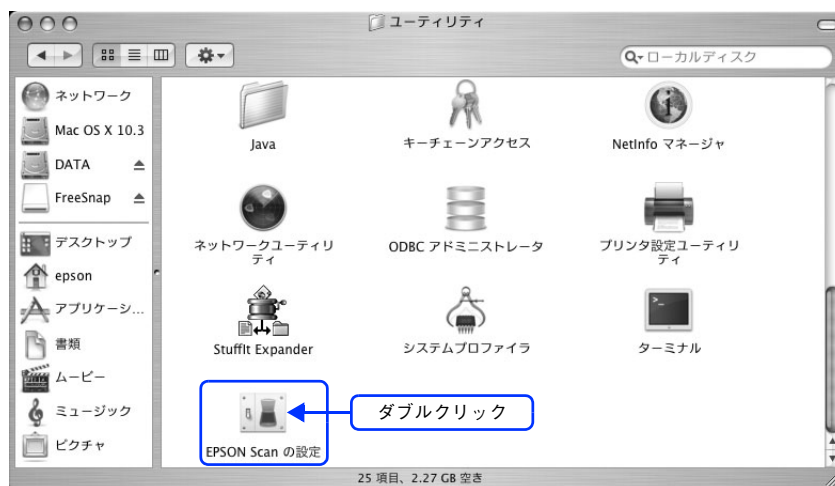
接続先の設定と確認をする（USB 接続）

『EPSON ソフトウェア CD-ROM』からソフトウェアを正しくインストールしていれば問題なくスキャンを始めていただけますが、次の手順でスキャン可能な状態か確認してください。

1 本機の電源をオン（ | ）にします。

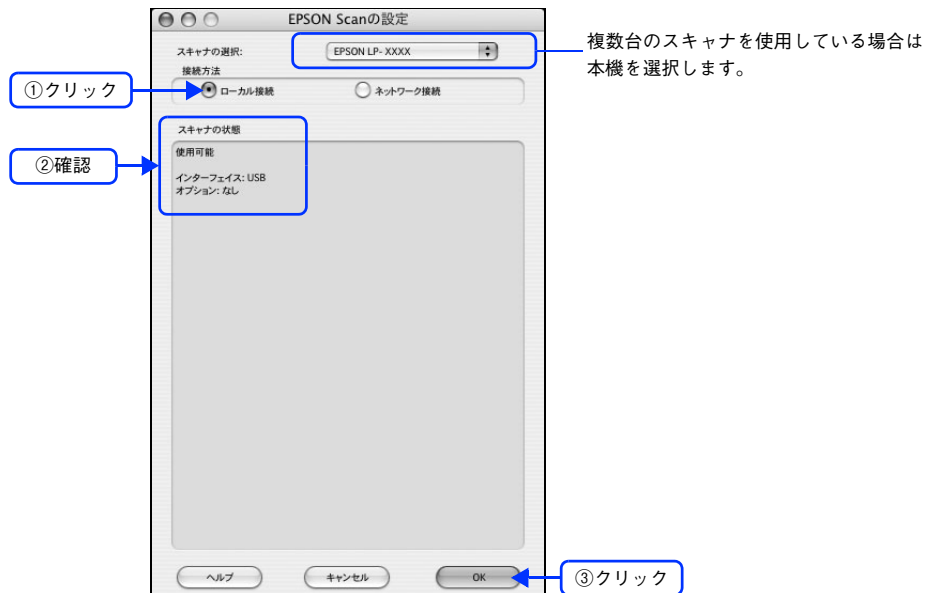
2 ［EPSON Scan の設定］画面を開きます。

Mac OS X

ハードディスクー［アプリケーション］フォルダー［ユーティリティ］フォルダー［EPSON Scan の設定］アイコンの順にダブルクリックしてください。

Mac OS 9

［アップル］メニュー -［コントロールパネル］-［EPSON Scan の設定］をクリックしてください。

3 ［ローカル接続］をクリックし、スキャナの状態が［使用可能］になっていることを確認して、［OK］をクリックします。

複数台のスキャナを接続している場合は、［スキャナの選択］一覧から本機を選択してください。
スキャナが使用可能な状態にならない場合は、以下のページを参照して対処し、もう一度やり直してください。
☞ 本書 282 ページ「スキャナが動かない／スキャンできない」

以上で接続の確認手順の説明は終了です。

この後は、実際にスキャンしてみてください。

接続先の設定と確認をする（ネットワーク接続）

『EPSON ソフトウェア CD-ROM』からソフトウェアを正しくインストールした後、次の手順に従って EPSON Scan を設定します。

> **!注意** Mac OS 9 をお使いの場合は、本機と本機を使用するコンピュータに適正な IP アドレスが設定されている必要があります。IP アドレスの設定については、『ネットワーク設定ガイド』（PDF）を参照してください。

1 本機の電源をオン（ | ）にします。

2 ［EPSON Scan の設定］画面を開きます。

Mac OS X の場合

ハードディスク－［アプリケーション］フォルダー［ユーティリティ］フォルダー［EPSON Scan の設定］アイコンの順にダブルクリックしてください。

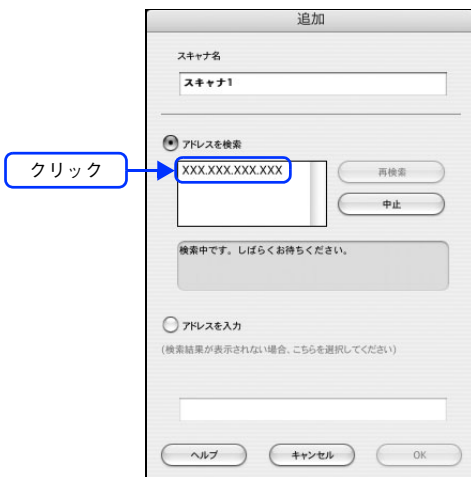
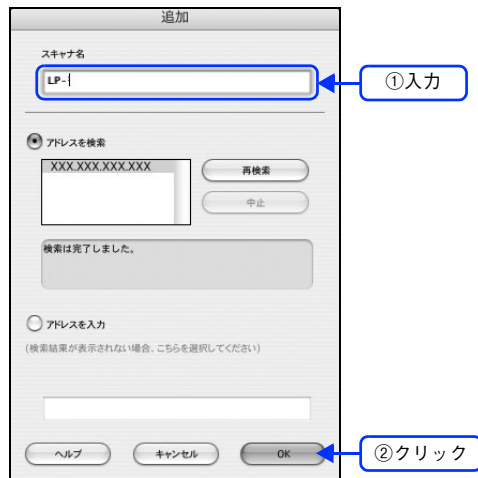
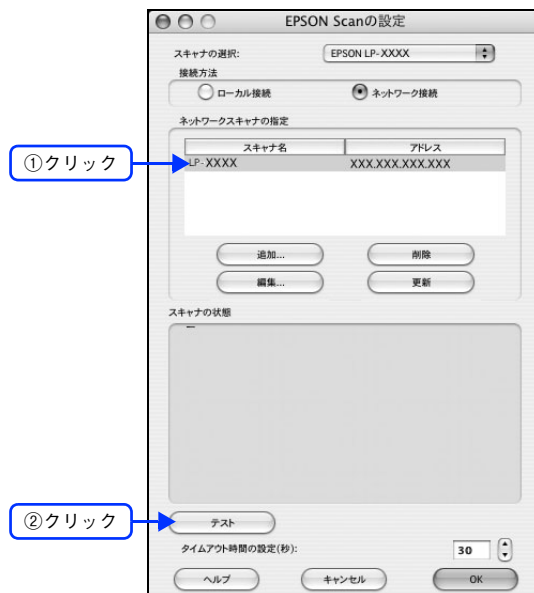
Mac OS 9 の場合

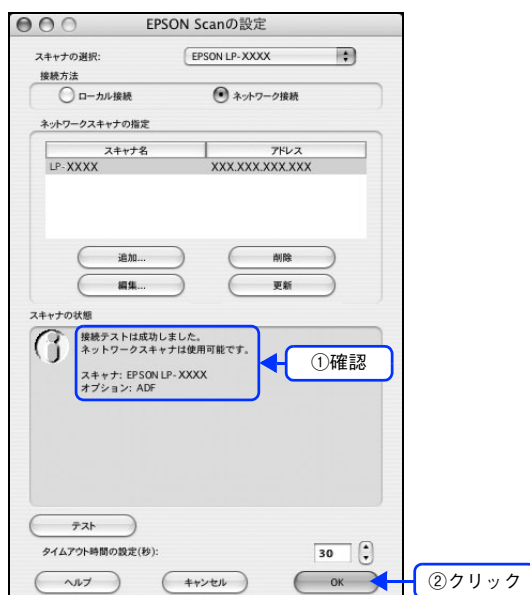
①［アップル］メニュー－②［コントロールパネル］－③［EPSON Scan の設定］をクリックしてください。

3 ［ネットワーク接続］をクリックして、［追加］をクリックします。

複数台のスキャナを接続している場合は、［スキャナの選択］一覧から本機を選択してください。
［EPSON Scan の設定］画面を開いた直後は、本機の検索中のため選択できません。検索が終了して選択できるようになるまで少しお待ちください。
スキャナが表示されたときは、6 へ進みます。

4 ネットワークに接続されている本機の IP アドレスが表示されますので、クリックして選択します。

アドレスが表示されないときは、［アドレスを入力］をクリックして、IP アドレスを直接入力してください。

5 ［スキャナ名］を入力して、［OK］をクリックします。

6 接続するスキャナをクリックして、［テスト］をクリックします。

7 ［接続テストは成功しました］と表示されるのを確認して、［OK］をクリックします。

スキャナが使用可能な状態にならない場合は、以下のページを参照して対処し、1 からやり直してください。
本書 282 ページ「スキャナが動かない／スキャンできない」

以上で接続の確認手順の説明は終了です。

この後は、実際にスキャンしてみてください。

原稿のセット方法

原稿台へ原稿をセットする

セットできる原稿

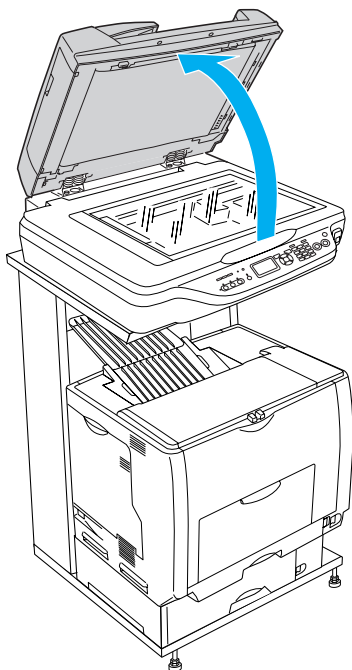
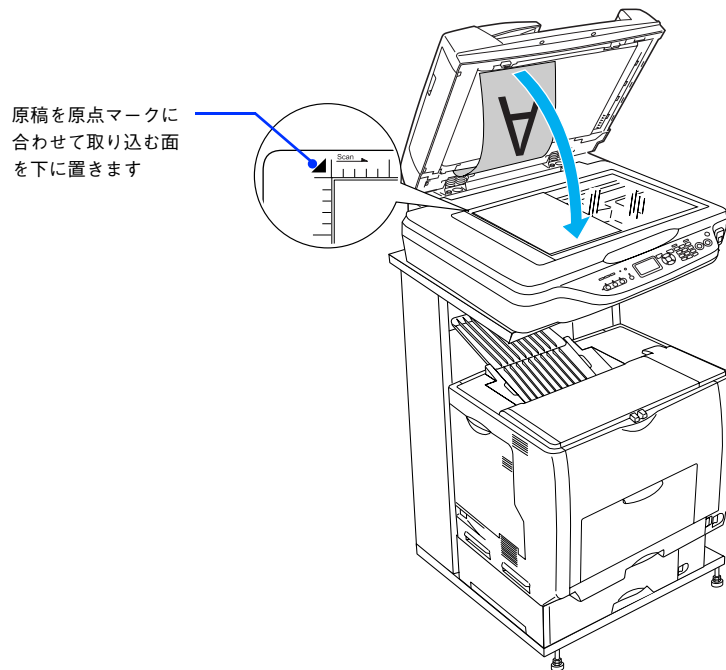
原稿台には、最大 A3 サイズまでの原稿がセットできます。サイズ検知ができる用紙サイズは次の通りです。

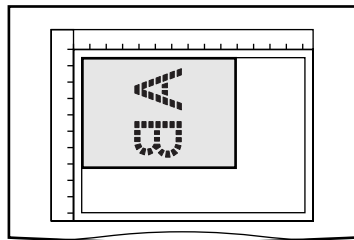
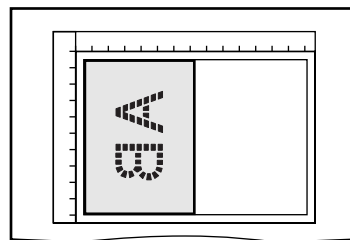
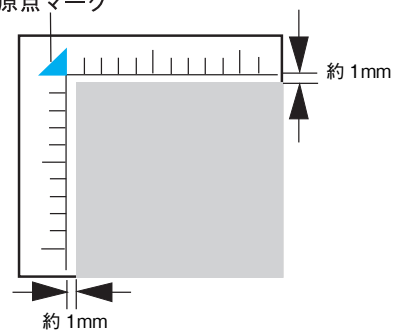
自動検知可能原稿サイズ	B5 縦 / 横、A4 縦 / 横、B4、A3

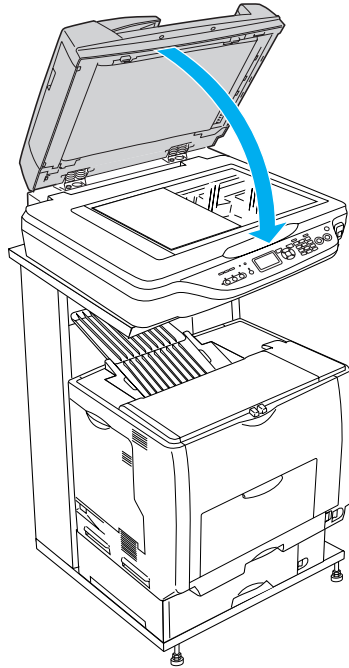
!注意

- 写真などの原稿を原稿台の上にセットしたまま、長時間放置しないでください。原稿台に貼り付くおそれがあります。
- 取り込み面が平らな原稿を使用してください。取り込み面がゆがんでいると、取り込んだイメージもゆがみます。

原稿のセット方法

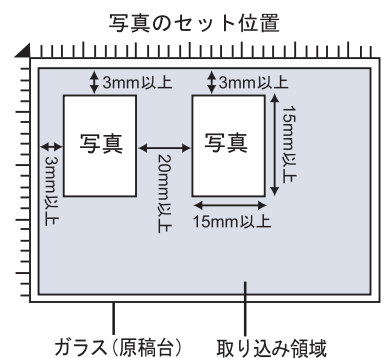
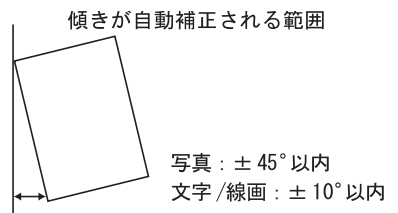
1 **原稿カバーを開けます。**

2 原稿の取り込む面を下に向け、原稿台にセットします。

A4 サイズ以下の原稿は、次の向きでセットしてください。

縦長原稿の場合

横長原稿の場合

原稿台の上端から最大 1mm、右端から 1mm の範囲はスキャンできません。

3 原稿カバーを閉じます。

原稿カバーに指を挟まないよう注意しながら、原稿が動かないように、ゆっくり閉じてください。

- 原稿カバーは、原稿台から 45° のところで一旦止まるようにできています。ただし、上から勢いよく閉じると 45° のところで止まらないことがあるのでご注意ください。
- 原稿台や原稿カバーに強い力をかけないでください。破損するおそれがあります。
- 原稿を強く押さえ付けないでください。強く押さえ付けると、スキャンした画像にシミやムラ、斑点が出ることがあります。

参考

ホームモードで反射原稿をサムネイル表示する場合（LP-M5500 のみ）

- 取り込み領域の端面から3mm以上離してセットしてください。
- 複数の写真を並べてセットする場合は、写真と写真の間隔を 20mm 以上空けてください。

- 傾き（写真の場合は± 45° 以内、文字・線画の場合は± 10° 以内）は自動的に補正されますが、原稿によっては補正できない場合があるため、できるだけまっすぐセットしてください。
サムネイル表示の詳細については、EPSON Scan ヘルプの「全自動モード / サムネイル表示のヒント」をご覧ください。

以上で原稿（写真や雑誌など）のセットは終了です。

オートドキュメントフィーダ（ADF）へ原稿をセットする（LP-M5500F のみ）

セットできる原稿

オートドキュメントフィーダにセットできる用紙は次の通りです。

原稿サイズ	A3、Ledger（約 280 × 432mm）、B4、Legal（216 × 356mm）、A4、Letter（216 × 279mm）、B5、A5、A6*、官製ハガキ * 不定形紙幅：148 ～ 297mm　長さ：100 ～ 432mm
セット可能枚数	100 枚（A4：80g/ ㎡） （用紙ガイドの目盛りを超えてセットしないこと）
紙質	普通紙、上質紙、リサイクル紙、レーザープリンタ専用紙、インクジェットプリンタ専用紙
紙厚（連量）	50 ～ 127g/ ㎡

* 横長にセットしてください。このサイズは自動検知できないので、A5 横サイズで取り込まれます。この場合は、一度プレビューして取り込み枠を原稿に合わせてから取り込んでください。

! 注意　写真原稿など特に貴重な原稿は、カールなどで原稿を傷めるおそれがありますので使用しないでください。

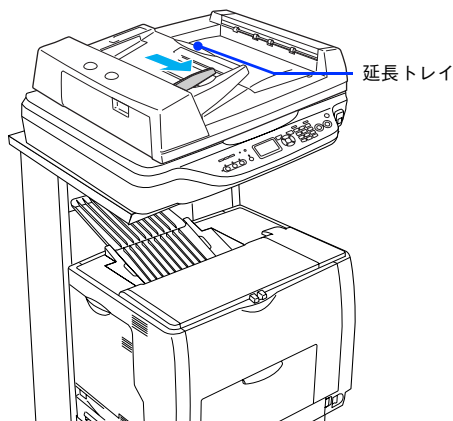
セットできない原稿

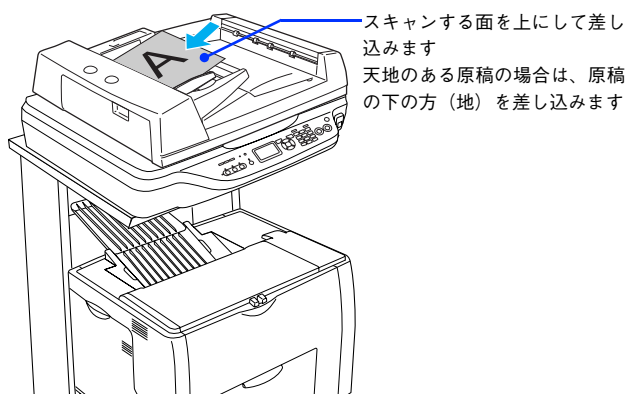
次の用紙は、オートドキュメントフィーダでは使用しないでください。給紙不良またはオートドキュメントフィーダの故障などの原因になります。

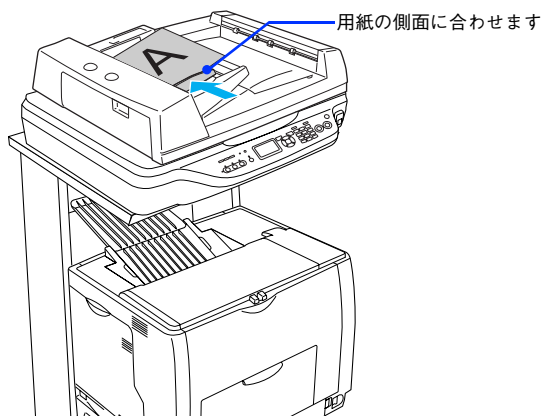
- 折り目、反り（カール）、しわ、破れのある用紙（原稿が反っている場合は、反りを直してセットしてください）
- 糊、ホチキス、クリップなどが付いた用紙
- 形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
- 貼り合わせ、ラベル紙（裏面糊付）
- ルーズリーフの多穴原稿
- 綴じのある用紙（製本物）
- 裏カーボンのある用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙
- 透明紙（OHP シートなど）、半透明紙、光沢紙
- シールなどが貼ってある原稿
- 劣化した原稿

原稿のセット方法

1 用紙ガイドをセットする原稿サイズの目盛りの位置まで広げます。

B4 以上のサイズをセットするときは、延長トレイを引き出します。

2 原稿をセットします。

原稿のスキャンする面を上にして、奥に突き当たるまで差し込みます。

- 両面原稿の場合は、表面を上に向けてセットしてください。
- 1 番上の原稿から給紙されます。

3 用紙ガイドを原稿の側面に合わせます。

以上でオートドキュメントフィーダへの原稿のセットは終了です。

スキャンされた原稿は、下段の排紙トレイに排出されます。

スキャンの基本手順

簡単な設定をしてスキャンする（ホームモードの手順）

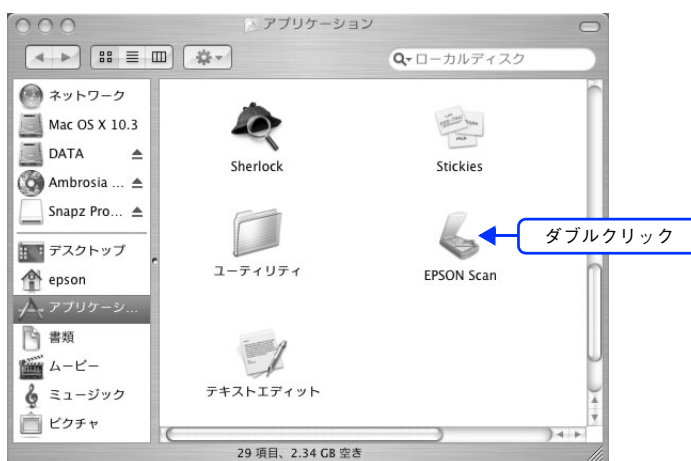
ここでは、簡単な設定をしてスキャンするホームモードでのスキャン方法を説明します。

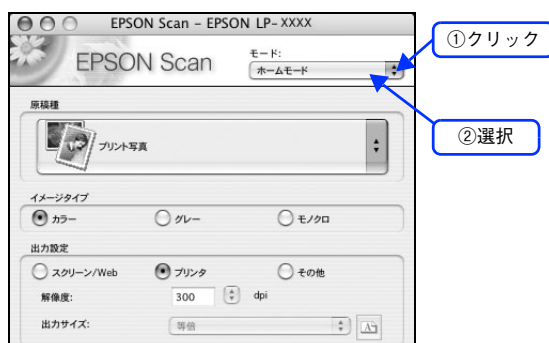
1 スキャナに原稿をセットします。

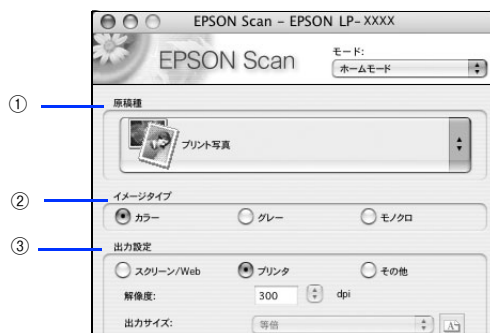
以下のページを参照して、原稿をセットしてください。

☞ 本書 191 ページ「原稿台へ原稿をセットする」

2 EPSON Scan を起動します。

Mac OS X の場合は、ハードディスクー［アプリケーション］フォルダー［EPSON Scan］アイコンの順にダブルクリックしてください。

Mac OS 9 の場合は、［アップル］メニューをクリックして、［EPSON Scan］をクリックしてください。

3 画面右上のモードで［ホームモード］を選択します。

ここでホームモードを選択しておくと、次回起動したときに直接ホームモード画面が表示されます。

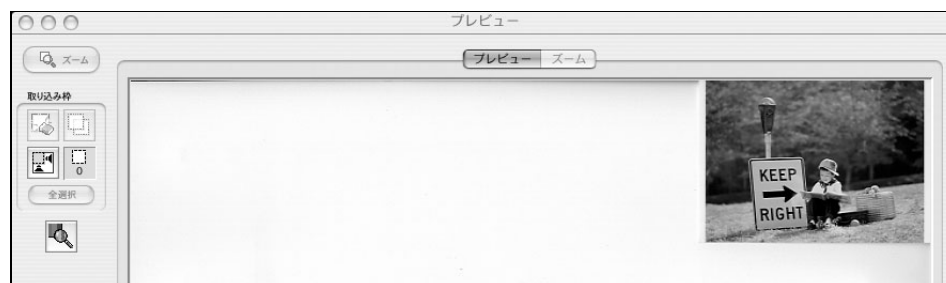
4 ①～③の各項目を設定します。

<table>
<tr><td>①</td><td>原稿種</td><td colspan="3">プルダウンメニューをクリックして、セットした原稿の種類を選択します。</td></tr>
<tr><td>②</td><td>イメージタイプ</td><td colspan="3">原稿種に合ったイメージタイプが自動的に設定されます。
変更したいときは、チェックを付け替えます。カラー写真をグレー（白黒）でスキャンするときなどに変更します。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">③</td><td rowspan="5">出力設定</td><td colspan="3">スキャンした画像の用途を選択します。用途を選ぶと、適切な解像度が設定されます。</td></tr>
<tr><th>設定</th><th>解像度</th><th>用途</th></tr>
<tr><td>スクリーン / Web</td><td>96dpi</td><td>壁紙などのディスプレイ表示や、ホームページ上で使用する画像をスキャンする場合に選択します。</td></tr>
<tr><td>プリンタ</td><td>300dpi</td><td>プリンタで印刷する場合に選択します。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>－</td><td>その他の用途で使用する場合に選択し、［解像度］リストで用途に応じた解像度を設定してください。</td></tr>
</table>

参考

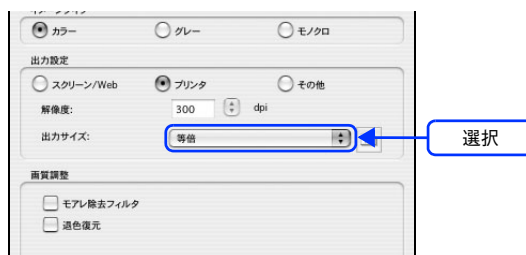
解像度とは？

☞ 本書 290 ページ「解像度」
☞ 本書 292 ページ「解像度を上げるときれいになる？」

5 ［プレビュー］をクリックします。

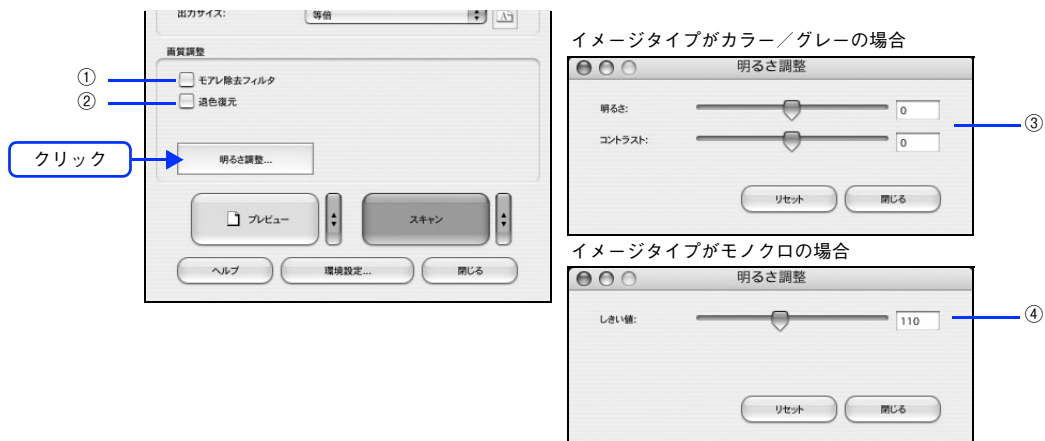
プレビュー結果が表示されます（［原稿種］が［プリント写真］の場合）。

- LP-M5500 をお使いで［原稿種］が［プリント写真］の場合、プレビューの方法を選択することができます。詳しくは以下のページをご覧ください。
  ☞ 本書 262 ページ「サムネイルプレビューと通常プレビュー（LP-M5500 のみ）」
- きれいにプレビューできない場合は、輸送用固定レバーが解除されているか確認してください。
  ☞ 本書 275 ページ「スキャン品質が悪い」

6 必要に応じて、［出力サイズ］を選択します。

スキャン後の画像の大きさを選択してください。
通常は［等倍］のままでかまいません。

原稿とスキャン後の画像の大きさを変えたい場合は、［出力サイズ］でサイズを選択してください。
☞ 本書 246 ページ「お好みのサイズでスキャン（［出力サイズ］設定）」

7 通常プレビューの場合は、プレビュー画面上でスキャンする範囲を設定します。

スキャンしたい部分をドラッグして囲んでください。取り込み枠（破線表示）が表示されます。
LP-M5500 でサムネイルプレビューになっている場合は、次の手順へ進みます。
取り込み枠の操作の詳細は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 254 ページ「必要な部分だけを切り取ってスキャン」

8 必要に応じて、画質を調整します。

①	モアレ除去フィルタ	印刷物（雑誌、カタログなど）のスキャンで発生するモアレ（網目状の陰影）が目立つ場合にチェックしてください。 本書 215 ページ「モアレ（網目状の陰影）の除去（モアレ除去フィルタ）」
②	退色復元	色あせたり、日に当たって変色した昔の古い写真の色合いを、元の色に戻したい場合にチェックしてください。 本書 221 ページ「色あせた写真の色を復元する（退色復元）」
③	明るさ / コントラスト	スキャンした画像が明るすぎたり暗すぎたりしたときに、調整してください。 本書 230 ページ「明るさとコントラストを調整する 1（簡単設定）」
④	しきい値 （イメージタイプがモノクロの場合のみ）	文字原稿や図面などで、文字や線がかすれる場合に調整してください。 しきい値とは、画像を白と黒の（2 値）データでスキャンするときの、白黒の境を決めるものです。

9 ［スキャン］をクリックします。

10 必要に応じて［保存先］/［ファイル名］/［保存形式］を設定して、［OK］をクリックします。

①	保存先	スキャンした画像を保存するフォルダが表示されます。 保存先を変更する場合は、［選択］をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。
②	ファイル名	画像のファイル名を設定します。 ファイル名は、［文字列］＋［開始番号］で指定した番号になります。
③	保存形式	画像の保存形式を選択します。 JPEG 形式を選択することをお勧めします。JPEG 形式では圧縮率を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータに戻すことはできません）、さらに保存のたびに劣化するので、スキャン後に画像を加工する場合は、TIFF 形式を選択することをお勧めします。
④	同一ファイル名が存在する場合、常に上書きする	同じ名前のファイルが存在していた場合、上書き保存します。 上書き保存したくない場合は、チェックを外してください。
⑤	次回スキャン前に、このダイアログを表示する	［スキャン］をクリックするたびに、［保存ファイルの設定］画面を表示します。
⑥	スキャン後、保存フォルダを開く	スキャン後に、［保存先］で指定したフォルダが開きます。

アプリケーションソフトから EPSON Scan を起動すると、［保存ファイルの設定］画面は表示されません。

11 次の画面が表示され、スキャンが始まり、指定した保存先に保存されます。

［保存ファイルの設定］画面で［スキャン後、保存フォルダを開く］をチェックしていると、スキャン後に保存されたフォルダが開きます。

12 保存されたファイルを確認します。

スキャンした画像は、［保存ファイルの設定］画面で設定した保存先（フォルダ）に保存されています。
初期設定では、次のフォルダに保存されます。

- ［EPSON Scan Image］フォルダ
- ［ピクチャ］フォルダ

以上でホームモードでのスキャン / 保存は終了です。

大量の文書をスキャン(オフィスモードの手順)

オフィスモードは、原稿を速く大量にスキャンしたいときにお勧めのモードです。

1 スキャナに原稿をセットします。

以下のページをご覧になって、原稿をセットしてください。

☞ 本書 194 ページ「オートドキュメントフィーダ(ADF)へ原稿をセットする(LP-M5500F のみ)」
☞ 本書 191 ページ「原稿台へ原稿をセットする」

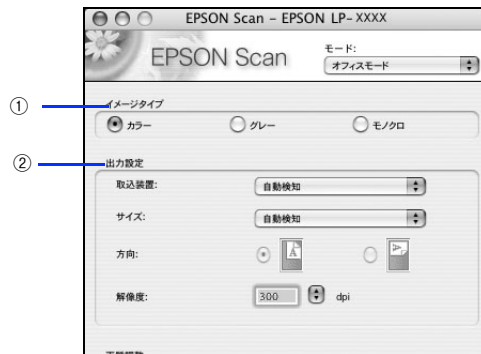
2 EPSON Scan を起動します。

Mac OS X の場合は、ハードディスクー[アプリケーション]フォルダー[EPSON Scan]アイコンの順にダブルクリックしてください。

Mac OS 9 の場合は、[アップル]メニューをクリックして、[EPSON Scan]をクリックしてください。

3 画面右上のモードで[オフィスモード]を選択します。

ここでオフィスモードを選択しておくと、次回起動したときに直接オフィスモード画面が表示されます。

4 ①、②の各項目を設定します。

①	イメージタイプ	原稿種に合ったイメージタイプが自動的に設定されます。 変更したいときは、チェックを付け変えます。カラー写真をグレー（白黒）でスキャンするときなどに変更します。	
②	出力設定	取込装置、原稿サイズ、セット方向、取込解像度を指定します。	
		取込装置	LP-M5500F の場合のみ選択可能です。［ADF- 片面］（オートドキュメントフィーダ）、［ADF- 両面］、［原稿台］、［自動検知］の中から選択します。
		サイズ	セットした原稿のサイズに合わせて選択します。 ［自動検知］は、A4、B5、Letter サイズの用紙がセットされているときに有効です。 希望するサイズがない場合は、ユーザー定義サイズを選択して登録します。
		方向	原稿をセットした方向を選択します。［サイズ］で指定した値によって選択できる場合と選択できない場合があります。
		解像度	スキャン後の画像解像度を設定します。 • E メール送信：96 ～ 150dpi • プリンタ／文書ファイリング：300dpi • FAX 送信：200dpi

解像度とは？

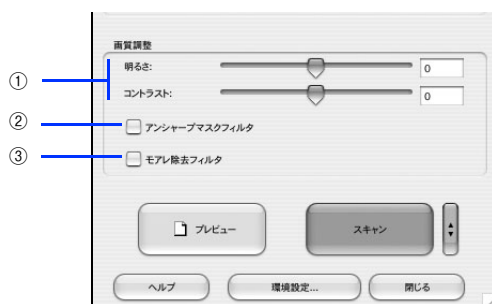
☞ 本書 290 ページ「解像度」
☞ 本書 292 ページ「解像度を上げるときれいになる？」

5 スキャンの画質を調整したい場合は、［プレビュー］をクリックします。

ビジネス文書を大量に取り込む場合など、特に画質にこだわらない場合は手順 8 へ進みます。

プレビュー結果が表示されます。オートドキュメントフィーダをご使用の場合は、1 枚目の原稿のプレビューが表示されます。

きれいにプレビューできない場合は、輸送用固定レバーが解除されているか確認してください。
本書 275 ページ「スキャン品質が悪い」

6 必要に応じて、画質を調整します。

①	明るさ / コントラスト	スキャンした画像が明るすぎたり暗すぎたりしたときに、調整してください。 本書 230 ページ「明るさとコントラストを調整する 1（簡単設定）」
②	アンシャープマスクフィルタ	輪郭部分を強調して画像をシャープにします。 本書 219 ページ「ぼやけた画像をくっきりさせる（アンシャープマスク）」
③	モアレ除去フィルタ	印刷物（雑誌、カタログなど）のスキャンで発生するモアレ（網目状の陰影）が目立つ場合にチェックしてください。 本書 215 ページ「モアレ（網目状の陰影）の除去（モアレ除去フィルタ）」

オートドキュメントフィーダをご使用の場合は、現在プレビューしている原稿に対する画質の調整が、以降の原稿に対しても適用されます。

7 原稿をセットし直します。

8 ［スキャン］をクリックします。

9 必要に応じて［保存先］/［ファイル名］/［保存形式］を設定して、［OK］をクリックします。

①	保存先	スキャンした画像を保存するフォルダが表示されます。 保存先を変更する場合は、［選択］をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。
②	ファイル名	画像のファイル名を設定します。 ファイル名は、［文字列］＋［開始番号］で指定した番号になります。
③	保存形式	画像の保存形式を選択します。 PDF 形式を選択すると複数の書類をまとめてひとつの PDF ファイルにできます。
④	同一ファイル名が存在する場合、常に上書きする	同じ名前のファイルが存在していた場合、上書き保存します。 上書き保存したくない場合は、チェックを外してください。
⑤	次回スキャン前に、このダイアログを表示する	［スキャン］をクリックするたびに、［保存ファイルの設定］画面を表示します。
⑥	スキャン後、保存フォルダを開く	スキャン後に、［保存先］で指定したフォルダが開きます。

アプリケーションソフトから EPSON Scan を起動すると、［保存ファイルの設定］画面は表示されません。

10 次の画面が表示され、スキャンが始まり、指定した保存先に保存されます。

［保存ファイルの設定］画面で［スキャン後、保存フォルダを開く］をチェックしていると、スキャン後に保存されたフォルダが開きます。

11 保存されたファイルを確認します。

スキャンした画像は、［保存ファイルの設定］画面で設定した保存先（フォルダ）に保存されています。
初期設定では、次のフォルダに保存されます。

- ［EPSON Scan Image］フォルダ
- ［ピクチャ］フォルダ

以上でオフィスモードでのスキャン / 保存は終了です。

画質調整をしてスキャンする（プロフェッショナルモードの手順）

ここでは、詳細な画質調整ができるプロフェッショナルモードでのスキャン方法を説明します。

1　スキャナに原稿をセットします。

以下のページをご覧になって、原稿をセットしてください。

☞ 本書 194 ページ「オートドキュメントフィーダ（ADF）へ原稿をセットする（LP-M5500F のみ）」
☞ 本書 191 ページ「原稿台へ原稿をセットする」

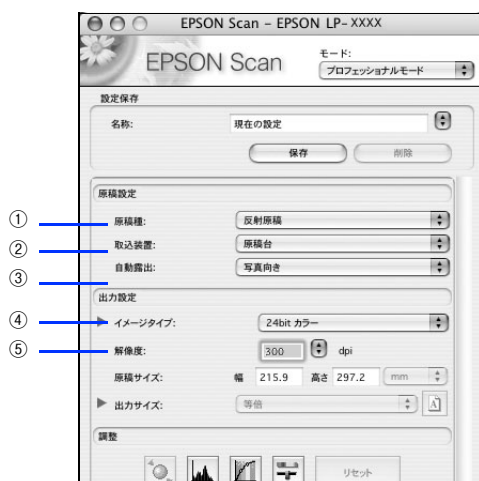
2　EPSON Scan を起動します。

Mac OS X の場合は、ハードディスクー［アプリケーション］フォルダー［EPSON Scan］アイコンの順にダブルクリックしてください。

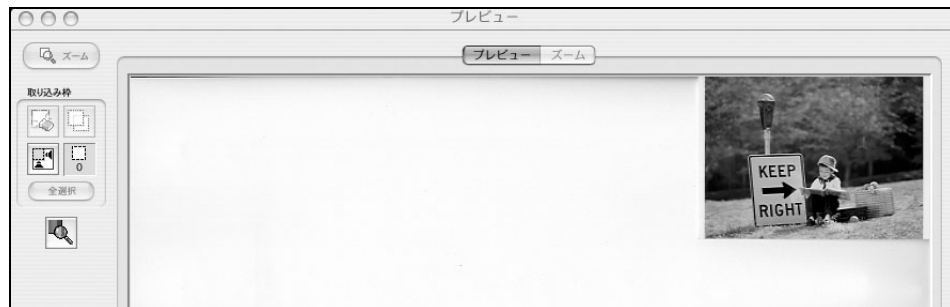
Mac OS 9 の場合は、［アップル］メニューをクリックして、［EPSON Scan］をクリックしてください。

3　画面右上のモードで［プロフェッショナルモード］を選択します。

ここでプロフェッショナルモードに設定しておくと、次回起動したときに直接プロフェッショナルモード画面が表示されます。

4 ①～⑤までの各項目を設定します。

<table>
<tr><td>①</td><td>原稿種</td><td colspan="2">セットした原稿の種類を選択します。</td></tr>
<tr><td>②</td><td>取込装置</td><td colspan="2">LP-M5500F の場合のみ選択可能です。［ADF- 片面］、［ADF- 両面］（オートドキュメントフィーダ）、［原稿台］から選択します。</td></tr>
<tr><td>③</td><td>自動露出</td><td colspan="2">スキャンする原稿の種類に適した露出設定を選択します。</td></tr>
<tr><td>④</td><td>イメージタイプ</td><td colspan="2">スキャンする画像の色数を、24bit カラー、カラースムージング、8 bit グレー、モノクロなどから選択します。</td></tr>
<tr><td rowspan="7">⑤</td><td rowspan="7">解像度</td><td colspan="2">スキャン後の画像解像度を設定します。画像の用途に応じて、次のように設定することをお勧めします。</td></tr>
<tr><td>150dpi（カラー、グレー画像の場合）
360dpi（白黒の線画の場合）</td><td>インクジェットプリンタでのファイン印刷</td></tr>
<tr><td>300dpi（カラー、グレー画像の場合）
720dpi（白黒の線画の場合）</td><td>インクジェットプリンタでのフォト／スーパーファイン印刷</td></tr>
<tr><td>200dpi（カラー、グレー画像の場合）600dpi（白黒の線画の場合）</td><td>レーザープリンタでの印刷</td></tr>
<tr><td>300dpi</td><td>文書ファイリング</td></tr>
<tr><td>96dpi</td><td>ディスプレイ表示／ホームページ用画像</td></tr>
<tr><td>96 ～ 150dpi</td><td>E メール送信</td></tr>
</table>

5 ［プレビュー］をクリックします。

プレビュー結果が表示されます。

- LP-M5500 の場合、プレビューの結果は 2 種類あります。詳しくは以下のページをご覧ください。
  本書 262 ページ「サムネイルプレビューと通常プレビュー（LP-M5500 のみ）」
- きれいにプレビューできない場合は、輸送用固定レバーが解除されているか確認してください。
  本書 275 ページ「スキャン品質が悪い」

6 通常プレビューの場合は、プレビュー画面上でスキャンする範囲を設定します。

スキャンしたい部分をドラッグして囲んでください。取り込み枠（破線表示）が表示されます。
LP-M5500 でサムネイルプレビューになっている場合は、次の手順へ進みます。
取り込み枠の操作の詳細は、以下のページを参照してください。
本書 254 ページ「必要な部分だけを切り取ってスキャン」

7 必要に応じて、［出力サイズ］を選択します。

スキャン後の画像の大きさを選択してください。
通常は［等倍］のままでかまいません。

> **参考** **原稿とスキャン後の画像の大きさを変えたい場合は**
> ［出力サイズ］でサイズを選択してください。
> ☞ 本書 246 ページ「お好みのサイズでスキャン（［出力サイズ］設定）」

8 必要に応じて、画質を調整します。

①	［自動露出］	取り込み枠内の露出（明暗）を自動調整します。 これにより、ほとんどの画像で適切な露出が得られます。自動露出を元に戻すには、［リセット］をクリックします。
②	［ヒストグラム調整］	ハイライトとシャドウ部を調整して画像の明暗やグレーバランスを調整したり、色かぶりを取り除きます ☞本書 233 ページ「明るさとコントラストを調整する 2（ヒストグラム調整）」 ☞本書 228 ページ「色かぶりを取り除く（グレーバランス調整）」
③	［濃度補正］	トーン曲線を編集して画像全体の濃度をバランス良く仕上げます。 ☞本書 237 ページ「明るさとコントラストを調整する 3（濃度補正）」
④	［イメージ調整］	画像の明るさ・コントラスト・彩度や、カラーバランスを調整します。 ☞本書 233 ページ「明るさとコントラストを調整する 2（ヒストグラム調整）」 ☞本書 223 ページ「色を鮮やかにする（彩度調整）」 ☞本書 225 ページ「色合いを変える（カラーバランス調整）」
⑤	［リセット］	自動露出・ヒストグラム調整・濃度補正・イメージ調整した画像を調整前の画像に戻します。

⑥	アンシャープマスクフィルタ	輪郭部分を強調して画像をシャープにします。 ☞本書 219 ページ「ぼやけた画像をくっきりさせる（アンシャープマスク）」
	効果	アンシャープマスクフィルタの横にある「▶」をクリックすると表示されます。 アンシャープマスクの強度を、弱／中／強から選択できます。
⑦	モアレ除去フィルタ	印刷物（雑誌、カタログなど）のスキャンで発生する、モアレ（網目状の陰影）パターンを目立たなくします。
	印刷線数	モアレ除去フィルタの横にある「▶」をクリックすると表示されます。 スキャナにセットした原稿の種類に合った線数を設定することで、モアレがより目立たなくなります。 ☞本書 217 ページ「プロフェッショナルモードで詳細設定する」
⑧	退色復元	昔撮影して色あせてしまったり、日に当たって変色した古い写真の色合いを、元の色に戻してスキャンできます。［自動露出］の設定が［写真向き］になっている場合に選択できます。 ☞本書 221 ページ「色あせた写真の色を復元する（退色復元）」

9 ［スキャン］をクリックします。

10 必要に応じて［保存先］/［ファイル名］/［保存形式］を設定して、［OK］をクリックします。

①	保存先	スキャンした画像を保存するフォルダが表示されます。 保存先を変更する場合は、［選択］をクリックし、表示される画面でフォルダを選択または新規作成してください。
②	ファイル名	画像のファイル名を設定します。 ファイル名は、［文字列］＋［開始番号］で指定した番号になります。
③	保存形式	画像の保存形式を選択します。 JPEG 形式を選択することをお勧めします。JPEG 形式では圧縮率を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータに戻すことはできません）、さらに保存のたびに劣化するので、スキャン後に画像を加工する場合は、TIFF 形式を選択することをお勧めします。
④	同一ファイル名が存在する場合、常に上書きする	同じ名前のファイルが存在していた場合、上書き保存します。 上書き保存したくない場合は、チェックを外してください。
⑤	次回スキャン前に、このダイアログを表示する	［スキャン］をクリックするたびに、［保存ファイルの設定］画面を表示します。
⑥	スキャン後、保存フォルダを開く	スキャン後に、［保存先］で指定したフォルダが開きます。

アプリケーションソフトから EPSON Scan を起動すると、［保存ファイルの設定］画面は表示されません。

11 次の画面が表示され、スキャンが始まり、指定した保存先に保存されます。

［保存ファイルの設定］画面で［スキャン後、保存フォルダを開く］をチェックしていると、スキャン後に保存されたフォルダが開きます。

12 保存されたファイルを確認します。

スキャンした画像は、「ステップ 9 保存ファイルの設定」で設定した保存先（フォルダ）に保存されています。初期設定では、次のフォルダに保存されます。

- ［EPSON Scan Image］フォルダ
- ［ピクチャ］フォルダ

以上でプロフェッショナルモードでのスキャン / 保存は終了です。

8 便利な機能

EPSON Scan を使用してできる便利な機能とその手順を説明しています。

モアレ（網目状の陰影）の除去（モアレ除去フィルタ）

印刷物（雑誌、カタログなど）のスキャンで発生するモアレパターンの発生を防止できます。
モアレとは、網目状に発生する陰影で、肌色などの中間調部分で特に目立ちます。

モアレ除去機能使用時の画像例

調整前

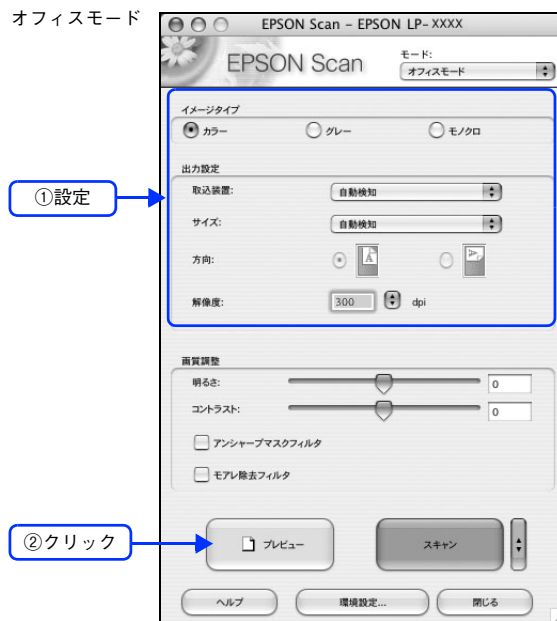
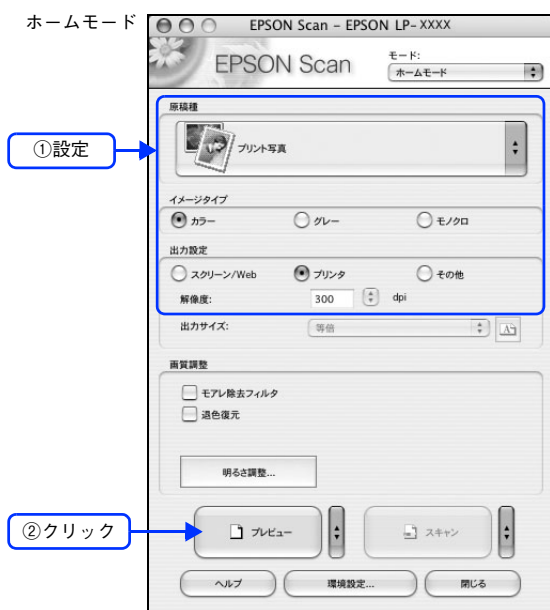
調整後

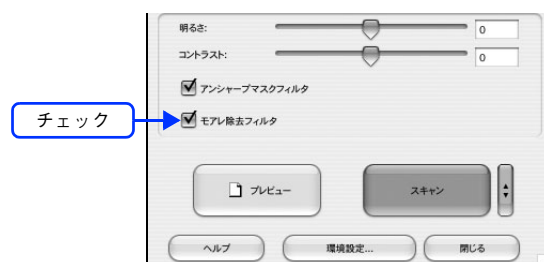
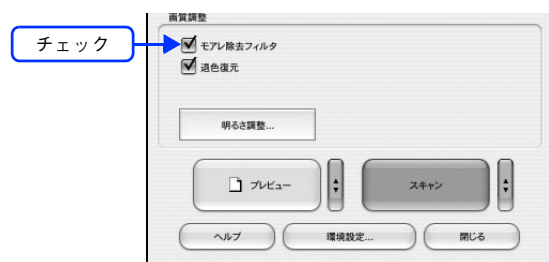
- ［イメージタイプ］で［モノクロ］を選択した場合は、モアレ除去機能を使用できません。
- 画像にモアレパターンが発生しているかどうかは、スキャンした画像をディスプレイ上で100%（1:1）で表示してから確認してください。縮小表示では、画像が荒くモアレが発生しているように見えます。

ホームモード / オフィスモードで簡単にモアレを除去する

1 EPSON Scan を起動して、［ホームモード］または［オフィスモード］に切り替えます。

☞ 本書 257 ページ「起動方法とモードの切替方法」

2 各項目を設定して、［プレビュー］をクリックします。

3 ［モアレ除去フィルタ］をチェックします。

チェックすると、プレビュー画像上でモアレ除去の効果を確認できます。プレビュー画面に表示されているすべての コマまたは取り込み枠に適用されます。

4 その他の設定を確認して、スキャンを実行します。

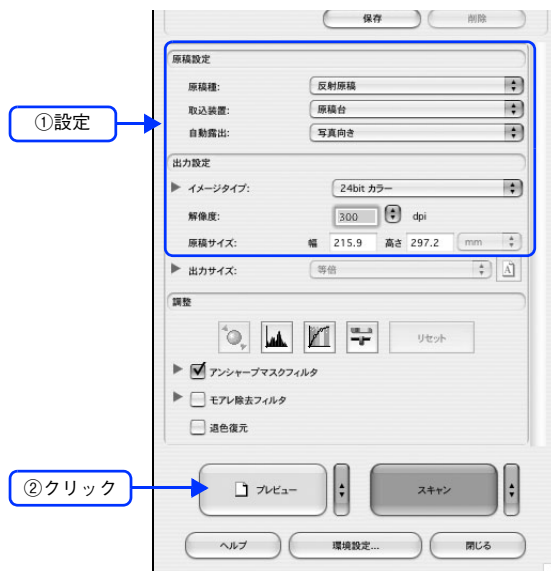
モアレ除去機能を使用するとスキャンに少し時間がかかります。

以上でホームモードまたはオフィスモードでのモアレの除去は終了です。

プロフェッショナルモードで詳細設定する

1 **EPSON Scan を起動して、［プロフェッショナルモード］に切り替えます。**

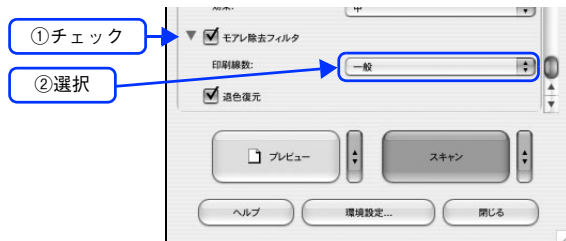
本書 257 ページ「起動方法とモードの切替方法」

2 **各項目を設定して、［プレビュー］をクリックします。**

3 **通常プレビューの場合は、プレビュー画面上でスキャンする範囲を設定します。**

スキャンしたい部分をドラッグして囲んでください。取り込み枠（破線表示）が表示されます。
LP-M5500 でサムネイルプレビューになっている場合は、次の手順へ進みます。
取り込み枠の操作の詳細は、以下のページを参照してください。

本書 254 ページ「必要な部分だけを切り取ってスキャン」

4 ［モアレ除去フィルタ］をチェックして、［印刷線数］を選択します。

複数の画像をスキャンする場合は、プレビュー画面で 1 コマまたは取り込み枠を 1 つずつ選択してからチェックしてください。また、［全選択］をクリックすると、まとめて設定できます。
モアレ除去フィルタの横にある「 ▷ 」をクリックし、原稿に適した印刷線数を選択してください。また、一致する線数の選択肢がない場合には、近い値を試してください。

設定	内容
一般	解像度設定に応じた適切な品質が得られます。 原稿が次の項目以外の線数でスクリーン処理されている場合に選択してください。
新聞（85lpi）	85lpi 前後でスクリーン処理される、新聞などに適した設定です。
雑誌（133lpi）	133lpi 前後の線数でスクリーン処理される、週刊誌やカタログなどの雑誌類に適した設定です。
高品位（175lpi）	175lpi 前後でスクリーン処理される、写真集などの高品質な印刷物に適した設定です。

参考

［モアレ除去フィルタ］の設定項目が見つからない場合は
［モアレ除去フィルタ］の設定項目は EPSON Scan 画面の下の方にありますので、下にスクロールしてみてください。

5 その他の設定を確認して、スキャンを実行します。

- モアレ除去機能を使用すると、スキャンした画像がややぼやける場合があります。この場合はアンシャープマスクフィルタをチェックしてください。
- 線数とモアレの関係：
  画像を印刷する場合、画像にコンタクトスクリーンフィルム（に配列されている微細な網点）を重ね、網点を抜けた光をとらえることによって、画像の濃淡を網点の大小および密度に変換します。網点が約 25.4mm （1 インチ）の幅に何列あるかを線数といい、単位は lpi （line per inch ）で表します。精細に印刷するには、線数が高いスクリーンフィルムを使用する必要がありますので、印刷物の品質が高いほど、線数も多くなります。
  上記の変換によって、印刷物はドット（点）の集まりで構成されます。この印刷物をスキャンしたときに、印刷上のドットとスキャン後にできるドットの位置が重なると、モアレが発生します。
  ［印刷線数］で線数を選択すると、ドットの重複によるモアレの発生を、より緩和することができます。

以上でプロフェッショナルモードでのモアレ除去は終了です。

ぼやけた画像をくっきりさせる（アンシャープマスク）

ぼやけている画像を、アンシャープマスクの度合いを調整し輪郭部分を強調することによって、くっきりシャープにすることができます。
アンシャープマスク調整機能は、EPSON Scan のオフィスモードまたはプロフェッショナルモードでのみ使用できます。

アンシャープマスク機能使用時の画像例

調整前

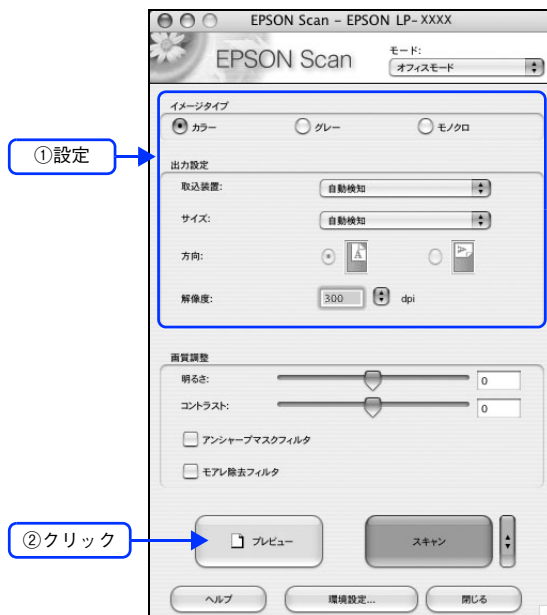
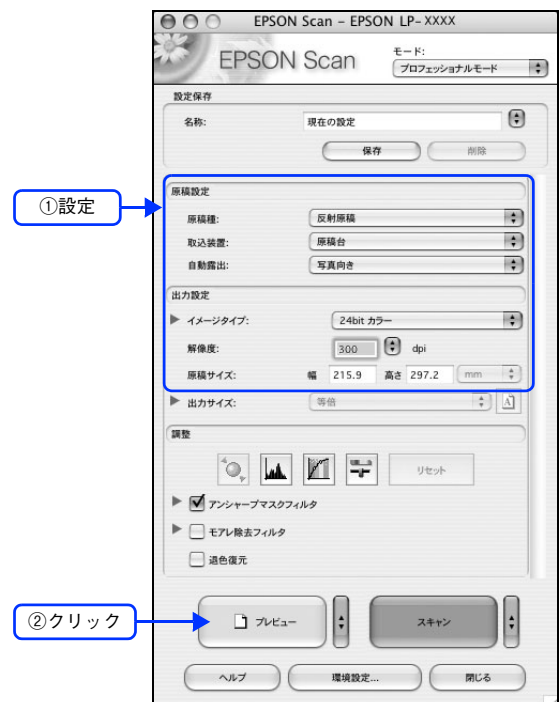
調整後

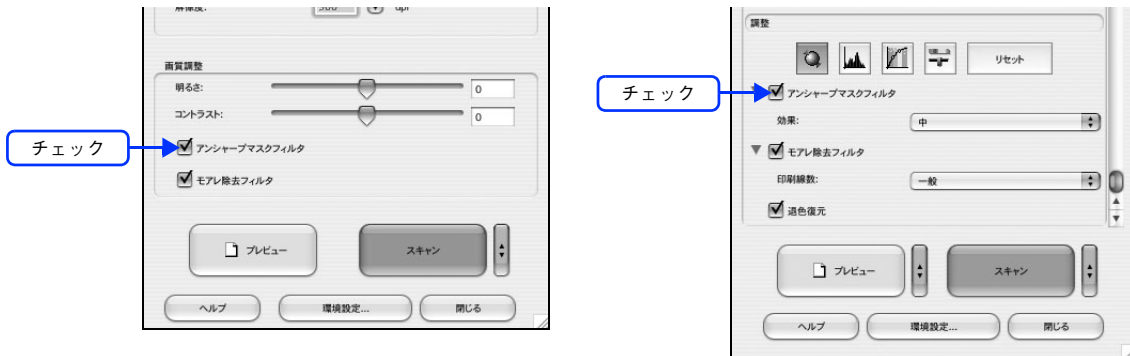
- アンシャープマスク調整機能は、ホームモードでは、[イメージタイプ] で [カラー] または [グレー] を選択すると自動的に適用されます。
- [イメージタイプ] で [カラースムージング] または [モノクロ] を選択した場合は、使用できません。

1 EPSON Scan を起動して、[オフィスモード] または [プロフェッショナルモード] に切り替えます。

本書 266 ページ「システム条件」

2 各項目を設定して、[プレビュー] をクリックします。

オフィスモード

プロフェッショナルモード

3 ［アンシャープマスクフィルタ］をチェックします。

プロフェッショナルモードを使用して複数の画像をスキャンする場合は、プレビュー画面で 1 コマまたは取り込み枠を 1 つずつ選択してからチェックしてください。また、［全選択］をクリックすると、まとめて設定できます。
［アンシャープマスクフィルタ］の横にある「 ▷ 」をクリックすると、アンシャープマスクの効果を、弱／中／強から選択できます。

［アンシャープマスクフィルタ］の設定項目が見つからない場合は

［アンシャープマスクフィルタ］の設定項目は EPSON Scan 画面の下の方にありますので、下にスクロールしてみてください。

4 その他の設定を確認して、スキャンを実行します。

以上でアンシャープマスクを使用した画像の取り込みは終了です。

色あせた写真の色を復元する（退色復元）

昔撮影して色あせてしまったり、日に当たって変色した古い写真の色合いを、元の色に戻すことができます。
退色復元機能は写真にのみ対応しています。

退色復元機能使用時の画像例

調整前

調整後

変色していない写真をスキャンするときは、この機能を使用しないでください。

1 EPSON Scan を起動して、［ホームモード］または［プロフェッショナルモード］に切り替えます。

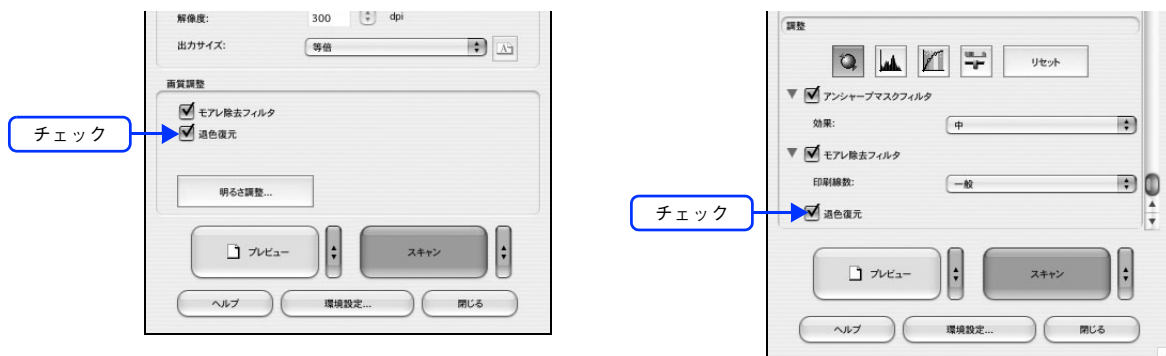
本書 257 ページ「起動方法とモードの切替方法」

2 各項目を設定して、［プレビュー］をクリックします。

ホームモード

プロフェッショナルモード

3 ［退色復元］をチェックします。

チェックすると、プレビュー画像上で退色復元の効果を確認できます。プレビュー画面に表示されているすべての コマまたは取り込み枠に適用されます。

［退色復元］の設定項目が見つからない場合は

［退色復元］の設定項目は EPSON Scan 画面の下の方にありますので、下にスクロールしてみてください。

4 その他の設定を確認して、スキャンを実行します。

スキャンする画像の絵柄によっては、この機能が適切に機能しない場合があります。

以上で退色復元機能を使用した画像の取り込みは終了です。

色を鮮やかにする（彩度調整）

色味を鮮やかにしたい場合に、彩度を調整することができます。
彩度調整機能は、EPSON Scan のプロフェッショナルモードでのみ使用できます。

彩度を調整した画像例

調整前

調整後

1 EPSON Scan を起動して、［プロフェッショナルモード］に切り替えます。

☞ 本書 257 ページ「起動方法とモードの切替方法」

2 各項目を設定して、［プレビュー］をクリックします。

3 通常プレビューの場合は、プレビュー画面上でスキャンする範囲を設定します。

スキャンしたい部分をドラッグして囲んでください。取り込み枠（破線表示）が表示されます。
LP-M5500 でサムネイルプレビューになっている場合は、次の手順へ進みます。
取り込み枠の操作の詳細は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 254 ページ「必要な部分だけを切り取ってスキャン」

4 ［イメージ調整 ］をクリックします。

［イメージ調整］画面が表示されます。

5 彩度のスライダーを左右に動かして、色の鮮やかさを調整します。

参考　設定を－（マイナス）にすると、色みがなくなり（無彩色化され）グレーに近くなり、白黒写真風のカラー画像にしてスキャンできます。

調整前（0）　　調整後（-80）

6 ［イメージ調整］画面の［閉じる］をクリックして画面を閉じ、その他の設定を確認して、スキャンを実行します。

以上で彩度の調整は終了です。

色合いを変える（カラーバランス調整）

天候や撮影場所の照明によって、写真が全体的に赤みや青みを帯びている場合に、カラーバランスを補正して、適切な色合いにすることができます。

カラーバランス調整機能は、プロフェッショナルモードでのみ使用できます。

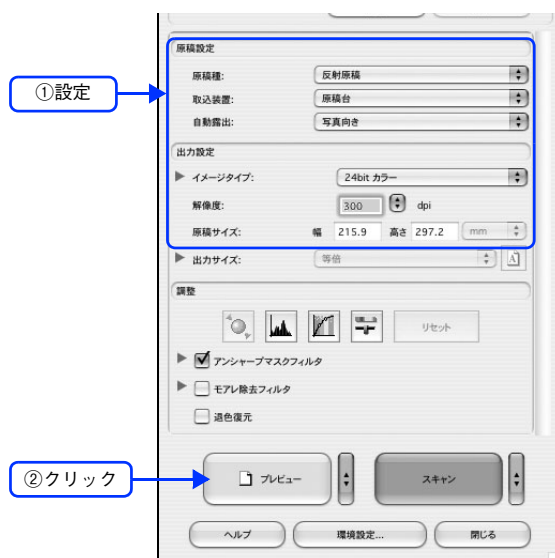
カラーバランスを調整した画像例

調整前

調整後

1 **EPSON Scan を起動して、［プロフェッショナルモード］に切り替えます。**

☞ 本書 257 ページ「起動方法とモードの切替方法」

2 **各項目を設定して、［プレビュー］をクリックします。**

3 **通常プレビューの場合は、プレビュー画面上でスキャンする範囲を設定します。**

スキャンしたい部分をドラッグして囲んでください。取り込み枠（破線表示）が表示されます。
LP-M5500 でサムネイルプレビューになっている場合は、次の手順へ進みます。
取り込み枠の操作の詳細は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 254 ページ「必要な部分だけを切り取ってスキャン」

4 ［イメージ調整 ］をクリックします。

［イメージ調整］画面が表示されます。

5 スライダーを左右に動かして、色合いを調整します。

シアン－－－－赤	スライダを左に動かすとシアンが強く（赤が弱く）なり、右に動かすとシアンが弱く（赤が強く）なります。 設定－　設定＋
マゼンタ－－－－緑	スライダを左に動かすとマゼンタが強く（緑が弱く）なり、右に動かすとマゼンタが弱く（緑が強く）なります。 設定－　設定＋

イエローーーーー青	スライダを左に動かすとイエローが強く（青が弱く）なり、右に動かすとイエローが弱く（青が強く）なります。

6 **［イメージ調整］画面の［閉じる］をクリックして画面を閉じ、その他の設定を確認して、スキャンを実行します。**

以上でカラーバランスの調整は終了です。

色かぶりを取り除く（グレーバランス調整）

画像に照明などの色がかぶっている場合に、グレーバランスを調整することよって色かぶりを取り除くことができます。グレーバランスは、本来白黒またはグレー（無彩色）となる部分を指定することによって、そこを白黒またはグレーとし、画像全体の色を微調整する機能です。

グレーバランス調整機能は、プロフェッショナルモードでのみ使用できます。

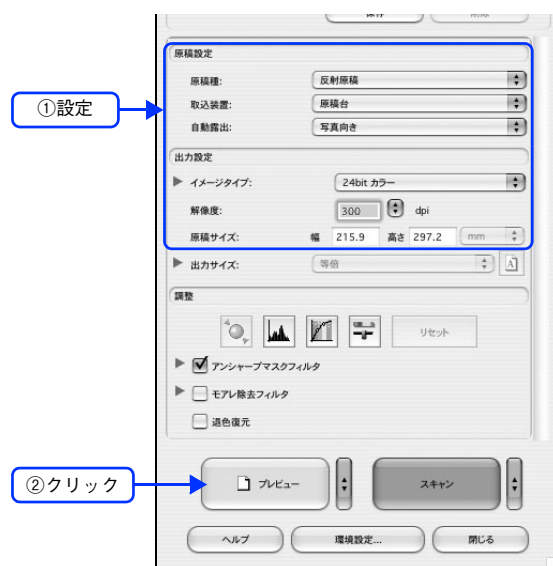
グレーバランス調整機能使用時の画像例

調整前

調整後

1 EPSON Scan を起動して、［プロフェッショナルモード］に切り替えます。

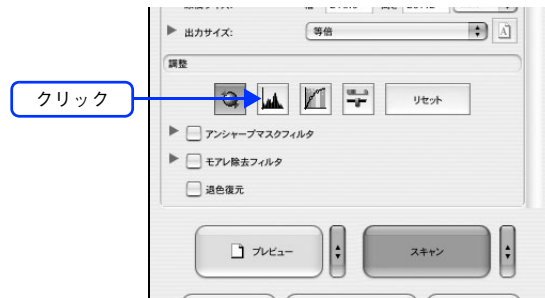
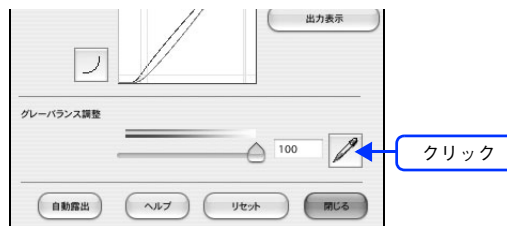
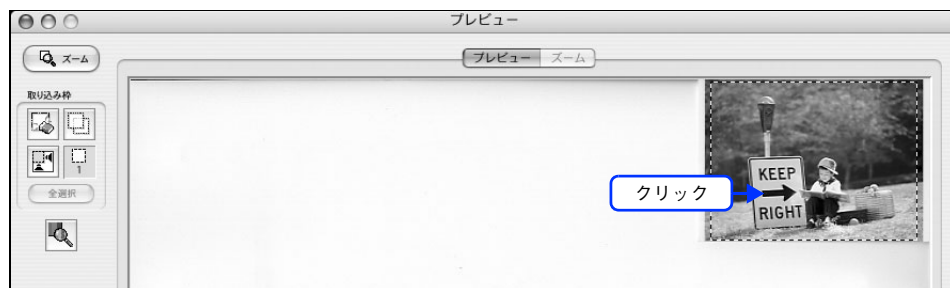
本書 257 ページ「起動方法とモードの切替方法」

2 各項目を設定して、［プレビュー］をクリックします。

3 通常プレビューの場合は、プレビュー画面上でスキャンする範囲を設定します。

スキャンしたい部分をドラッグして囲んでください。取り込み枠（破線表示）が表示されます。
LP-M5500 でサムネイルプレビューになっている場合は、次の手順へ進みます。
取り込み枠の操作の詳細は、以下のページを参照してください。

本書 254 ページ「必要な部分だけを切り取ってスキャン」

4 ［ヒストグラム調整 ］をクリックします。

［ヒストグラム調整］画面が表示されます。

5 グレーバランス調整の［スポイト ］をクリックします。

6 プレビューした画像の中で、白黒またはグレー（無彩色）になるべき部分をクリックします。

参考
［スポイト］による操作をやめたい場合は
キーボード上の［esc］キーを押してください。

7 色が変わりすぎてしまった場合は、スライドバーで微調整します。

参考
グレーバランス調整
グレーバランス調整の範囲は 0 ～ 100 です。
数値を上げるほど、色かぶりを除去する効果が高くなります。100 に設定すると、選択した色が完全な無彩色（白黒、グレー）となり、画像全体の色かぶりが取り除かれます。
0 に設定した場合は、グレーバランス機能は無効になります。ただし、選択した色の情報は保持されているので、もう一度調整することもできます。

8 ［ヒストグラム調整］画面の［閉じる］をクリックして画面を閉じ、その他の設定を確認して、スキャンを実行します。

以上で色かぶりの除去は終了です。

明るさとコントラストを調整する 1（簡単設定）

明るさとコントラスト（明暗の差）を調整することによって、スキャンした写真（画像）が、よりきれいになります。
明るさは、スキャンする画像が明るすぎたり暗すぎたりした場合に調整します。
コントラストは、明暗をはっきりさせたり、逆に明暗の差を少なくする場合に調整します。
ここでは、明るさとコントラストを簡単に調整できる方法を説明します。
ここでは、ホームモードの場合を例に説明します。

明るさを調整した画像例

調整前

調整後

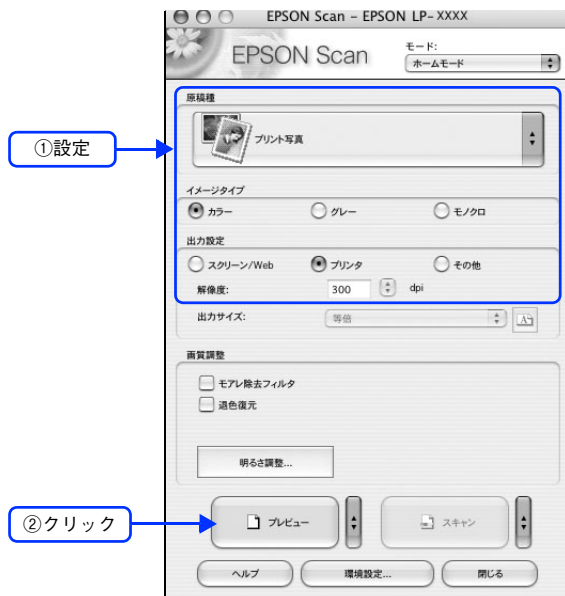
コントラストを調整した画像例

調整前

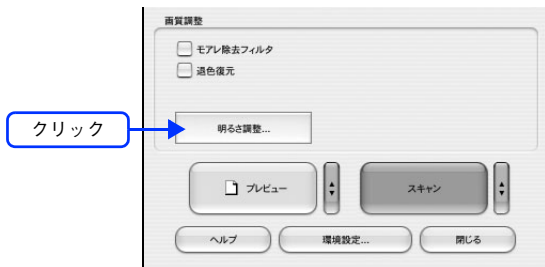
調整後

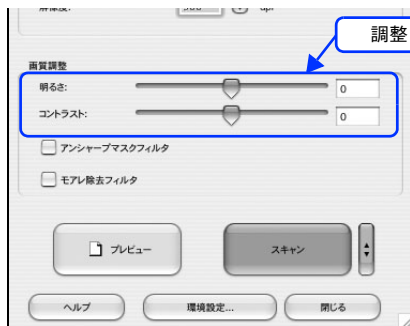
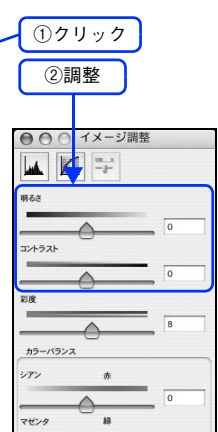
1 **EPSON Scan を起動して、［ホームモード］、［ オフィスモード ］、［プロフェッショナルモード］ いずれかのモードに切り替えます。**

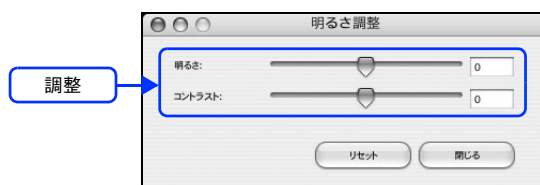
本書 257 ページ「起動方法とモードの切替方法」

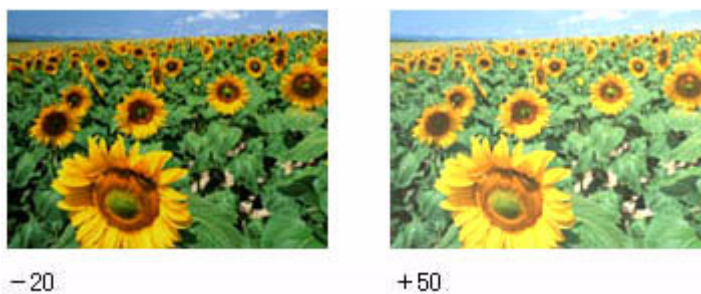
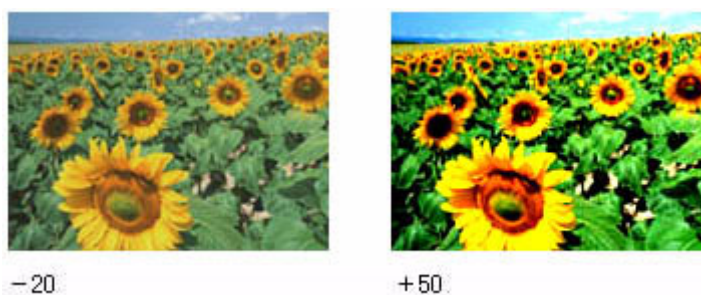
2 各項目を設定して、［プレビュー］をクリックします。

3 通常プレビューの場合は、プレビュー画面上でスキャンする範囲を設定します。

スキャンしたい部分をドラッグして囲んでください。取り込み枠（破線表示）が表示されます。
LP-M5500 でサムネイルプレビューになっている場合は、次の手順へ進みます。
取り込み枠の操作の詳細は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 254 ページ「必要な部分だけを切り取ってスキャン」

4 ［明るさ調整］をクリックします。

参考

オフィスモードの場合は
メイン画面で調整できます。
プロフェッショナルモードの場合は
［イメージ調整 ］をクリックして、［イメージ調整］画面で調整してください。

オフィスモード　　プロフェッショナルモード

5 ［明るさ］、［コントラスト］のスライダーを動かします。

複数の画像をスキャンするときは、プレビュー画面で 1 コマまたは取り込み枠を 1 つずつ選択してからチェックしてください。

- テキストボックスに数値を直接入力して微調整することもできます。
- 明るさの調整範囲は -100 ～ 100 です。明暗いずれも極端に設定すると、メリハリのない画像になる場合があります。
- コントラストの調整範囲は -100 ～ 100 です。コントラストを上げる（スライダを右に動かす）と明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなってメリハリのある画像になります。コントラストを下げる（スライダを左に動かす）と逆の効果が得られます。

明るさを調整した例

コントラストを調整した例

6 ［明るさ調整］画面の［閉じる］をクリックして画面を閉じ、その他の設定を確認して、スキャンを実行します。

以上で明るさとコントラストの調整は終了です。

明るさとコントラストを調整する 2（ヒストグラム調整）

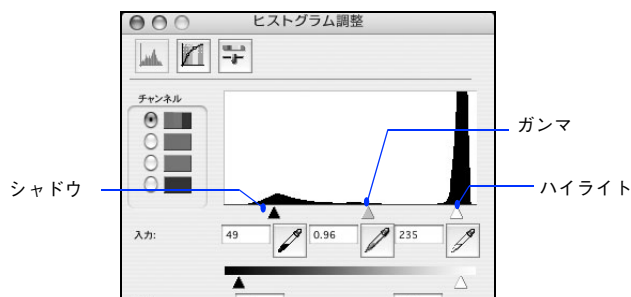
明るさとコントラスト（明暗の差）を調整することによって、スキャンした写真（画像）がよりきれいになります。
ここでは、ヒスグラムを使って調整する方法を説明します。
ヒストグラム調整機能は、プロフェッショナルモードでのみ使用できます。

ヒストグラムで明るさとコントラストを調整した画像例

調整前

調整後

ヒストグラムとは

ヒストグラムとは、画像の全体の明るさと色の分布を表示したもので、「画像のもっとも明るい部分」（ハイライト）、「画像のもっとも暗い部分」（シャドウ）、および「その中間の明るさの部分」（ガンマ）の明暗を適切に設定することができます。

それでは、ちょうどよい明るさとはどんな画像でしょうか？
下図の例をご覧ください。ハイライト、シャドウ、ガンマを調整すると、明暗をさまざまに変化させることができます。

適切な画像（ハイライトも、シャドウも適切

ハイライトが弱く、シャドウは適切

ハイライトは適切、シャドウが弱い

ハイライトもシャドウも弱い

ガンマが暗い方向に寄っている

お勧めの調整方法

ちょうどよい明るさになるように、ヒストグラムを使って画質を補正してみましょう。

厳密な調整を行いたい場合は、ディスプレイを調整することをお勧めします。ディスプレイが調整されていないと、スキャンした画像が適切な明るさ / 色合いで表示されません。そのため、印刷結果も予測できません。
☞ 本書 251 ページ「ディスプレイの設定」

1　EPSON Scan を起動して、［プロフェッショナルモード］に切り替えます。

☞ 本書 257 ページ「起動方法とモードの切替方法」

2　各項目を設定して、［プレビュー］をクリックします。

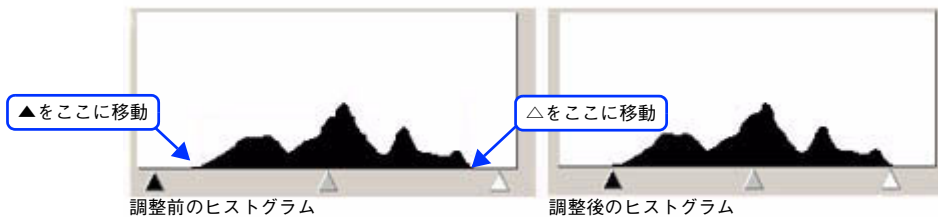
3　通常プレビューの場合は、プレビュー画面上でスキャンする範囲を設定します。

スキャンしたい部分をドラッグして囲んでください。取り込み枠（破線表示）が表示されます。
LP-M5500 でサムネイルプレビューになっている場合は、次の手順へ進みます。
取り込み枠の操作の詳細は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 254 ページ「必要な部分だけを切り取ってスキャン」

4　［ヒストグラム調整 ］をクリックします。

［ヒストグラム調整］画面が表示されます。

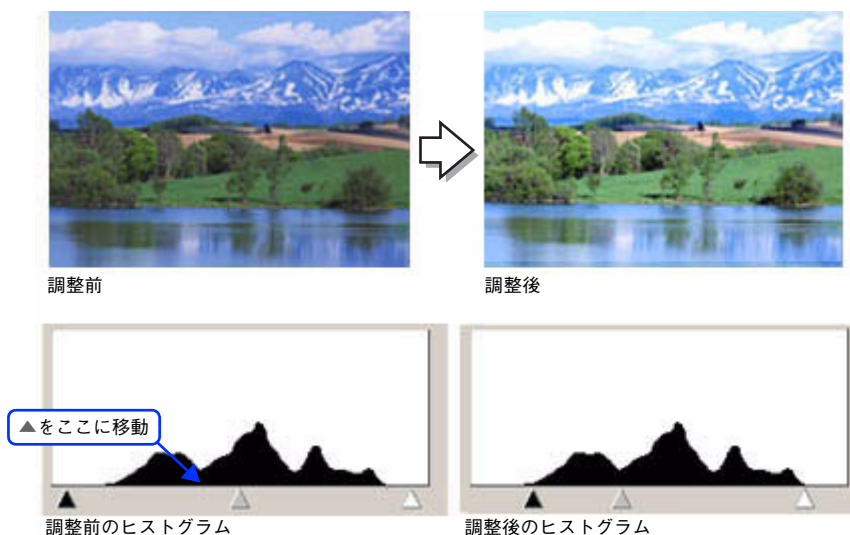
5 ハイライトとシャドウを調整します。

ハイライトポイントを黒い山の右端に、シャドウポイントを黒い山の左端に移動してください。
取り込み枠内の最も明るいピクセルが白に近く、最も暗いピクセルが黒に近くなるように調整され、コントラストが上がりメリハリが出ます。

参考

さらにメリハリを付けたい場合は

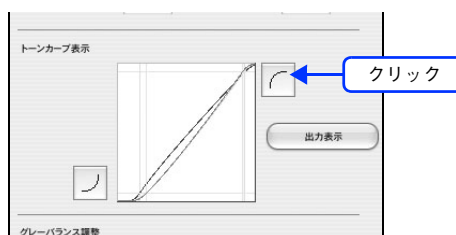
ハイライトポイントを黒い山の右端よりやや左に、シャドウポイントを黒い山の左端よりやや右に移動すると、メリハリのある画像になります。

6 ガンマを調整します。

ハイライトとシャドウの調整だけでは、全体の明るさが偏っている場合があります。
そこで、ハイライトとシャドウの中間にあるガンマポイントを移動して、中間部分の明暗を調整してください。
例えば、夕方や曇りの日に撮ったため全体的に暗くなってしまった写真などは、ガンマポイントを左側に移動すると、シャドウとガンマまでのデータが少なくなり、ガンマとハイライトまでのデータが増えるので、画面全体が明るくなります。

調整する取り込み枠またはコマを切り替えたい場合は、プレビュー画面上で調整したい枠またはコマをクリックしてください。プレビュー画面を一旦閉じる必要はありません。

7 ［ヒストグラム調整］画面の［閉じる］をクリックして画面を閉じ、その他の設定を確認して、スキャンを実行します。

■ さらに細かく調整したい場合は

ハイライト / シャドウ点より外側の階調をさらに調整することができます。
トーンカーブ表示の［端部カーブ形状変更 ］をクリックして、補正したいメニューを選択してください。

ブースト	本来、白地である部分を真っ白に飛ばしたり、本来、真っ黒である部分を真っ黒につぶす場合に選択してください。 紙の表面のムラや裏写りを除去したい場合に、ハイライト側ので選択すると、白地部分が真っ白に飛ぶので、ムラや裏映りが消えます。 また、黒い部分のムラを除去したい場合にシャドウ側ので選択すると、黒い部分が真っ黒につぶれるので、ムラが除去されます。
ノーマル	ハイライトやシャドウ部分の階調をそのまま表現する場合に選択してください。
ソフト	本来、白地ではない部分が真っ白に飛んでしまった場合や、本来、真っ黒ではない部分が真っ黒につぶれてしまった場合に選択してください。

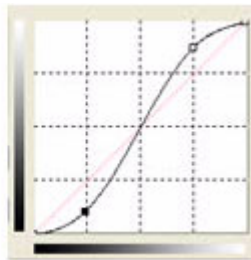
以上でヒストグラムでの調整は終了です。

明るさとコントラストを調整する 3（濃度補正）

明るさとコントラスト（明暗の差）を調整することによって、スキャンした写真（画像）がよりきれいになります。
ここでは、濃度補正（トーンカーブ）を使って調整する方法を説明します。
濃度補正機能は、プロフェッショナルモードでのみ使用できます。

濃度補正で明るさとコントラストを調整した画像例

調整前

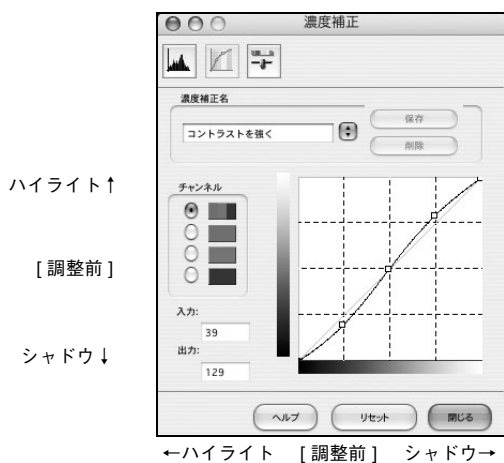
調整後

濃度補正とは

濃度はトーンとも言います。シャドウ（最暗部）、ミッドトーン（中間調）、ハイライト（最明部）へと変化していく濃度の曲線（トーンカーブ）を調整することで、画像全体の明るさとコントラストをバランスよく仕上げることができます。

ハイライト↑

[調整前]

シャドウ↓

←ハイライト　[調整前]　シャドウ→

濃度補正（トーンカーブ補正）をすると、下図のように調整できます。

<table>
<tr><th colspan="2">元画像</th></tr>
<tr><td></td><td> </td></tr>
<tr><th colspan="2">明るくする</th></tr>
<tr><td>グラフの中間を上方向にドラッグすると画像が明るくなります。</td><td> </td></tr>
<tr><th colspan="2">暗くする</th></tr>
<tr><td>グラフの中間を下方向にドラッグすると画像が暗くなります。</td><td> </td></tr>
<tr><th colspan="2">コントラストを上げる</th></tr>
<tr><td>S 字を描くようにポイントを追加して、ハイライト側を上へ、シャドウ側を下へドラッグすると、コントラストが上がります。</td><td> </td></tr>
<tr><th colspan="2">コントラストを下げる</th></tr>
<tr><td>逆 S 字を描くようにポイントを追加して、ハイライト側を下へ、シャドウ側を上へドラッグすると、コントラストが下がります。</td><td> </td></tr>
</table>

お勧めの調整方法

ちょうどよい明るさとコントラストになるように、濃度補正を使って画質を補正してみましょう。

厳密な調整を行いたい場合は、ディスプレイを調整することをお勧めします。ディスプレイが調整されていないと、スキャンした画像が適切な明るさ / 色合いで表示されません。そのため、印刷結果も予測できません。
☞ 本書 251 ページ「ディスプレイの設定」

1 **EPSON Scan を起動して、［プロフェッショナルモード］に切り替えます。**
☞ 本書 257 ページ「起動方法とモードの切替方法」

2 **各項目を設定して、［プレビュー］をクリックします。**

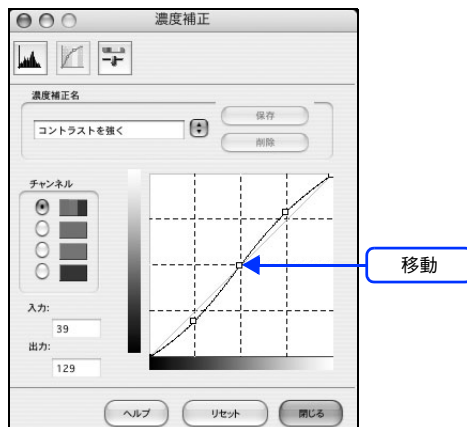
3 **通常プレビューの場合は、プレビュー画面上でスキャンする範囲を設定します。**
スキャンしたい部分をドラッグして囲んでください。取り込み枠（破線表示）が表示されます。
LP-M5500 でサムネイルプレビューになっている場合は、次の手順へ進みます。
取り込み枠の操作の詳細は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 254 ページ「必要な部分だけを切り取ってスキャン」

4 **［濃度補正］をクリックします。**
［濃度補正］画面が表示されます。

5 ［濃度補正名］リストから最適なメニューを選択します。

露出オーバーな画像の補正など代表的なトーンカーブが用意されていますので、最適なメニューを選択してから、トーンカーブを微調整することをお勧めします。

濃度補正名	説明	サンプル
リニア	濃度補正をしません。プレビュー画像上で問題がなければ、［リニア］を選択してください。	
より浅い感じに	露出アンダーな画像を、より浅い（明るい）感じに補正します（露出アンダーとは、露出不足＝暗いことを言います）。	
より重い感じに	露出オーバーな画像を、より重い（暗い）感じに補正します（露出オーバーとは、露出過多＝明るいことを言います）。	
コントラストを弱く	コントラスト（明暗の差）が高すぎる画像を、自然なコントラストに補正します。	
コントラストを強く	コントラスト（明暗の差）が低すぎる画像に、メリハリを付けます。	
シャドウ部を出す	シャドウ部分を少し明るくして、シャドウ部の階調表現を豊かにします。画像を印刷したときに、シャドウ部が黒ベタになってしまう場合に有効です。	

6 トーンカーブで微調整したい部分を移動します。

補正前の濃度に戻す場合は
［濃度補正名］で［リニア］を選択するか、［リセット］をクリックしてください。

7 ［濃度補正］画面の［閉じる］をクリックして画面を閉じ、その他の設定を確認して、スキャンを実行します。

以上で濃度補正での明るさとコントラストの調整は終了です。

必要な部分だけを切り取ってスキャン

必要な部分だけを切り取ってスキャンすることができます。
ここでは、ホームモードで通常表示プレビューの場合を例に説明します。

LP-M5500 をご使用の場合は、「サムネイル表示」でスキャン範囲を指定することもできます。
☞ 本書 262 ページ「サムネイルプレビューと通常プレビュー（LP-M5500 のみ）」

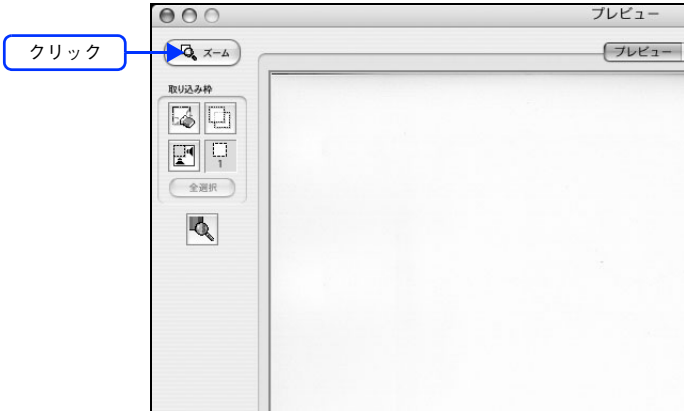
セットした原稿

スキャン後の原稿

1 **EPSON Scan を起動して、［ホームモード］、［オフィスモード］、［プロフェッショナルモード］いずれかのモードに切り替えます。**

☞ 本書 257 ページ「起動方法とモードの切替方法」

2 **各項目を設定して、［プレビュー］をクリックします。**

LP-M5500 の場合、［プレビュー］右横に ⁝ が表示されている場合は、⁝ をクリックして、表示されるメニューで［通常表示］を選択してから、［プレビュー］をクリックしてください。

3 プレビュー画面上で、スキャンする範囲を設定します。

スキャンしたい部分をドラッグして囲んでください。
取り込み枠（破線表示）が表示されます。

取り込み枠の調整方法

調整内容	手順
取り込み枠を移動したい	カーソルを取り込み枠の中に移動すると手の形になります。カーソルが手の形のまま取り込み枠をドラッグすると移動できます。
取り込み枠のサイズを変えたい	カーソルを取り込み枠の線上に移動すると矢印の形になります。カーソルが矢印の形のまま取り込み枠をドラッグすると、取り込み枠を拡大／縮小できます。

画像を拡大して調整したい	取り込み領域が小さい場合は、［ズーム］をクリックしてください。再プレビューされ、取り込み枠（破線表示）の中の画像が拡大表示されます。必要に応じて、スキャンする範囲を微調整してください。
決まった数値で取り込み枠を作りたい	プロフェッショナルモードでは、［原稿サイズ］に任意の数値を入力して、スキャン範囲を指定することができます。小さい範囲や正確な大きさを指定する場合に便利です。また、取り込み枠の縦横比を固定したままスキャン範囲を調整するには、［Shift］キーを押しながら取り込み枠をドラッグしてください。
［出力サイズ］を指定して取り込み枠を作りたい	［出力サイズ］で画像を使うサイズを設定することでも、取り込み枠を表示できます。この取り込み枠をドラッグすると、縦横比を固定して調整できます。
取り込み枠を複数作りたい	取り込み枠は、複数設定することができます。また、をクリックすると、最初に作成した取り込み枠をコピーすることができます。 なお、作成できる取り込み枠の数は次の通りです。 ・通常表示でのプレビュー時：50 個まで ・サムネイル表示でのプレビュー時：1 コマに対して 1 個のみ
取り込み枠の中に別の枠を作りたい	枠の中に別の枠を作りたい場合は、枠の外に別の枠を作成してから、枠の中にドラッグして移動してください。

- 指定した取り込み枠を削除したい場合は、プレビュー画面にある をクリックしてください。
- アプリケーションソフトから EPSON Scan を起動した場合、通常表示で複数の取り込み枠を指定しても、アプリケーションソフトが複数枚スキャンに対応していないと、最後に選択した領域のみがスキャンされます。（サムネイル表示では、取り込み枠は 1 個しか指定できません。）
- 初期設定では、取り込み枠を作成したり調整すると、取り込み枠内の露出（明暗）が自動調整されます。

4 **その他の設定を確認して、スキャンを実行します。**

複数の取り込み枠と画質調整

次の項目は、複数の取り込み枠に対して、まとめて同じ設定ができます。

プレビュー画面の［全選択］をクリックして取り込み枠をすべて選択してから、設定してください。

- ［イメージタイプ］
- ［解像度］

次の項目は、まとめて設定することができません。

画像の取り込み枠を1つずつクリックして選択（選択中の取り込み枠は、破線で表示されます）しながら設定してください。

- ［出力サイズ］
- ［自動露出］
- ［ヒストグラム調整］
- ［濃度補正］
- ［イメージ調整］

以上で必要な部分だけを切り取ってスキャンする手順は終了です。

お好みのサイズでスキャン（[出力サイズ]設定）

画像の用途に合わせて、お好きなサイズでスキャンできます。

セットした
原稿（L 判）

スキャン後
の原稿

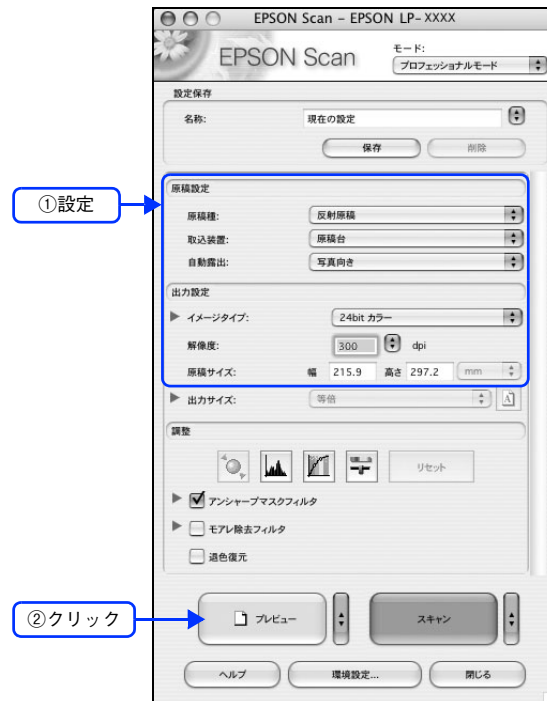
1 **EPSON Scan を起動して、［ホームモード］または［プロフェッショナルモード］に切り替えます。**

通常はホームモードをお使いください。

☞ 本書 257 ページ「起動方法とモードの切替方法」

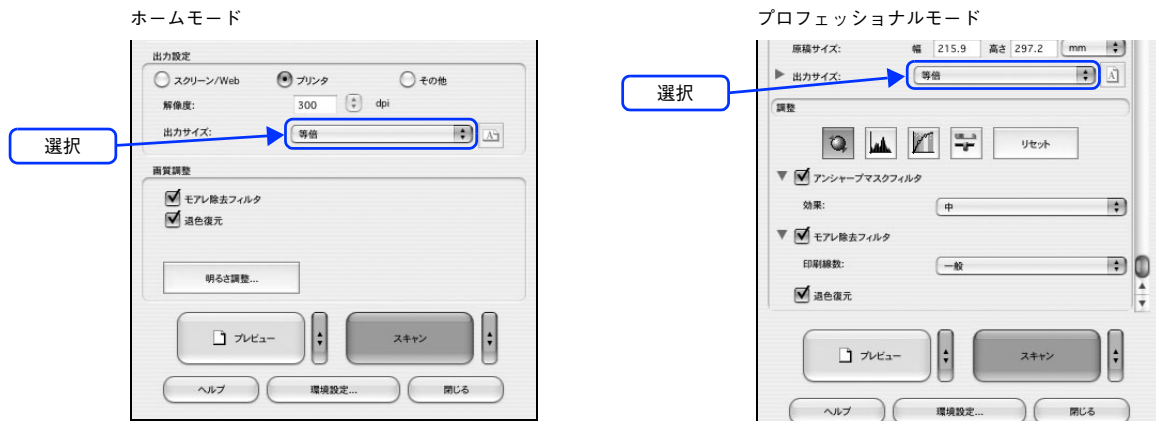
2 **各項目を設定して、［プレビュー］をクリックします。**

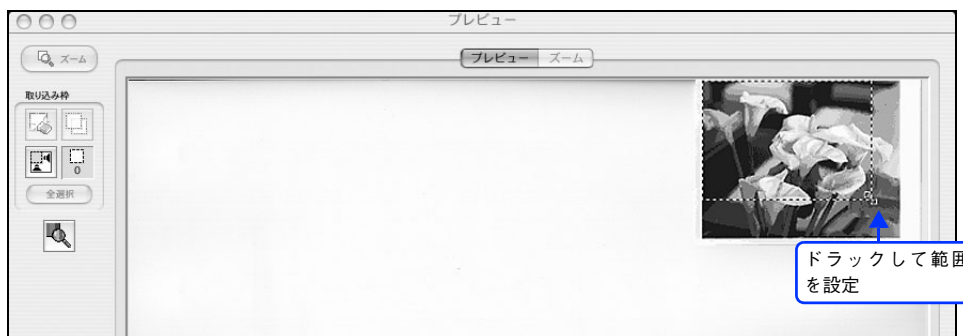
ホームモード

プロフェッショナルモード

3 出力サイズを選択します。

スキャン後の画像の大きさを選択してください。
ここで選択したサイズに拡大 / 縮小されてスキャンされます。
［等倍］以外を選択すると、プレビュー画面に、選択した出力サイズの縦横比で取り込み枠が作成されます。
また、[A] をクリックすると、取り込み枠の縦／横の向きを変更できます。

ホームモード

プロフェッショナルモード

設定	説明
等倍	スキャンする原稿とスキャン後の画像の大きさを同じにする場合に選択します。
サムネイル	画像をインデックスとして保存する場合などに選択します。
画面	コンピュータ画面の壁紙や、デスクトップピクチャのサイズで保存する場合などに選択します。
L 判～ A3	定型サイズで保存する場合に選択します。
ユーザー定義サイズ	希望するサイズがリストにない場合は、リストから［ユーザー定義サイズ］を選択してください。［出力サイズ］画面が表示されますので、サイズを設定し、［保存］をクリックしてください。

4 プレビュー画面上で取り込み枠をドラッグして拡大 / 縮小し、画像全体を囲みます。

- 取り込み枠を拡大／縮小しても縦横比は変わりません。［出力サイズ］で選択したサイズに収まるように、倍率が自動設定されます。
- プレビュー画面の左下に取り込み枠のサイズ（mm またはインチ）、スキャン後の画像のサイズ（ピクセル）、ファイル容量が連動して表示されます。出力サイズを設定する際の目安としてご覧ください。
  なお、［出力サイズ］をあまり大きなサイズに設定すると、データの容量が膨大になってしまうので注意してください。

5 その他の設定を確認して、スキャンを実行します。

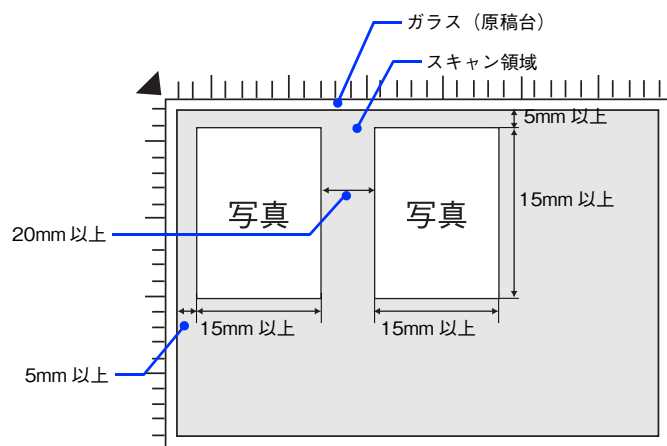
指定したサイズで画像がスキャンされます。
以上でお好みのサイズでスキャンする手順は終了です。

複数の写真をまとめてスキャン（LP-M5500のみ）

LP-M5500をお使いの場合、写真など複数枚の画像をまとめてスキャンすることができます。
ここでは、1回のスキャンで自動的に2枚以上の原稿をまとめてスキャンする方法を説明します。

通常プレビューでプレビューし、好みの取込範囲を複数設定することでも、複数の写真を一度にまとめてスキャンできます。

原稿のセット

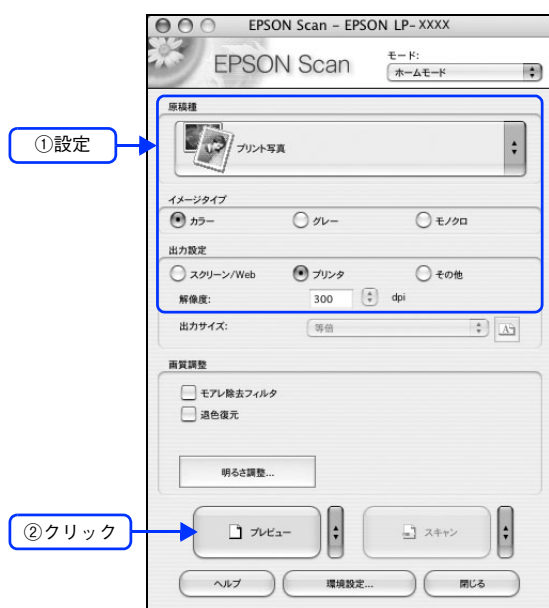
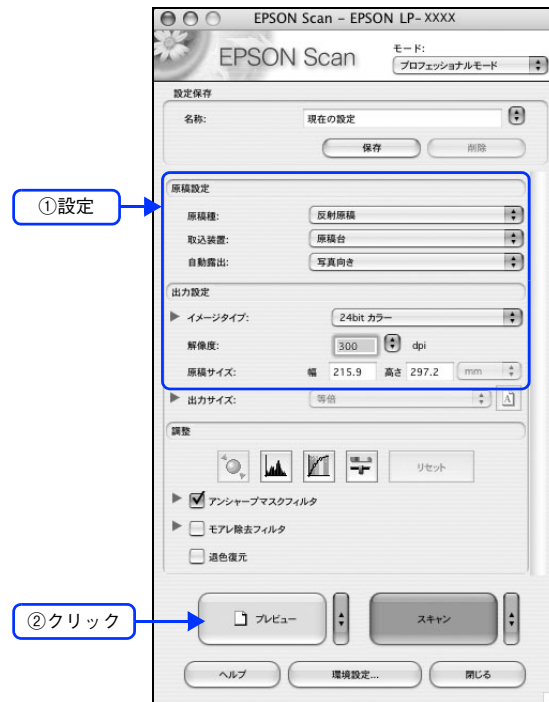
複数の写真を並べてセットする場合は、写真と写真の間隔を20mm以上空けてください。

スキャン手順

1 **EPSON Scan を起動して、[ホームモード] または [プロフェッショナルモード] に切り替えます。**

☞ 本書 257 ページ「起動方法とモードの切替方法」

2 **各項目を設定して、[プレビュー] をクリックします。**

[ホームモード] の場合は、[原稿種] に [プリント写真] を選択してください。
[プロフェッショナルモード] の場合は、[取り込み装置] に [原稿台] を選択してください。

ホームモード

プロフェッショナルモード

3 **サムネイルでプレビュー結果が表示されます。**

サムネイルでプレビューされない場合は

- 取り込む原稿によっては、自動的に切り出せない場合があります。その場合は、[プレビュー] 右横の をクリックして、表示されるメニューで [通常表示] を選択してプレビューし、各写真に取り込み枠を設定して取り込んでください。
- 通常プレビューが起動した場合は、[プレビュー] 右横の をクリックして、表示されるメニューで [サムネイル表示] を選択してから、[プレビュー] をクリックしてください。
  ☞ 本書 262 ページ「サムネイルプレビューと通常プレビュー（LP-M5500 のみ）」

4 **スキャンしない画像のチェックを外します。**

5 **その他の設定を確認して、スキャンを実行します。**

チェックの付いた写真が、まとめてスキャンされます。

以上で複数の写真をまとめてスキャンする手順は終了です。

原画とディスプレイ表示とプリント結果の色合わせ

デジタルカメラやスキャナでスキャンした画像をプリンタで印刷すると、多くの場合、ディスプレイで見た色と実際の印刷結果には、色合いにズレが生じます。その原因は、「スキャン」、「表示」、「印刷」の 3 者間で色の表現方法が異なっているからです。

☞ 本書 295 ページ「色」

しかし、次の設定を行うことで、色合いをできるだけ近付けること（カラーマッチング）ができます。

ディスプレイの設定

■ ディスプレイの表示色の設定

画像をよりきれいに表示するために、ディスプレイの表示色を［16bit］［24bit］などに設定してください。

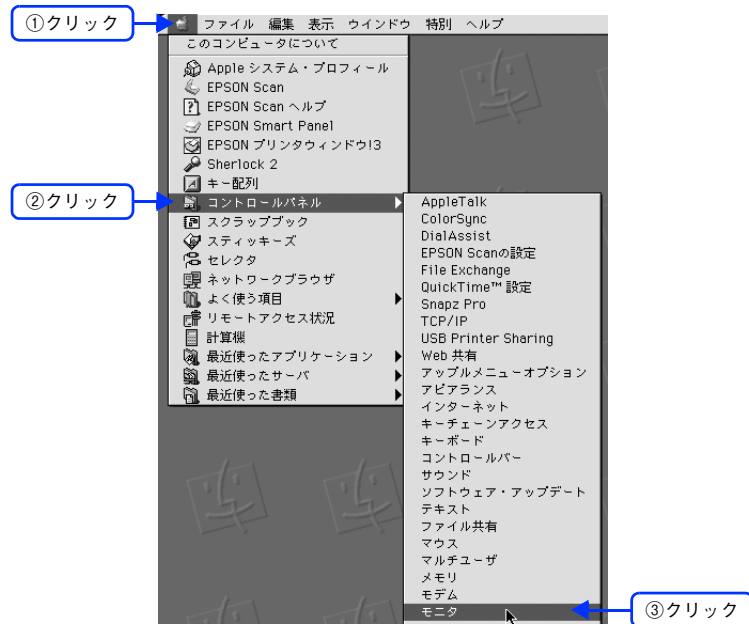
- 設定できる値や各項目名は、ディスプレイを使用するためのドライバなどの性能によって異なります。詳しくは、お買い求めいただいたディスプレイのメーカーへお問い合わせください。
- すべてのアプリケーションソフトを終了させてから設定することをお勧めします。

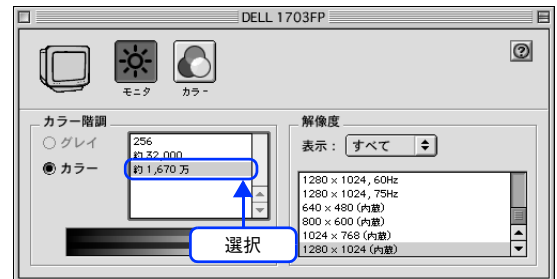
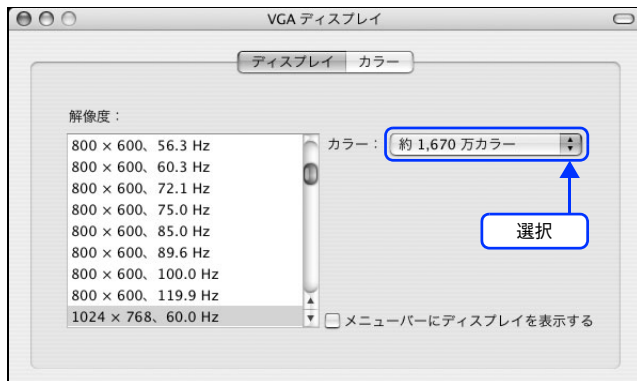
1 表示色の設定をする画面を開きます。

Mac OS X

［アップル］メニュー -［システム環境設定］-［ディスプレイ］をクリックします。

Mac OS 9 の場合

［アップル］メニュー -［コントロールパネル］-［モニタ］をクリックします。

2 表示色を設定します。

カラーの一覧から、［約 32000 色］または［約 1670 万色］を選択します。

3 画面を閉じます。

以上でディスプレイの表示色の設定は終了です。

ディスプレイの調整

ディスプレイはその機器ごとに表示特性が異なり、赤っぽく表示するディスプレイもあれば、青っぽく表示するディスプレイもあります。このように偏った表示をしている状態では、スキャンした画像を適切な明るさや色合いで表示することはできません。また、印刷結果も予測できません。そこで、ディスプレイの調整が必要になります。

ここでは簡単な調整手順を紹介します。
ディスプレイ調整（モニタキャリブレーション）を本格的に行うためには、測定機器なども必要になり、非常に手間がかかります。

1. **室内の照明環境を一定にします。**
   自然光は避けて、一定の照明条件になるようにしてください。フードを装着すると良いでしょう。

2. **ディスプレイの電源をオンにして、30 分以上放置します。**
   30 分以上放置することによって、ディスプレイの表示が安定します。
   これ以降の手順は、お使いのディスプレイの取扱説明書をご覧になりながら、調整してください。

3. **ディスプレイのカラーバランス（色温度）を調整できる場合は、6500K に調整します。**

4. **ディスプレイのブライトネス調整を行います。**

5. **ディスプレイでコントラスト調整ができる場合は、スキャンした画像の色が原稿または印刷結果に近くなるように調整を行います。**

以上でディスプレイの調整は終了です。

上記の調整を行っても、明るさや色合いが合わない部分もあります。最も気になる部分（肌色など）を重点的に調整することをお勧めします。

スキャナでの設定（スキャン時）

色合いを近付けるためのシステムの 1 つに、ICM（Windows）または ColorSync（Mac OS）というカラーマネージメントシステムがあります。お使いのディスプレイやプリンタが、ICM または ColorSync に対応している場合は、次の設定をしてみてください。

- Mac OS 用 EPSON Scan は、ColorSync2.0 以降に対応しています。
- お使いのディスプレイやプリンタが ColorSync に対応していない場合、ColorSync の機能は利用できません。

1 **ディスプレイ用のカラープロファイルをシステムに追加します。**

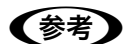
Mac OS X

①［アップル］メニューをクリックし、［システム環境設定］をクリックして、［ディスプレイ］をクリックします。

②［カラー］タブをクリックし、リストからプロファイルを選択します。

Mac OS 9

①［アップル］メニューをクリックして、［コントロールパネル］－［モニタ］をクリックします。

②［カラー］をクリックし、リストからプロファイルを選択します。

- Adobe ガンマユーティリティなどを使って独自のディスプレイプロファイルを作成している場合は、そのプロファイルを選択することをお勧めします。
- ディスプレイ用のカラープロファイルは、ディスプレイのメーカーから提供されるものです。そのため、お使いのディスプレイ用のカラープロファイルが提供されているかどうか（提供されていない場合、ディスプレイ表示の色を原稿や印刷物に近付けることはできません）、またプロファイル名については、ディスプレイのメーカーにお問い合わせください。

2 **スキャンに使用するアプリケーションソフトで、ColorSync をオン にします。**

3 **EPSON Scan の［環境設定］にある［カラー］画面で［ColorSync］を選択し、［ソース（スキャナ）］と［ターゲット］を設定します。**

4 **EPSON Scan の［スキャン］をクリックして、画像をスキャンします。**

プリンタでの設定（印刷時）

印刷時に、プリンタドライバで ColorSync を選択（オン）します。

☞ 本書 57 ページ「⑧ ColorSync（カラー印刷のみ）」

このとき、お使いのアプリケーションソフトのカラーマネジメント機能はオフにし、プリンタカラー管理をオンにしてください。

9 EPSON Scan 情報

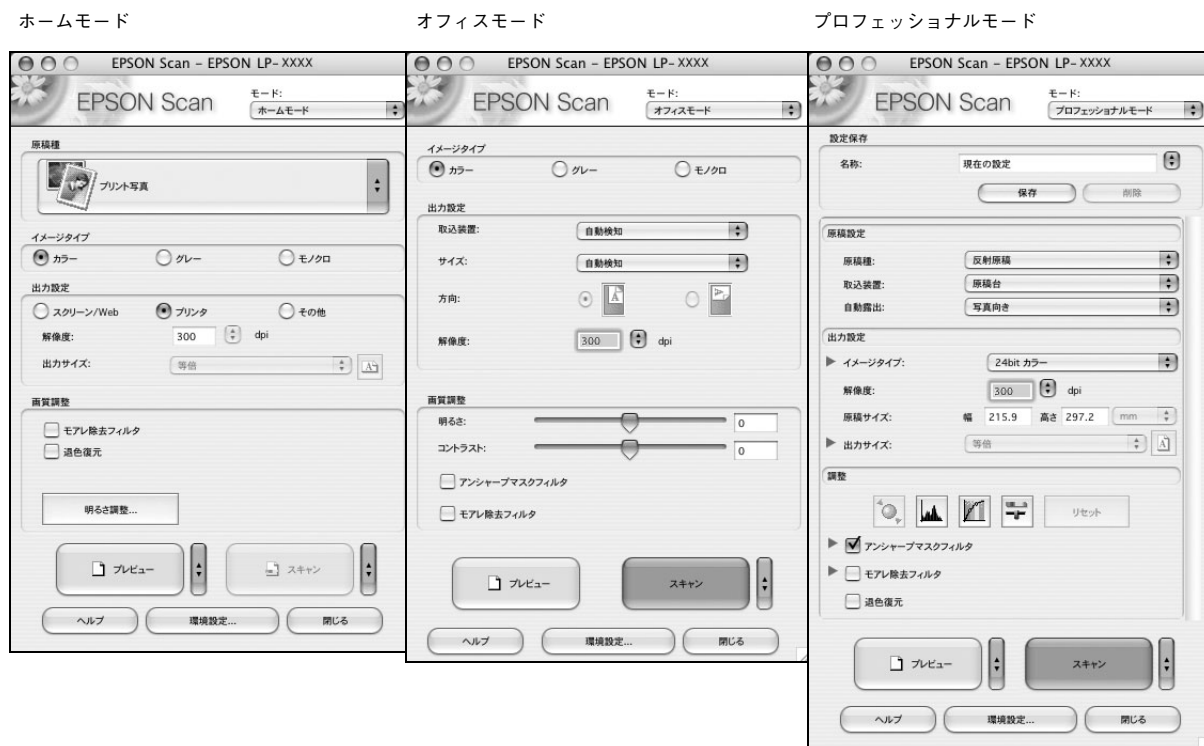
EPSON Scan の機能を説明しています。

EPSON Scan とは？

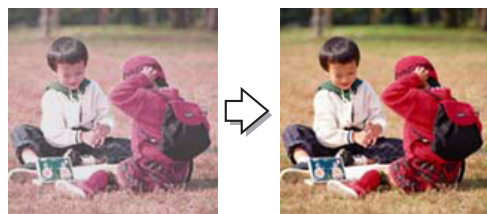
スキャナを使うためには、スキャナドライバ「EPSON Scan」というソフトウェアをコンピュータにインストールする（組み込む）必要があります。

EPSON Scan は、スキャナから受け取った画像データをコンピュータに送ります。EPSON Scan がインストールされていないとスキャンできません。EPSON Scan は必ずインストールしてください。

EPSON Scan の設定画面では、スキャンサイズやスキャン品質などの詳しいスキャン条件を設定できます。

ホームモード　オフィスモード　プロフェッショナルモード

便利な機能がたくさん

EPSON Scan には「色あせた写真の色を復元する機能」、「明るさやコントラストを調整する機能」などの便利な機能がたくさん搭載されています。

退色復元機能

コントラストの調整機能

EPSON Scan のバージョンアップ

いろいろな改良が加えられた最新の EPSON Scan を使用することで、より快適にスキャンできるようになる場合もあります。

本書 267 ページ「ソフトウェアのバージョンアップ」

起動方法とモードの切替方法

EPSON Scan だけを起動する

アプリケーションソフトを起動せずに、EPSON Scan だけを起動して画像をスキャンすることができます。

フォトレタッチソフトなどのアプリケーションソフトから EpsonScan を起動して画像を取り込むこともできます。起動方法の説明は、各アプリケーションソフトの取扱説明書などをご覧ください。

起動方法

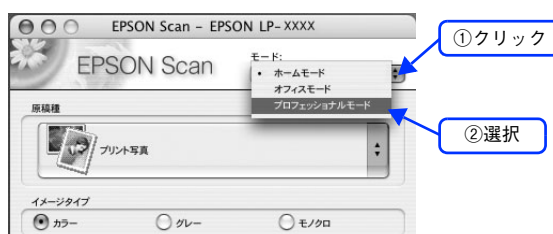
Mac OS X

ハードディスク－［アプリケーション］フォルダー［EPSON Scan］アイコンの順にダブルクリックしてください。

Mac OS 9

［アップル］メニュー -［EPSON Scan］をクリックしてください。

モードの切り替え方法

画面右上の［モード］を選択してください。

各モードの特長

各モードの特長は次の通りです。

ホームモード

シンプルな操作画面で、原稿の種類や出力サイズなど基本的な設定をしてスキャンするモードです。

オフィスモード

オフィスモードは、原稿を早く大量にスキャンしたい場合にお勧めのモードです。

プロフェッショナルモード

プレビュー画面で確認しながら画質調整を行ってスキャンできるモードです。

プロフェッショナルモードの設定を保存

プロフェッショナルモードでは、取り込み枠・出力設定・画質調整などの設定を保存できます。
例えば、次のような使い方ができます。

取り込み枠の再利用	取り込み枠の位置をすべて保存できるので、写真・名刺などをスキャンするときに、常に同じ位置／同じ向きにセットすれば、取り込み枠を毎回作成する必要がありません。
出力サイズの再利用	壁紙またはデスクトップピクチャ用、A4 印刷用などの設定を保存しておけば、出力サイズを毎回設定する必要がありません（取り込み枠を微調整するだけです）。

設定を保存する

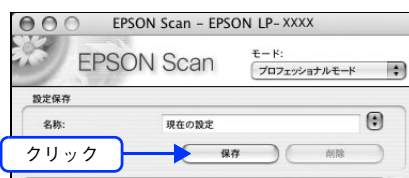
1 **EPSON Scan を起動して、［プロフェッショナルモード］に切り替えます。**

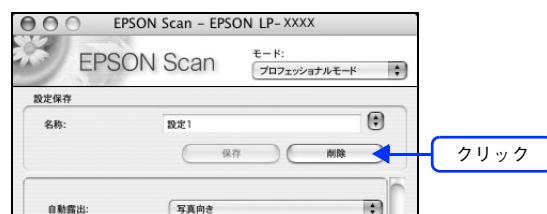
本書 257 ページ「起動方法とモードの切替方法」

2 **［原稿設定］［出力設定］を設定します。**

3 **原稿をプレビューし、取り込み枠の設定や画質調整などを行います。**

4 **［保存］をクリックします。**

自動的に名称が付けられて、設定が保存されます。

設定を削除したいときは

削除したい設定保存名をリストから選択して、［削除］をクリックします。

以上で設定を保存する手順は終了です。

保存した設定を利用してスキャンする

保存したスキャン設定を利用して画像をスキャンします。

1 **EPSON Scan を起動して、［プロフェッショナルモード］に切り替えます。**

☞ 本書 257 ページ「起動方法とモードの切替方法」

2 **保存した設定名称を選択します。**

EPSON Scan の各種設定が、保存されている設定に変わります。

3 **［スキャン］をクリックして、スキャンを実行します。**

以上で保存した設定を利用してスキャンする手順は終了です。

サムネイルプレビューと通常プレビュー（LP-M5500のみ）

プレビューは、画像を低解像度でスキャンし、取り込み枠の設定や各種の画質調整の結果を表示する機能です。画像がどのようにスキャンされるかを、リアルタイムに確認できます。また、プレビュー後にプレビュー画面でスキャンする範囲を指定すれば、雑誌のページから写真の部分だけスキャンすることができます。
LP-M5500をご使用の場合、［ホームモード］と［プロッフェッショナルモード］には、2種類のプレビュー機能があります。

サムネイル表示と通常表示を切り替える

EPSON Scan の［プレビュー］の右にある縦長の をクリックし、表示されるメニューで［サムネイル表示］または［通常表示］を選択してください。

プレビュー画面のサイズ調整方法
プレビュー画面のサイズや向きを変更できます。
EPSON Scan 画面の［環境設定］をクリックして、［プレビュー］タブをクリックし、［プレビューウィンドウサイズ］と［プレビューウィンドウの横長表示］の設定を変更してください。

プレビューの自動露出
［環境設定］画面の［カラー］タブで［常に自動露出を実行］がチェックされている場合は、プレビューすると、露出（明暗）が自動調整されます。

サムネイルプレビュー

［ホームモード］または［プロッフェショナルモード］でご利用いただけます。原稿を自動認識してそれぞれをコマとして切り出してプレビューします。複数の写真をセットしたときに便利です。また、画像が傾いている場合は、傾きを自動的に補正します（写真などの原稿のみ）。
なお、サムネイルプレビューは通常プレビューに比べて時間がかかります。

取り込む原稿によっては、自動的に切り出せない場合があります。その場合は、［プレビュー］右横の をクリックして、表示されるメニューで［通常表示］を選択してプレビューし、各写真に取り込み枠を設定して取り込んでください。

サムネイルプレビューできる原稿種

サムネイルプレビューは、次の原稿種を選択したときのみ使用できます。

ホームモード使用時	［原稿種］で［プリント写真］を選択した場合。
プロフェッショナルモード使用時	［取込装置］で［原稿台］を選択した場合。

プレビュー画面のボタン

ボタン	説明
	サムネイルを時計回りに 90 度回転して表示します。縦長の原稿を横向きにセットした場合などに、上下の向きを正しくすることができます。 回転した場合は、スキャンした画像も同様に回転されます。
	サムネイルの左右を反転して表示します。フィルムの膜面を下に向けてセットした場合に、正しい向きに鏡像反転してスキャンすることができます。 鏡像反転した場合は、鏡像反転していることを示すために、サムネイルの下にアイコンが表示されます。
	選択している（破線表示の）取り込み枠を消去します。
［全選択］	すべてのコマを選択します。 すべてのコマに対して同じ画像調整をしたり、回転／反転させるときに便利です。

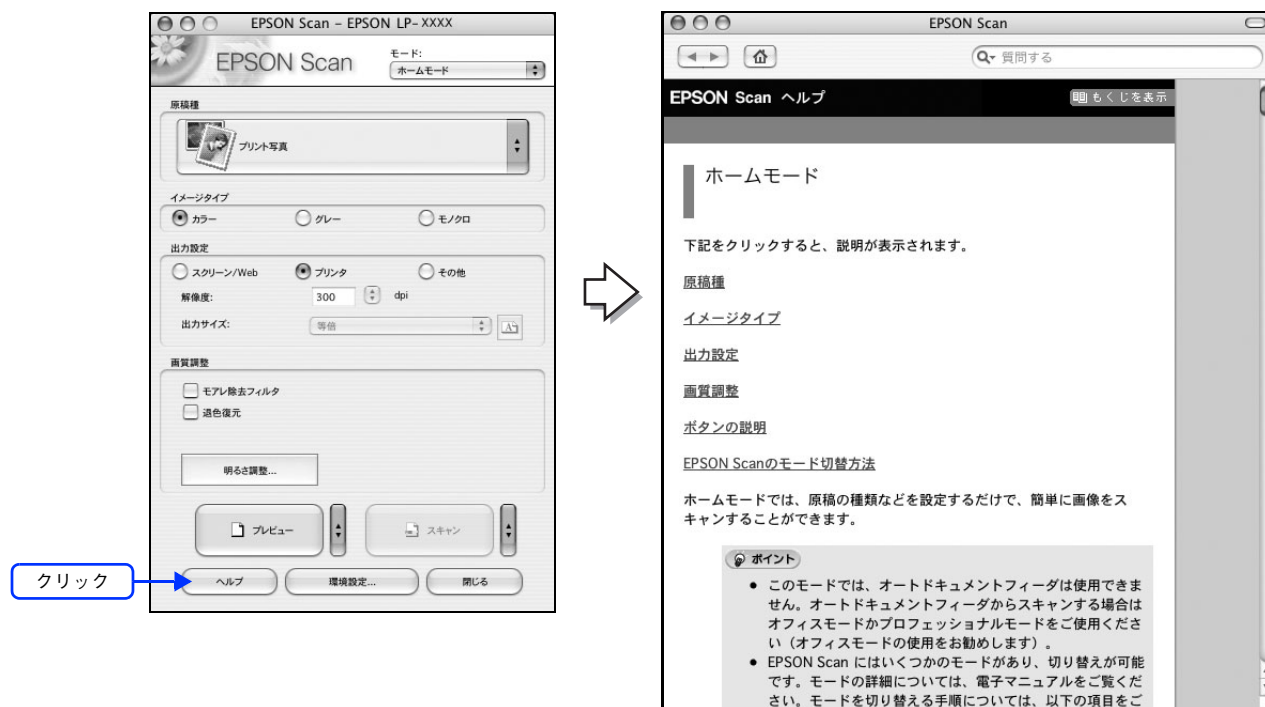
通常プレビュー

スキャンできる領域全体をプレビューします。プレビュー後、スキャンする範囲を複数指定できます。

プレビュー画面のボタン

ボタン	説明
ズーム	原稿を再プレビューし、選択している（破線表示の）取り込み枠をズーム表示します。スキャンする領域が小さい場合にお使いください。 ズーム表示すると、取り込み枠内の露出（画像の明暗）が自動調整されます。
	選択している（破線表示の）取り込み枠を消去します。
	選択している（破線表示の）取り込み枠をコピーします。50 個までコピーできます。
	原稿の全領域を自動選択します。 原稿カバーの裏側が汚れていると、汚れている部分が領域に含まれる場合がありますのでご注意ください。 原稿に複数の画像がある場合は、スキャンしたい画像より少し大きめの範囲をマウスでドラッグして選択してから、をクリックします。そうすることにより目的の領域をより簡単に選択することができます。
1	作成した取り込み枠の総数が表示されます。
［全選択］	作成したすべての取り込み枠を選択します。選択した取り込み枠は破線表示されます。 すべての取り込み枠内の画像に対して同じ調整をするときに便利です。

各画面の説明(ヘルプの表示方法)

EPSON Scan の各画面、各項目の説明は、EPSON Scan のヘルプをご覧ください。
EPSON Scan のヘルプは、画面上の［ヘルプ］をクリックすると表示されます。

システム条件

EPSON Scan を使用するために必要なハードウェアおよびシステム条件は次の通りです。

システムソフトウェア	Mac OS 9.x Mac OS X v10.2 以降 （USB インターフェイスを標準装備している機種）
CPU	Power PC G3 以上（Power PC G4 500MHz 以上推奨）
メモリ空き容量	128MB 以上（512MB 推奨）
ハードディスク空き容量	インストール時：20MB 実行時：50MB（1GB 推奨） スキャンを行う画像データによって、さらに多くの空き容量が必要となります。

- Mac OS X では、複数のユーザーが同時に 1 台のコンピュータを使用することができます（マルチユーザーログイン）。ソフトウェアをインストールするときは、一人（コンピュータの管理者）だけがログインした状態で行ってください。
- Mac OS X v10.3 以降では、複数のユーザーが同時に 1 台のコンピュータを使用することができます（ファーストユーザスイッチ）。ソフトウェアをインストールするときは、一人（コンピュータの管理者）だけがログインした状態で行ってください。また、EPSON Scan のインストールおよび使用時にはファーストユーザスイッチ機能をオフにしてください。
- 本機は Mac OS X Classic 環境での動作はサポートしておりません。
- Mac OS X の UNIX ファイルシステム（UFS 形式）はサポートしておりません。他のドライブでお使いください。

ソフトウェアのバージョンアップ

添付のソフトウェアをバージョンアップすることによって、今まで起こっていた現象が解消されることがあります。できるだけ最新のソフトウェアをお使いいただくことをお勧めします。

入手方法

最新のソフトウェアは、エプソンのホームページからダウンロードしてください。
☞ http://www.i-love-epson.co.jp/

CD-ROM での郵送をご希望の場合は
「エプソンディスクサービス」で実費にて承っております。詳しくは FAX インフォメーションでご確認ください。
☞『セットアップガイド』『活用ガイド』（紙マニュアル）巻末

ダウンロード／インストール手順

ホームページに掲載されているソフトウェアは圧縮[*1]ファイルになっていますので、次の手順でファイルをダウンロードし、解凍[*2]してからインストールしてください。

*1 圧縮：1 つ、または複数のデータをまとめて、データ容量を小さくすること。
*2 解凍：圧縮されたデータを展開して、元のファイルに復元すること。

1 **ホームページのダウンロードサービスから本製品名を選択します。**

2 **ソフトウェアをハードディスク内の任意のディレクトリへダウンロードします。**

3 **解凍して、インストールを実行します。**

最新バージョンのソフトをインストールする前に、必ず旧バージョンを削除してください。
☞ 本書 268 ページ「ソフトウェアの削除方法」

ソフトウェアの削除方法

ここでは、EPSON Scan を削除する方法を説明します。

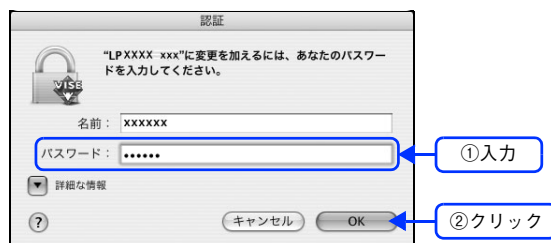
Mac OS X で削除する

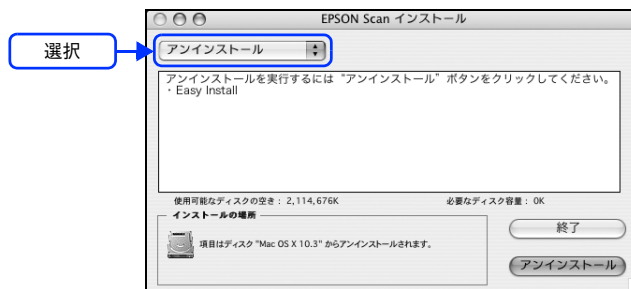
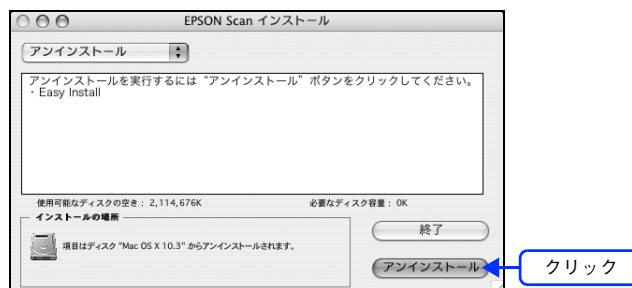
Mac OS X での標準的な方法で EPSON Scan を削除する手順を説明します。

Mac OS X では、複数のユーザーが同時に 1 台のコンピュータを使用することができます（マルチユーザーログイン）。ソフトウェアをアンインストールするときは、一人（コンピュータの管理者）だけがログインした状態で行ってください。

1. **起動しているアプリケーションソフトを終了し、Mac OS を再起動します。**
2. **『EPSON ソフトウェア CD-ROM』をコンピュータにセットします。**
3. **デスクトップ上の［EPSON］CD-ROM アイコンをダブルクリックして開きます。**

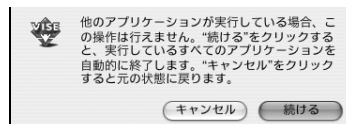
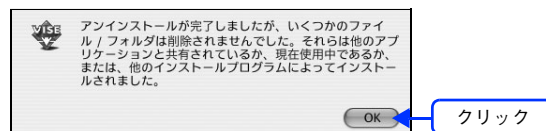
4. **『EPSON ソフトウェア CD-ROM』内の［Mac OS X 専用ソフトウェア］－［EPSON Scan］の順に開き、［EPSON Scan インストール］をダブルクリックします。**
   ［プリンタドライバ］フォルダが表示されていない場合は、［インストーラ］アイコンが表示されているフォルダ内を下にスクロールしてください。

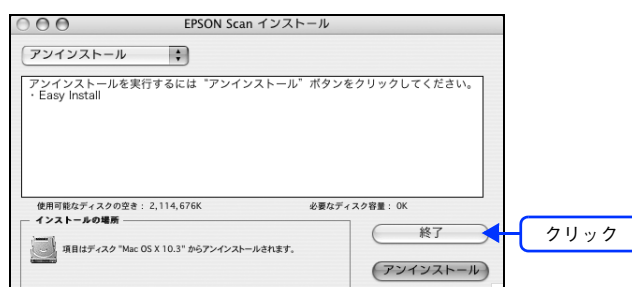
5. **［パスワード］を入力して［OK］をクリックします。**

6 使用許諾契約書の画面が表示されたら［同意］をクリックします。

7 インストーラの画面左上にあるメニューから［アンインストール］を選択します。

8 ［アンインストール］をクリックします。

プリンタソフトウェアの削除が始まります。

参考

次の画面が表示された場合、起動しているアプリケーションソフトが強制的に終了されても問題がないかを確認して［続ける］をクリックします。
アプリケーションソフトを強制的に終了すると作成中のデータが消えてしまう場合などは、［キャンセル］をクリックしてアンインストールを中断し、アプリケーションソフトを終了してから、プリンタソフトウェアをアンインストールしてください。

9 ［OK］をクリックします。

10 ［終了］をクリックします。

以上でソフトウェアの削除は終了です。

Mac OS 9 で削除する

1 **起動しているアプリケーションソフトを終了し、Mac OS を再起動します。**

2 **『EPSON ソフトウェア CD-ROM』をコンピュータにセットします。**

3 **[EPSON ソフトウェア CD-ROM] 内の [EPSON Scan] を開き、[EPSON Scan インストーラ] をダブルクリックします。**

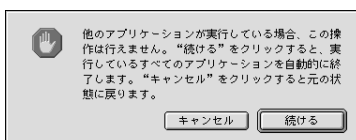
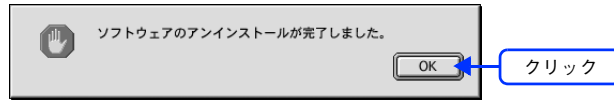
[EPSON Scan] フォルダが表示されていない場合は、フォルダ内を下にスクロールしてください。

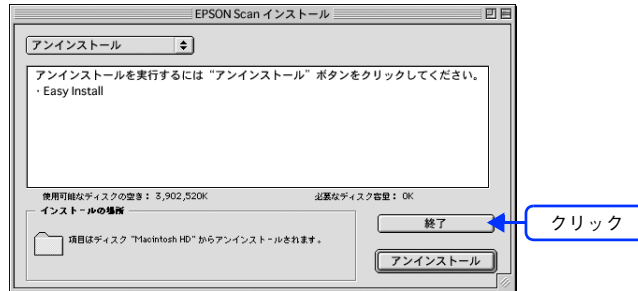
4 **使用許諾契約書の画面が表示されたら［同意］をクリックします。**

5 **インストーラの画面左上にあるメニューから［アンインストール］を選択します。**

6 **［アンインストール］をクリックします。**

プリンタソフトウェアの削除が始まります。

次の画面が表示された場合、起動しているアプリケーションソフトが強制的に終了されても問題がないかを確認して［続ける］をクリックします。
アプリケーションソフトを強制的に終了すると作成中のデータが消えてしまう場合などは、［キャンセル］をクリックしてアンインストールを中断し、アプリケーションソフトを終了してから、プリンタソフトウェアをアンインストールしてください。

7 ［OK］をクリックします。

8 ［終了］をクリックします。

以上でソフトウェアの削除は終了です。

ソフトウェアの再インストール方法

1 コンピュータに『EPSON ソフトウェア CD-ROM』をセットします。

2 インストーラを起動します。

Mac OS X

デスクトップ上の CD-ROM アイコンをダブルクリックして開き、［Mac OS X 用］をダブルクリックします。

Mac OS 9

［Mac OS 9 用］をダブルクリックします。フォルダが自動的に開かない場合は、デスクトップ上の CD-ROM アイコンをダブルクリックしてください。

3 画面の内容を確認して、［続ける］をクリックします。

ウィルスチェックプログラムの実行中は、［インストール中止］をクリックして、手順 2 からやり直します。

4 使用許諾契約書の画面が表示された場合は、内容を確認し、［同意する］をクリックします。

5 ［ソフトウェアのインストール］をクリックします。

6 ［選択画面］をクリックします。

7 ［EPSON Scan］を選択して、［インストール］をクリックします。

8 **この後は、画面の指示に従ってインストール作業を進めます。**

以上でインストールは終了です。

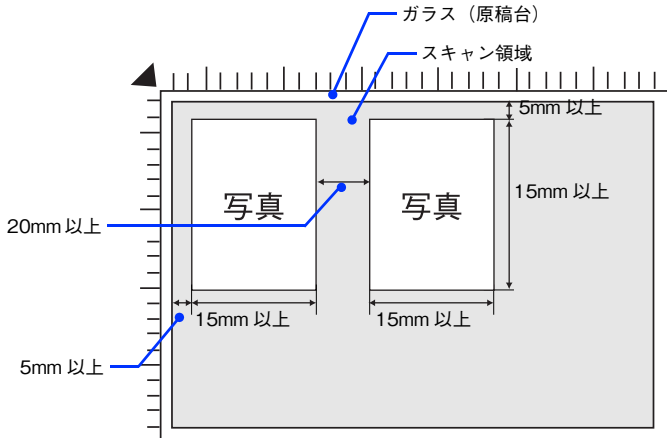
10 困ったときは

スキャナ機能使用時の困ったときの対処方法を説明しています。

スキャン品質が悪い

スキャン品質が悪いときには、次の項目をご確認ください。

トラブル状態	対処方法
画像が暗い	**EPSON Scan の画質調整機能を使ってみてください。** • EPSON　Scan のプロフェッショナルモードで画像をプレビューした後、スキャン範囲を指定してから［自動露出］をクリックしてみてください。 • 明るさとコントラストを調整してみてください。 本書 230 ページ「明るさとコントラストを調整する 1（簡単設定）」 本書 233 ページ「明るさとコントラストを調整する 2（ヒストグラム調整）」 本書 237 ページ「明るさとコントラストを調整する 3（濃度補正）」 **EPSON Scan の［環境設定］にある［カラー］画面の設定を確認してください。** EPSON Scan の各モードの画面下にある［環境設定］をクリックして、［カラー］タブをクリックしてください。 •［ドライバによる色補正］の［常に自動露出を実行］がチェックされていることを確認してください。 チェックが外れていると、自動露出の効果がかからず、露出（明暗）が不適切な画像になる場合があります。 •［ドライバによる色補正］の［ディスプレイガンマ］を設定してください。設定は、ご使用のプリンタドライバの設定と一致させてください。印刷しない場合は、［1.8］に設定してください。なお、ディスプレイガンマの数値を上げると、自動露出調整後の画像は明るくなります。 **ディスプレイの表示設定を確認してください。** ディスプレイ表示には、ディスプレイやディスプレイアダプタによってクセがあるため、正しく調整されていなければ、スキャンした画像が適切な明るさ / 色合いで表示されません。ディスプレイの表示設定を確認してください。 本書 251 ページ「ディスプレイの設定」

トラブル状態	対処方法
画像がぼやける	**解像度が適切に設定されていますか？** EPSON Scan で適切な解像度を設定してスキャンしてください。 ☞本書 290 ページ「解像度」 **EPSON Scan の画質調整機能を使ってみてください。** • EPSON　Scan のプロフェッショナルモードで画像をプレビューした後、スキャン範囲を指定してから［自動露出］をクリックしてみてください。 • ［アンシャープマスクフィルタ］機能を使用してみてください。 ☞本書 219 ページ「ぼやけた画像をくっきりさせる（アンシャープマスク）」 なお、［アンシャープマスクフィルタ］機能を使用すると、モアレ（網目状の陰影）が生じる場合があります。モアレが生じる場合は、［モアレ除去フィルタ］機能を使用してみてください。 ☞本書215ページ「モアレ（網目状の陰影）の除去（モアレ除去フィルタ）」

トラブル状態	対処方法
画像の色合いがおかしい／画像の色が原稿の色と違う 	**EPSON Scan の［イメージタイプ］を正しく設定していますか？（オフィスモードを除く）** スキャンする原稿の種類や画像の用途に合わせて、［イメージタイプ］を正しく設定してください。 **EPSON Scan の画質調整を使っていませんか？また使っている場合は適切に設定していますか？** 明るさ調整など、EPSON Scan の画像調整機能を使うと、原稿と色合いが異なる場合があります。 **ディスプレイの表示設定を確認してください。** ディスプレイ表示には、ディスプレイやディスプレイアダプタによってクセがあるため、正しく調整されていなければ、スキャンした画像が適切な明るさ / 色合いで表示されません。ディスプレイの表示設定を確認してください。 ☞本書 251 ページ「ディスプレイの設定」 **アプリケーションソフトでのディスプレイ設定をしていますか？** Adobe Photoshop などのフォトレタッチソフトを使用している場合は、フォトレタッチソフト側の［モニタ設定］などで、ディスプレイのキャリブレーションを行ってください。 ディスプレイ設定を行うと、ディスプレイやディスプレイアダプタによるクセをソフトウェア上で取り除き、画像を適切に表示することができます。 詳しい手順は、お使いのフォトレタッチソフトの取扱説明書やヘルプをご覧ください。 **原稿（印刷物）とディスプレイの色は一致しません。** 印刷物の色とディスプレイ表示の色は、発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。詳しくは以下のページをご覧ください。 ☞本書 295 ページ「色」 自分が最も気になる部分（肌色など）が合うように、EPSON Scan またはフォトレタッチソフトで調整してみてください。
裏写りする 	**裏が透けて見えるほど薄い原稿をセットしていませんか？** 原稿の紙が薄いときは、裏面や重ねてある紙の画像が裏写りしてスキャンされることがあります。その場合は、黒い紙や下敷きを原稿の裏側に重ねてスキャンすると、改善できる場合があります。 **スキャン時の設定は原稿に合っていますか？** 原稿に合った設定でスキャンしてください。 正しく設定することによって、ハイライト（画像の最も明るい部分）が真っ白になるように調整されるため、裏写りを防止できます。また、背景地の黄色味などの色かぶりを除去できます。

<table>
<tr><th>トラブル状態</th><th>対処方法</th></tr>
<tr><td>画像にモアレ（網目状の陰影）が出る
印刷物などは、スクリーン処理がされているため、モアレ（網目状の陰影）が発生しやすくなります。モアレを完全になくすことはできませんが、次のいずれかの方法で少なくすることができます。
</td><td>EPSON Scan の画質調整機能を使ってみてください。
・［モアレ除去フィルタ］機能を使用してみてください。
☞本書 215 ページ「モアレ（網目状の陰影）の除去（モアレ除去フィルタ）」
・［アンシャープマスクフィルタ］機能を使用している場合は、無効にしてみてください。
☞本書 219 ページ「ぼやけた画像をくっきりさせる（アンシャープマスク）」

原稿の向きを変えて原稿台にセットし、スキャンしてみてください。
スキャンしたい向きと異なる向きになってしまったら、スキャン後にお使いのアプリケーションソフトで画像を回転させ、正しい向きに直してください。

EPSON Scan（プロフェッショナルモード）で［ズーム］の設定を少し変更してスキャンしてみてください。

画像スキャンにおけるモアレ
スクリーン処理された印刷物の画像は、ドット（点）の集まりで構成されています。この画像をスキャンしたときに、印刷上のドットとスキャン後にできるドットの位置が重なると、モアレが発生します

印刷におけるモアレ
画像を印刷する場合、画像にコンタクトスクリーンフィルム（配列されている微細な網点）を重ね、網点を抜けた光をとらえることによって、画像の濃淡を網点の大小および密度に変換します。網点は中心部ほど高濃度になっていて、明るい光は小さな点、暗い光は大きな点として抽出されます。網点はハーフトーンスクリーンとも言い、網点の配列される角度をスクリーン角度と言います。
2 色以上で印刷する場合は、それぞれの色ごとにこの処理（スクリーン処理）を行い、印刷時に再び重ね合わせられますが、このときにそれぞれのスクリーン角度が一致（＝網点が重複）すると、モアレが発生します。</td></tr>
<tr><td>画像にむら／シミ／斑点が出る
</td><td>原稿台が汚れていませんか？
原稿台のガラス面は、きれいにしておいてください。

スキャンするときに、原稿を強く押さえ付けませんでしたか？
スキャンするときに原稿カバーや原稿を強く押さえ付けると、原稿台のガラス面に原稿が貼り付いて、ムラや斑点が出ることがあります。強く押さえ過ぎないようにしてください。
写真の紙質や表面の加工状態によっても、ムラや斑点が出ることがあります。その場合は、原稿のセット位置をずらすなどしてからスキャンしてみてください。</td></tr>
</table>

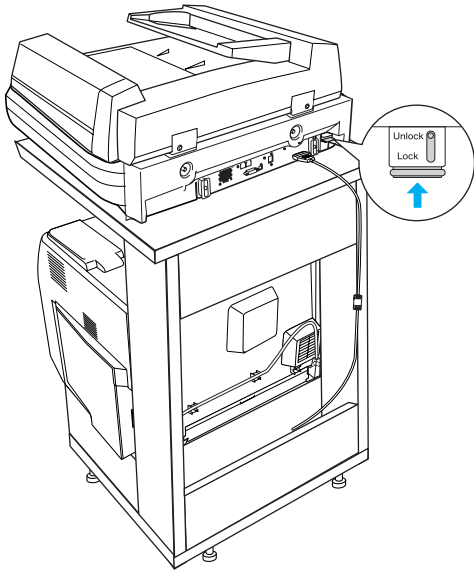
正常にスキャンされない（画像が切れる／隣の画像の一部がスキャンされるなど）

画像が切れたり、隣の画像の一部が一緒にスキャンされたりするなど、正常にスキャンできないときには、次の項目をご確認ください。

トラブル状態	対処方法
正常にスキャンされない	**原稿がセットされていますか？** スキャナに原稿がセットされているか確認してください。 **極端に暗い（または明るい）原稿をセットしていませんか？** 次のような原稿をセットしていると、正常にスキャンできない場合があります。 • 極端に暗い（または明るい）画像 • 露出がアンダー（またはオーバー）気味に撮影された画像 その場合は、EPSON Scan の通常プレビューでスキャンし、プレビュー画面でスキャンする範囲を指定してください。 **原稿台のガラス面にゴミがありませんか？** 原稿台のガラス面にゴミ、汚れなどがあると、正常にスキャンできない場合があります。原稿台のガラス面にゴミ、汚れなどがある場合は取り除いてください。 **スキャナユニットが傾いていませんか？** スキャナユニットが傾いた状態だとスキャナが正常に機能しません。スキャナユニットを通常の状態に戻してください。

トラブル状態	対処方法
サムネイルプレビューで正常にスキャンされない（LP-M5500）	**EPSON Scan のサムネイルプレビューでスキャンする場合、サムネイルプレビューに対応した原稿をセットしていますか？** サムネイルプレビューで使用できる原稿は次の通りです。 サムネイルプレビューに対応していない原稿を、サムネイルプレビューでスキャンしても、正常にスキャンできません。 • カラーおよびモノクロの写真 なお、上記の原稿をセットしても、思い通りの結果でスキャンできない場合があります。その場合は、EPSON Scan の通常プレビューし、プレビュー画面でスキャンする範囲を指定してください。 本書262ページ「サムネイルプレビューと通常プレビュー（LP-M5500のみ）」 **EPSON Scan のサムネイルプレビューでスキャンする場合、スキャン領域のサイズを調整してみてください。** EPSON Scan の［環境設定］にある［プレビュー］画面で、［サムネイル取込領域］のスライダを調整して、サムネイルプレビューのスキャン領域の大きさを調整してください。
写真を複数枚同時にスキャンする時に正常にスキャンされない（LP-M5500）	**正しい位置に原稿をセットしていますか？** 写真などの原稿を並べてセットするときは、次の点に注意して置いてください。 • スキャン領域の端面から 5mm 以上離してセットしてください。 • 写真と写真の間隔を 20mm 以上あけてください。

テキストデータに変換するときの認識率が悪い

トラブル状態	対処方法
テキストデータに変換するときの認識率が悪い	**原稿が斜めにセットされていませんか？** 原稿が斜めにセットされていると、認識率は低下するため、原稿はまっすぐセットしてください。原稿カバーは、セットした原稿がずれないよう、ゆっくり閉じてください。 **原稿の品質に問題がありませんか？** 文字原稿の認識率は、原稿の状態に左右されます。OCR ソフト側で認識率を向上させることができる場合があります。詳しくは、OCR ソフトの取扱説明書をご覧ください。

スキャナが動かない／スキャンできない

トラブル状態	対処方法
スキャナが動かない スキャンできない	**本機の電源は入っていますか？** 本機の電源が入っているかをご確認ください。 **電源プラグがコンセントから抜けていませんか？** 差し込みが浅かったり、斜めに差し込まれていないかをご確認ください。 **コンセントに電源はきていますか？** ほかの電化製品の電源プラグを差し込んで、電源が入るかをご確認ください。ほかの電化製品の電源が入る場合は、スキャナの故障が考えられます。 **ケーブルは外れていませんか？** ケーブルがしっかり接続されているかをご確認ください。また、ケーブルが断線していないコンピュータか、変に曲がっていないかもご確認ください。 **ネットワークインターフェイスに IP アドレスが正しく設定されていますか？** IP アドレスはステータスシートを印刷すると確認できます。IP アドレスが正しく設定されていない場合は、ネットワークユーティリティを使用して、ネットワークインターフェイスの IP アドレスを設定し直してください。詳細は、以下を参照してください。 ☞『ネットワーク設定ガイド』（PDF）-「ネットワークインターフェイスの設定」 **［EPSON Scan の設定］の設定は正しいですか？** ［EPSON Scan の設定］で本機との接続状態を確認してください。 ☞本書 185 ページ「スキャンを始める前に」 **USB ケーブルの接続口を変えてみてください。** コンピュータに複数の USB 接続口がある場合は、接続口を変えると正しく動作するようになることがあります。 **USB ハブをお使いの場合に、使い方は正しいですか？** USB ハブは仕様上 5 段まで縦列接続できますが、スキャナと接続する場合は、コンピュータに直接接続された 1 段目のハブに接続してください。それでもスキャナが動かない場合は、USB ハブを外して、スキャナとコンピュータを直結してください。 **USB ハブをお使いの場合に、USB ハブはコンピュータに正しく認識されていますか？** コンピュータで USB ハブが正しく認識されているかをご確認ください。

トラブル状態	対処方法
スキャナが動かない スキャンできない（続き）	**輸送用固定レバーが解除されていますか？** スキャンするときは、輸送用固定レバーが解除されている（Unlock）の位置にある）必要があります。 輸送用固定レバーが（Unlock）の位置にない場合は、本機の電源をオフにしてから、ロックを （Unlock） の位置に動かしてください。 Unlock Lock **スキャナドライバ（EPSON Scan）は正常にインストールされていますか？** 以下のページを参照して、EPSON Scan を起動してみてください。 本書 257 ページ「起動方法とモードの切替方法」 起動できない場合は、再度インストールを行ってください。 本書 272 ページ「ソフトウェアの再インストール方法」 **コンピュータにスキャナが認識されていますか？** コントロールパネルの［スキャナとカメラ］に本スキャナのアイコンが表示されているかを確認してください。 本書 267 ページ「ソフトウェアのバージョンアップ」 本機のアイコンが表示されていない場合は、再度 EPSON Scan をインストールしてください。 本書 272 ページ「ソフトウェアの再インストール方法」 **Max OS X をお使いの場合、Classic モードが起動していませんか？** Classic モードや Classic 環境が起動していると、画像をスキャンできない場合があります。また、Classic モードで動作している場合、一部の機能が正常に動作しません。Mac OS Xv10.2以降をお使いの場合はClassic モードを起動しない状態でお使いください。 **高解像度でスキャンしようとしていませんか？** 高解像度でスキャンするとウォームアップに時間が（最長 3 分）かかります。スキャンするまでお待ちください。

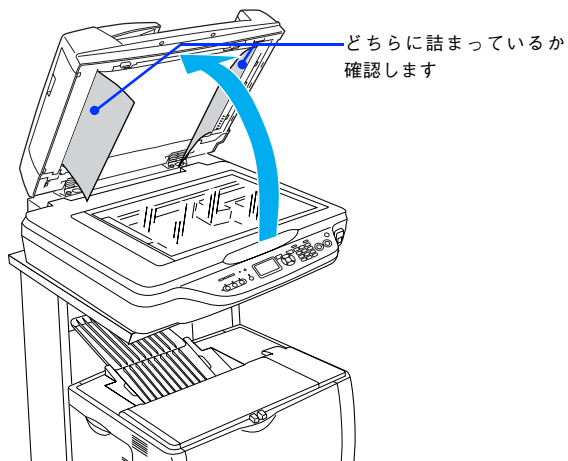
トラブル状態	対処方法
スキャナが動かない スキャンできない（続き）	**EPSON Scan の［環境設定］画面で［作業フォルダ］をネットワークドライブまたは書き込み権限のないフォルダを指定していませんか？** ［作業フォルダ］にネットワークドライブや書き込み権限のないフォルダを指定すると［OK］がグレイアウトしてクリックできなくなります。［作業フォルダ］の指定を確認してください。 作業フォルダは、EPSON Scan 各モードの画面下部にある、［環境設定］をクリックして、［その他］タブをクリックすると確認できます。 **スキャナドライバ「EPSON Scan」を単独で起動している場合は、EPSON Scan を削除（アンインストール）して、もう一度インストールしてみましょう。** EPSON Scan が正常にインストールされていない可能性があります。 一旦、EPSON Scan を削除（アンインストール）して、もう一度インストールしてみてください。 本書 268 ページ「ソフトウェアの削除方法」 本書 272 ページ「ソフトウェアの再インストール方法」 **TWAIN 対応アプリケーションから EPSON Scan を起動している場合は、TWAIN 対応アプリケーションを削除（アンインストール）して、もう一度インストールしてみましょう。** TWAIN 対応アプリケーションが正常にインストールされていない可能性があります。一旦、TWAIN 対応アプリケーションを削除（アンインストール）して、もう一度インストールしてみてください。 本書 268 ページ「ソフトウェアの削除方法」 本書 272 ページ「ソフトウェアの再インストール方法」

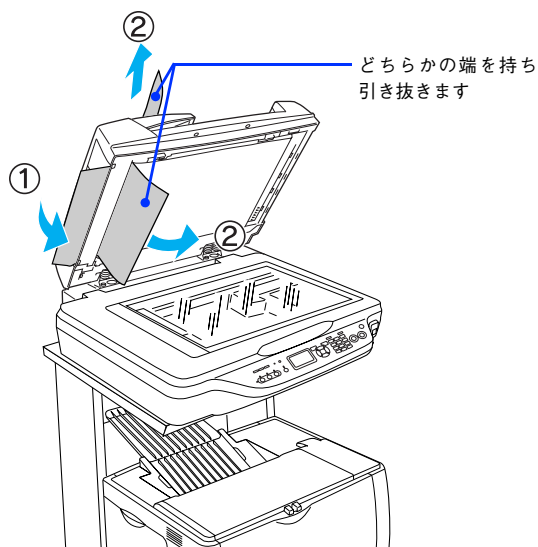
オートドキュメントフィーダでのトラブル

トラブル状態	対処方法
原稿がスキャンされない	**輸送用固定レバーが解除されていますか？** スキャンするときは、輸送用固定レバーが解除されている（Unlock）の位置にある）必要があります。 輸送用固定レバーが（Unlock）の位置にない場合は、本機の電源をオフにしてから、ロックを （Unlock） の位置に動かしてください。 Unlock Lock
EPSON Scan の［原稿種］または［取込装置］でオートドキュメントフィーダを選択できない	**EPSON Scan のホームモードを使用していませんか？** EPSON Scan のホームモードはオートドキュメントフィーダに対応していません。オフィスモードまたはプロフェッショナルに切り替えてください。

オートドキュメントフィーダで原稿が詰まった場合は

オートドキュメントフィーダで原稿が詰まったときは、次の手順で詰まった原稿を取り除いてください。

1 **原稿カバーを開け、原稿が詰まっている場所を確認します。**

給紙口(左側)で詰まった場合

2 **①左側のカバーを開け、②原稿のどちらかの端を持ちゆっくりと引き抜きます。**

- カバーは必ず開けてください。原稿を押さえていたローラが解除されるため原稿を引き抜き易くなります。
- 原稿はゆっくり引き抜いてください。原稿が破れるおそれがあります。

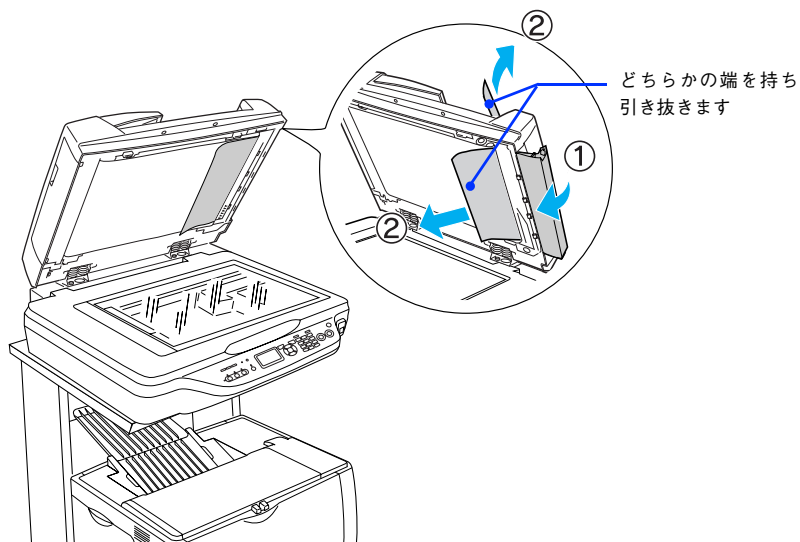
3 **左側のカバーを閉じ、原稿カバーを閉じます。**

4 **［カラー］ボタンまたは［モノクロ］ボタンを押します。**

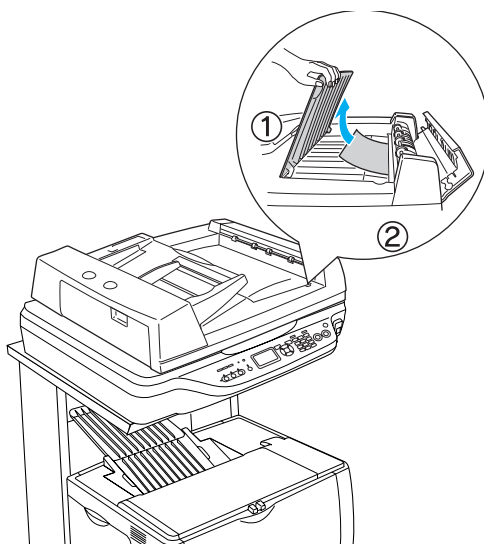
以上で給紙口の用紙詰まりの除去は終了です。

排紙口(右側)で詰まった場合

2 **①左側のカバーを開け、②原稿のどちらかの端を持ちゆっくりと引き抜きます。**

原稿が破れて取れなくなった場合は、手順 **3** へ進みます。

- カバーは必ず開けてください。原稿を押さえていたローラが解除されるため原稿を引き抜き易くなります。
- 原稿はゆっくり引き抜いてください。原稿が破れるおそれがあります。

3 **右側のカバーを閉じ、原稿カバーを閉じます。**

4 **①上面のカバーを開けて②原稿をゆっくり引き抜きます。**

5 **上面のカバーを閉じます。**

6 **［カラー］ボタンまたは［モノクロ］ボタンを押します。**

以上で排紙口の用紙詰まりの除去は終了です。

その他のトラブル

トラブル状態	対処方法
スキャンに時間がかかる	**画像を高解像度でスキャンしていませんか？** 画像を高解像度でスキャンする設定にしていると、スキャンに時間が（最長 3 分）かかります。解像度を下げて、画像をスキャンしてください。 ☞本書 290 ページ「解像度」 **USB1.1 を使用してスキャンしていませんか？** お使いの環境が USB2.0 対応になっているかを確認してください。 ☞本書 298 ページ「USB ケーブル」 USB2.0 に対応している場合、USB2.0 を使用すると、USB1.1 と比べて高速に画像をスキャンできます。 USB2.0 非対応の機器をお使いの場合には、USB1.1 として動作します。（USB2.0 と比較してデータ転送速度が遅くなります。） ただし、USB2.0 を使用しても原稿の種類と解像度によっては、スキャンに時間がかかる場合があります。または USB1.1 と比べてもあまり高速な結果が得られない場合があります。
画像が画面に大きく表示される	**画像を高解像度でスキャンしていませんか？** 通常ディスプレイの解像度は 70 ～ 90dpi くらいしかありません。しかし、アプリケーションソフトによっては、スキャンした画像データの各画素（画像を構成している細かな点の一つ一つ）を画面の解像度に対応させて表示するものがあります。その場合、高解像度の画像データは大きく表示されますので、アプリケーションソフト上で縮小してご確認いただければ、問題ありません。印刷すると原稿と同じ大きさになります。

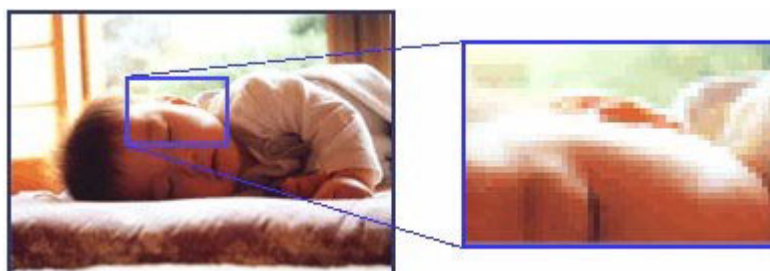
11 付録

スキャナを使用する上での補足的な情報を説明しています。

解像度

よりきれいに画像を印刷するためには、プリンタの性能に適した解像度の画像データを用意する必要があります。ここでは、画像データと印刷解像度を説明します。

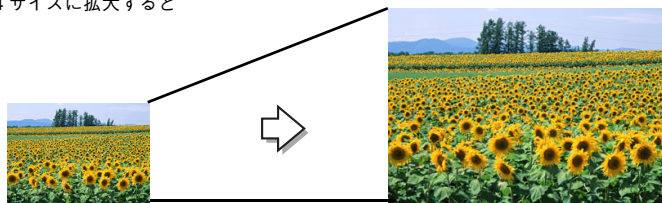
解像度とは

スキャンされた画像や印刷画像を拡大して見ると、点の集まりであることがわかります。この点をドットと呼び、ドットの密度を表すのが解像度です。

この点が多ければ多い（解像度が高い）ほど、きめ細かい表現が可能になります。この解像度を示す単位として用いられるのが「dpi」［(1 インチ（25.4mm）あたりのドット数（Dot per Inch)］という単位で、これは 1 インチあたりにどれだけの点が含まれているかを表しています。

画像データの解像度と印刷解像度の関係

印刷の設定をいくら高記録解像度に設定して印刷しても、スキャンした画像データの解像度が低ければ思うような印刷結果は得られません。印刷解像度（印刷モード）に応じた画像データが必要です。
基本的には、画像データの解像度を上げれば印刷画質も必然的に向上しますが、解像度を上げすぎても、印刷速度が遅くなるだけで大きな画質向上効果は望めません。
☞ 本書 290 ページ「解像度」

印刷サイズと解像度の関係

用意した画像データをそのままのサイズで印刷すれば十分な画質を期待できます。
しかし、拡大印刷すると、画像を構成する点（ドット）が大きくなることで解像度が低下し画質は粗くなります。
また、逆に縮小印刷すると、解像度は上がりますが、必要以上に印刷時間がかかるだけで見た目には画質の向上を認識できません。

次の表をご確認いただき、印刷サイズに適した画像サイズのデータをご用意ください。

雑誌や写真などの原稿の場合

スキャン解像度（EPSON Scanで出力サイズを等倍に設定した場合）	原稿サイズ	スキャンで生成されるデータの画素数（ピクセル）（24bit カラーの場合）		スキャンで生成されるデータの容量（MB）	印刷サイズごとの画像品質の目安	
		短辺	長辺		ハガキ	A 4
300	L 判	1051	1500	4.5	◎	×
300	ハガキ	1181	1748	5.9	◎	×
300	A4	2480	3508	24.9	※	◎
600	L 判	2102	3000	18.0	※	◎
600	ハガキ	2362	3496	23.6	※	◎
600	A4	4961	7016	99.6	※	※

※オーバースペック：用紙サイズに対して画素数が多すぎます。印刷に時間がかかるだけで、印刷品質の向上は望めません。
◎推奨：用紙サイズに対し理想的な画素数です。高品質な印刷結果を出力できます。
○許容：用紙サイズに対し多少画素数が少なめですが、十分な品質の印刷物を出力できます。
（注：×：出力解像度 150dpi 未満、○：150 ～ 250 dpi、◎：250 ～ 360 dpi、※：360dpi 以上で判定してあります）

[出力サイズ] を [L 判] などの印刷サイズに設定した場合は、[解像度] を [300] dpi に設定してください。EPSON Scan のホームモードで ［出力先］ を ［プリンタ］ に設定するか、プロフェッショナルモードで ［解像度］ を ［300］ dpi に設定して、印刷サイズに対応する ［出力サイズ］ を選択すれば、拡大倍率を計算して自動的に最適な解像度でスキャンします。

解像度を上げるときれいになる？

解像度を上げると、画素が増え、画像がよりきめ細かになります。しかし、解像度を上げれば上げるほどきれいになるというものではありません。
下表をご覧になり、用途に合った解像度を設定してください。

用途	目安となる解像度	説明
E メール送信	96 ～ 150dpi	目安となる解像度以上に上げると、E メールの送受信に時間がかかり、メールを受信する相手に負荷がかかります。なるべくデータが小さくなるように解像度を設定してください。
OCR（光学文字認識）	400dpi	目安となる解像度以上に上げても、文字の認識率は向上しません。認識率が良くない場合は、しきい値を調整してください。しきい値を調整した方が、よりよい効果が得られます。
レーザープリンタでの印刷	200dpi（カラー、グレー画像の場合） 600dpi（白黒の線画の場合）	目安となる解像度で十分です。それ以上に上げても印刷品質は向上しません。むしろデータ容量が多くなるため、画像のスキャン／保存／読み込み／印刷などが遅くなります。
ディスプレイ表示	96dpi	通常、コンピュータの画面の解像度は 70 ～ 90dpi くらいです。そのため、壁紙またはデスクトップピクチャ用の画像を 150dpi でスキャンしても、画面から画像がはみ出してしまいます。

また、解像度を上げるほど、多くのハードディスク／メモリ容量を必要とします。
下表は、解像度ごとの画像データ容量です。

原稿の種類	原稿サイズ	解像度		
		150dpi	300dpi	600dpi
カラー写真	L 判＊	約 1.1MB	約 4.3MB	約 17.4MB
	A4	約 6.1MB	約 24.5MB	約 98MB
白黒写真	L 判＊	約 0.4MB	約 1.4MB	約 5.8MB
	A4	約 2MB	約 8.2MB	約 32.6MB
文字原稿／線画	A4	―	約 1MB	約 4MB

＊約 90mm × 130mm

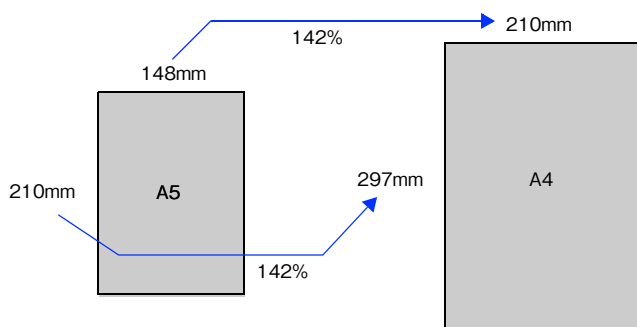
- 解像度が 2 倍になると、データ容量は約 4 倍になります。
- スキャンする画像の容量の目安は、EPSON Scan のプレビュー画面の下側に、画像のサイズ（ピクセル）、ファイル容量として表示されます。
- ハードディスクには、最低でもスキャンする画像データ容量の 2 倍以上の空き容量がないと、スキャンすることはできません。

拡大／縮小と解像度の関係

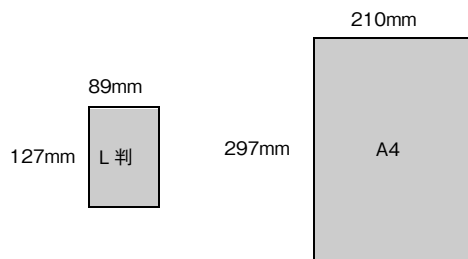
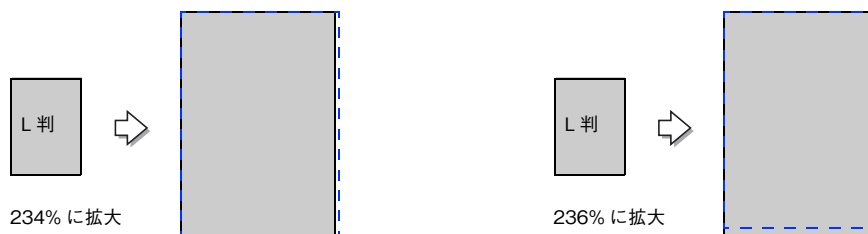
EPSON Scan の［解像度］で設定する解像度は、出力解像度（スキャン後の画像の解像度）を示します。入力解像度（スキャナからスキャンする際の解像度）は、出力解像度の設定、出力サイズの設定、取り込み枠の設定によって自動的に決まります。そのため、拡大／縮小する場合、解像度の数値を拡大／縮小率に合わせて計算・設定する必要はありません。

拡大／縮小する場合に、入力解像度がどのように決まるか、参考として説明します。

縦横比が同じ原稿の拡大／縮小率

A5 サイズの原稿を、A4 サイズで拡大してスキャンする場合を例に説明します。
A5 サイズを A4 サイズに拡大するには、縦横それぞれを 140% に拡大します。

従って、入力解像度は、例えば、A5 サイズの原稿を出力サイズ：A4 解像度：300dpi の設定でスキャンした場合 300dpi × 140%＝ 420dpi となります。

縦横比が違う原稿の拡大／縮小率

縦横比が同じ原稿は、縦横を同じ比率で拡大／縮小すればよいのですが、L 判サイズの写真を A4 に拡大する場合、縦横比が異なります。このような場合、拡大／縮小率はどのようになるのでしょうか？
L 判と A4 はそれぞれ下図のサイズです。

この場合、L 判の縦の長さがちょうど収まる約 234% に拡大すると、横が少し小さめになります。横の長さがちょうど収まる約 236% に拡大すると、縦が少しはみ出します。

従って、［出力サイズ］でＬ判を A4 で出力するには、縦横の両方が収まる、236% に拡大されます。
入力解像度は、例えば、ハガキを出力サイズ：L 判解像度：300dpi の設定でスキャンした場合 300dpi × 236%＝ 708dpi となります。

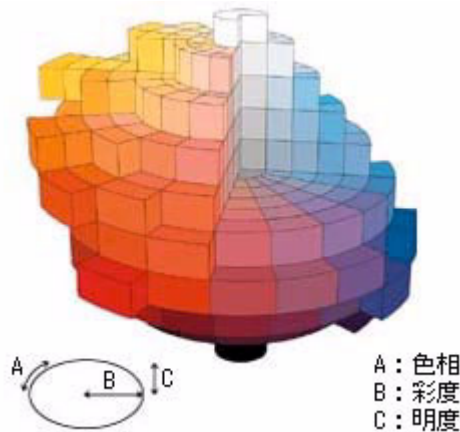
- 入力解像度と出力解像度を一致させたい場合は、出力サイズを等倍に設定してください。

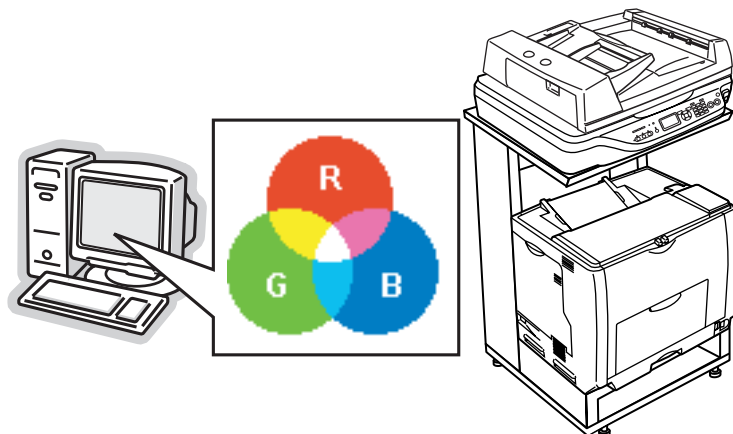
- プロフェッショナルモードを選択している場合、ここの説明は［出力サイズ］のトリミングを［あり］に設定している場合（初期設定）の例です。

色

普段、何気なく見ているディスプレイや紙の上で表現される“色”にも、さまざまな要素が含まれています。ここでは、カラー印刷の知識の基礎となる、「色」を説明しています。

色の要素

一般に「色」というと赤や青などの色相（色合い）を指すことが多いのですが、色を表現する要素には、色相のほかに彩度、明度という要素があります。
彩度は鮮やかさの変化を表す要素で、白みを帯びていない度合をいいます。
例えば赤色の場合、彩度を上げるとより赤くなりますが、彩度を落とすに従って無彩色になっていき、最後はグレーになります。
明度はその字の通り、明るさ、つまり光の強弱を表す要素です。明度を上げればより白っぽく、逆に明度を落とせば暗くなります。
下の図（色立体と呼びます）は円周方向が色相変化を、半径方向が彩度変化を、高さ方向が明度変化を表します。

ディスプレイの発色プロセス<加法混色>

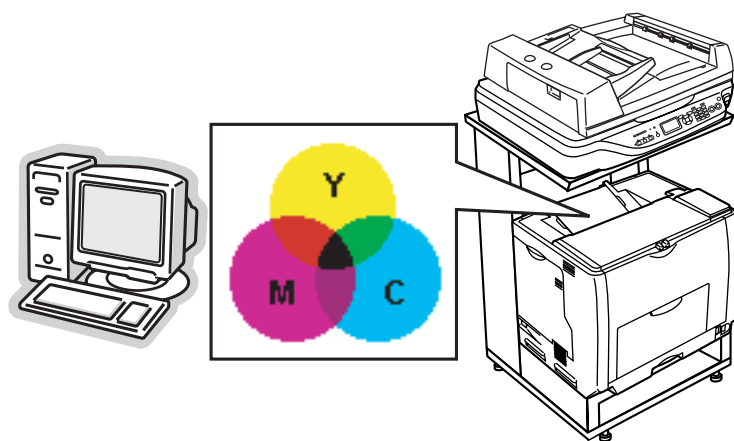
色は光によって表現されますが、ここでは、光がどのように色を表現するかを説明します。
例えば、テレビやディスプレイなどを近くで良く見ると、赤（R）、緑（G）、青（B）の3色の光が見えます。
これは「光の三原色」と呼ばれるもので、光はこれら3色の組み合わせでさまざまな色を表現します。
この方法は、どの色も光っていない状態（すべてが 0: 黒）を起点に、すべての色が光っている状態（すべてが 100: 白）までを色を加えることで表現するため、CRT ディスプレイで表現される色は、加法混色（加色法）と呼ばれます。

プリンタ出力の発色プロセス<減法混色>

加法混色で色が表現できるのは、そのもの自らが光を発することができる場合です。しかし多くの場合、自ら光を出すことはないため、反射した光で色を表現することになります（正確には、当たった光のうち一部の色を吸収（減色）し、残りの色を反射することで色を表現します）。

例えば「赤いトナー」の場合、次のようになります。
一般的に見られる「光」の中には、さまざまな色の成分が含まれています。

この光が赤いトナーに当たった場合、ほとんどの色の成分がインクに吸収されてしまいますが、赤い色の成分だけは、吸収されずに反射されます。この反射した赤い光が目に入り、その物体（トナー）が赤く見えるのです。

このような方法を減法混色（減色法）と呼び、プリンタのトナーや絵の具などはこの減法混色によって色を表現します。このとき、基本色となる色は加法混色の RGB ではなく、混ぜると黒（光を全く反射しない色）になるシアン（C)、マゼンタ（M)、イエロー（Y）の 3 色です。この 3 色を一般に「色の三原色」と呼び、「光の三原色」と区別します。

理論的には CMY の 3 色を混ぜると黒になります。しかし一般に印刷では、より黒をくっきりと表現するために黒 （BK）インクを使用し、CMYBK の 4 色で印刷します。

出力装置による発色の違い<ディスプレイとプリンタ出力>

コンピュータで作成したグラフィックスデータをプリンタに出力するとき、この加法混色と減法混色を考え合わせる必要があります。なぜなら、CRT ディスプレイで表現される色は加法混色であるのに対して、プリンタで表現される色は減法混色であるからです。

この RGB → CMY 変換はプリンタドライバで行いますが、ディスプレイの調整状態によっても変化するため、完全に一致させることはできません。

このように発色方法の違いにより、ディスプレイ上と実際の印刷出力の色合いにズレが生じます。しかし、以下のページを参照して、色合いをできるだけ近づけることができます。
☞ 本書 251 ページ「原画とディスプレイ表示とプリント結果の色合わせ」

スキャナで読み込んだ画像を印刷するときは、原画 （CMY）→ ディスプレイ （RGB）→ 印刷（CMY）の変換が必要になり、さらに一致させることが難しくなります。このような場合の機器間のカラーマッチングの方法をキャリブレーションと呼び、市販のスキャナユーティリティソフトの中にはこの機能があるものがあります。

画像ファイル形式

本スキャナでは、スキャンした画像を次のファイル形式で保存します。
お使いのアプリケーションソフトが各形式に対応しているかご確認の上、保存するファイル形式を決めてください。

形式（拡張子）	説 明
JPEG 形式 （＊ .JPG ）	圧縮形式のファイルです。圧縮率を選択できます。ただし、圧縮率が高いほど画質が劣化し（圧縮前のデータに戻すことはできません）、さらに保存のたびに劣化していきます。スキャン後に画像を加工する場合は、TIFF 形式などで保存してください。
TIFF 形式 （＊ .TIF ）	グラフィックソフト、DTP ソフトなど、多くのソフトウェアでデータ交換するために作られたファイル形式です。
Multi － TIFF 形式 （＊ .TIF ）	TIFF 形式ですが、複数ページのデータを 1 つのファイルにまとめて保存できます。
BMP 形式（Windows のみ） （＊ .BMP ）	多くの Windows 用アプリケーションに対応しているファイル形式です。
PICT 形式（Mac OS のみ） （＊ .PCT ）	Mac OS 標準の画像ファイル形式です。ほとんどの Mac OS 用アプリケーションに対応しています。
PDF 形式 （＊ .PDF ）	Windows と Mac OS で、画面表示・印刷ともに同様の結果が得られる汎用的なドキュメント形式です。
PRINT Image Matching II（JPEG） （＊ .JPG ）	PRINT Image Matching II（画像の持つ微妙な色合いの情報を画像データ内に保存して、メリハリのある画像を印刷するための仕組み）による画像補正に対応した、JPEG 形式のファイルです。
PRINT Image Matching II（TIFF） （＊ .TIF ）	PRINT Image Matching II（画像の持つ微妙な色合いの情報を画像データ内に保存して、メリハリのある画像を印刷するための仕組み）による画像補正に対応した、TIFF 形式のファイルです。

USB ケーブル

接続条件

USB インターフェイスを標準搭載したコンピュータ

USB2.0 対応

- USB2.0 としてご使用いただくためには、USB2.0 に対応したケーブルをお使いください。また、パソコン側も USB2.0 に対応している必要があります。USB2.0 非対応のパソコンをお使いの場合は、USB1.1 として動作します。（USB2.0 と比較してデータ転送速度が遅くなります。）
- USB2.0 用インターフェイスボードまたは PC カードによって増設した場合には、マイクロソフト社製 USB2.0 ドライバが必要になります。マイクロソフト社製 USB2.0 ドライバの入手方法はマイクロソフト株式会社のホームページでご確認ください。
- USB2.0 対応 OS は Windows 2000/XP、Mac OS X v10.2.7 以降です。Windows 98/Me、Mac OS 9 、Mac OS X v10.2.6 以前では、USB1.1 として動作します。
- USB2.0 を使用しても原稿と解像度によっては、スキャンに時間がかかる場合があります。また、USB1.1 と比べてもあまり高速な結果が得られない場合があります。
- USB ハブをお使いになる場合は、USB2.0 に対応しているものをお使いください。USB2.0 非対応のハブをお使いの場合は、USB1.1 として動作します。（USB2.0 と比較してデータ転送速度が遅くなります。）

索引

数字

C

E

M

O

R

T

U

あ

い

お

か

き

く

け

こ

さ

し

す

せ

た

ち

つ

て

と

に

の

は

ひ

ふ

へ

ほ

ま

め

も

ゆ

よ

ら

り

れ

わ

商標およびご注意

EPSON ESC/Page および ESC/P はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

複製が禁止されている印刷物について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

（関連法律）刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条

通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条　など

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、官製はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権について

写真、絵画、音楽、プログラムなどの他人の著作物は、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

著作権について

写真、絵画、音楽、プログラムなどの他人の著作物は、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制について　－注意－

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCI ルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波について

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

レーザ製品の表示について

本プリンタは、レーザの国際規格 IEC60825-1 で定められた、クラス 1 レーザ製品です。識別のため、「クラス 1 レーザ製品」と書かれたラベルを製品に貼付しています。通常使用時には、レーザは内部にありお客様が被爆することはありません。

オゾンについて

レーザープリンタの印刷原理上、印刷処理中には微量のオゾンが発生します（排気風にオゾン臭を感じることがあります）。印刷中に本機が発生するオゾンは微量であり、通常の作業環境における安全許容値（0.1ppm、0.2mg/m^3）を上回ることはありません。ただし、オゾン濃度はプリンタの設置環境によって変わるため、下記のような条件での使用は避けてください。

- 製品の環境使用条件外での使用
- 狭い部屋での複数レーザープリンタの使用
- 換気が悪い場所での使用
- 上記条件下での長時間連続稼働